

令和2年度
八尾市民意識調査
報告書

令和3（2021）年3月

八尾市

【 目 次 】

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 実施内容	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査期間	1
(4) 回収状況	1
(5) 調査結果の表示方法	1
第2章 調査結果	3
1 回答者の属性	3
(1) 年齢	3
(2) 性別	3
(3) 家族構成	4
(4) 未成年者の家族構成	4
(5) 高齢者の家族構成	5
(6) 八尾市内で利用する交通手段	5
(7) 就学・就業状況	9
(8) 通勤・通学先	9
(9) 通勤・通学所要時間	10
(10) 住居の形態	10
(11) 居住している小学校区	11
(12) 居住年数	12
(13) 八尾市に転入したきっかけ	12
(14) 八尾市に転入した理由	13
2 新型コロナウイルス感染症の流行に関わる影響等について	18
(1) 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う生活における変化（問1）	18
(2) 新型コロナウイルス感染症が流行し始めた頃（今年（令和2年）2月頃）と現在の健康 に関する行動等の変化（問1-1）	20
(3) 新型コロナウイルス感染症が流行し始めた頃（今年（令和2年）2月頃）と現在の健康 に関する行動等で特に変化があったもの（問1-2）	36
(4) 八尾市役所の新型コロナウイルス感染症に対する対策や支援制度の情報の入手方法（問 1-3）	39
3 日常の暮らしについて	45
(1) 健康のための自主的な取り組み（問2）	45

(2)	食事の際の栄養のバランスへの留意 (問3)	46
(3)	かかりつけ医等の有無 (問4)	47
(4)	災害に対する取り組み (問5)	48
(5)	災害の避難場所を決めたり、日用品を持ち出す準備の備え (問6)	49
(6)	芸術文化に親しむ機会 (問7)	50
(7)	運動の頻度 (問8)	51
(8)	生涯学習への取り組み (問9)	52
(9)	国際交流への興味 (問10)	56
(10)	産業振興の重要性 (問11)	57
(11)	商店街や地元の個人商店での買い物頻度 (問12)	58
(12)	日常の買い物の環境 (問13)	59
(13)	インターネットの活用 (問14)	60
(14)	日常生活においてマナー等の心がけ (問15)	61
(15)	環境改善・保護のための行動 (問16)	62
(16)	地球温暖化防止に役立つ行動 (問17)	63
(17)	差別のない社会の実現 (問18)	64
(18)	男女共同参画センターの認知度 (問19)	65
(19)	平和な社会の大切さ (問20)	66
(20)	八尾の魅力について (問21)	67
(21)	具体的な八尾の魅力 (問21-1)	68
(22)	八尾の魅力を友人や知人にすすめたいかについて (問22)	71
(23)	八尾をより良くするための活動にかかわりたいかについて (問23)	72
(24)	八尾をより良くするための活動をしている人に対する感謝について (問24)	73
(25)	八尾河内音頭まつりについて (問25)	74
4	日ごろ感じていることについて	78
(1)	日ごろ感じていることについて (問26)	78
(2)	八尾の文化・まつりの元気さについて (問27)	94
(3)	八尾市のまちづくりの現在の満足度 (問28)	95
5	今後の定住意向について	112
(1)	今後の八尾市での居留意向 (問29)	112
(2)	市外へ引っ越したい(引っ越した)理由 (問29-1)	113
6	八尾市の将来都市像の実現状況について	120
(1)	将来都市像の実現についての考え (問30)	120
(2)	より良い八尾をつくるためのアイデア (問30-1)	131
7	身近な地域での地域活動について	135
(1)	「校区まちづくり協議会」への参加状況 (問31)	135
(2)	地域活動を知ったきっかけ (問31-1)	136
(3)	地域活動への参加状況 (問32)	137

(3-1) 参加したいと思わない理由 (自由記述) (問 32)	138
(4) 地域活動の希望 (自由記述) (問 32-1)	139
8 市議会について	140
(1) 市議会に対する関心度 (問 33)	140
(2) 市議会に望むこと (問 34)	141
9 八尾市の取り組みについて	145
(1) 八尾市の行政の取り組みの満足度 (問 35)	145
(2) 八尾市職員の対応のわかりやすさ (問 36)	146
(3) 市役所に対する情報源 (問 37)	147
(4) 今後出張所で充実されると良いと思うサービス (問 38)	154
10 自由記述	158
調査票	163

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査目的

本市では、令和3年度から始まる第6次総合計画に掲げる八尾市の将来都市像「つながり、かがやき、しあわせつづく、成長都市 八尾」の実現に向け、各種の取り組みを進めているところであり、八尾市が今後、どんな取り組みを充実させていくべきなのかを決めていく際の重要な基礎データとして活用するため、市民の生活意識や八尾市政に対する意見、満足度・ニーズ等を把握することを目的に調査を実施した。

2 実施内容

(1) 調査対象

八尾市在住の18歳以上の市民の中から3,000人(男女各1,500人)
調査対象の抽出方法 住民基本台帳無作為抽出

(2) 調査方法

郵送配布・郵送回収による郵便調査法。お礼状兼督促状1回配布

(3) 調査期間

令和2年11月20日～12月8日

(4) 回収状況

発送数	3,000票	
有効回答数	1,641票	有効回答率:54.7%

(5) 調査結果の表示方法

- ・設問ごとの集計母数は、グラフ中に「N=〇〇〇」と表記している。
- ・回答数は主に凡例中に「n=×××」と表記している。
- ・集計結果の百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入した値を表記している。このため、単数回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答設問では、当該設問に回答すべき回答者数を母数として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めている。そのため、構成比の合計は通常100.0%とならない。
- ・クロス集計のグラフ・数表では、集計区分ごとの集計母数を「N=〇〇〇」と表記している。
- ・本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合がある。
- ・報告書中のグラフにおいて、値の小さい項目は表記が省略されている場合がある。

第2章 調査結果

第2章 調査結果

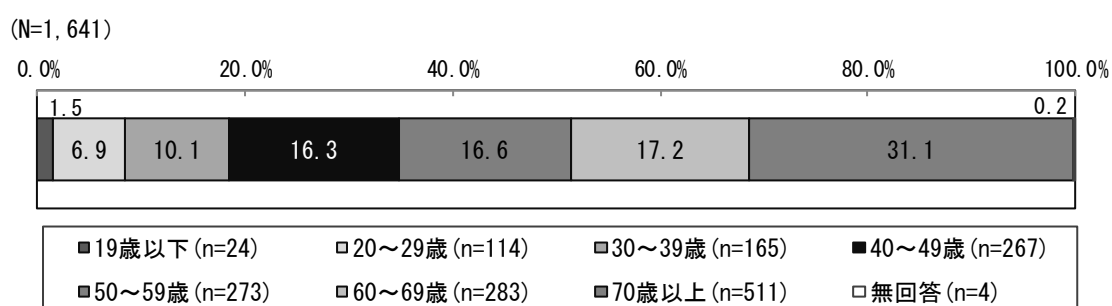
1 回答者の属性

(1) 年齢

◆1 あなたの年齢について、お伺いします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

回答者の年齢をみると、「70歳以上」が31.1%で最も多く、次いで「60～69歳」(17.2%)、「50～59歳」(16.6%)などとなっている。60歳以上が48.3%と約半数を占めている。

図 年齢

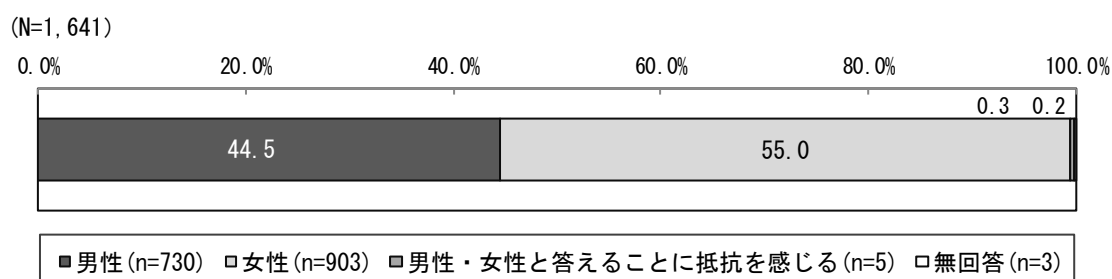


(2) 性別

◆2 あなたの性別について、お伺いします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

回答者の性別をみると、「男性」が44.5%、「女性」が55.0%と、「女性」のほうが多くなっている。

図 性別

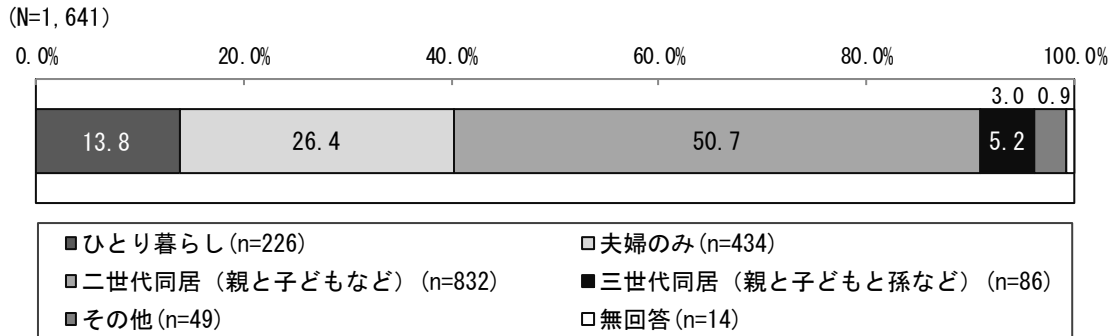


(3) 家族構成

◆3 あなたの家族構成について、お伺いします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

同居家族の構成をみると、「二世帯同居(親と子どもなど)」が50.7%で最も多く、次いで「夫婦のみ」(26.4%)、「ひとり暮らし」(13.8%)などとなっている。

図 家族構成



(4) 未成年者の家族構成

◆4 同居の家族に未成年者(20歳未満)はおられますか。
あてはまる番号1つに○をつけ、その人数を記入してください。

未成年の同居家族が「いる」世帯は23.5%、「いない」世帯は71.6%となっている。

未成年の同居家族がいる世帯について、1人以上いる世帯が、『0～6歳』では38.2%、『7～12歳』では37.4%、『13～15歳』では24.4%、『16～20歳未満』では35.9%となっている。

図 未成年者の同居の有無

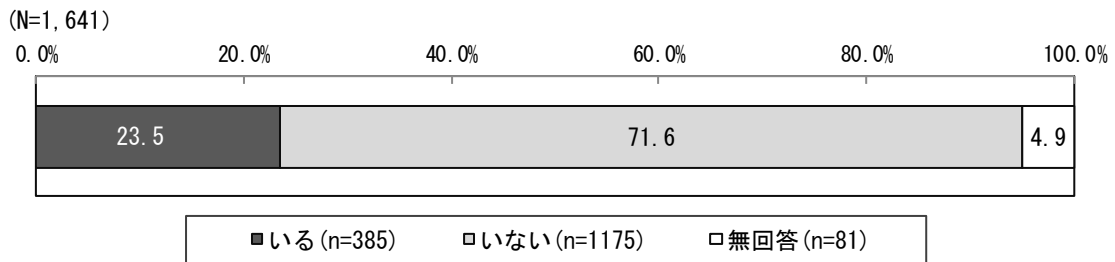
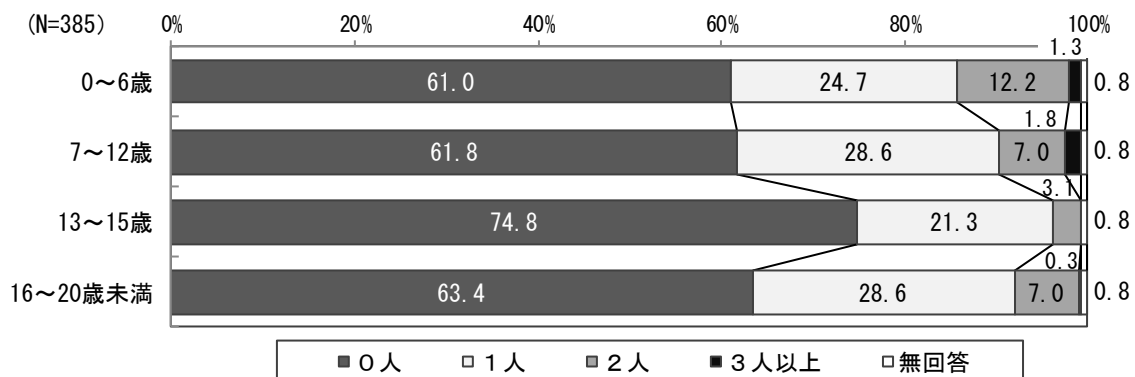


図 未成年者の年齢別同居人数

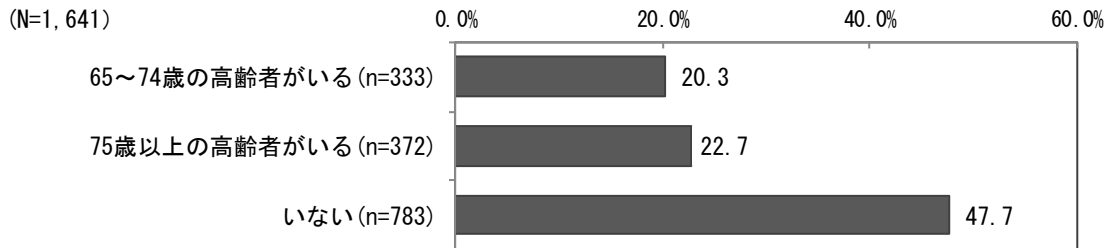


(5) 高齢者の家族構成

◆5 同居の家族(あなたを含む)に高齢者はおられますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

高齢者の同居家族がいるかどうかをみると、「いない」が47.7%と最も多く、次いで「75歳以上の高齢者がいる」(22.7%)、「65～74歳の高齢者がいる」(20.3%)となっている。

図 高齢者の家族構成(複数回答)

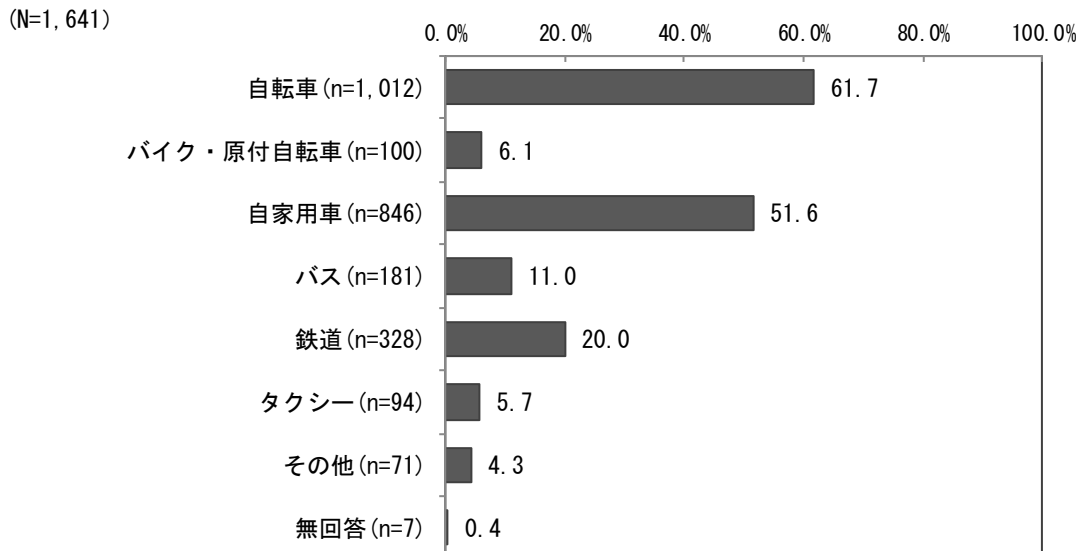


(6) 八尾市内で利用する交通手段

◆6 あなたが八尾市内を移動するとき、最もよく利用される交通手段は何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

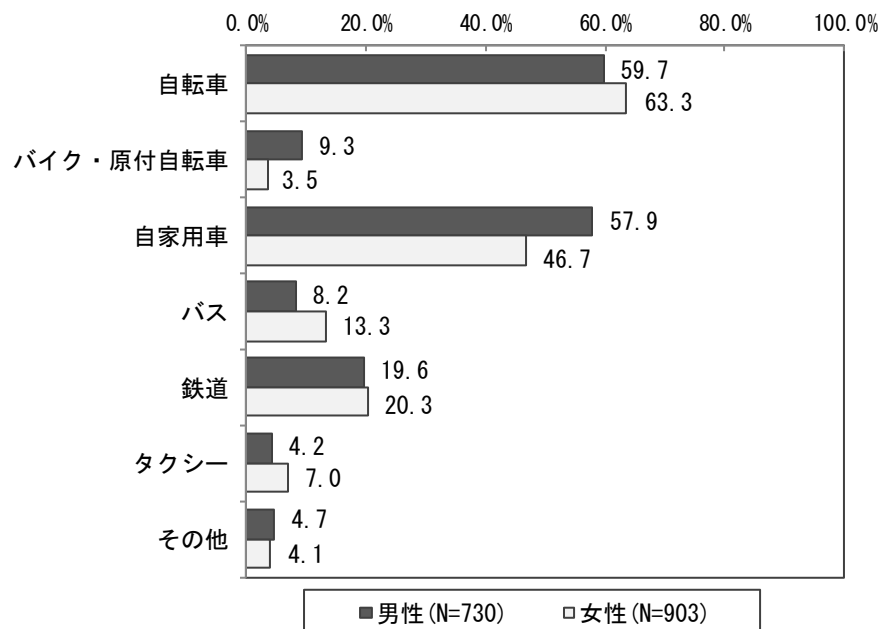
八尾市内で利用する交通手段をみると、「自転車」が61.7%で最も多く、次いで「自家用車」(51.6%)、「鉄道」(20.0%)などとなっている。

図 八尾市内で利用する交通手段(複数回答)



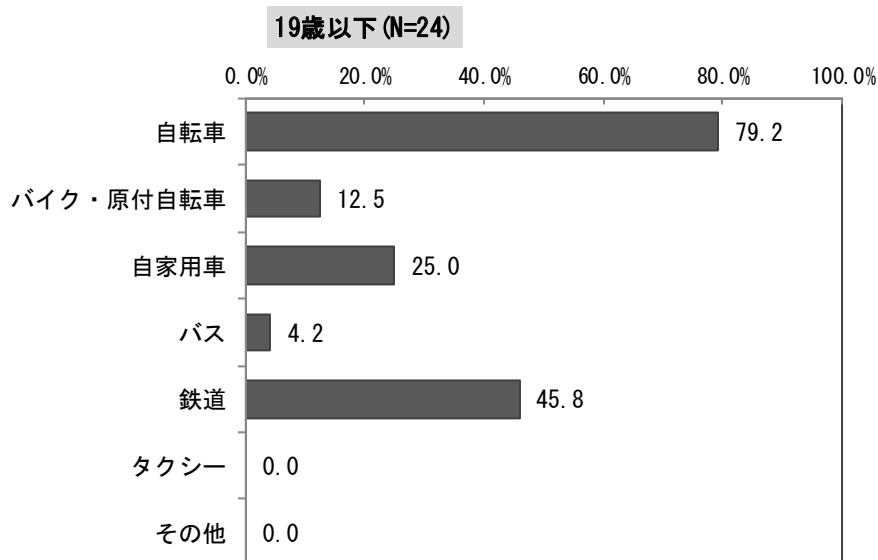
性別にみると、『男性』『女性』ともに「自転車」（男性59.7%、女性63.3%）が最も多く、次いで「自家用車」（男性57.9%、女性46.7%）となっている。

図 性別 八尾市内で利用する交通手段(複数回答)

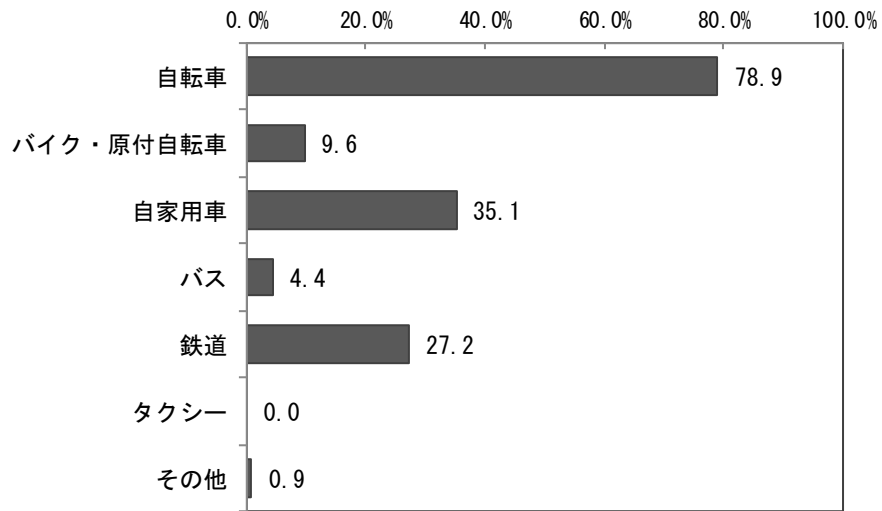


年齢別にみると、『50～59歳』以外で「自転車」が最も多くなっている。『50～59歳』では「自家用車」が多くなっている。

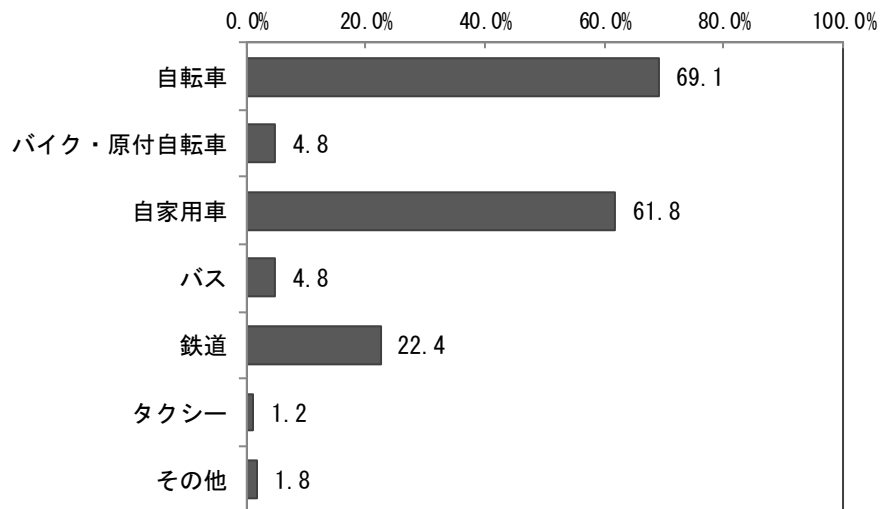
図 年齢別 八尾市内で利用する交通手段(複数回答)



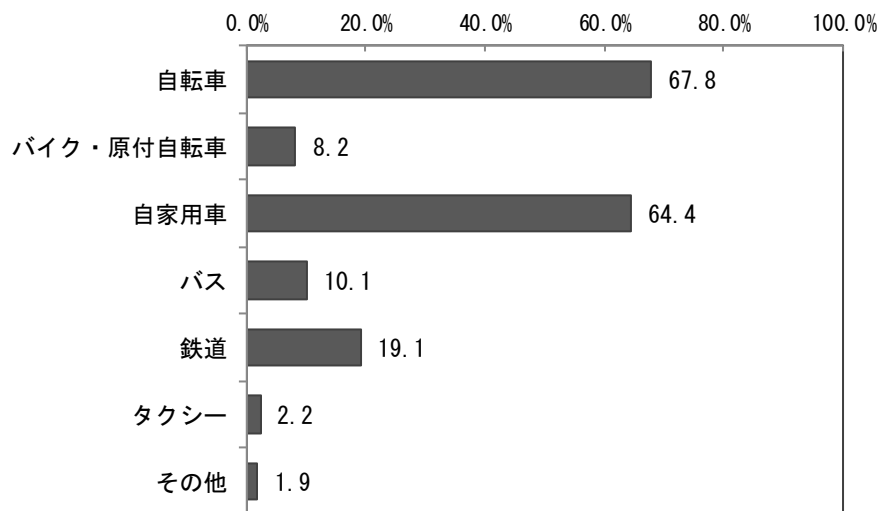
20～29歳 (N=114)



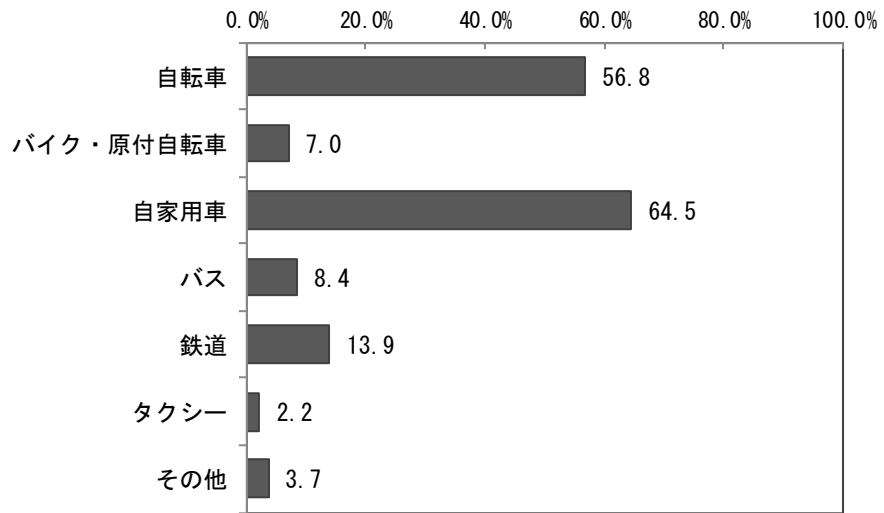
30～39歳 (N=165)



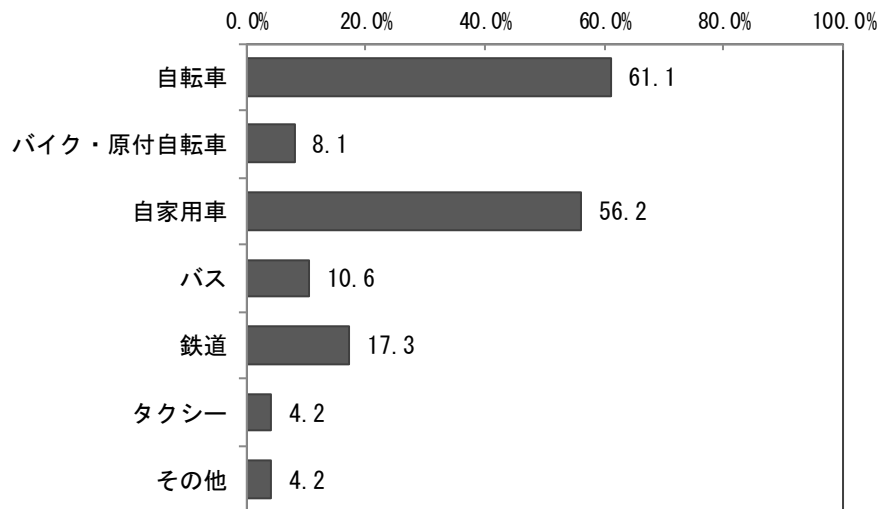
40～49歳 (N=267)



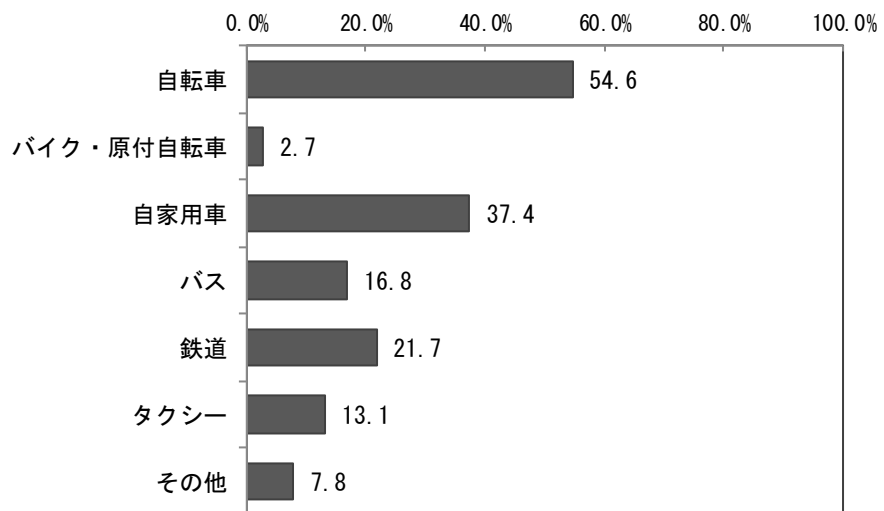
50～59歳 (N=273)



60～69歳 (N=283)



70歳以上 (N=511)

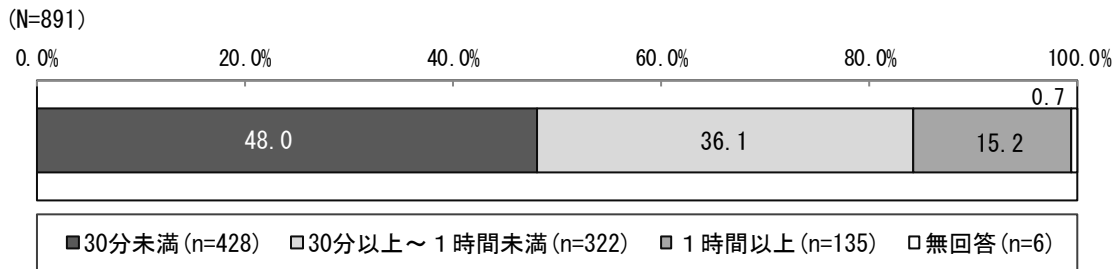


(9) 通勤・通学所要時間

◆9 職場・学校までの時間について、お伺いします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

通勤・通学所要時間をみると、「30分未満」が48.0%で最も多く、次いで「30分以上～1時間未満」(36.1%)、「1時間以上」(15.2%)となっている。

図 通勤・通学所要時間

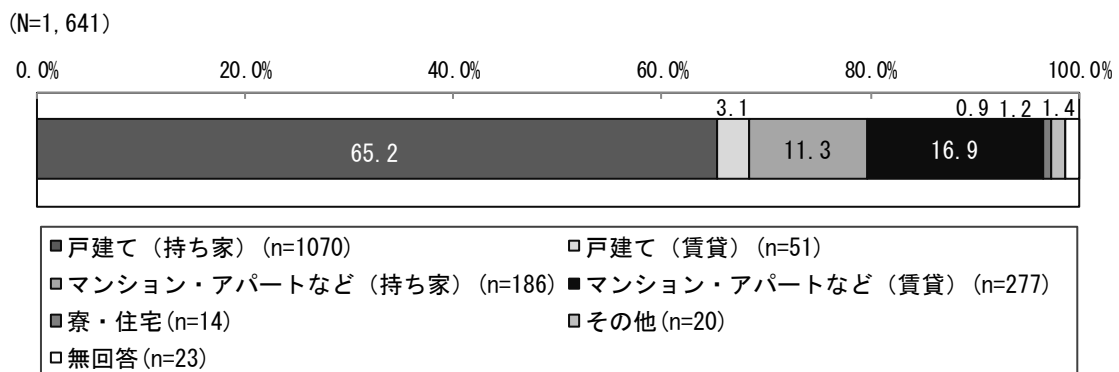


(10) 住居の形態

◆10 あなたのお住まい(住宅)について、お伺いします。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

住居の形態をみると、「戸建て(持ち家)」が65.2%で最も多く、6割以上を占めている。次いで「マンション・アパートなど(賃貸)」(16.9%)、「マンション・アパートなど(持ち家)」(11.3%)などとなっている。

図 住居の形態

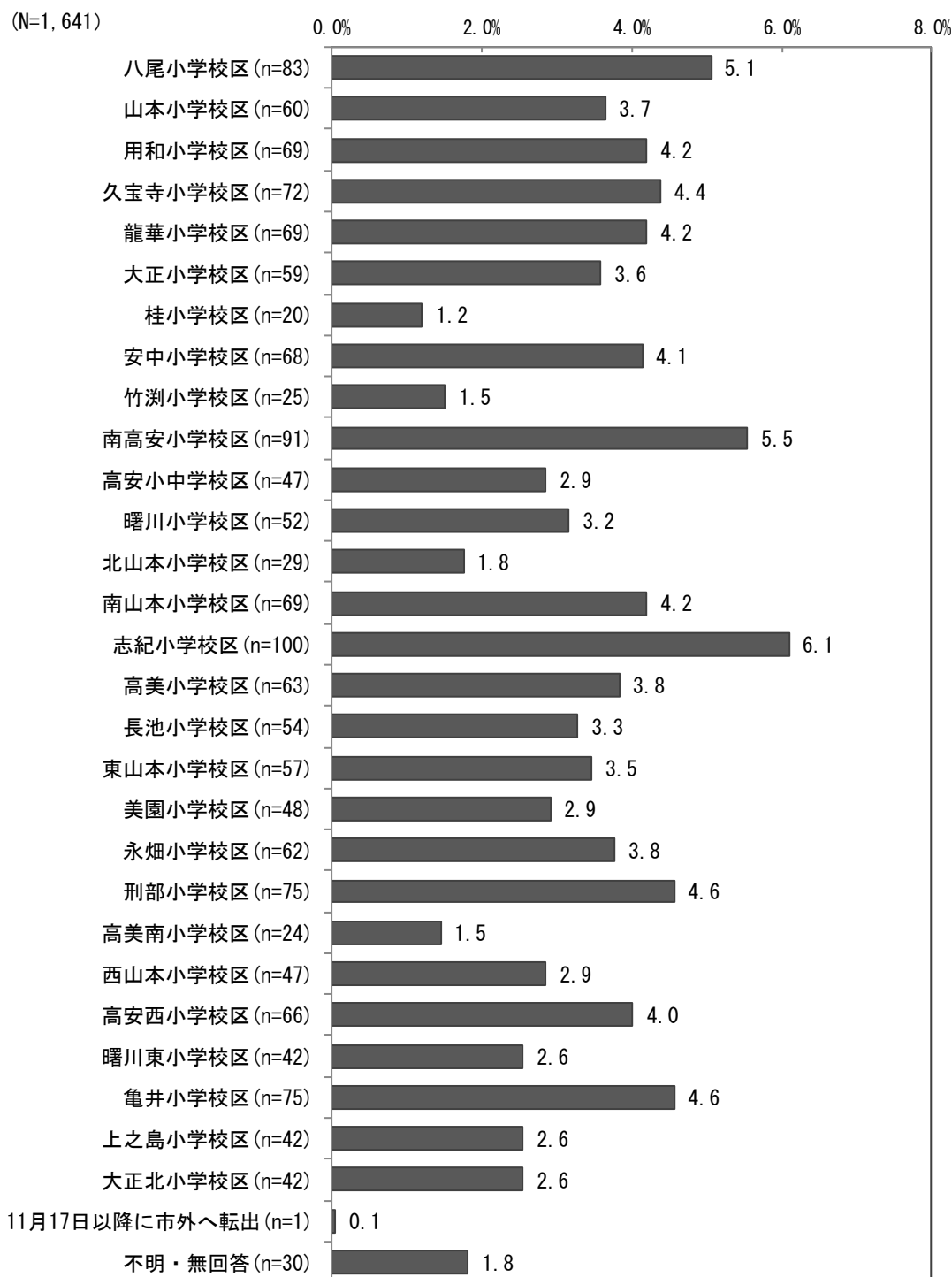


(11) 居住している小学校区

◆11 あなたのお住まいになっているところは、どの小学校区ですか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

居住している小学校区をみると、「志紀小学校区」が6.1%で最も多く、次いで「南高安小学校区」(5.5%)、「八尾小学校区」(5.1%)などとなっている。

図 居住している小学校区

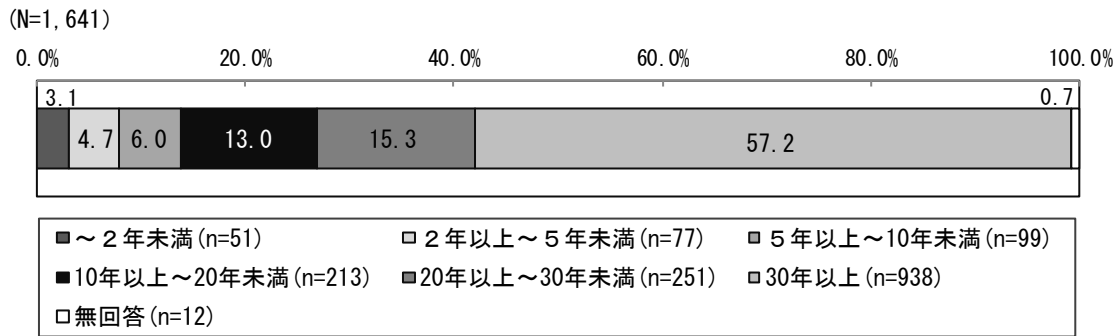


(12) 居住年数

◆12 あなたは、八尾市にお住まいになってどれくらいたちますか。
あてはまる番号1つに〇をつけてください。

居住年数をみると、「30年以上」が57.2%で最も多く、過半数を占めている。

図 居住年数



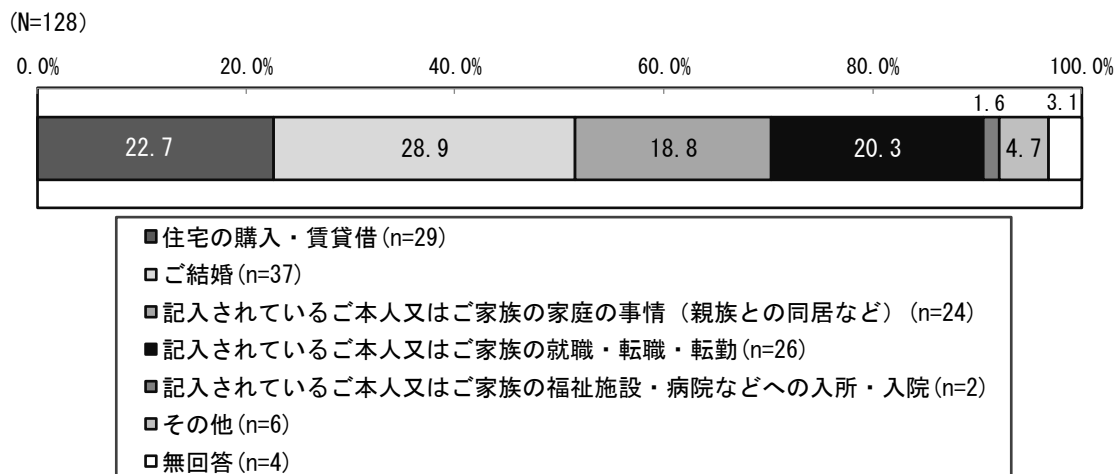
次の◆13及び◆14は、八尾市にお住まいになって5年未満の方(◆12で「1」または「2」に〇をつけた方)に、お伺いします。

(13) 八尾市に転入したきっかけ

◆13 八尾市へ転入されたきっかけについて、お伺いします。
あてはまる番号1つに〇をつけてください。

八尾市での居住年数5年未満の方について、八尾市に転入したきっかけをみると、「ご結婚」が28.9%で最も多く、次いで「住宅の購入・賃貸借」(22.7%)、「記入されているご本人又はご家族の就職・転職・転勤」(20.3%)などとなっている。

図 八尾市に転入したきっかけ

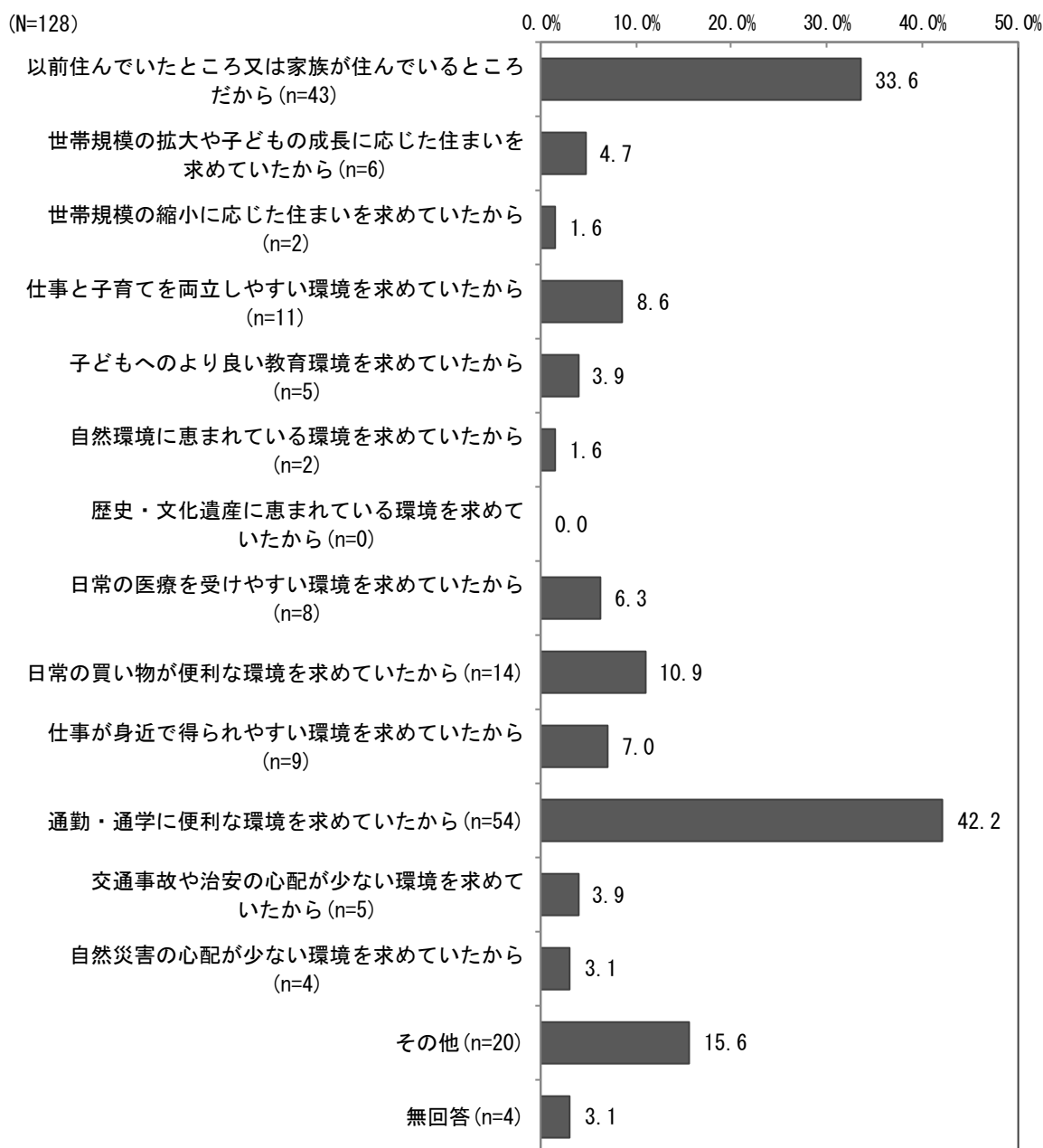


(14) 八尾市に転入した理由

◆14 転入されたときに、居住地として八尾市を選ばれた理由について、お伺いします。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。

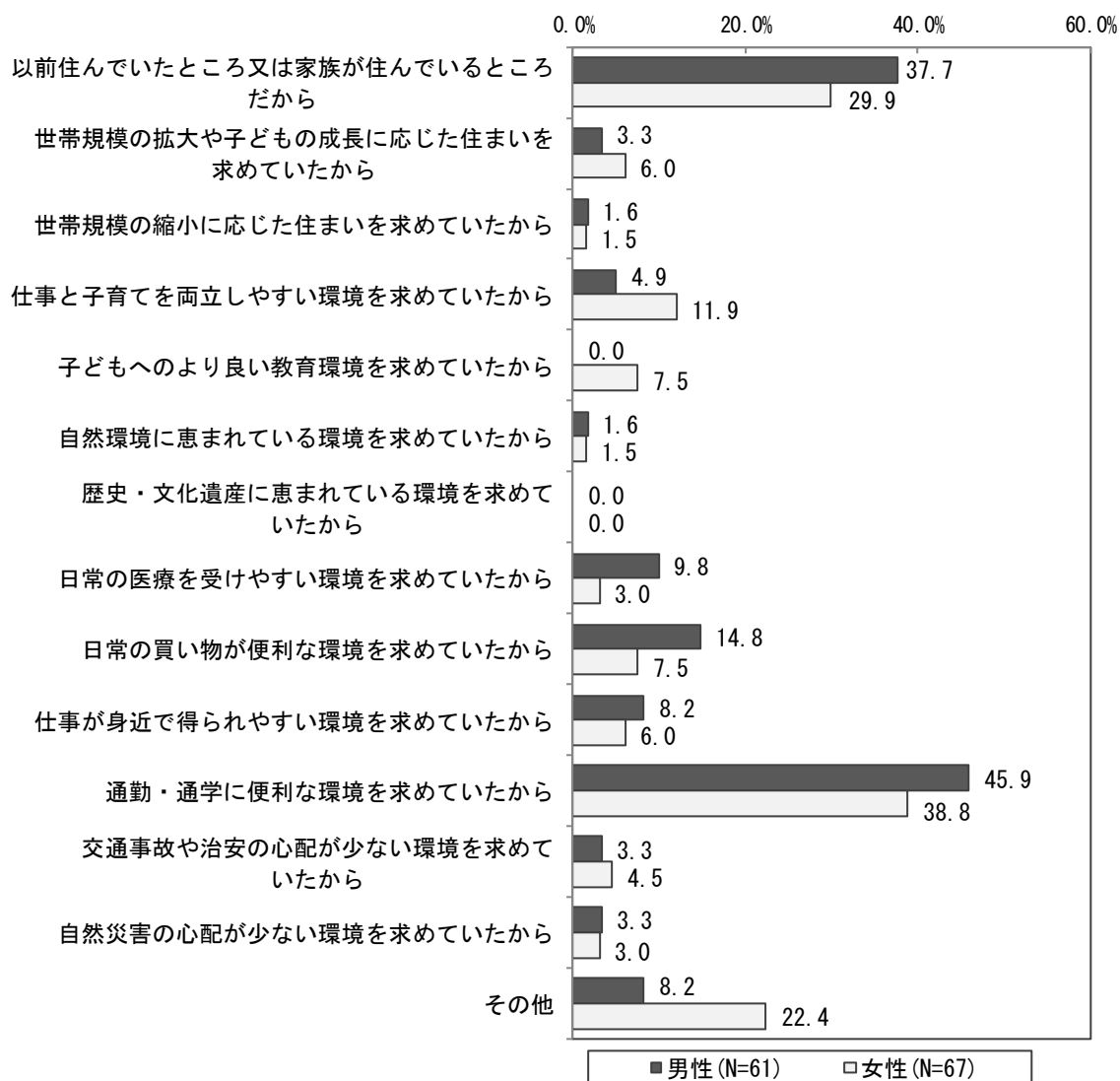
八尾市での居住年数5年未満の方について、転入した理由をみると「通勤・通学に便利な環境を求めていたから」が42.2%と最も多く、次いで「以前住んでいたところ又は家族が住んでいるところだから」(33.6%)などとなっている。

図 八尾市に転入した理由(複数回答)



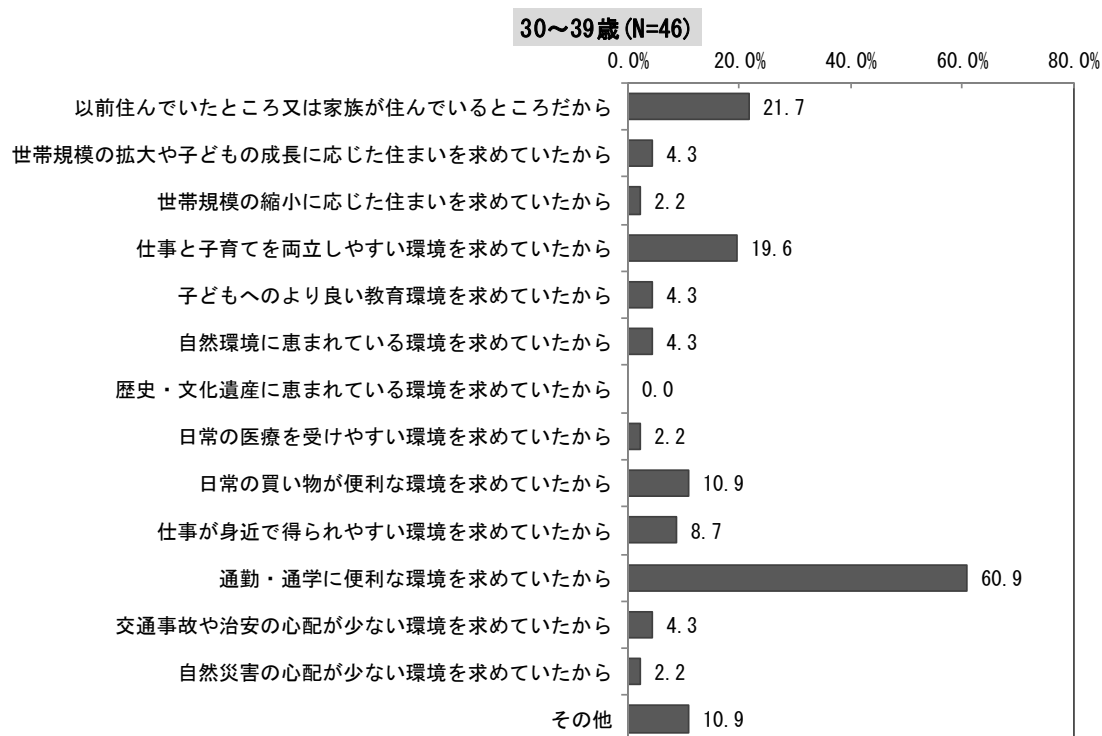
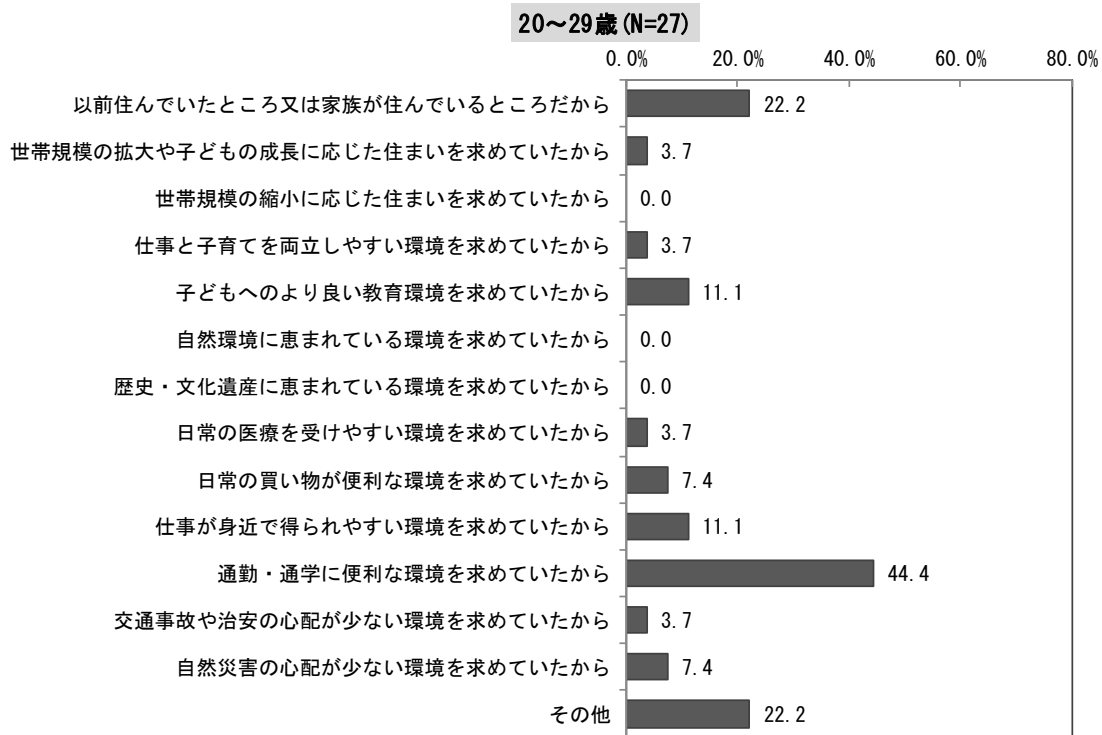
性別にみると、『男性』『女性』ともに「通勤・通学に便利な環境を求めていたから」(男性45.9%、女性38.8%)が最も多く、次いで「以前住んでいたところ又は家族が住んでいるところだから」(男性37.7%、女性29.9%)となっており、どちらも『女性』より『男性』の割合が多くなっている。

図 性別 八尾市に転入した理由(複数回答)

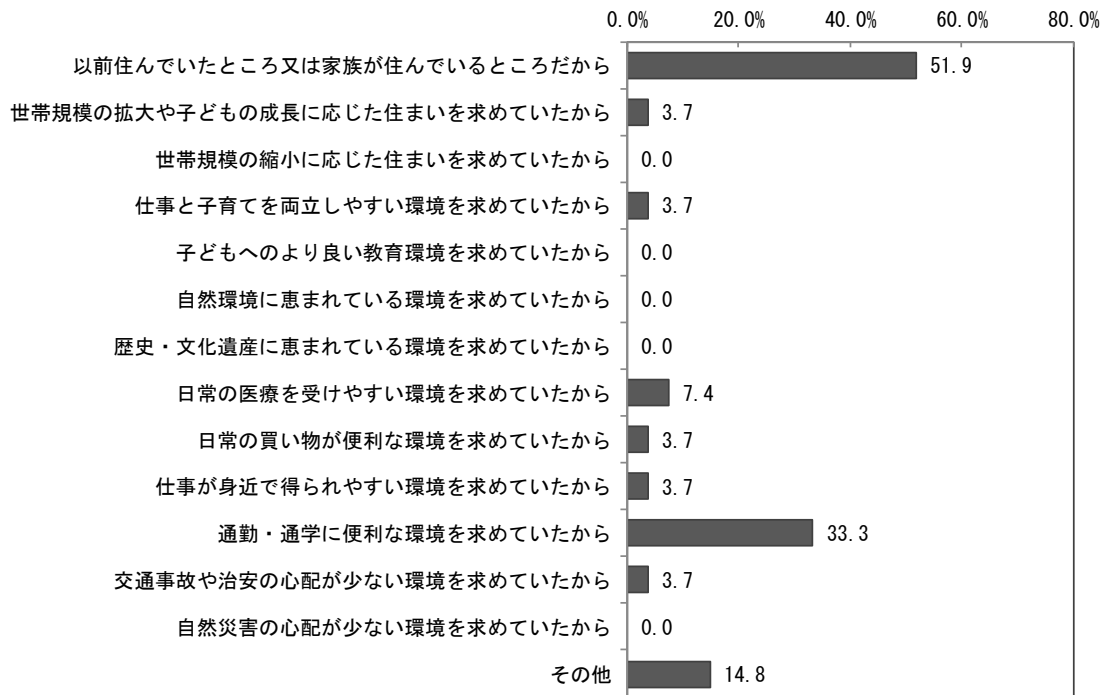


年齢別にみると、『20～29歳』『30～39歳』では「通勤・通学に便利な環境を求めていたから」が、『40～49歳』『50～59歳』『70歳以上』では「以前住んでいたところ又は家族が住んでいるところだから」が、『60～69歳』では「日常の買い物が便利な環境を求めていたから」が最も多くなっている。なお、『19歳以下』については該当者が1名のため図を省略している。

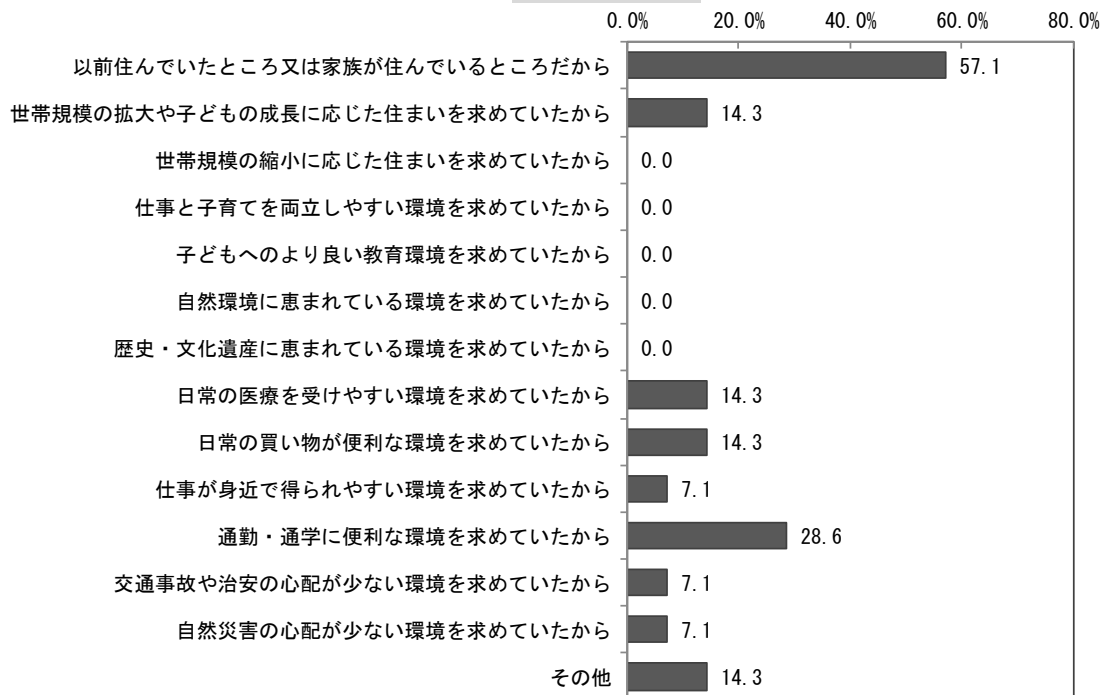
図 年齢別 八尾市に転入した理由(複数回答)



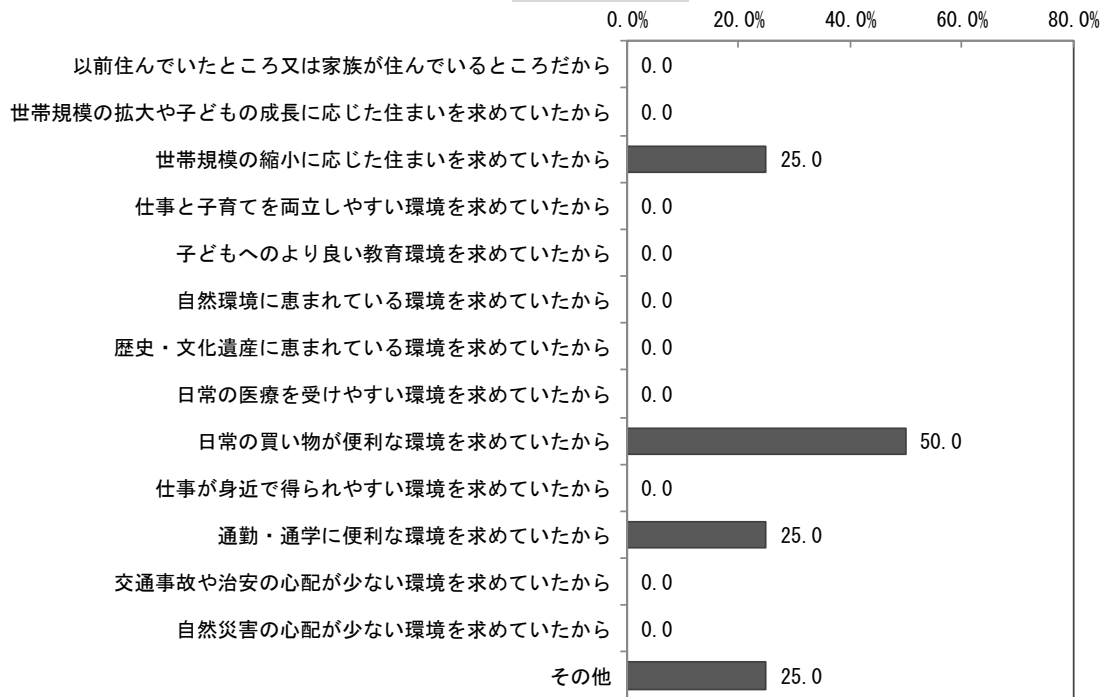
40～49歳 (N=27)



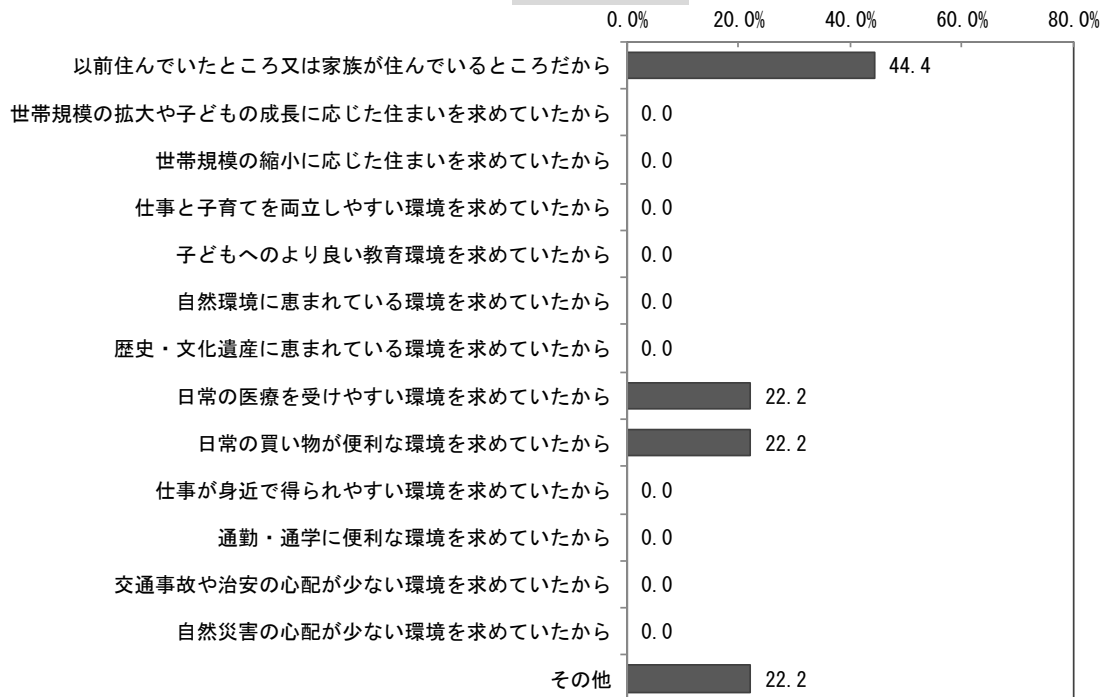
50～59歳 (N=14)



60～69歳(N=4)



70歳以上(N=9)



2 新型コロナウイルス感染症の流行に関わる影響等について

(1) 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う生活における変化(問1)

問1 新型コロナウイルス感染症の流行に伴って、あなたご自身の生活において変化したことをご記入ください。(家庭での過ごし方や役割、働き方、収入、友人・知人との交流など)

新型コロナウイルス感染症の流行に伴う生活における変化をきいたところ、871件の自由記述式回答をいただいた。

内容を分類別にみると、「1 外出、外食を控えている」が245件で最も多く、次いで「2 交流を控えている」(194件)「3 感染予防をしている(手洗い、うがい、消毒、マスクなど)」(97件)などとなっている。

表 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う生活における変化(自由記述)

分類		件数
1	外出、外食を控えている	245
2	交流を控えている	194
3	感染予防をしている(手洗い、うがい、消毒、マスクなど)	97
4	働き方が変化している	81
5	収入が減った	72
6	3密を回避している	42
7	旅行、帰省を控えている	28
8	精神的な影響がある	19
9	行事、地域活動、習い事が減っている	19
10	生活改善(運動、食事、趣味、支出など)をしている	14
11	運動不足、体力低下を感じる	12
12	保育園・学校・大学等で変化があった	10
13	オンラインのツールを使うことが増えた	6
14	家族との交流が増えた	1
15	特に変化を感じない	28
16	その他	3
集計		871

一部、分類ごとの意見数と意見項目の要旨をまとめたものを以下に示す。

4 働き方が変化している 81 件	件数
テレワークをしている	38
勤務時間、日数が減少した	12
仕事が減った	7
時差出勤をしている	4
仕事を辞めた	4
仕事を休んだ	2
出張が減った	4
仕事が忙しくなった	2
その他	8

6 3密を回避している 42 件	件数
人の多い場所を避けている	16
公共交通機関をなるべく使わないようにしている	15
その他	11

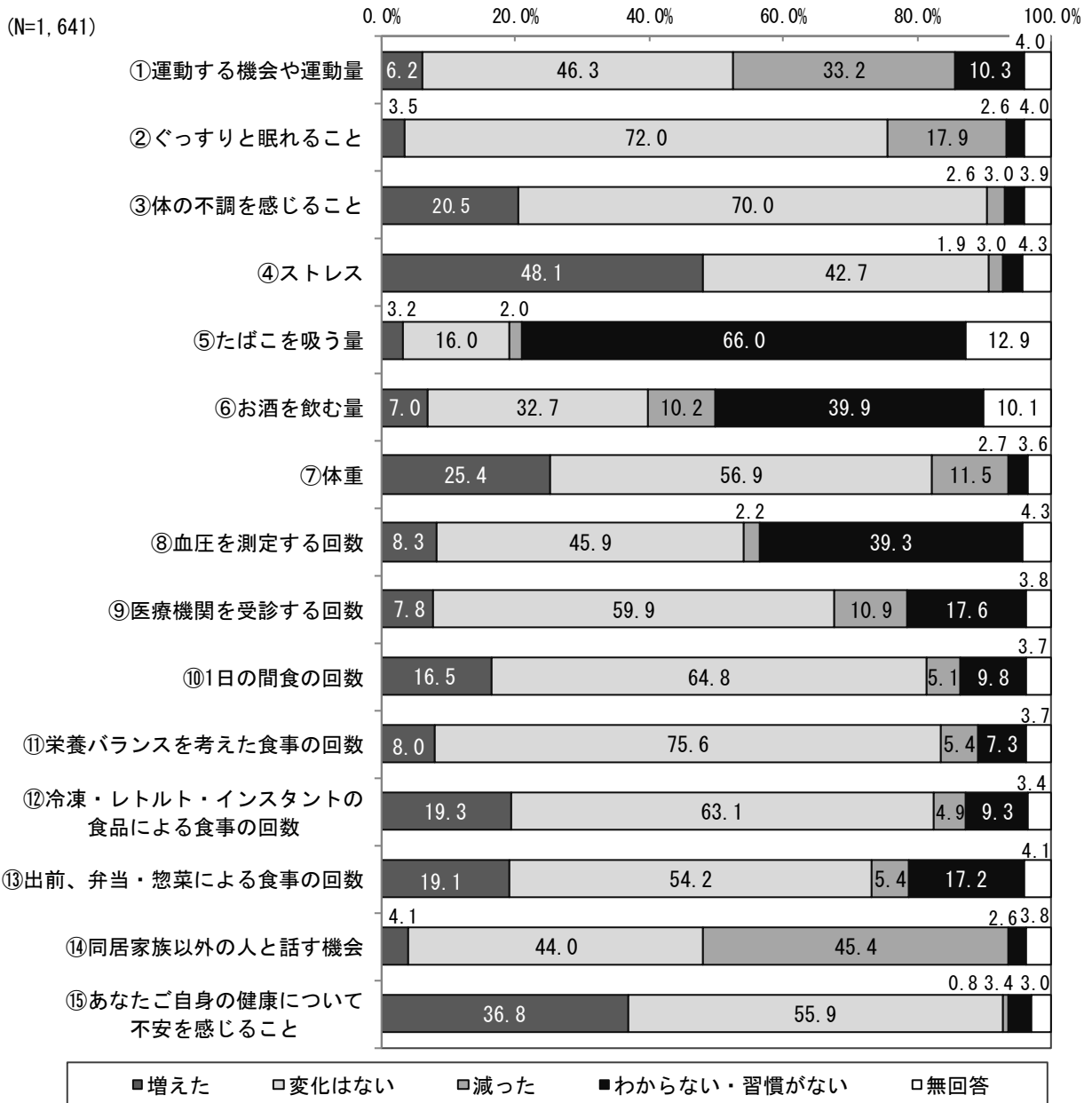
8 精神的な影響がある 19 件	件数
ストレスが増えた	7
気を遣うことが増えた	5
疲れている	3
不安である	4

(2) 新型コロナウイルス感染症が流行し始めた頃（今年（令和2年）2月頃）と現在の健康に関する行動等の変化（問1-1）

問1-1 新型コロナウイルス感染症が流行し始めた頃(今年(令和2年)2月頃)と、現在とを比べて、あなたの健康に関する行動等の変化はありますか。①～⑮の項目ごとに、あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

新型コロナウイルス感染症が流行し始めた頃（今年（令和2年）2月頃）と現在の健康に関する行動等の変化をみると、増えた項目では「④ストレス」（48.1%）「⑮あなたご自身の健康について不安を感じる事」（36.8%）「⑦体重」（25.4%）が、減った項目では「⑭同居家族以外の人と話す機会」（45.4%）「①運動する機会や運動量」（33.2%）が、また、変化はない項目では「⑪栄養バランスを考えた食事の回数」（75.6%）「②ぐっすりと眠れること」（72.0%）「③体の不調を感じる事」（70.0%）が多くなっている。

図 新型コロナウイルス感染症が流行し始めた頃(今年(令和2年)2月頃)と現在の健康に関する行動等の変化



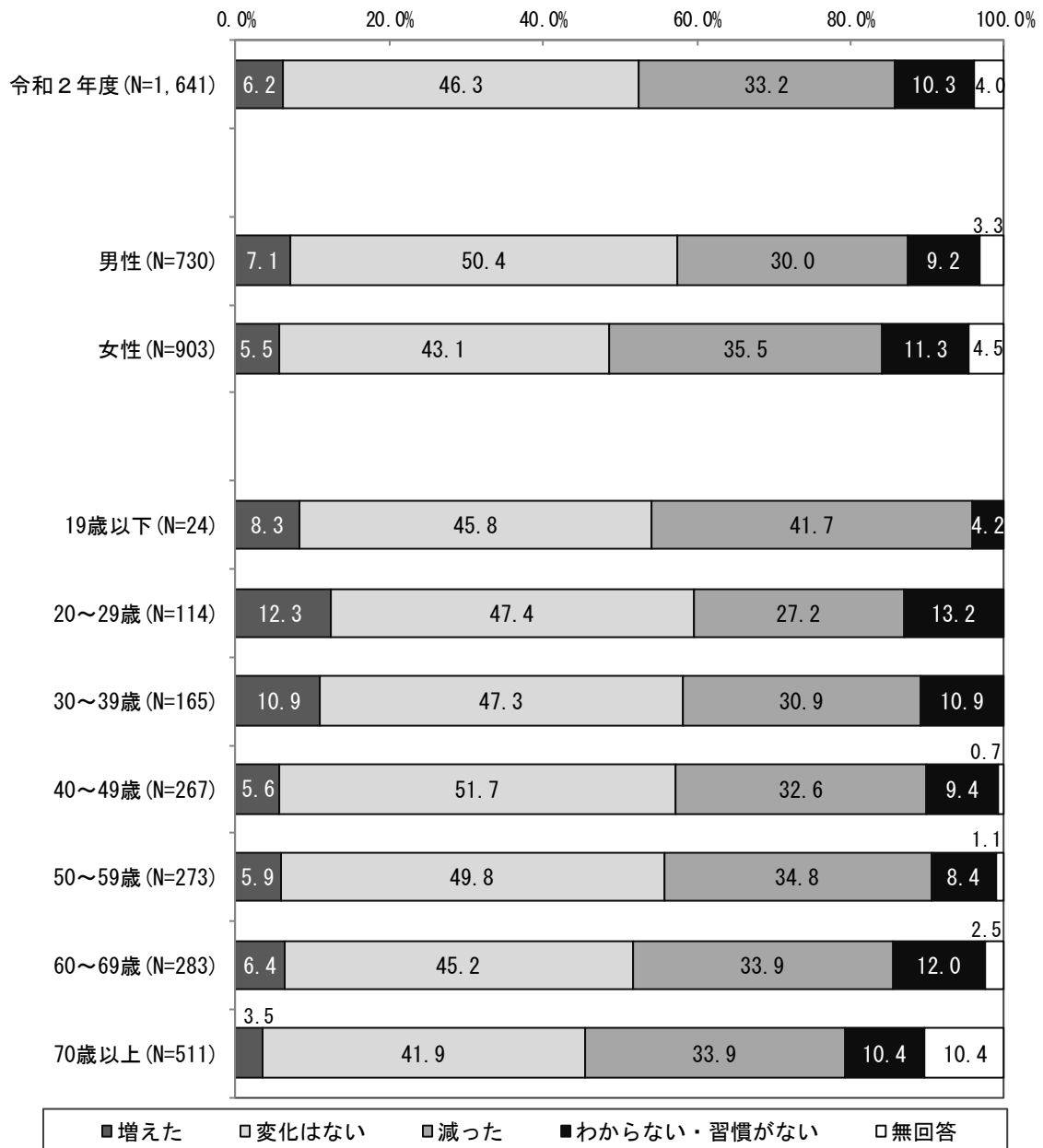
問1-1 ① 運動する機会や運動量

運動する機会や運動量についてみると、「変化はない」が46.3%と最も多く、次いで「減った」(33.2%)、「わからない・習慣がない」(10.3%)などとなっている。

性別にみると、「変化はない」人の割合は『男性』(50.4%)が『女性』(43.1%)よりも多く、「減った」人の割合は『男性』(30.0%)よりも『女性』(35.5%)が多くなっている。

年齢別にみると、『19歳以下』を除いて、概ね年齢が高いほど「減った」人の割合は多くなっている。

図 性別・年齢別 ① 運動する機会や運動量

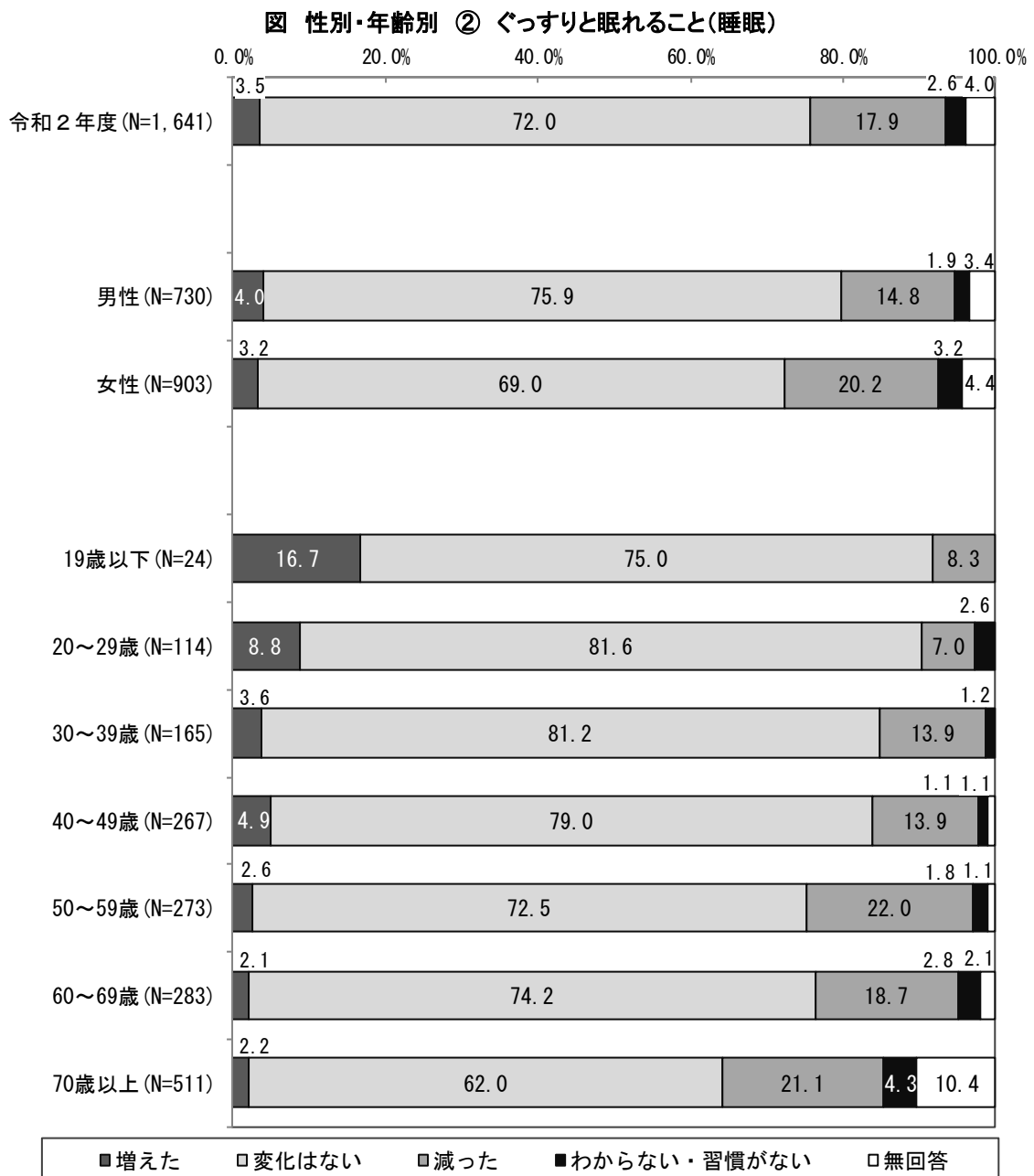


問1-1 ② ぐっすりと眠れること(睡眠)

ぐっすりと眠れること(睡眠)についてみると、「変化はない」が72.0%と最も多く、次いで「減った」(17.9%)、「増えた」(3.5%)などとなっている。

性別にみると、「変化はない」人の割合は『男性』(75.9%)が『女性』(69.0%)よりも多く、「減った」人の割合は『男性』(14.8%)よりも『女性』(20.2%)が多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が高いほど「減った」人の割合は多くなっている。

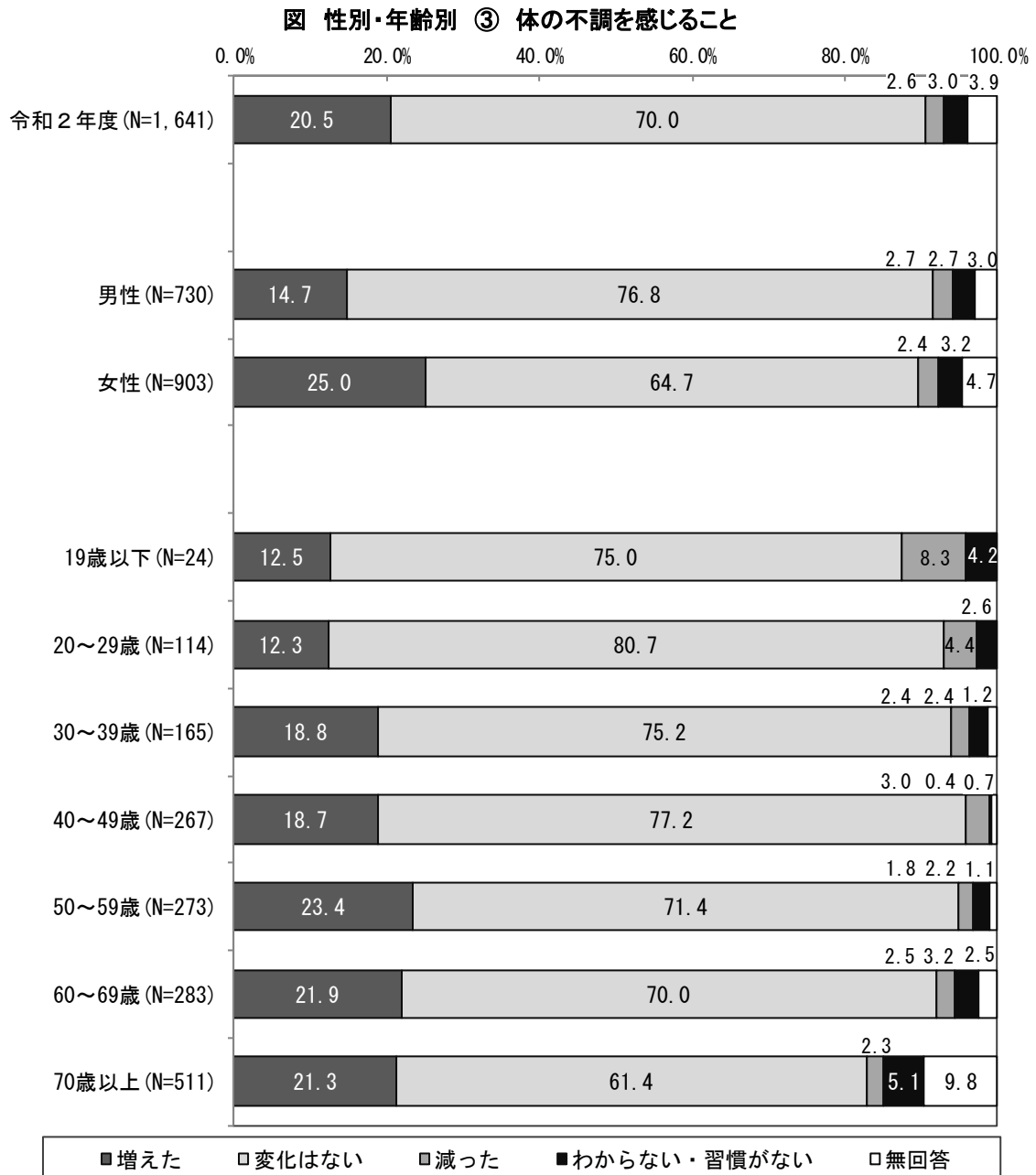


問1-1 ③ 体の不調を感じること

体の不調を感じることにしてみると、「変化はない」が70.0%と最も多く、次いで「増えた」(20.5%)、「わからない・習慣がない」(3.0%)などとなっている。

性別にみると、「変化はない」人の割合は『男性』(76.8%)が『女性』(64.7%)よりも多く、「増えた」人の割合は『男性』(14.7%)よりも『女性』(25.0%)が多くなっている。

年齢別にみると、「増えた」人の割合は『50～59歳』(23.4%)が最も多くなっている。

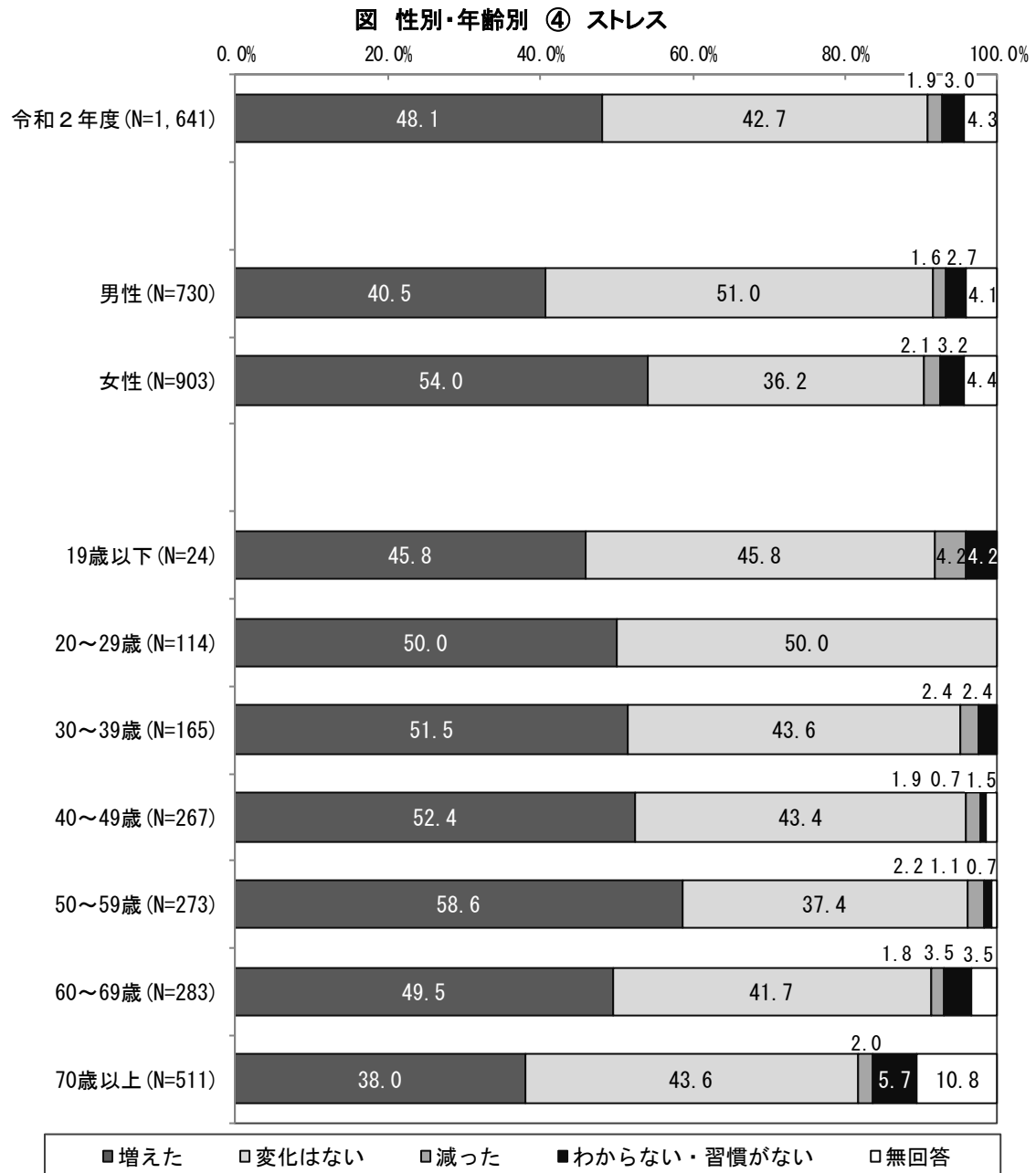


問1-1 ④ ストレス

ストレスについてみると、「増えた」が48.1%と最も多く、次いで「変化はない」(42.7%)、「わからない・習慣がない」(3.0%)などとなっている。

性別にみると、「変化はない」人の割合は『男性』(51.0%)が『女性』(36.2%)よりも多く、「増えた」人の割合は『男性』(40.5%)よりも『女性』(54.0%)が多くなっている。

年齢別にみると、「増えた」人の割合は『50～59歳』(58.6%)が最も多くなっている。

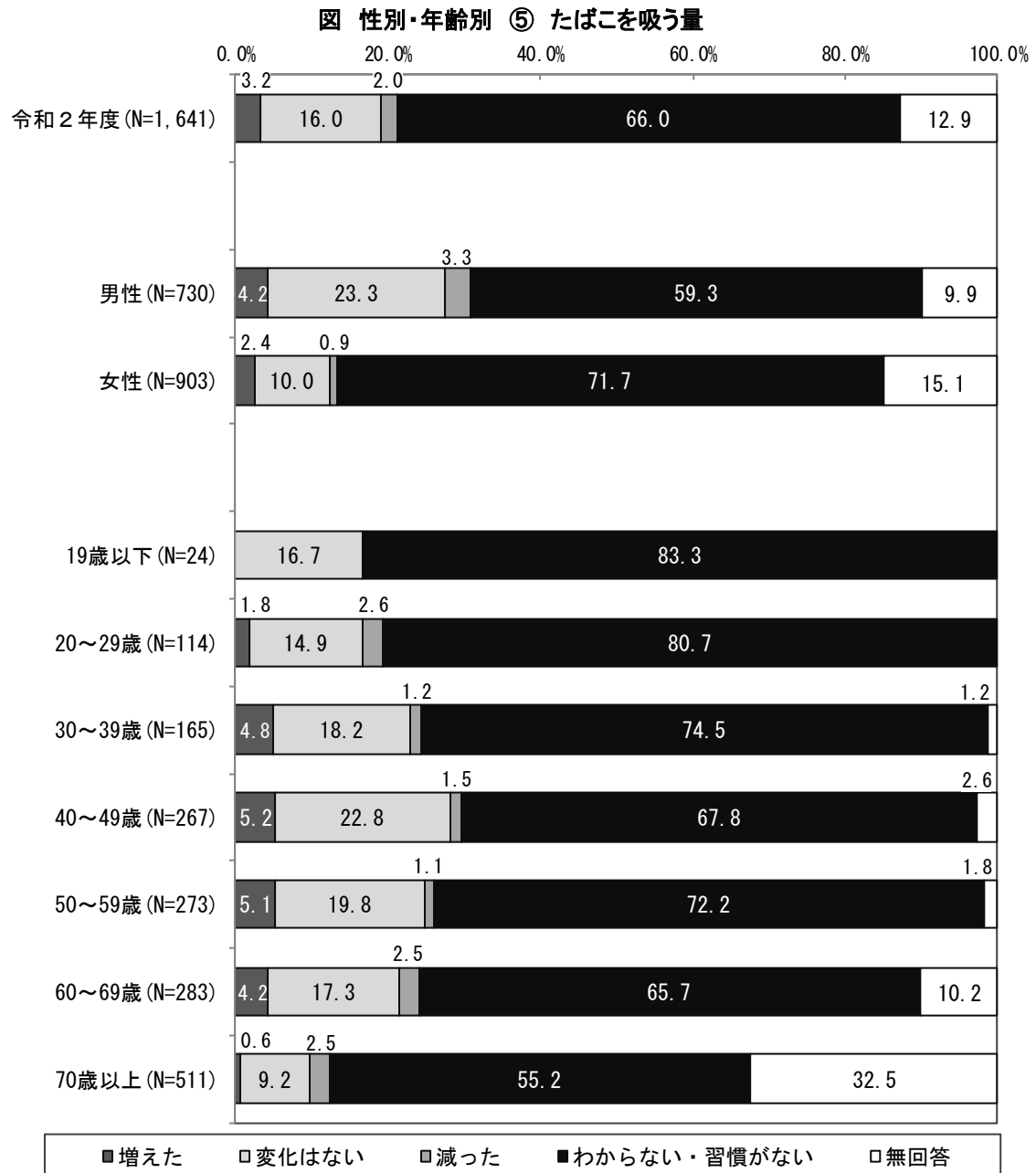


問1-1 ⑤ たばこを吸う量

たばこを吸う量についてみると、「わからない・習慣がない」が66.0%と最も多く、次いで「変化はない」(16.0%)、「増えた」(3.2%)などとなっている。

性別にみると、「変化はない」人の割合は『男性』(23.3%)が『女性』(10.0%)よりも多く、「わからない・習慣がない」人の割合は『男性』(59.3%)よりも『女性』(71.7%)が多くなっている。

年齢別にみると、どの年齢層も「わからない・習慣がない」人の割合は過半数となっている。

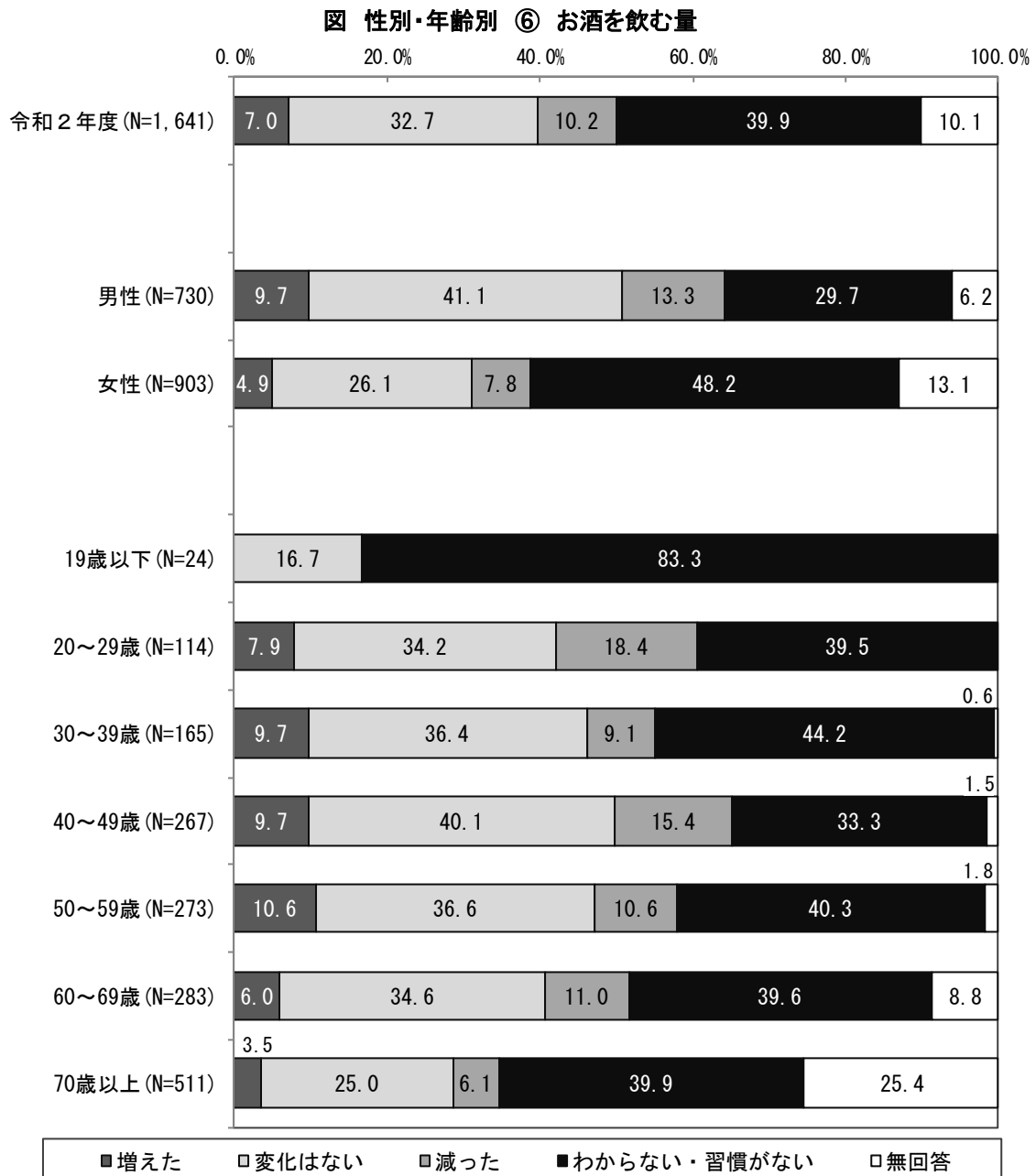


問1-1 ⑥ お酒を飲む量

お酒を飲む量についてみると、「わからない・習慣がない」が39.9%と最も多く、次いで「変化はない」(32.7%)、「減った」(10.2%)などとなっている。

性別にみると、「わからない・習慣がない」人の割合は『女性』(48.2%)が『男性』(29.7%)よりも多く、「変化はない」人の割合は『女性』(26.1%)よりも『男性』(41.1%)が多くなっている。

年齢別にみると、「増えた」人の割合は『50～59歳』(10.6%)が、「減った」人の割合は『20～29歳』(18.4%)が最も多くなっている。

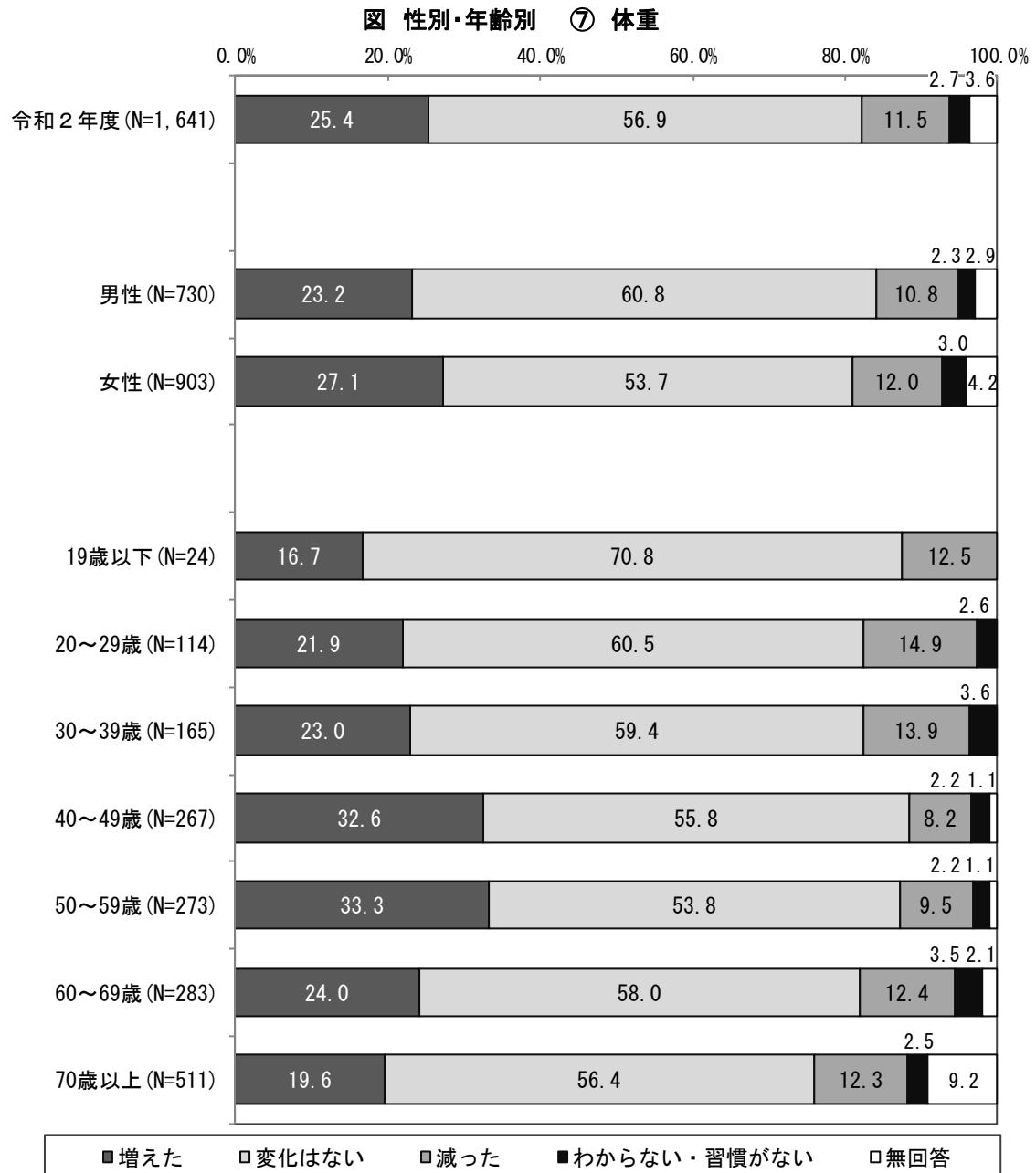


問1-1 ⑦ 体重

体重についてみると、「変化はない」が56.9%と最も多く、次いで「増えた」(25.4%)、「減った」(11.5%)などとなっている。

性別にみると、「変化はない」人の割合は『男性』(60.8%)が『女性』(53.7%)よりも多くなっている。

年齢別にみると、「増えた」人の割合は『50～59歳』(33.3%)が、「減った」人の割合は『20～29歳』(14.9%)が最も多くなっている。

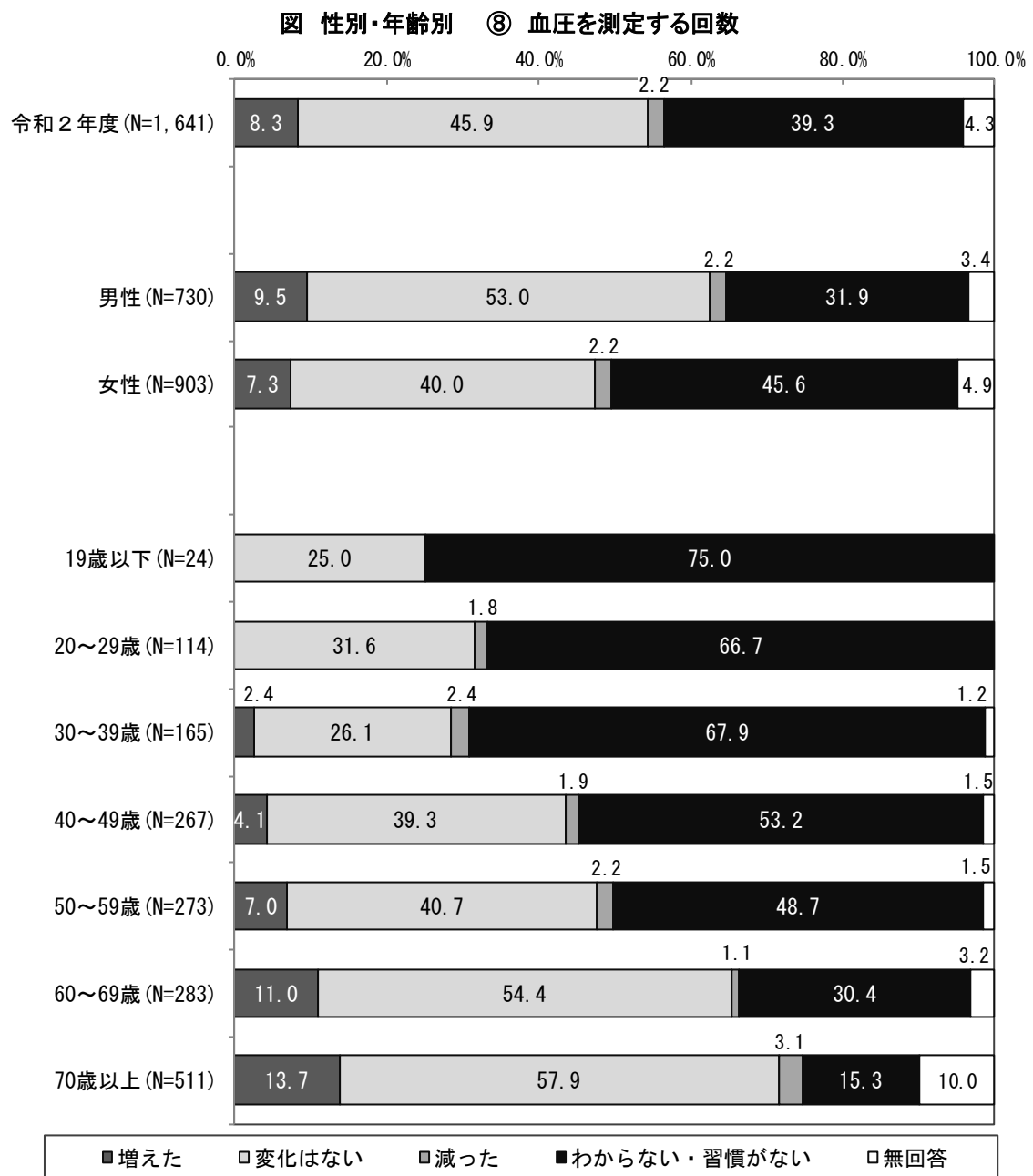


問1-1 ⑧ 血圧を測定する回数

血圧を測定する回数についてみると、「変化はない」が45.9%と最も多く、次いで「わからない・習慣がない」(39.3%)、「増えた」(8.3%)などとなっている。

性別にみると、「わからない・習慣がない」人の割合は『女性』(45.6%)が『男性』(31.9%)よりも多く、「変化はない」人の割合は『女性』(40.0%)よりも『男性』(53.0%)が多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が高いほど「増えた」人の割合は多く、「わからない・習慣がない」人の割合は少なくなっている。

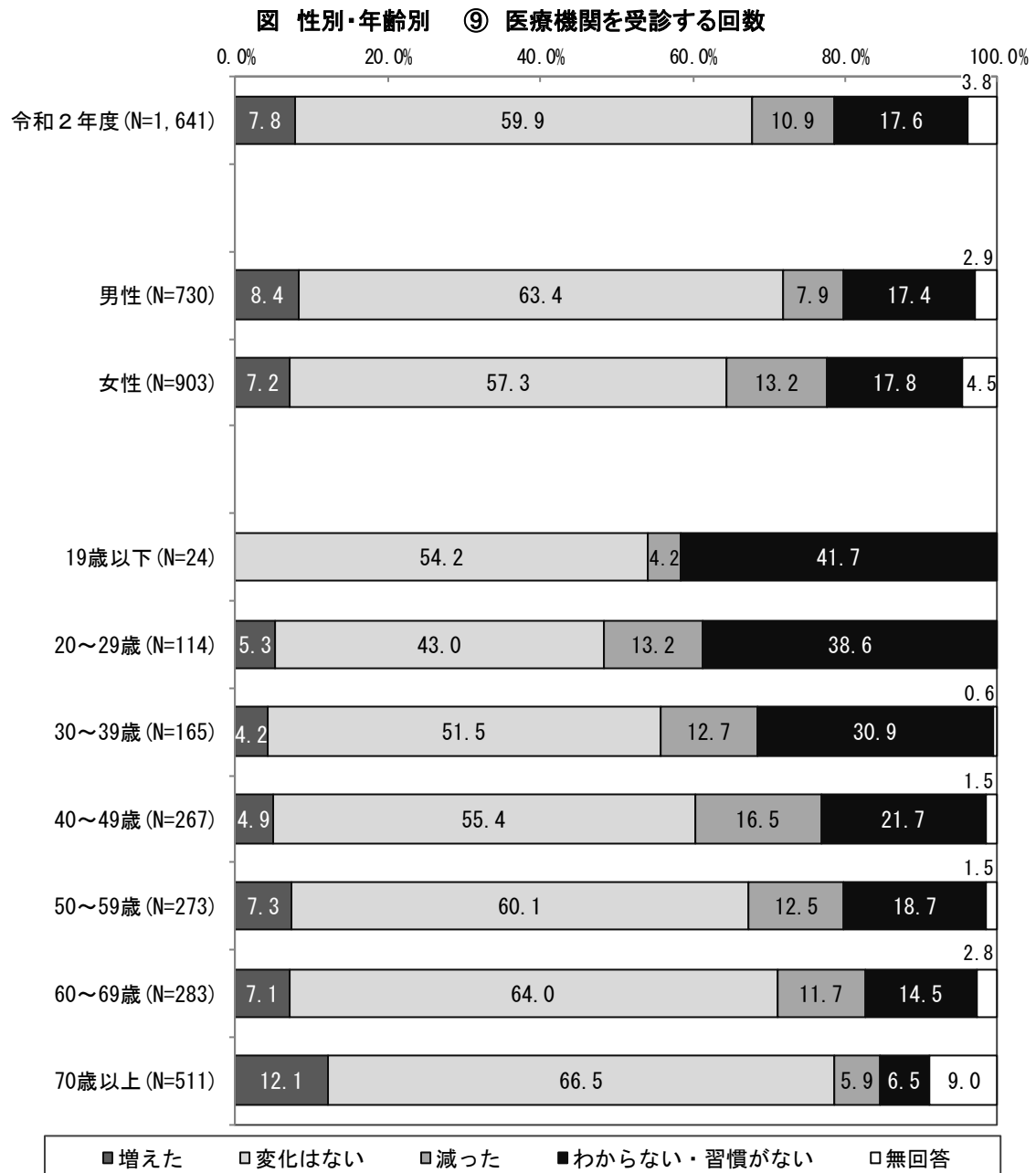


問1-1 ⑨ 医療機関を受診する回数

医療機関を受診する回数についてみると、「変化はない」が59.9%と最も多く、次いで「わからない・習慣がない」(17.6%)、「減った」(10.9%)などとなっている。

性別にみると、「変化はない」人の割合は『男性』(63.4%)が『女性』(57.3%)よりも多く、「減った」人の割合は『男性』(7.9%)よりも『女性』(13.2%)が多くなっている。

年齢別にみると、年齢が高いほど「増えた」人の割合は多く、「わからない・習慣がない」人の割合は少なくなっている。



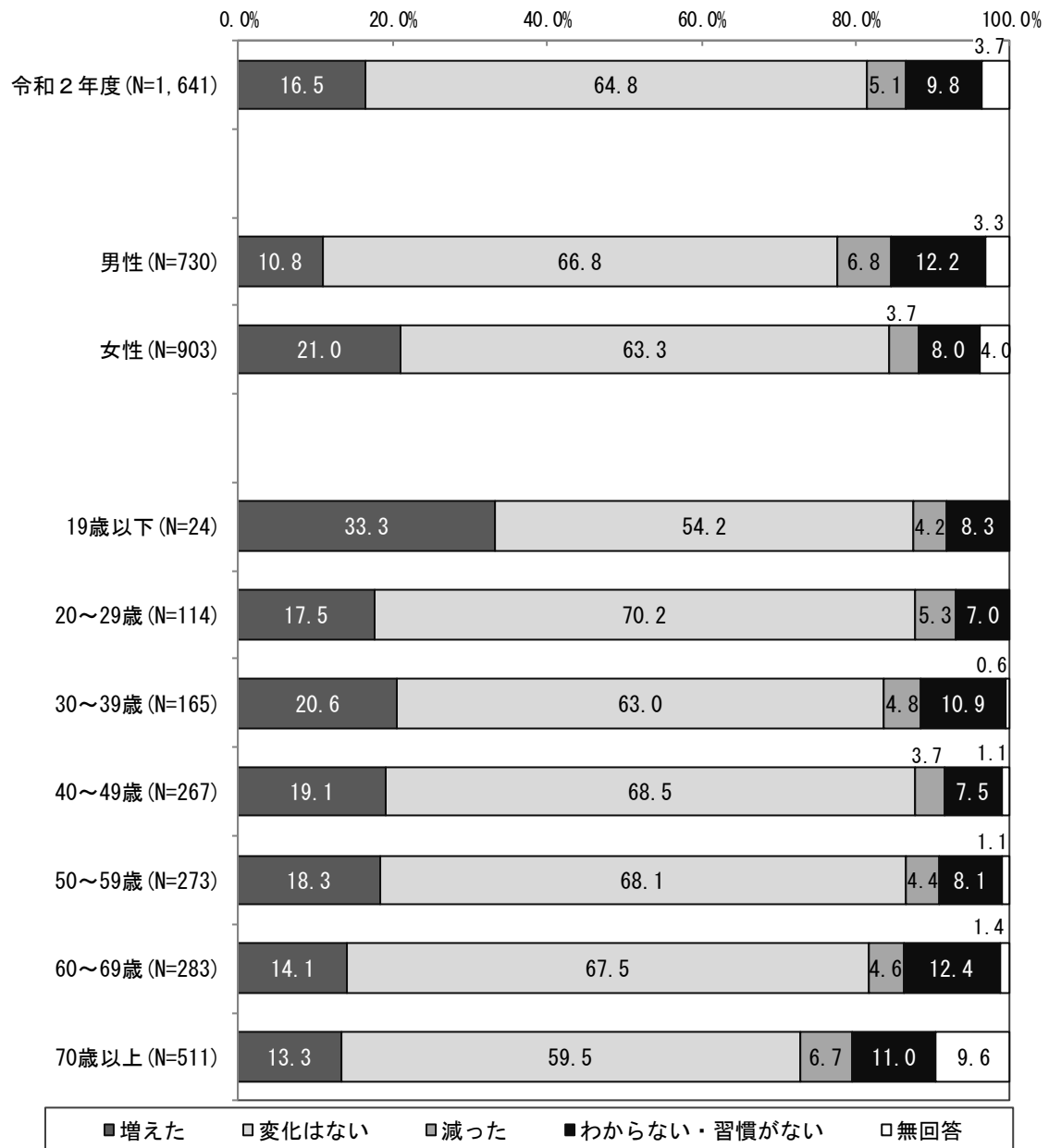
問1-1 ⑩ 1日の間食の回数

1日の間食の回数についてみると、「変化はない」が64.8%と最も多く、次いで「増えた」(16.5%)、「わからない・習慣がない」(9.8%)などとなっている。

性別にみると、「増えた」人の割合は『女性』(21.0%)が『男性』(10.8%)よりも多くなっている。

年齢別にみると、『19歳以下』を除いて、「増えた」人の割合は『30～39歳』(20.6%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 ⑩ 1日の間食の回数



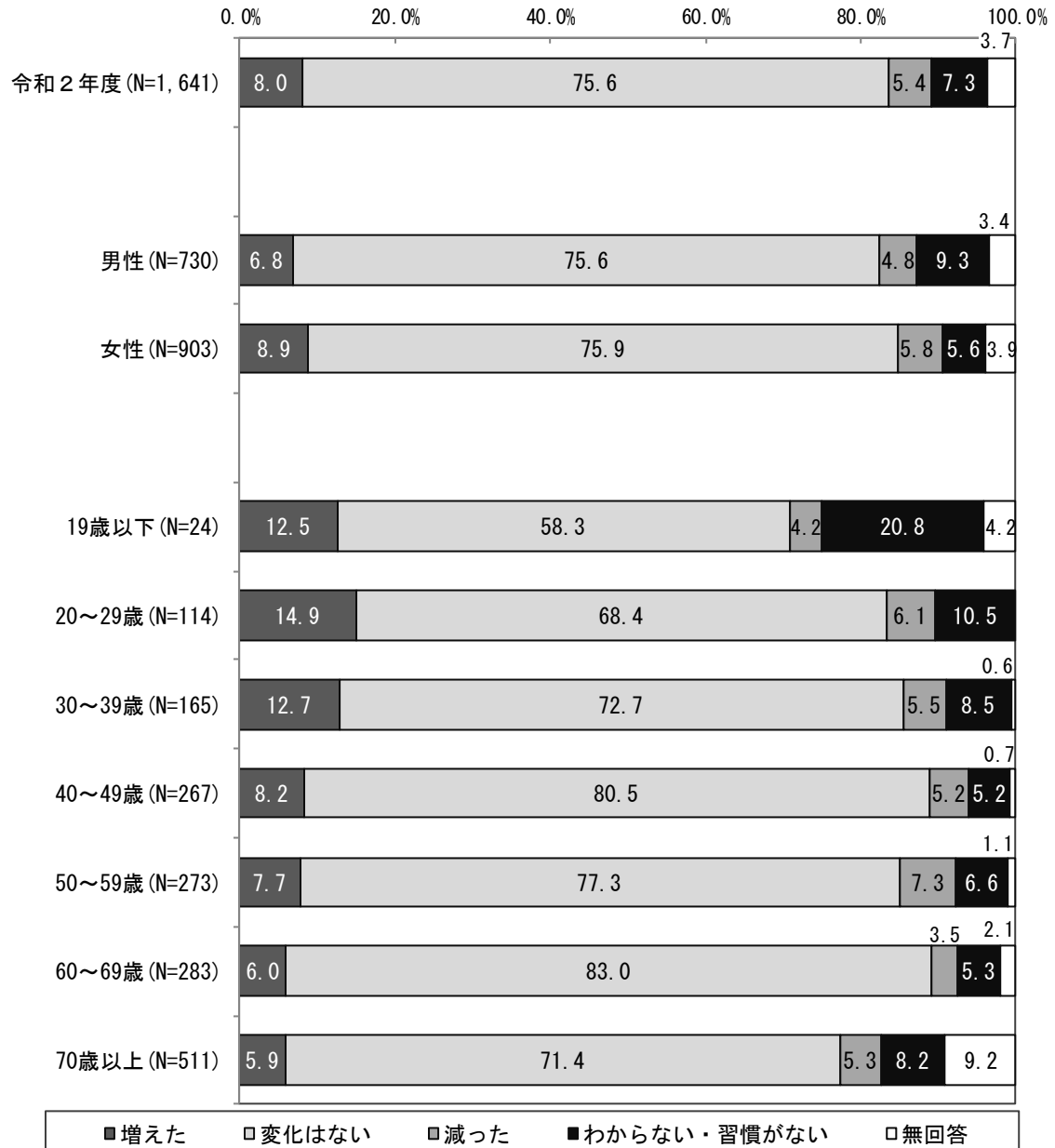
問1-1 ⑪ 栄養バランスを考えた食事の回数

栄養バランスを考えた食事の回数についてみると、「変化はない」が75.6%と最も多く、次いで「増えた」(8.0%)、「わからない・習慣がない」(7.3%)などとなっている。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、『19歳以下』を除いて、年齢が高いほど「増えた」人の割合は少なくなっている。

図 性別・年齢別 ⑪ 栄養バランスを考えた食事の回数



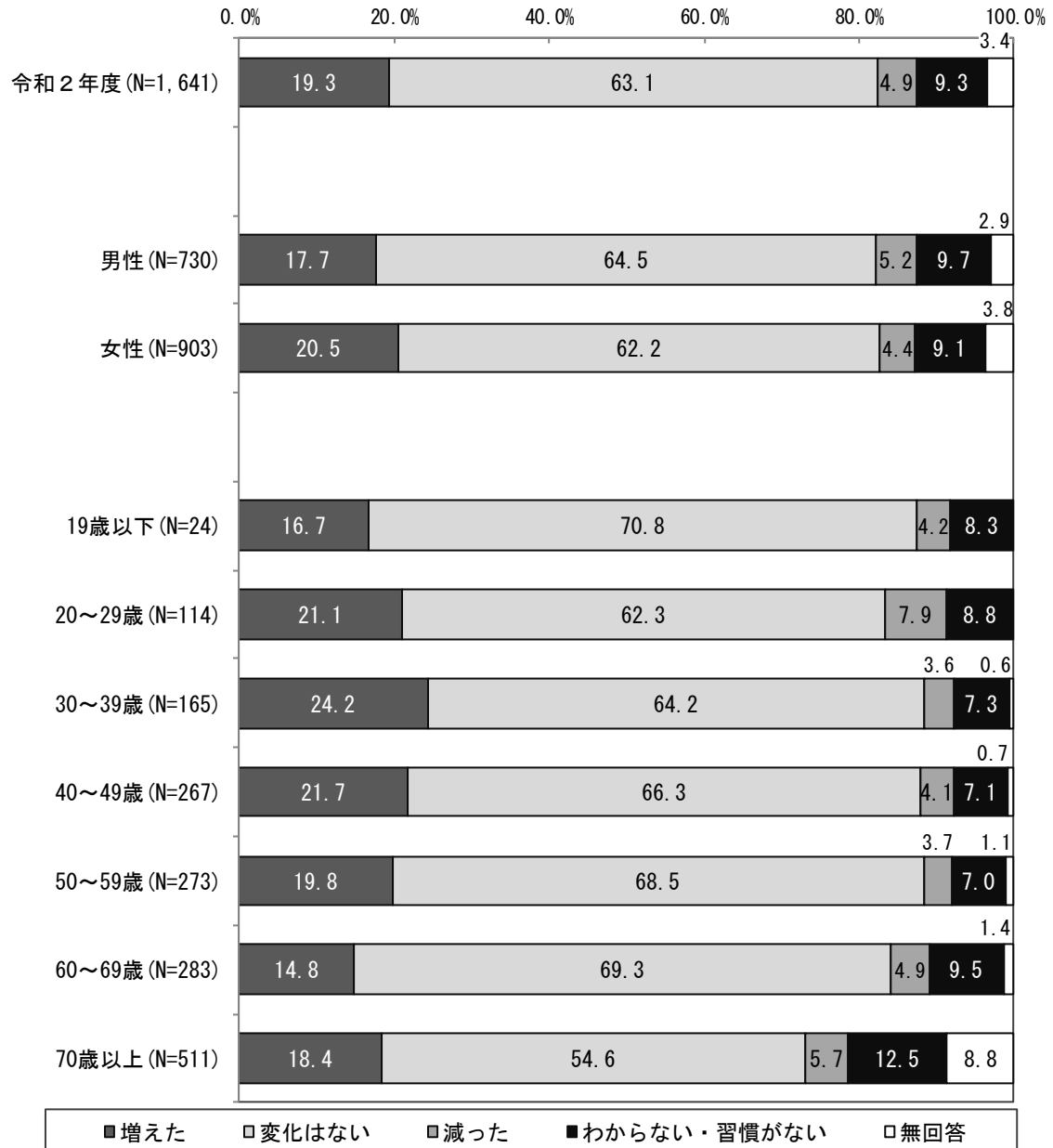
問1-1 ⑫ 冷凍・レトルト・インスタントの食品による食事の回数

冷凍・レトルト・インスタントの食品による食事の回数についてみると、「変化はない」が63.1%と最も多く、次いで「増えた」(19.3%)、「わからない・習慣がない」(9.3%)などとなっている。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、「増えた」人の割合は『30～39歳』(24.2%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 ⑫ 冷凍・レトルト・インスタントの食品による食事の回数



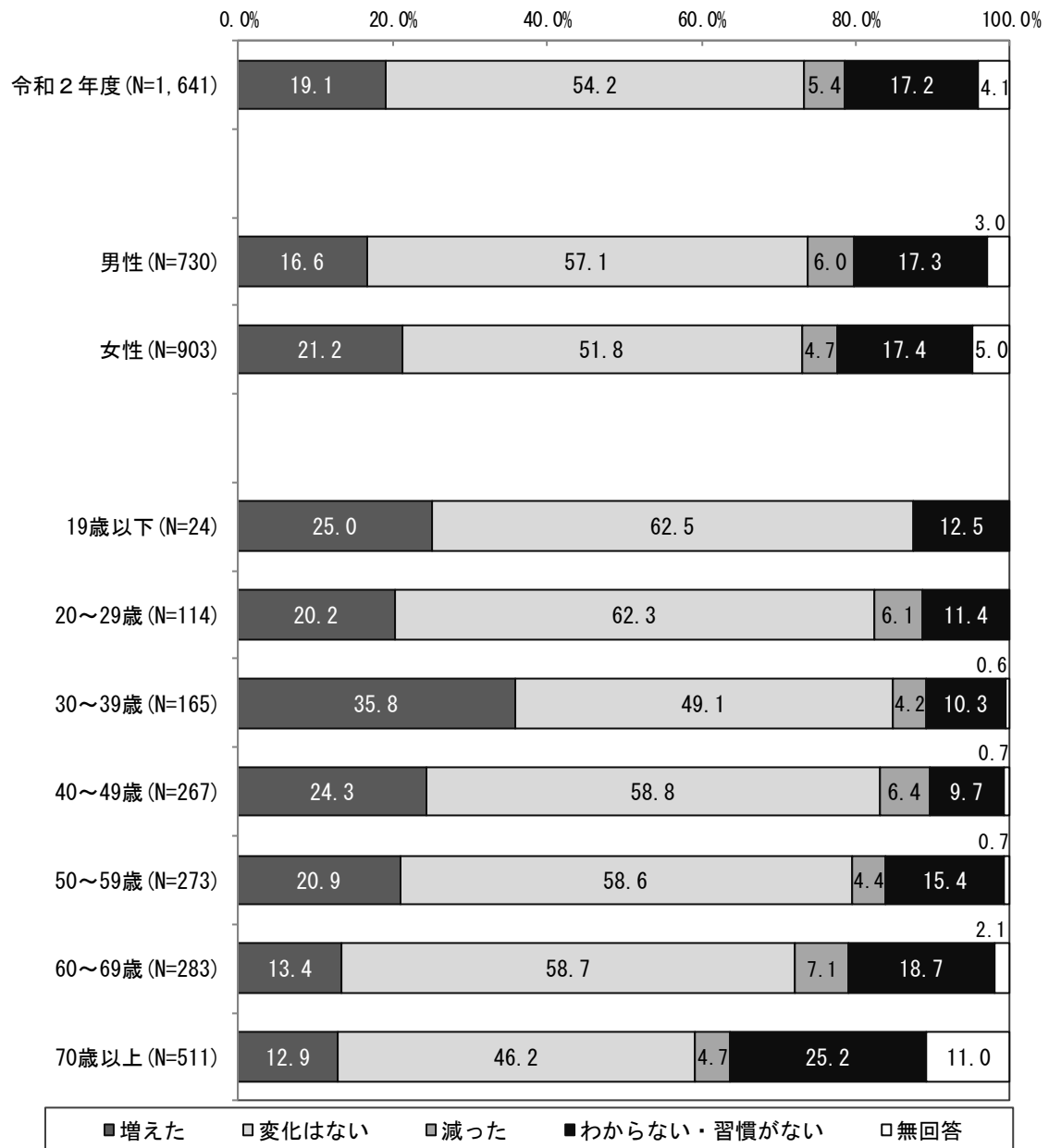
問1-1 ⑬ 出前、弁当・総菜による食事の回数

出前、弁当・総菜による食事の回数についてみると、「変化はない」が54.2%と最も多く、次いで「増えた」(19.1%)、「わからない・習慣がない」(17.2%)などとなっている。

性別にみると、「変化はない」人の割合は『男性』(57.1%)が『女性』(51.8%)よりも多くなっている。

年齢別にみると、「増えた」人の割合は『30～39歳』(35.8%)が、「わからない・習慣がない」人の割合は『70歳以上』(25.2%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 ⑬ 出前、弁当・総菜による食事の回数

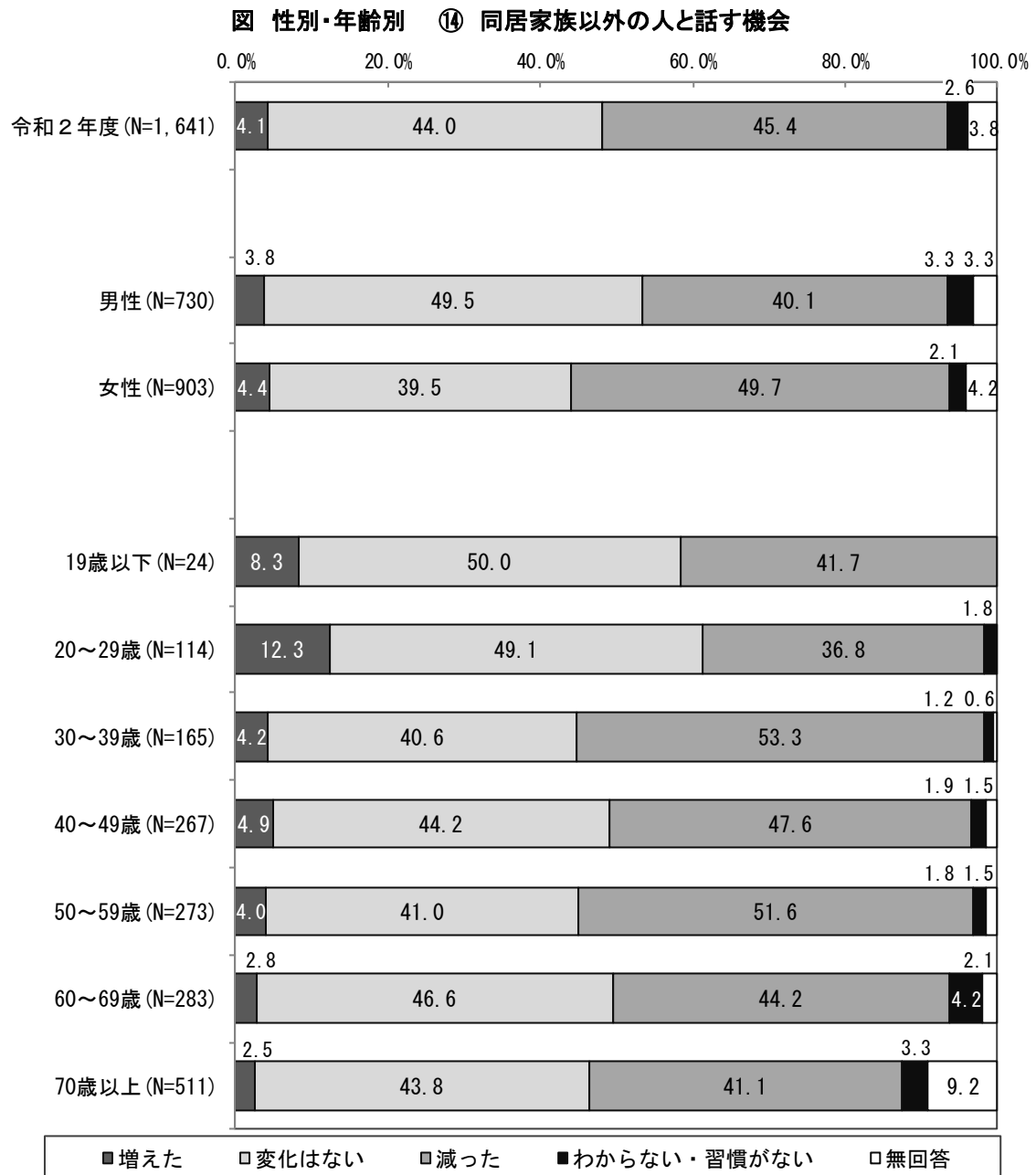


問1-1 ⑭ 同居家族以外の人と話す機会

同居家族以外の人と話す機会についてみると、「減った」が45.4%と最も多く、次いで「変化はない」(44.0%)、「増えた」(4.1%)などとなっている。

性別にみると、「変化はない」人の割合は『男性』(49.5%)が『女性』(39.5%)よりも多く、「減った」人の割合は『男性』(40.1%)よりも『女性』(49.7%)が多くなっている。

年齢別にみると、「増えた」人の割合は『20～29歳』(12.3%)が、「減った」人の割合は『30～39歳』(53.3%)が最も多くなっている。

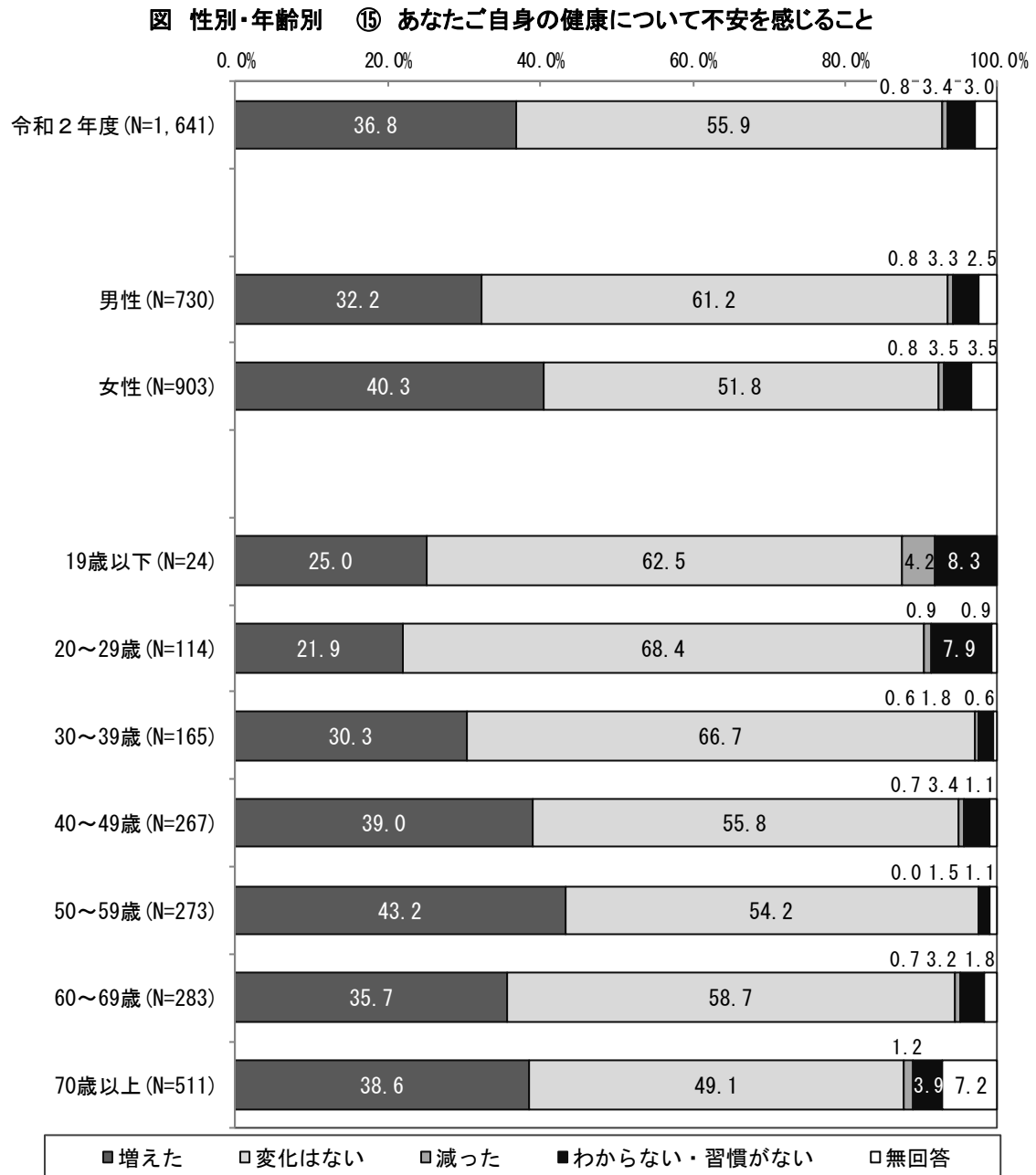


問1-1 ⑮ あなたご自身の健康について不安を感じること

あなたご自身の健康について不安を感じることに付いてみると、「変化はない」が55.9%と最も多く、次いで「増えた」(36.8%)、「わからない・習慣がない」(3.4%)などとなっている。

性別にみると、「変化はない」人の割合は『男性』(61.2%)が『女性』(51.8%)よりも多く、「増えた」人の割合は『男性』(32.2%)よりも『女性』(40.3%)が多くなっている。

年齢別にみると、「増えた」人の割合は『50～59歳』(43.2%)が最も多くなっている。



(3) 新型コロナウイルス感染症が流行し始めた頃（今年（令和2年）2月頃）と現在の健康に関する行動等で特に変化があったもの（問1-2）

問1-2 ①～⑮のうち、特に変化があった項目を1つ選び、項目番号と、変化の具体的な状況をご記入ください。

問1-1の①～⑮の項目について、変化のあった項目の具体的な状況をきいたところ、1,016件（複数回答含む）の自由記述式回答をいただいた。

自由意見の内容について、項目ごとの意見数と意見項目の要旨をまとめたものを以下に示す。

表 項目別 特に変化のあったもの（自由記述）

① 運動する機会や運動量	件数
運動する機会が減った、体力が落ちた	62
外出（買い物、通勤など）が減った	41
運動、体力強化をするようになった	28
不安が多くなった	3
その他	5

② ぐっすりと眠れること（睡眠）	件数
あまり眠れない	15
よく眠れる	4
その他	6

③ 体の不調を感じること	件数
不調を感じる（肩こり、腰痛、頭痛、腹痛、食欲不振、血圧上昇、めまい、疲れやすいなど）	24
病院にかかっている	4
その他	3

④ ストレス	件数
外出できないこと	65
感染予防に関すること	51
不安を感じる人が多い	35
人と交流できないこと	18
仕事に関すること	18
家族に関すること	14
体調に関すること	14
行動が制限されること	12
収入が減ったこと	7
その他	17

⑤ たばこを吸う量	件数
たばこの量が増えた	4
たばこをやめた	2
その他	3

⑥ お酒を飲む量	件数
お酒を飲む量が減った	20
お酒を飲む量が増えた	12
その他	7

⑦ 体重	件数
体重が増えた	54
体重が減った	9
その他	15

⑧ 血圧を測定する回数	件数
測定回数が増えた	12
その他	5

⑨ 医療機関を受診する回数	件数
受診回数が減った	29
受診回数が増えた	11
その他	6

⑩ 1日の間食の回数	件数
間食が増えた	12
その他	2

⑪ 栄養バランスを考えた食事の回数	件数
栄養バランスを考えている	9
栄養バランスが偏っている	3
その他	5

⑫ 冷凍・レトルト・インスタントの食品による食事の回数	件数
回数が増えた	15
その他	6

⑬ 出前、弁当・総菜による食事の回数	件数
回数が増えた	21
その他	18

⑭ 同居家族以外の人と話す機会	件数
話す機会が減った	143
話す機会が増えた	7
その他	10

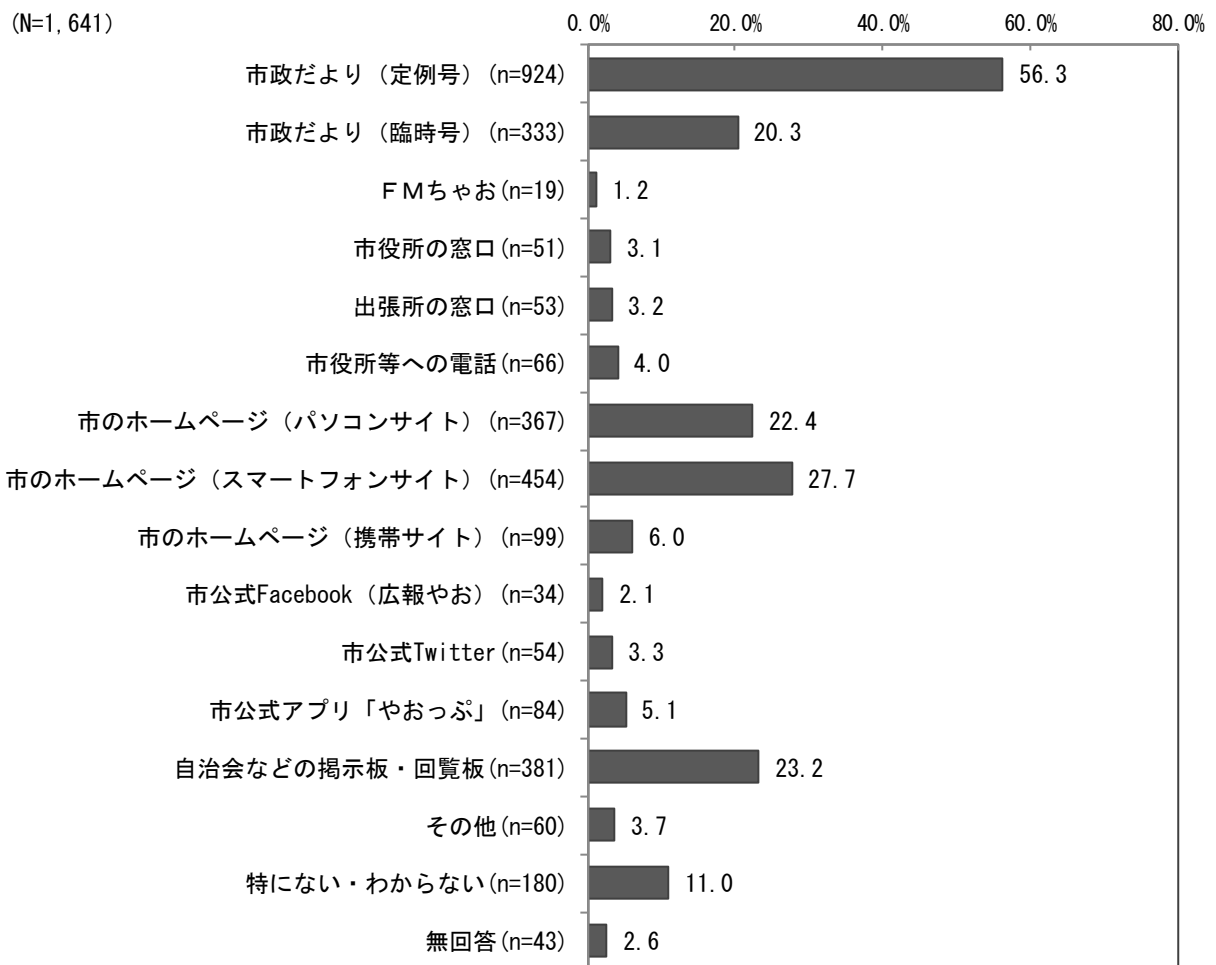
⑮ あなたご自身の健康について不安を感じること	件数
新型コロナウイルス感染症へのり患に関すること	49
体調、体力に関すること	44
不安が多いこと	17
病気、病状に関すること	15
その他	5

(4) 八尾市役所の新型コロナウイルス感染症に対する対策や支援制度の情報の入手方法 (問1-3)

問1-3 あなたは、八尾市役所が実施する新型コロナウイルス感染症に関する対策(公共施設の休館、イベントの中止等)や、市民に向けた支援制度(給付金等)に関する情報を得るときにどこから情報を得たいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

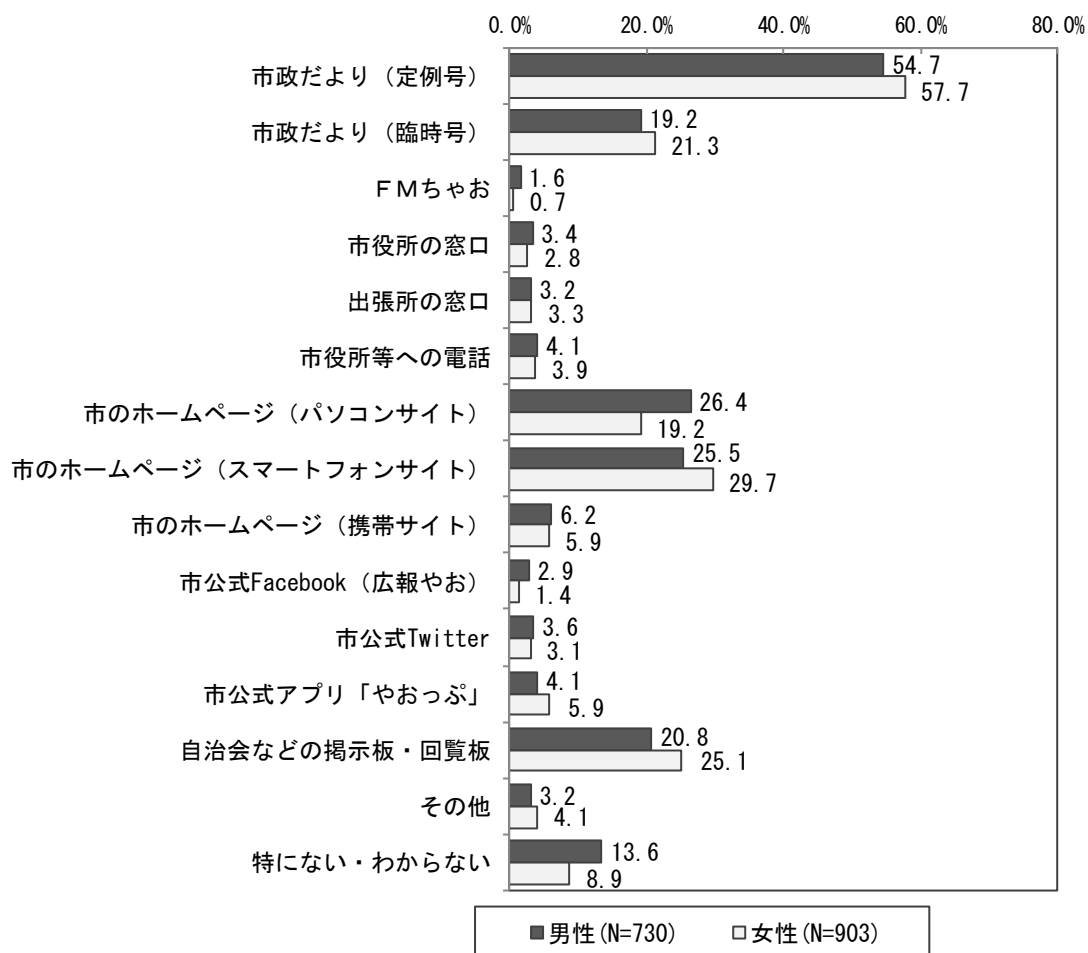
八尾市役所が実施する新型コロナウイルス感染症に関する対策(公共施設の休館、イベントの中止等)や、市民に向けた支援制度(給付金等)に関する情報を得るときにどこから情報を得たいと思うかをみると、「市政だより(定例号)」が56.3%と最も多く、次いで「市のホームページ(スマートフォンサイト)」(27.7%)、「自治会などの掲示板・回覧板」(23.2%)などとなっている。

図 八尾市役所の新型コロナウイルス感染症に対する対策や支援制度の情報の入手方法 (複数回答)



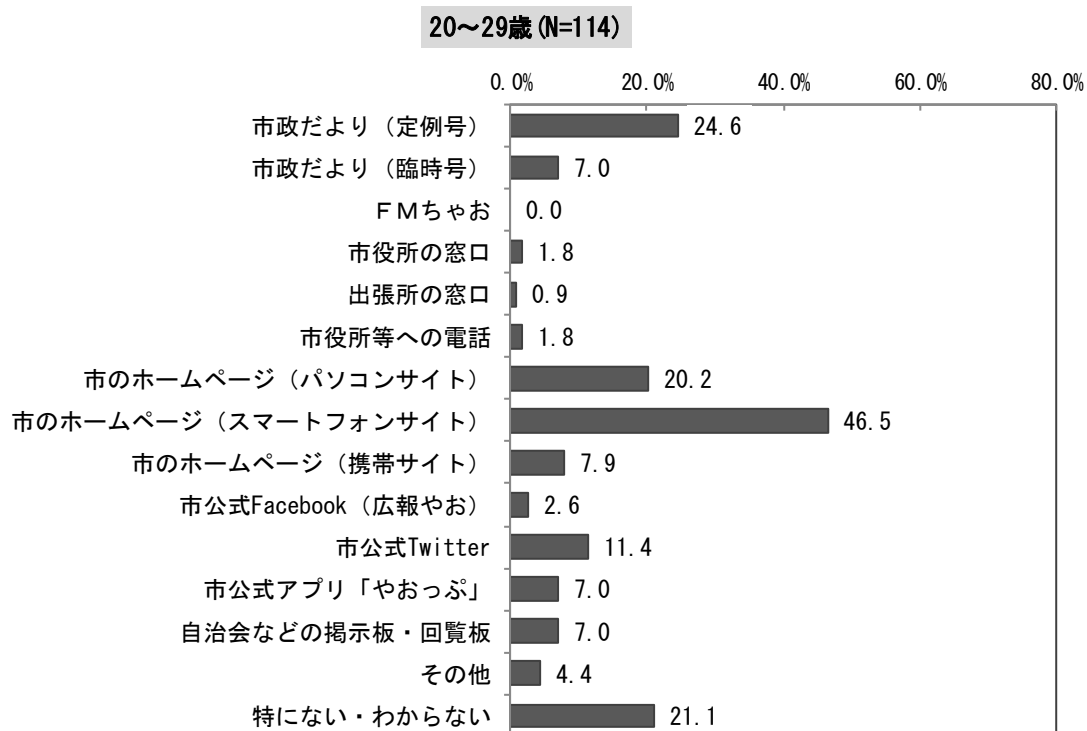
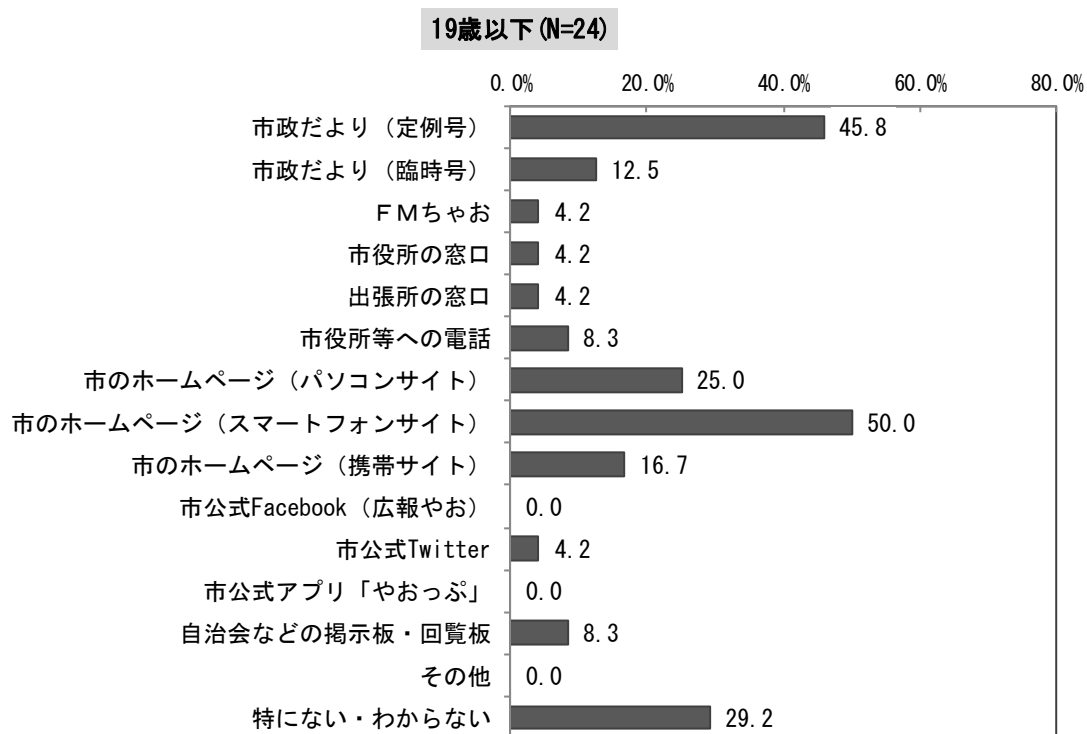
性別にみると、「市のホームページ(パソコンサイト)」では『男性』(26.4%)が『女性』(19.2%)よりも多くなっている。

図 性別 八尾市役所の新型コロナウイルス感染症に対する対策や支援制度の情報の入手方法 (複数回答)

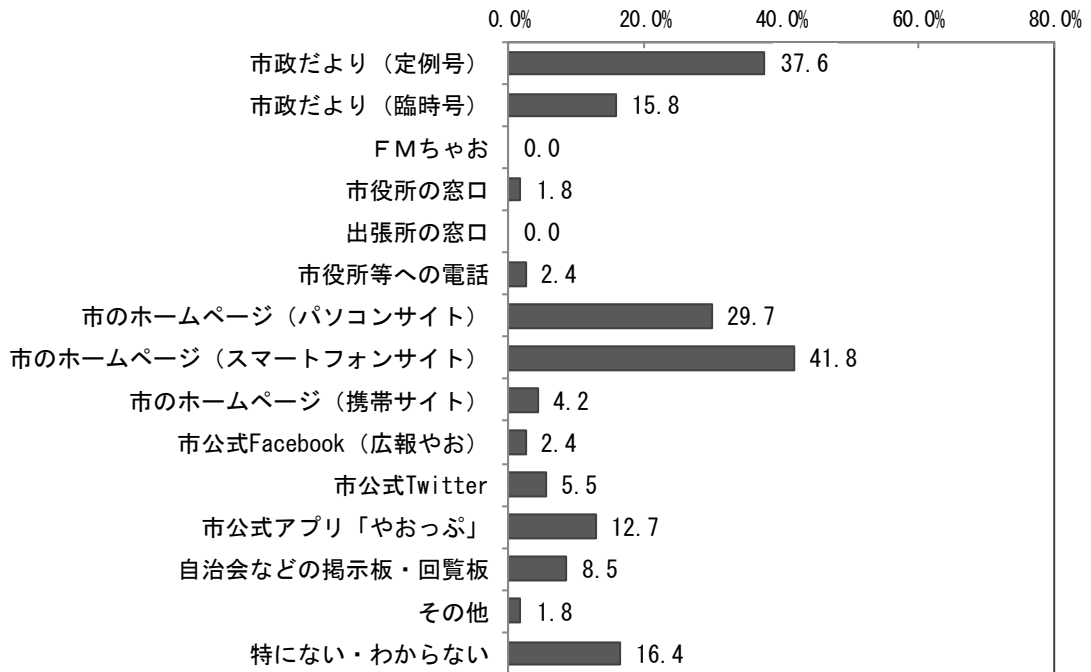


年齢別にみると、『19歳以下』『20～29歳』『30～39歳』では「市のホームページ(スマートフォンサイト)」、『40～49歳』以上では「市政だより(定例号)」が最も多くなっている。

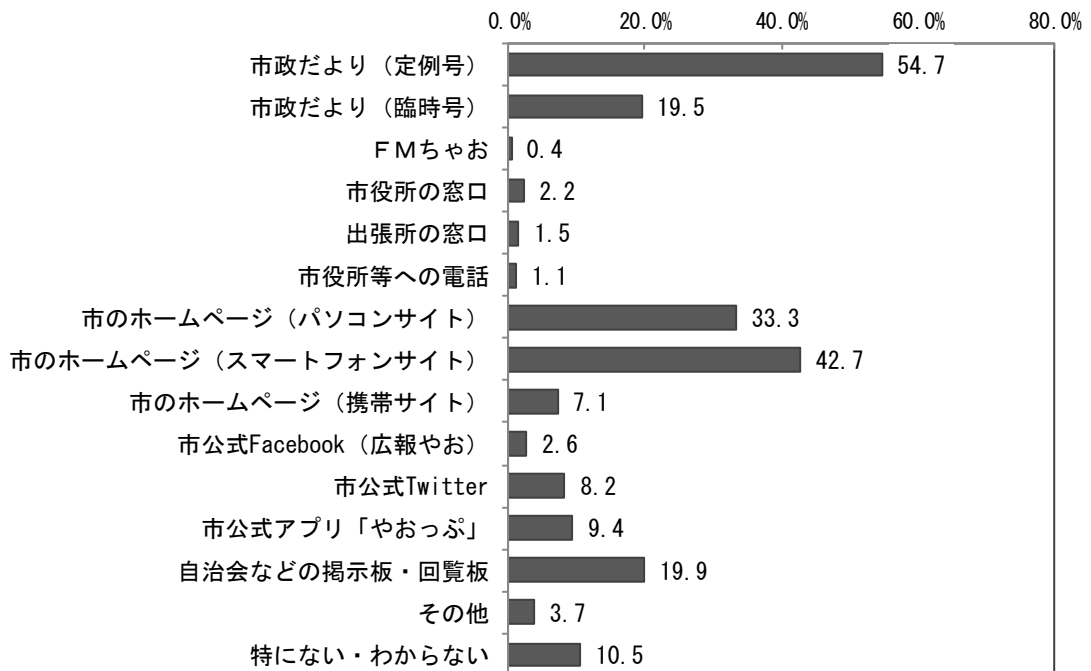
図 年齢別 八尾市役所の新型コロナウイルス感染症に対する対策や支援制度の情報の入手方法（複数回答）



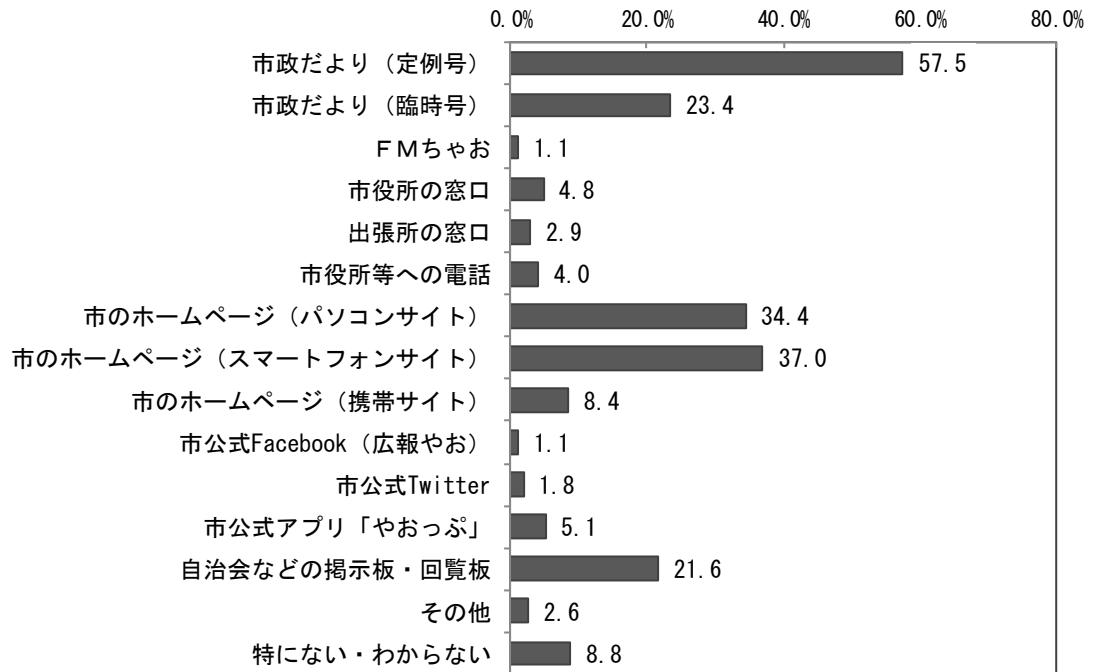
30～39歳 (N=165)



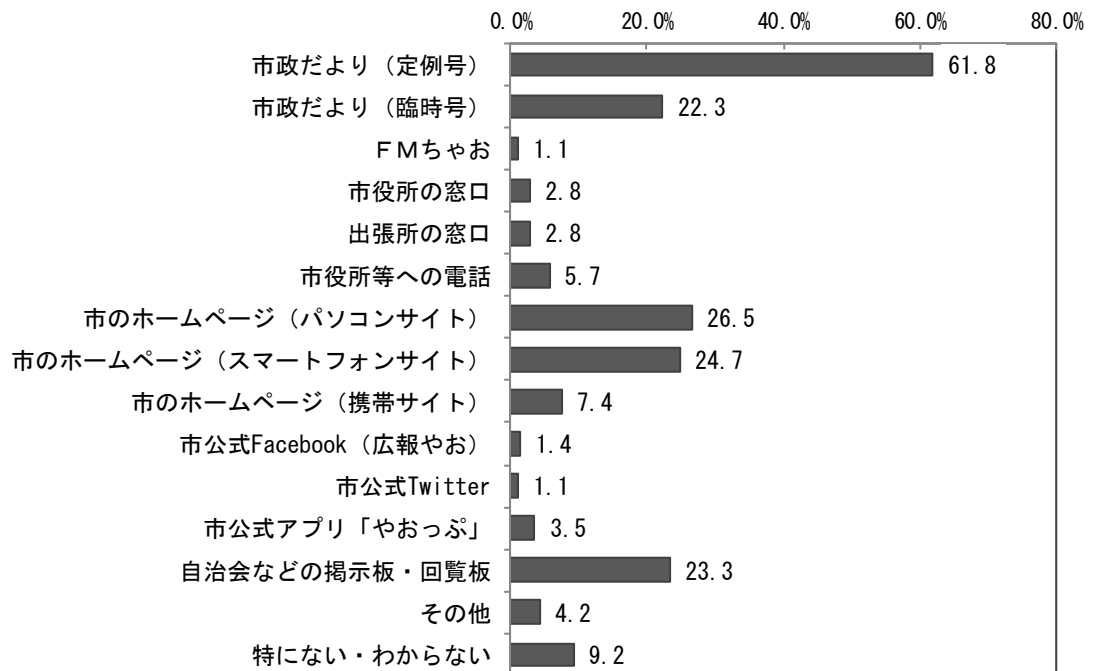
40～49歳 (N=267)



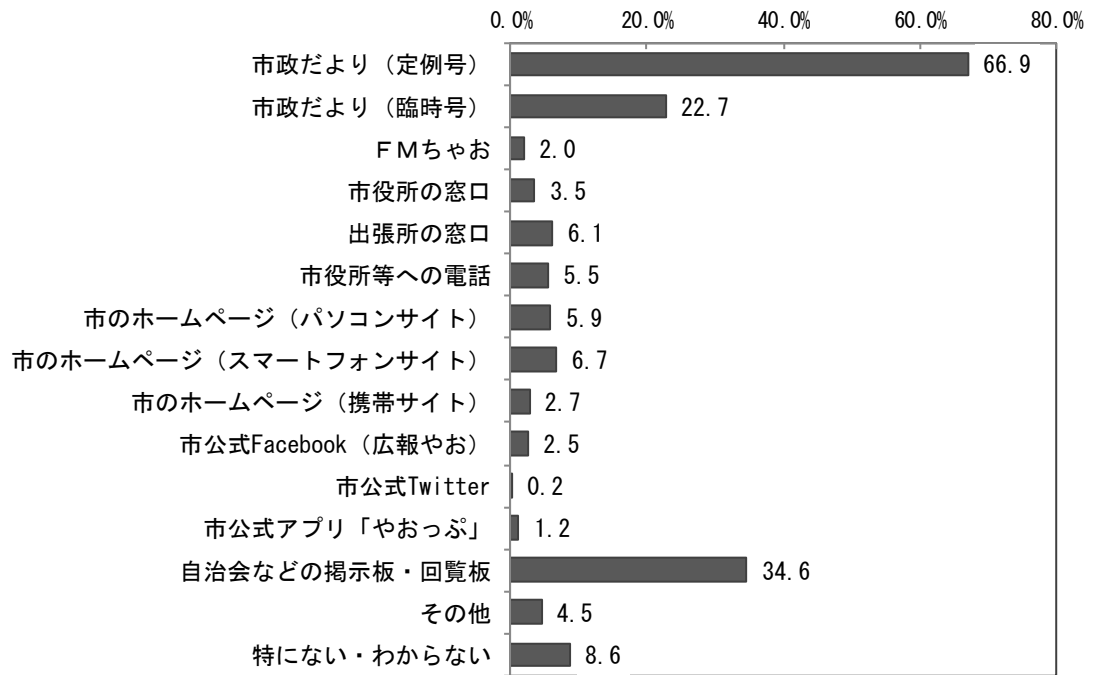
50～59歳 (N=273)



60～69歳 (N=283)



70歳以上 (N=511)



3 日常の暮らしについて

(1) 健康のための自主的な取り組み（問2）

問2 あなたは、健康のために運動を心がけるなど、自主的に何か取り組みをしていますか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

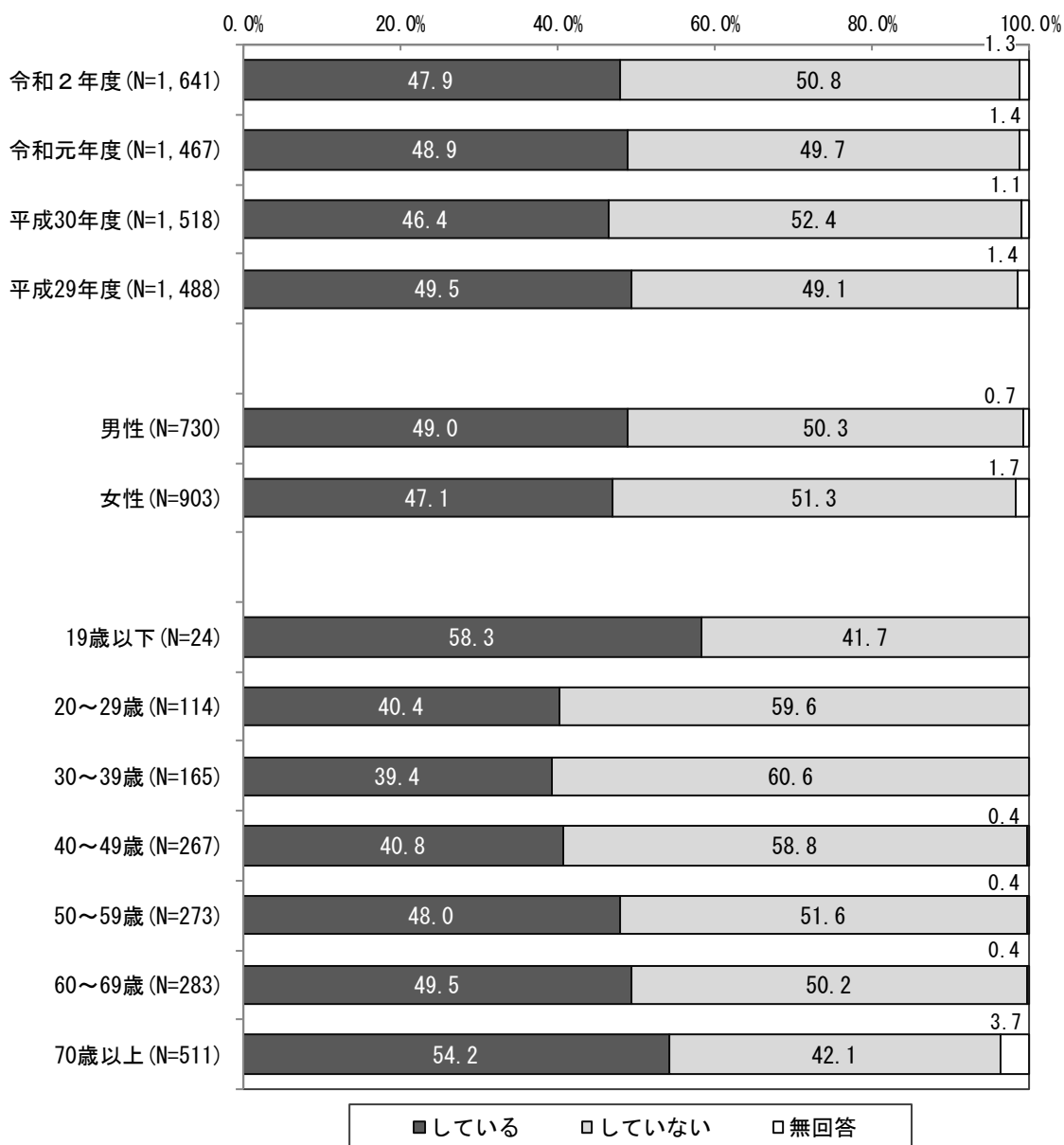
健康のための自主的な取り組みをみると、取り組みを「している」が47.9%、「していない」が50.8%となっている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、『19歳以下』を除いて、概ね年齢が高いほど「している」人の割合は多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 健康のための自主的な取り組み

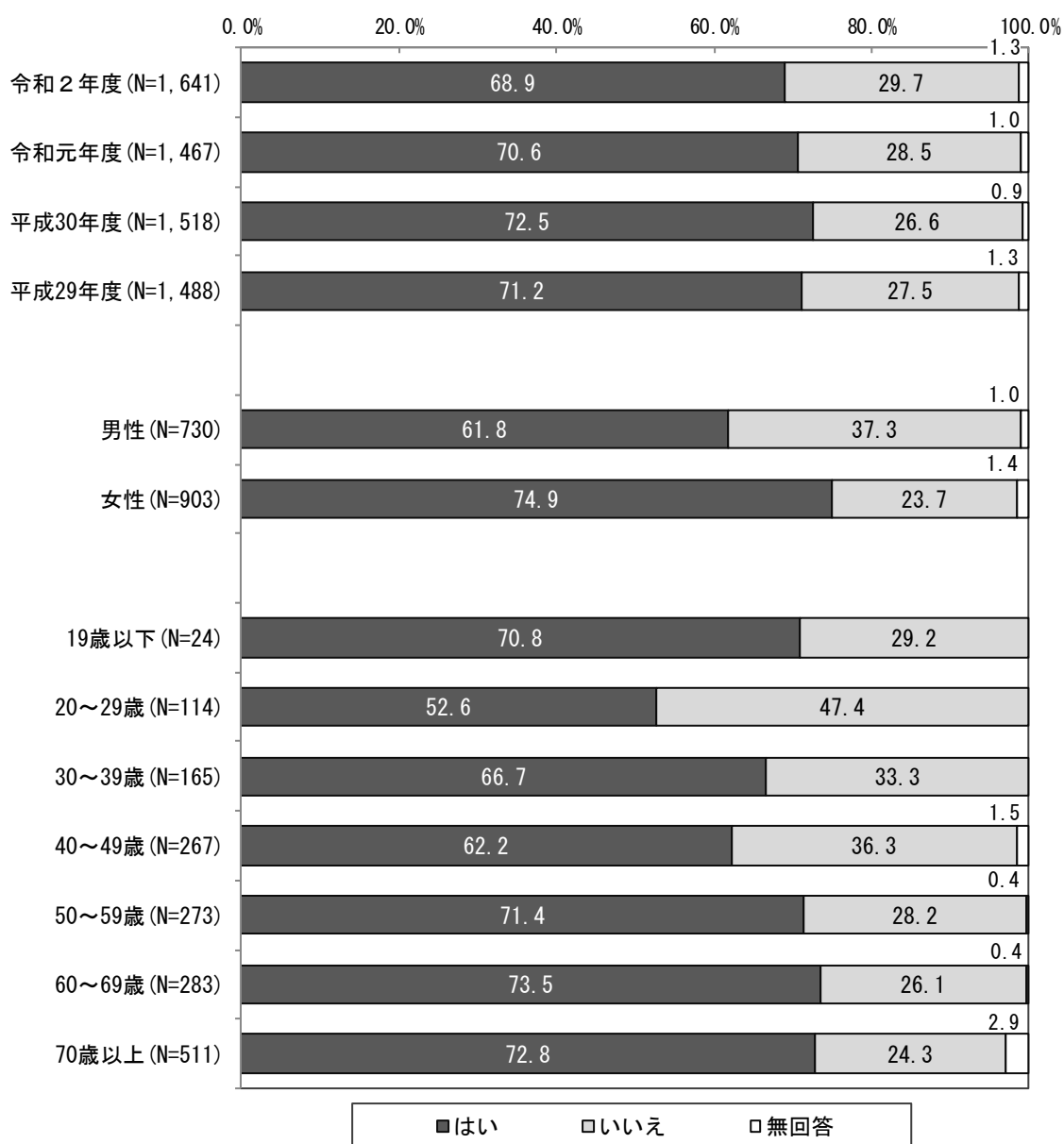


(2) 食事の際の栄養のバランスへの留意 (問3)

問3 あなたは、普段、栄養のバランスを考えて食事をしていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

栄養のバランスを考えて食事をしているかを見ると、「はい」が68.9%、「いいえ」が29.7%となっている。
年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。
性別にみると、「はい」は『女性』(74.9%)が『男性』(61.8%)よりも多くなっている。
年齢別にみると、「はい」は『60～69歳』(73.5%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 食事の際の栄養のバランスへの留意



(3) かかりつけ医等の有無 (問4)

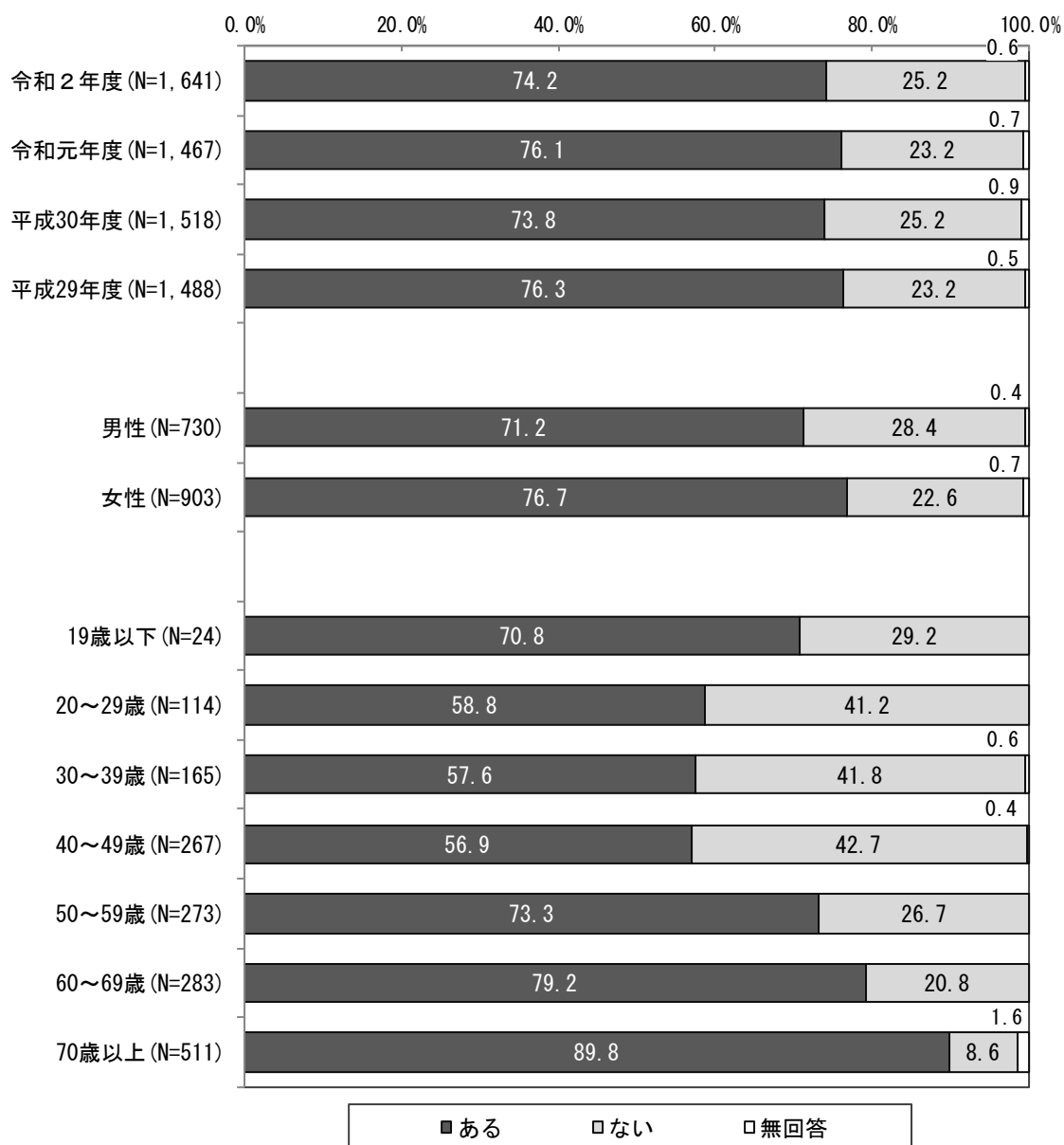
問4 あなたは、病気や健康について相談や受診できる「かかりつけ医」など(かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局)がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

かかりつけ医等の有無をみると、かかりつけ医などが「ある」が74.2%、「ない」が25.2%となっている。年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、「ある」は『女性』(76.7%)が『男性』(71.2%)よりも多くなっている。

年齢別にみると、「ある」は『70歳以上』(89.8%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 かかりつけ医等の有無



(4) 災害に対する取り組み (問5)

問5 あなたは、防災訓練に参加したり、備蓄をするなど、災害に対する取り組みを行っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

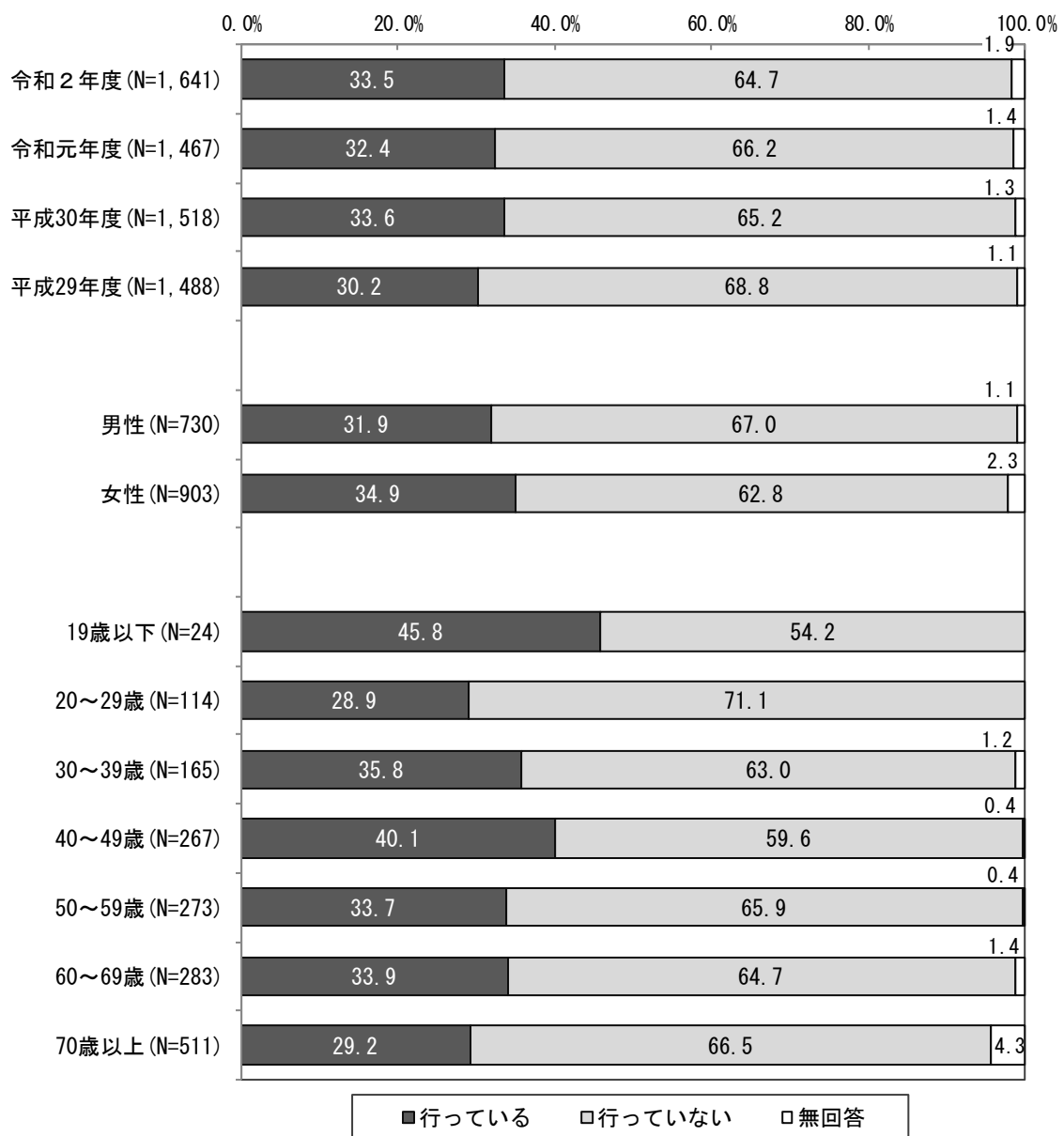
災害に対する取り組みをみると、災害に対する取り組みを「行っている」が33.5%、「行っていない」が64.7%となっている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、『19歳以下』を除いて、「行っている」は『40～49歳』(40.1%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 災害に対する取り組み



(5) 災害の避難場所を決めたり、日用品を持ち出す準備の備え (問6)

問6 あなたは、災害発生時の緊急事態が起こったときにそなえて、家族で、学校や公園などの避難場所を決めたり、日用品などをすぐに持ち出せるようにするなど、備えをしていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

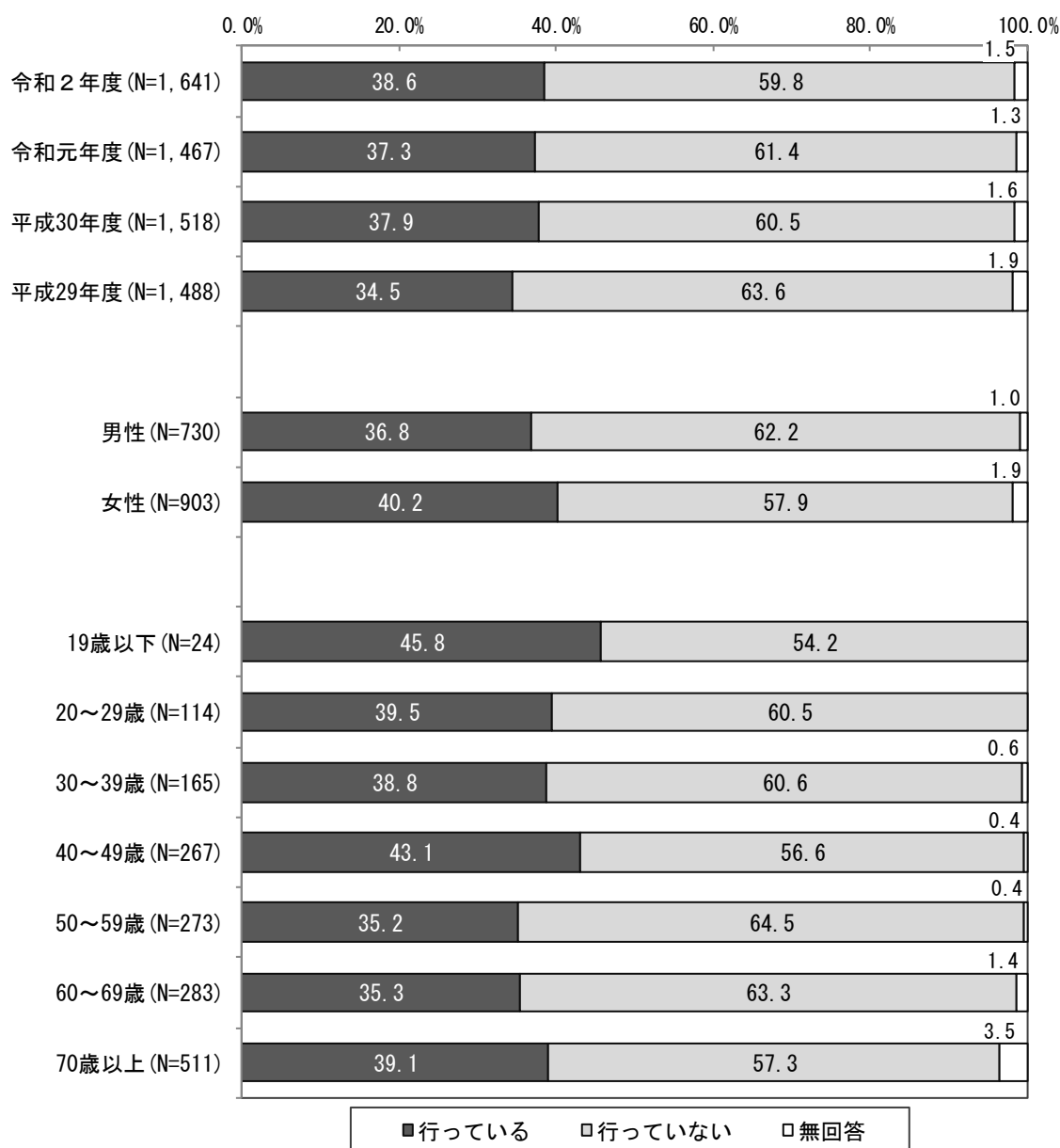
災害時の避難場所を決めたり、日用品の持ち出す準備の備えをみると、備えを「行っている」が38.6%、「行っていない」が59.8%となっている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、『19歳以下』を除いて、「行っている」は『40～49歳』(43.1%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 災害の避難場所を決めたり、日用品を持ち出す準備の備え



(6) 芸術文化に親しむ機会 (問7)

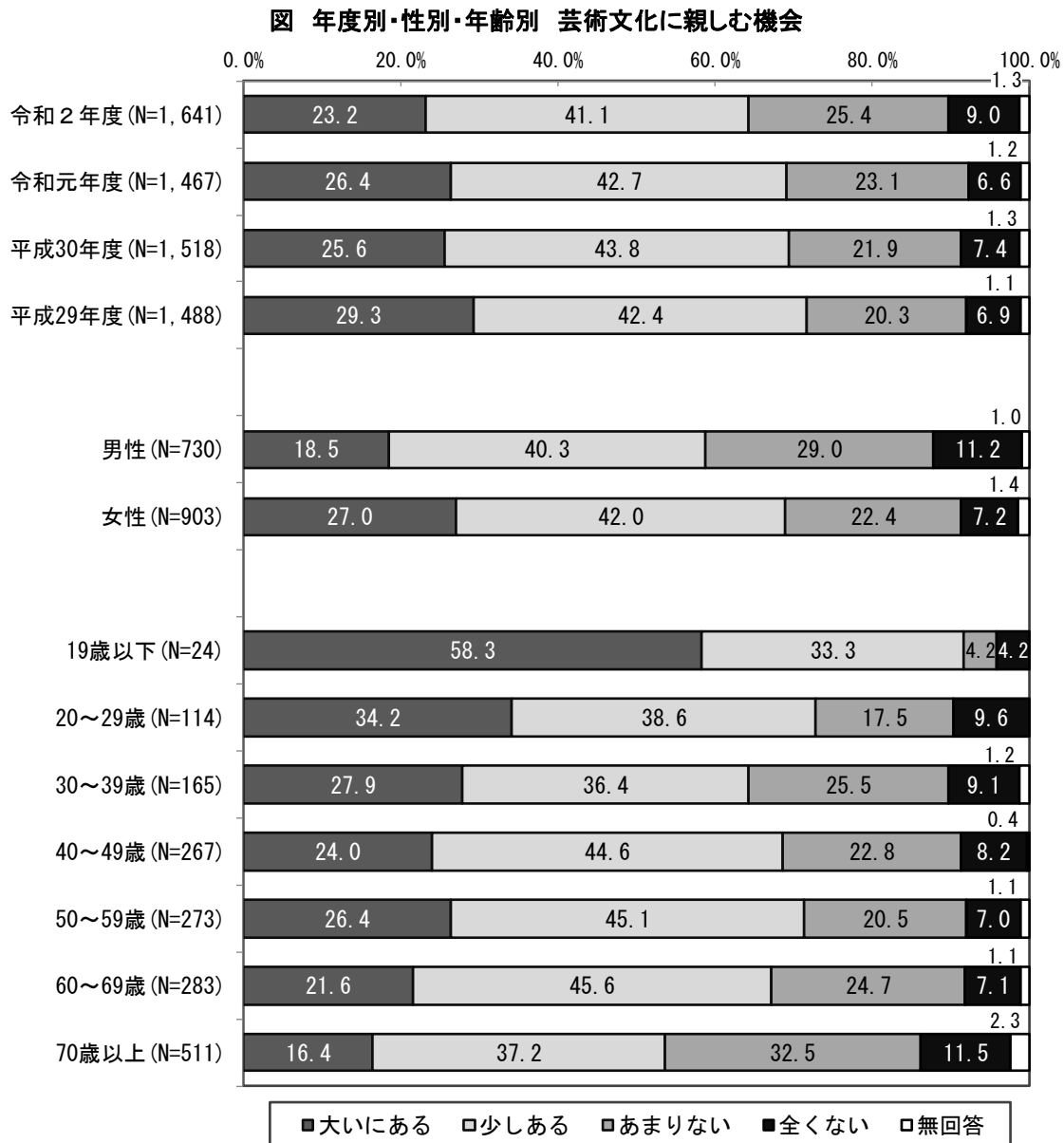
問7 あなたは、日常生活において、音楽、映画、演劇、美術等の芸術文化に親しんで心の豊かさを感じる時はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

芸術文化に親しむ機会をみると、「少しある」が41.1%と最も多く、次いで「あまりない」(25.4%)、「大いにある」(23.2%)などとなっている。“親しんで心の豊かさを感じる時がある人”(「大いにある」と「少しある」の合計)は、64.3%となっている。

年度別にみると、前年度とほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、“親しんで心の豊かさを感じる時がある人”は、『女性』(69.0%)が『男性』(58.8%)よりも多くなっている。

年齢別にみると、“親しんで心の豊かさを感じる時がある人”はどの年齢層も5割以上となっている。



(7) 運動の頻度 (問8)

問8 現在、あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

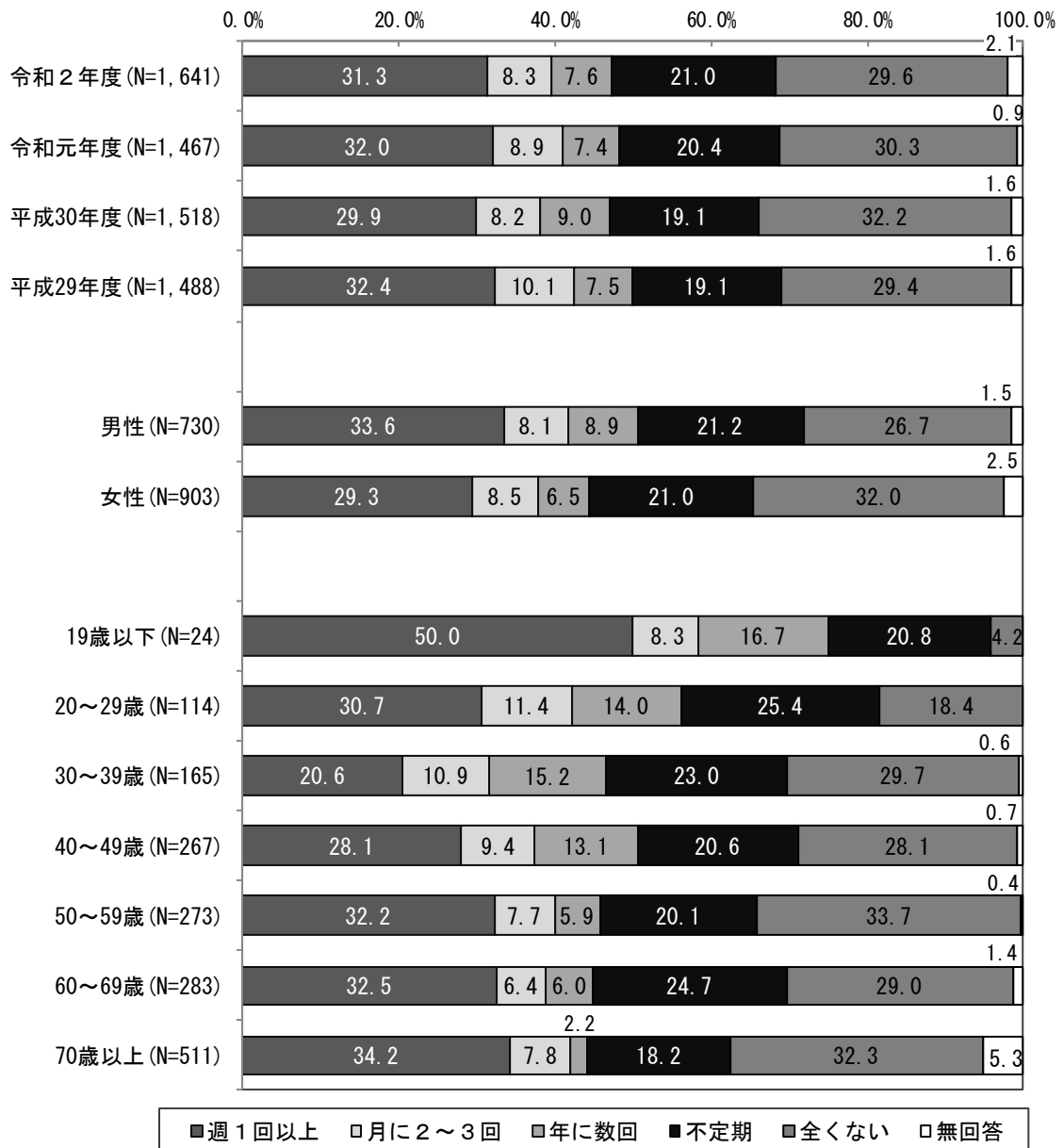
運動の頻度をみると、「週1回以上」が31.3%で最も多くなっており、“定期的な運動やスポーツをする人”（「週1回以上」と「月に2～3回」の合計）が39.6%となっている。

年度別にみると、“定期的な運動やスポーツをする人”はほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、“定期的な運動やスポーツをする人”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“定期的な運動やスポーツをする人”は『19歳以下』を除いて『20～29歳』（42.1%）が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 運動の頻度



(8) 生涯学習への取り組み (問9)

問9 あなたは、自己啓発や知識・技能の向上などのため、どのような内容の生涯学習(自発的な学習活動)を行っていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

生涯学習への取り組みをみると、「生涯学習は行っていない」が46.0%で最も多く、次いで、「職業上必要な知識・技能の取得や資格取得に関すること」(19.1%)、「文化・教養に関すること」(16.6%)、などとなっている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

図 生涯学習への取り組み(複数回答)

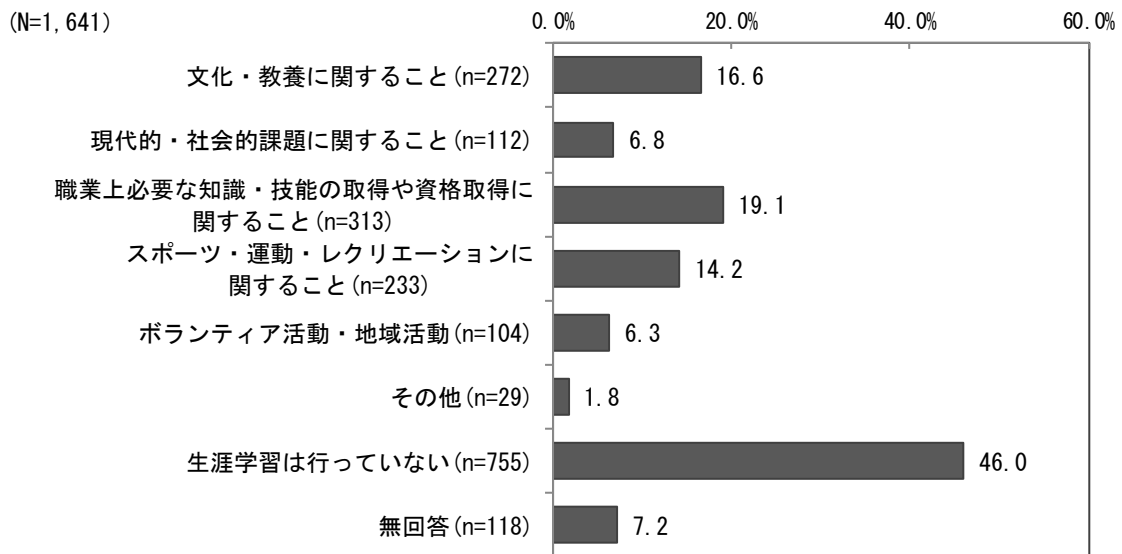
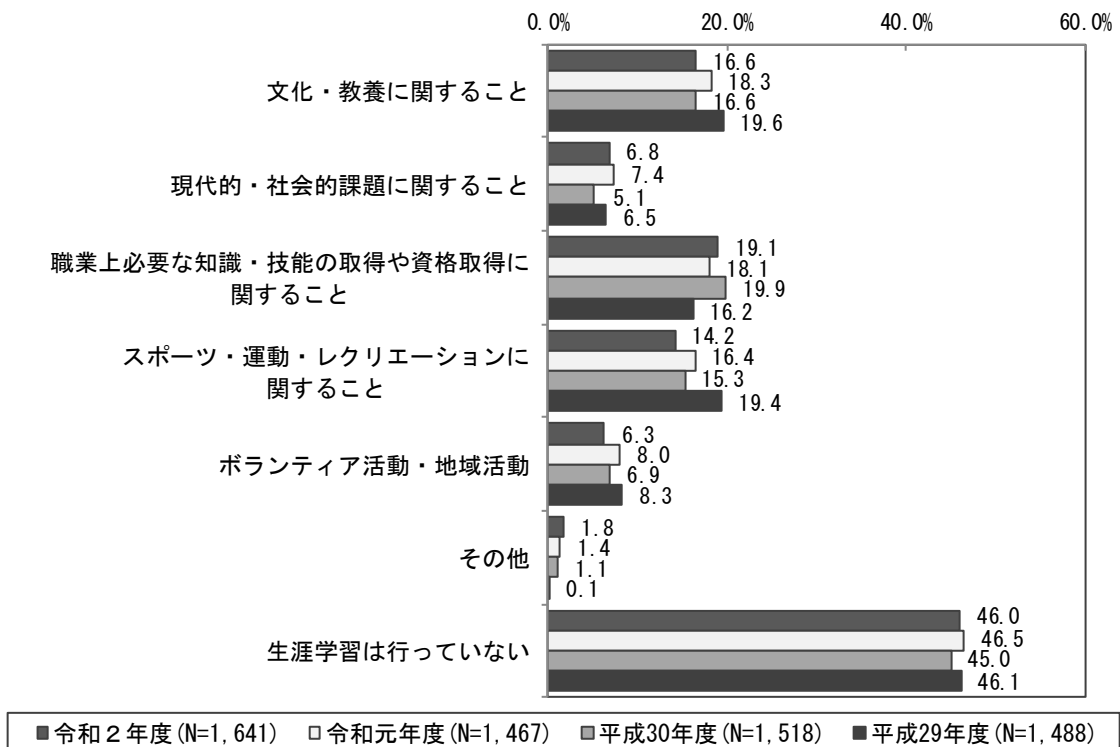
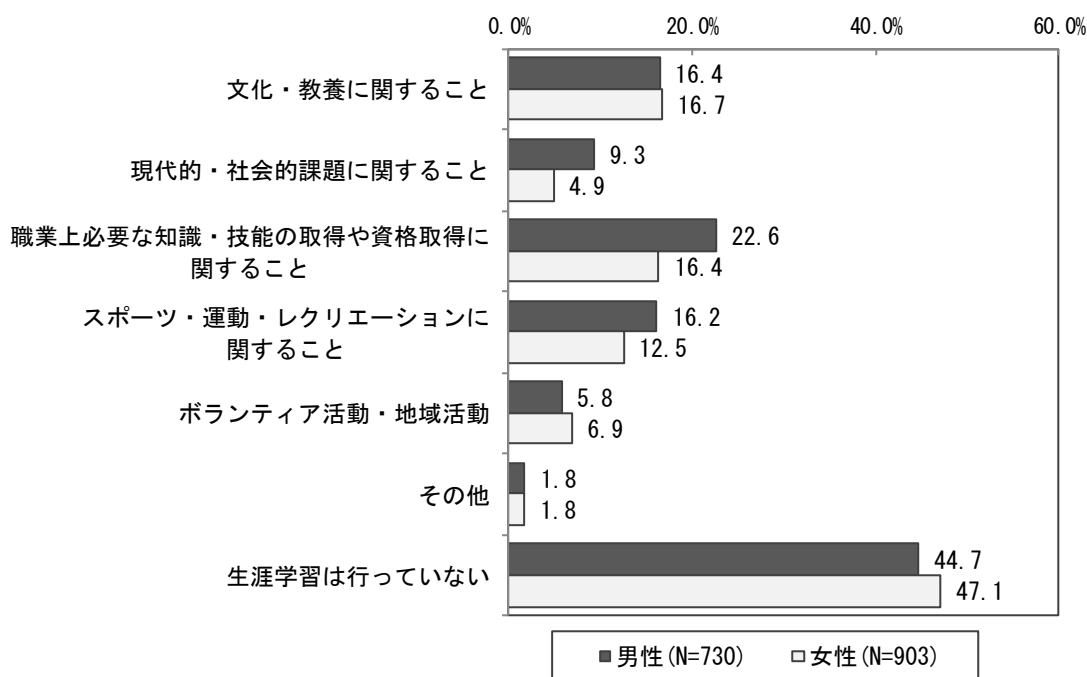


図 年度別 生涯学習への取り組み(複数回答)



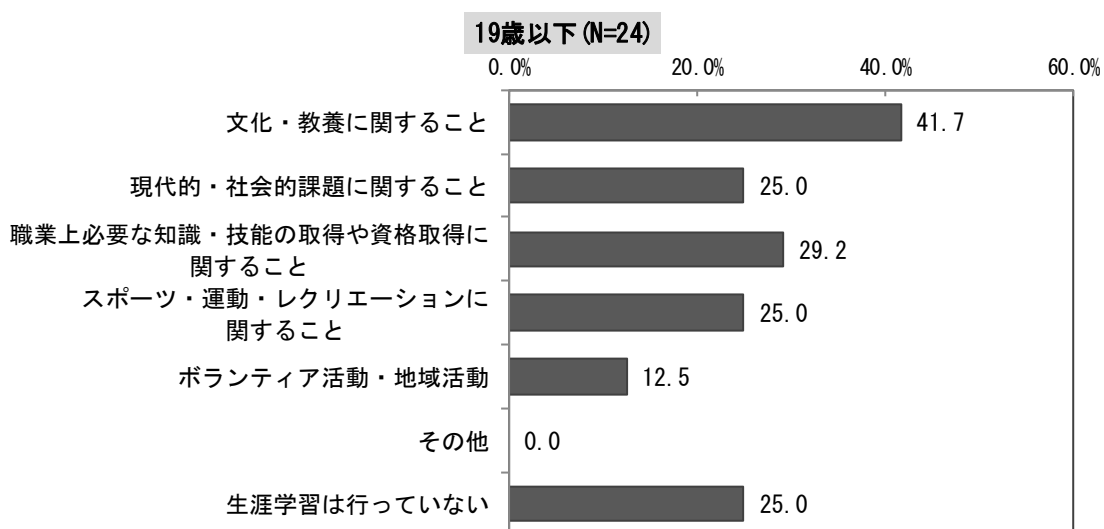
性別にみると、「生涯学習は行っていない」を除いて『男性』は「職業上必要な知識・技能の取得や資格取得に関すること」(22.6%)が、『女性』は「文化・教養に関すること」(16.7%)が最も多くなっている。

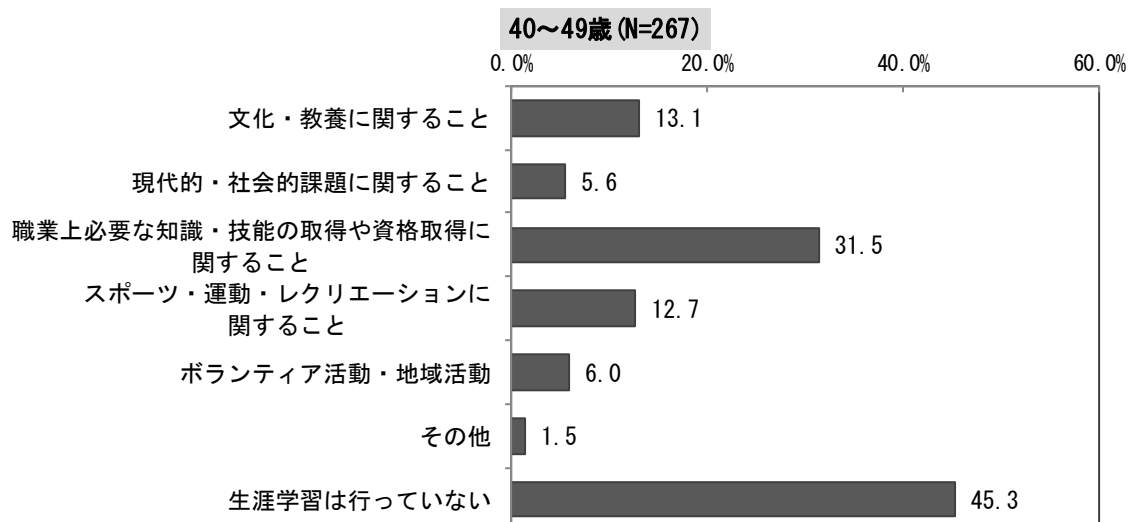
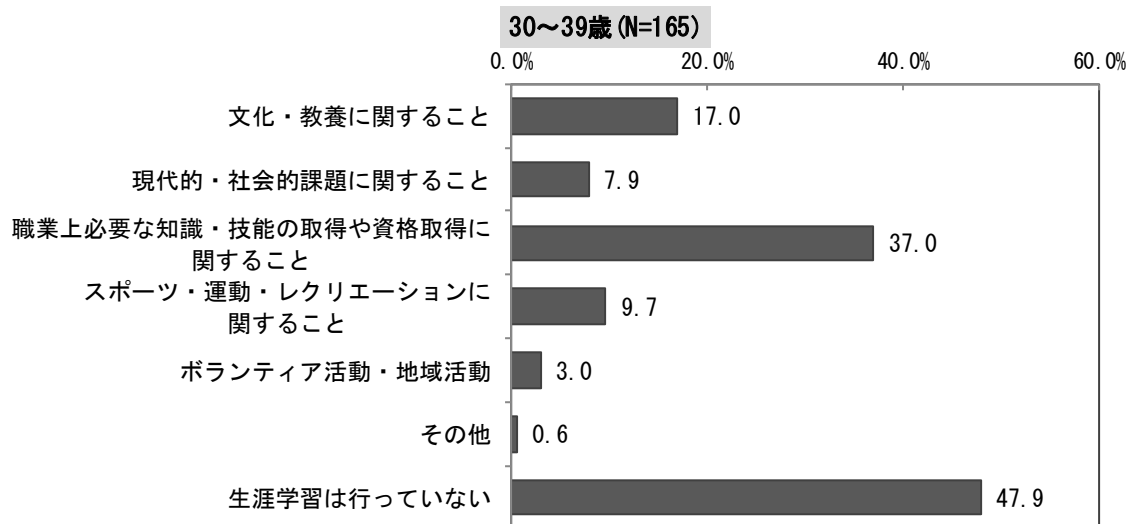
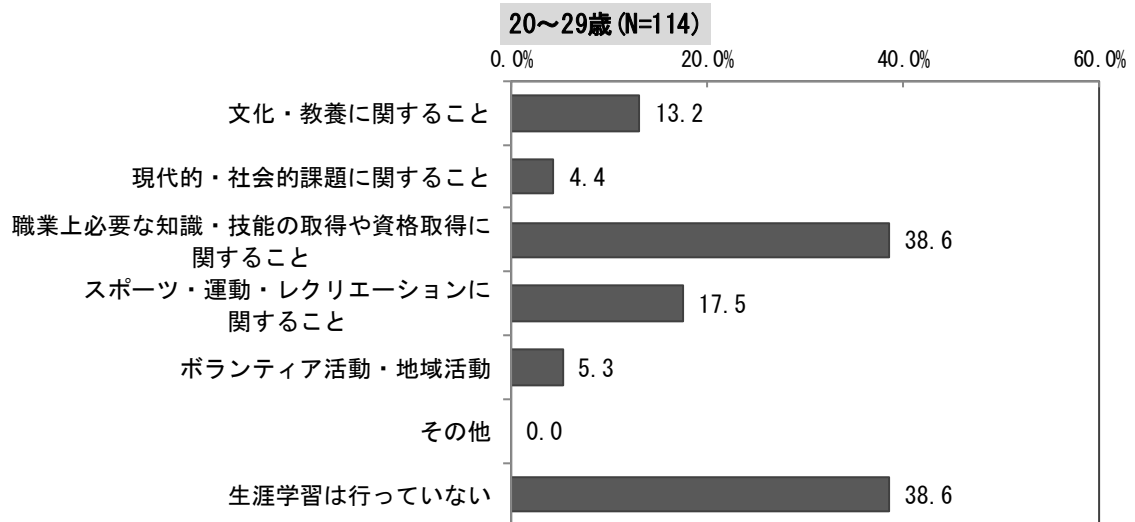
図 性別 生涯学習への取り組み(複数回答)

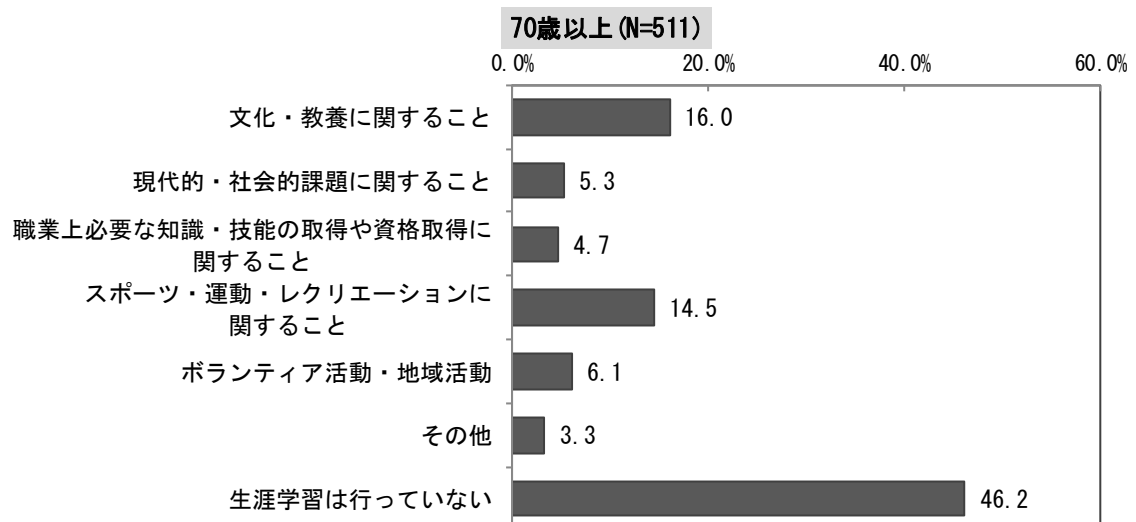
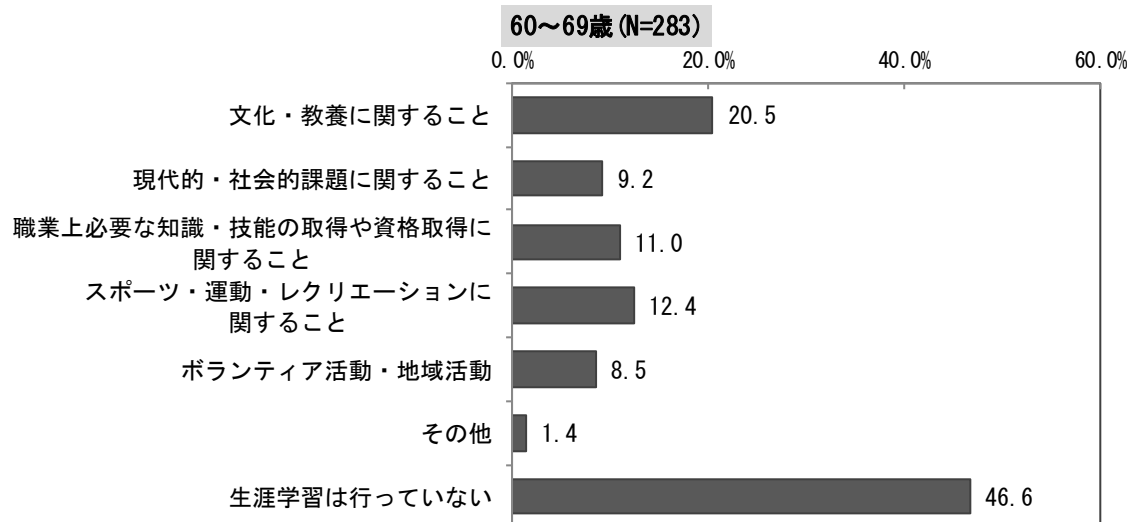
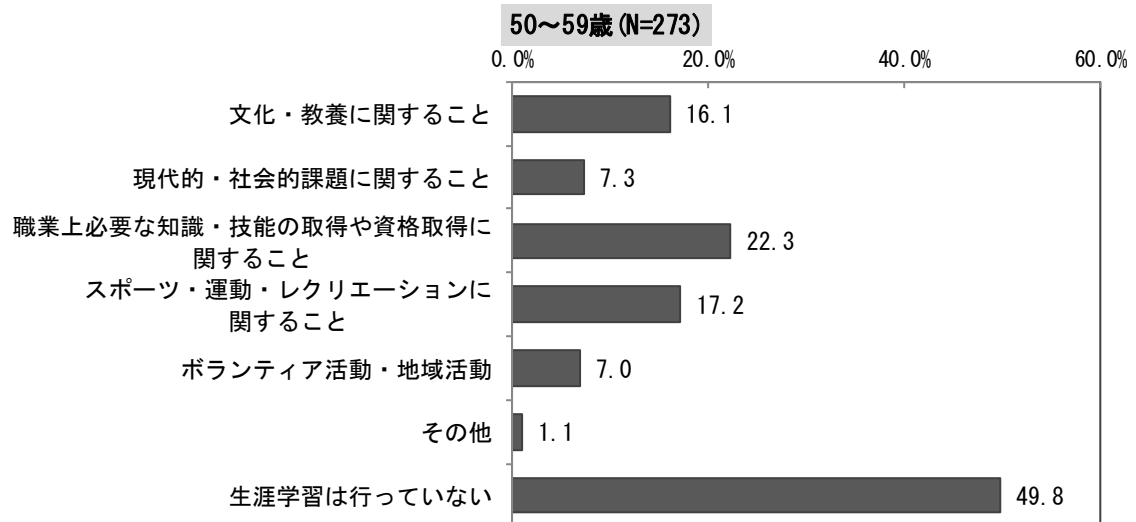


年齢別にみると、「生涯学習は行っていない」を除いて、『19歳以下』『60～69歳』『70歳以上』では「文化・教養に関すること」が、『20～29歳』『30～39歳』『40～49歳』『50～59歳』では「職業上必要な知識・技能の取得や資格取得に関すること」が最も多くなっている。

図 年齢別 生涯学習への取り組み(複数回答)







(9) 国際交流への興味 (問 10)

問 10 あなたは、さまざまな国の人たちと交流し、相互理解を深める国際交流について、興味がありますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

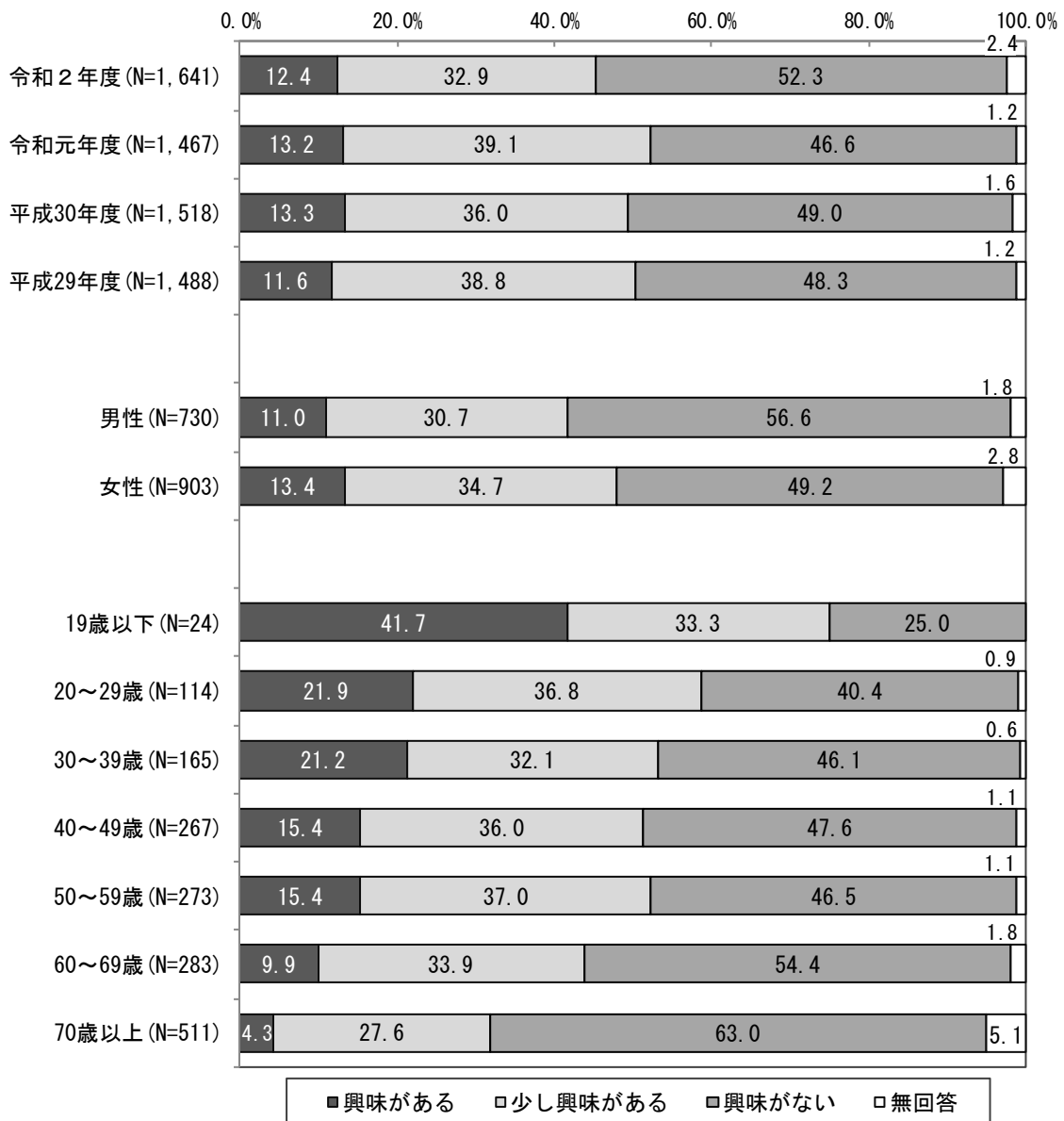
国際交流への興味をみると、“国際交流に興味がある人”(「興味がある」と「少し興味がある」の合計)は45.3%となっている。

年度別にみると、“国際交流に興味がある人”は前年度に比べ減少している。

性別にみると、“国際交流に興味がある人”は、『女性』(48.1%)が『男性』(41.7%)よりも多くなっている。

年齢別にみると、“国際交流に興味がある人”は『60～69歳』と『70歳以上』を除いた年齢層で過半数となっている。

図 年度別・性別・年齢別 国際交流への興味



(10) 産業振興の重要性 (問 11)

問 11 あなたは、まちの活性化のための産業振興について、どのように思われますか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

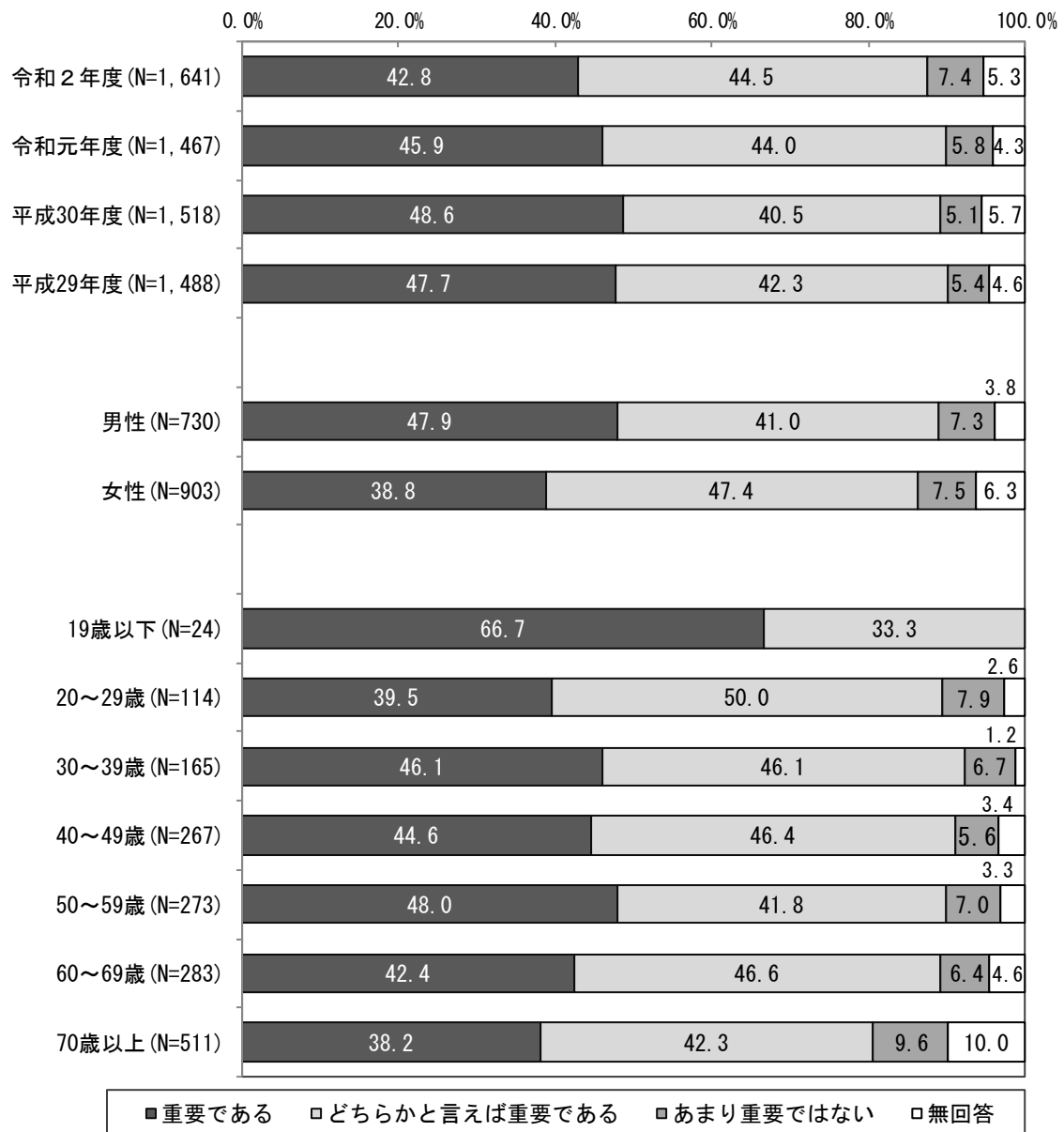
産業振興の重要性をみると、「重要である」が42.8%、「どちらかと言えば重要である」(44.5%)、「あまり重要ではない」(7.4%)となっている。“重要視する人”(「重要である」と「どちらかと言えば重要である」の合計)は87.3%と、9割近くが産業振興を重視している。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、“重要視する人”は、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“重要視する人”は『19歳以下』を除いて『30～39歳』が92.2%で最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 産業振興の重要性



(11) 商店街や地元の個人商店での買い物頻度 (問 12)

問 12 あなたは、地元の商店街や個人商店でどの程度買い物をしますか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

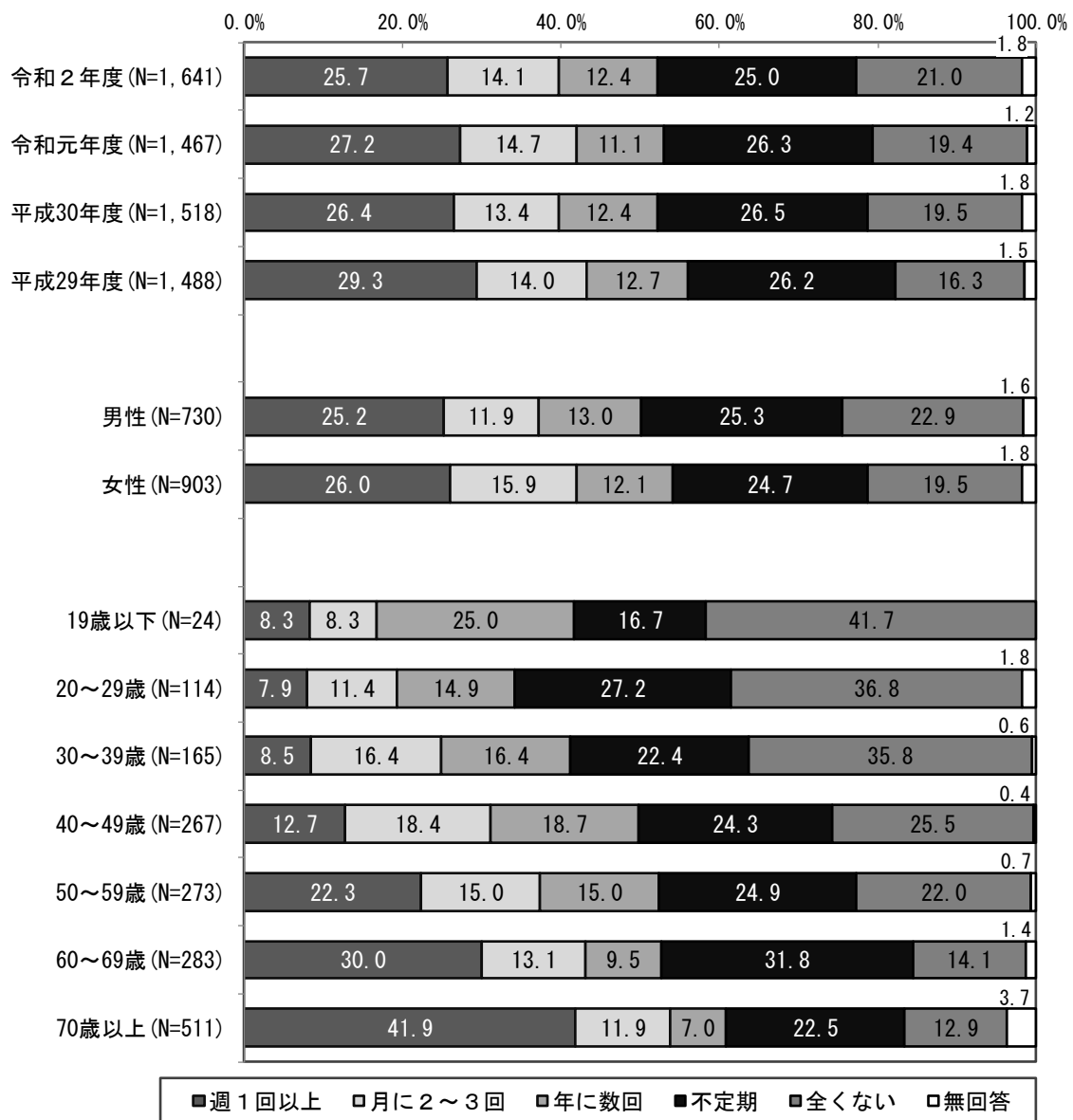
商店街や地元の個人商店での買い物頻度をみると、「週1回以上」が25.7%で最も多く、次いで「不定期」(25.0%)、「全くない」(21.0%)などとなっている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、「週1回以上」は概ね年齢層が高いほど多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 商店街や地元の個人商店での買い物頻度



(12) 日常の買い物の環境 (問13)

問13 あなたは、日常の買い物(食料品、日用品の購入など)がしやすい環境にあると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

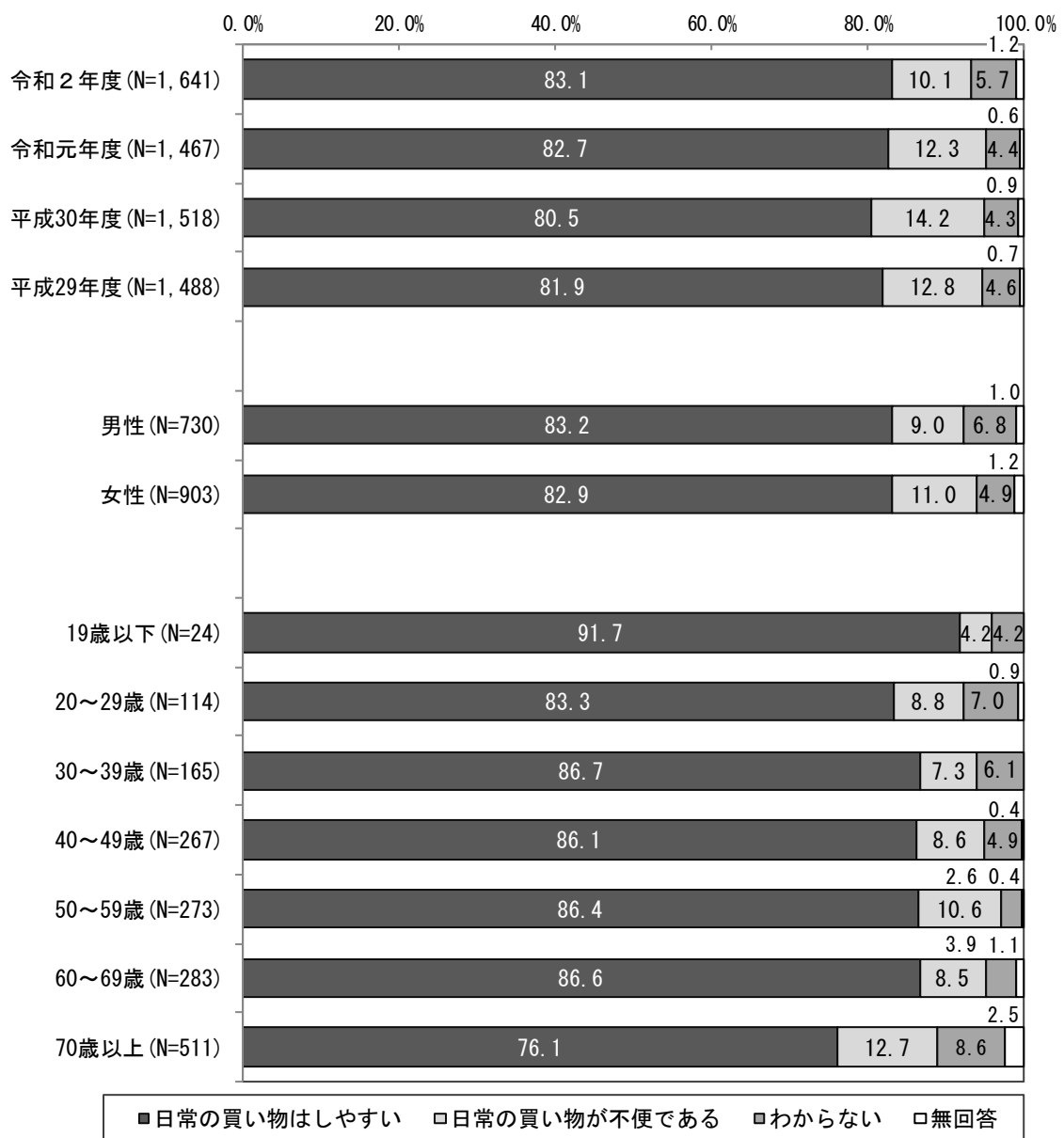
日常の買い物の環境をみると、「日常の買い物はしやすい」が83.1%で最も多く、次いで「日常の買い物が不便である」(10.1%)などとなっている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、「日常の買い物はしやすい」は『70歳以上』が76.1%で最も少なくなっている。

図 年度別・性別・年齢別 日常の買い物の環境



(13) インターネットの活用 (問14)

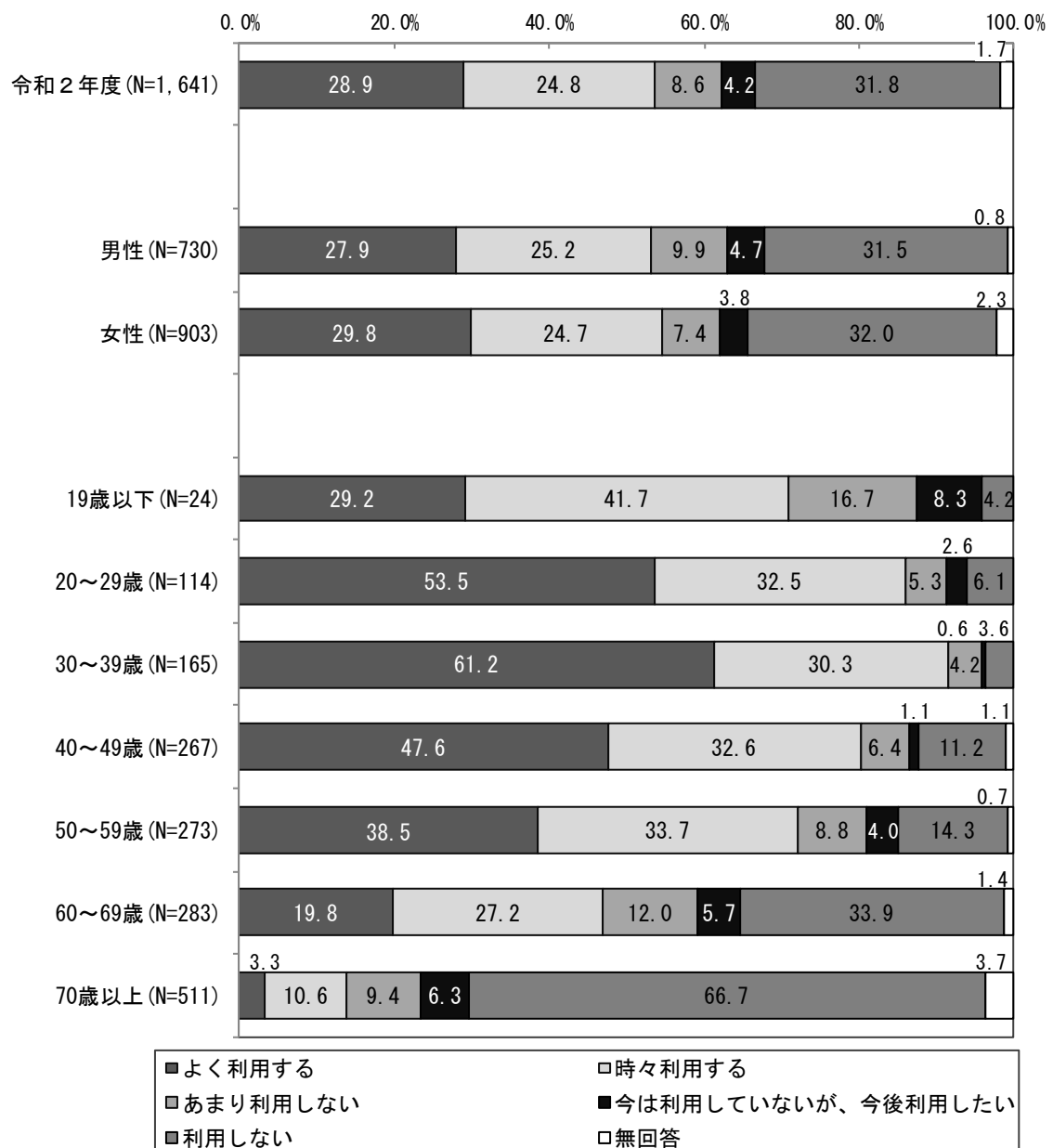
問14 あなたは、インターネットを活用して、買い物(ネットショッピング)や宿泊施設の予約、チケットの申し込み等をすることがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

インターネットを活用して、買い物(ネットショッピング)や宿泊施設の予約、チケットの申し込み等をするものの有無をみると、「利用しない」が31.8%で最も多く、次いで、「よく利用する」(28.9%)、「時々利用する」(24.8%)などとなっている。“利用する人”(「よく利用する」と「時々利用する」の合計)は53.7%となっている。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“利用する人”は『19歳以下』から『50～59歳』が7割以上で、『30～39歳』では9割を超えている。一方、『60～69歳』で約5割、『70歳以上』では約1割となっている。

図 性別・年齢別 インターネットの活用



(14) 日常生活においてマナー等の心がけ (問 15)

問 15 あなたは、日頃の生活において、道路・公園・駅前等の公共の場所で、ごみやタバコのポイ捨て、ペットのふんの放置などをしないように心がけていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

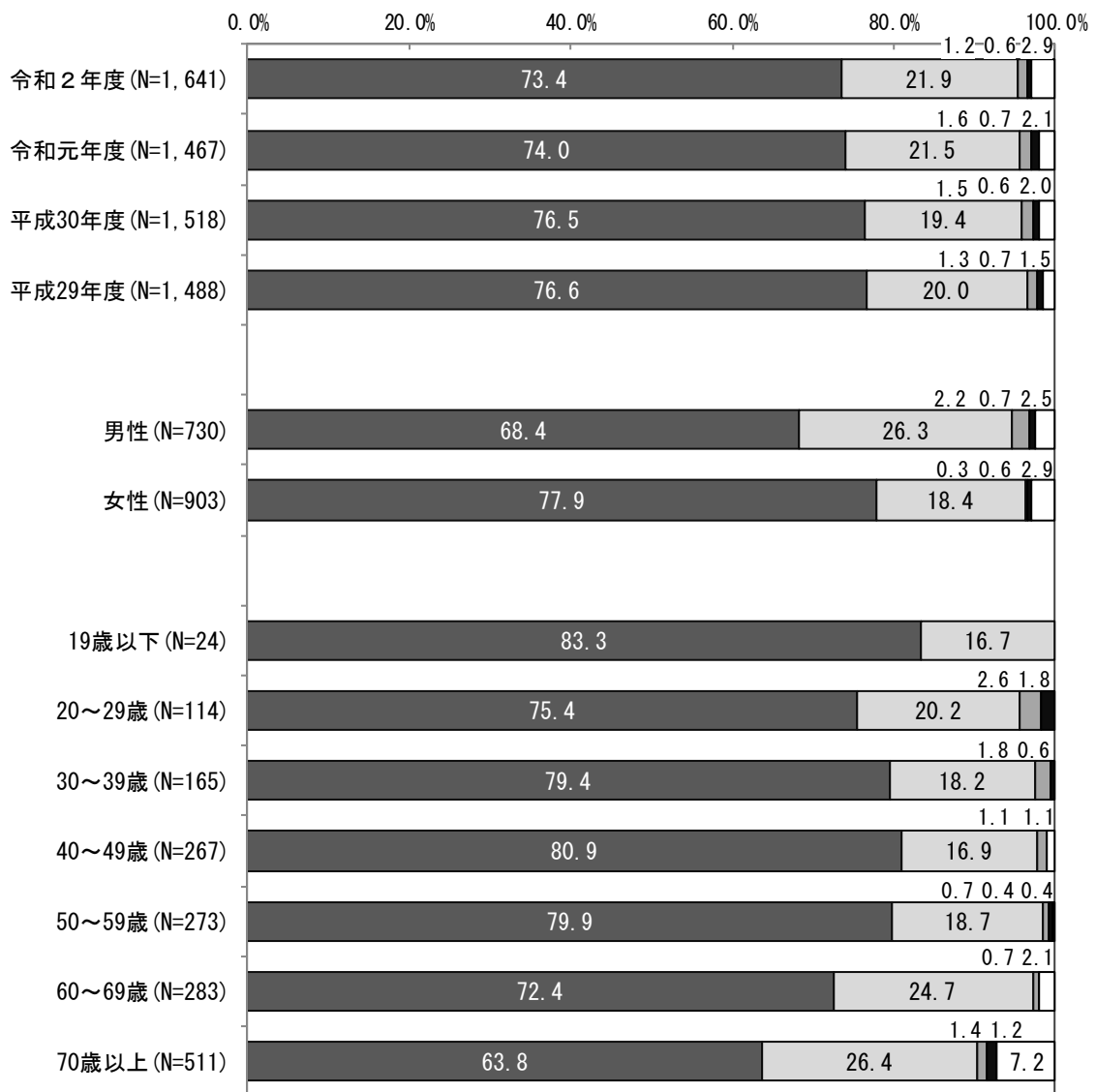
日常において、ごみやタバコなどマナー等の心がけをみると、「いつも心がけている」が73.4%と最も多く、次いで「心がけている」(21.9%)、「あまり心がけていない」(1.2%)などとなっている。“マナーを心がけている人”(「いつも心がけている」と「心がけている」の合計)は95.3%と9割を超えている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、「いつも心がけている」は『女性』(77.9%)は『男性』(68.4%)よりも多くなっている。

年齢別にみると、“マナーを心がけている人”は『19歳以下』を除いて、『50～59歳』(98.5%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 日常生活においてマナー等の心がけ



■いつも心がけている □心がけている □あまり心がけていない ■心がけていない □無回答

(15) 環境改善・保護のための行動 (問16)

問16 あなたは、環境の改善や保護のために何らかの行動(ごみの分別、買い物袋の持参、節水など)を行っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

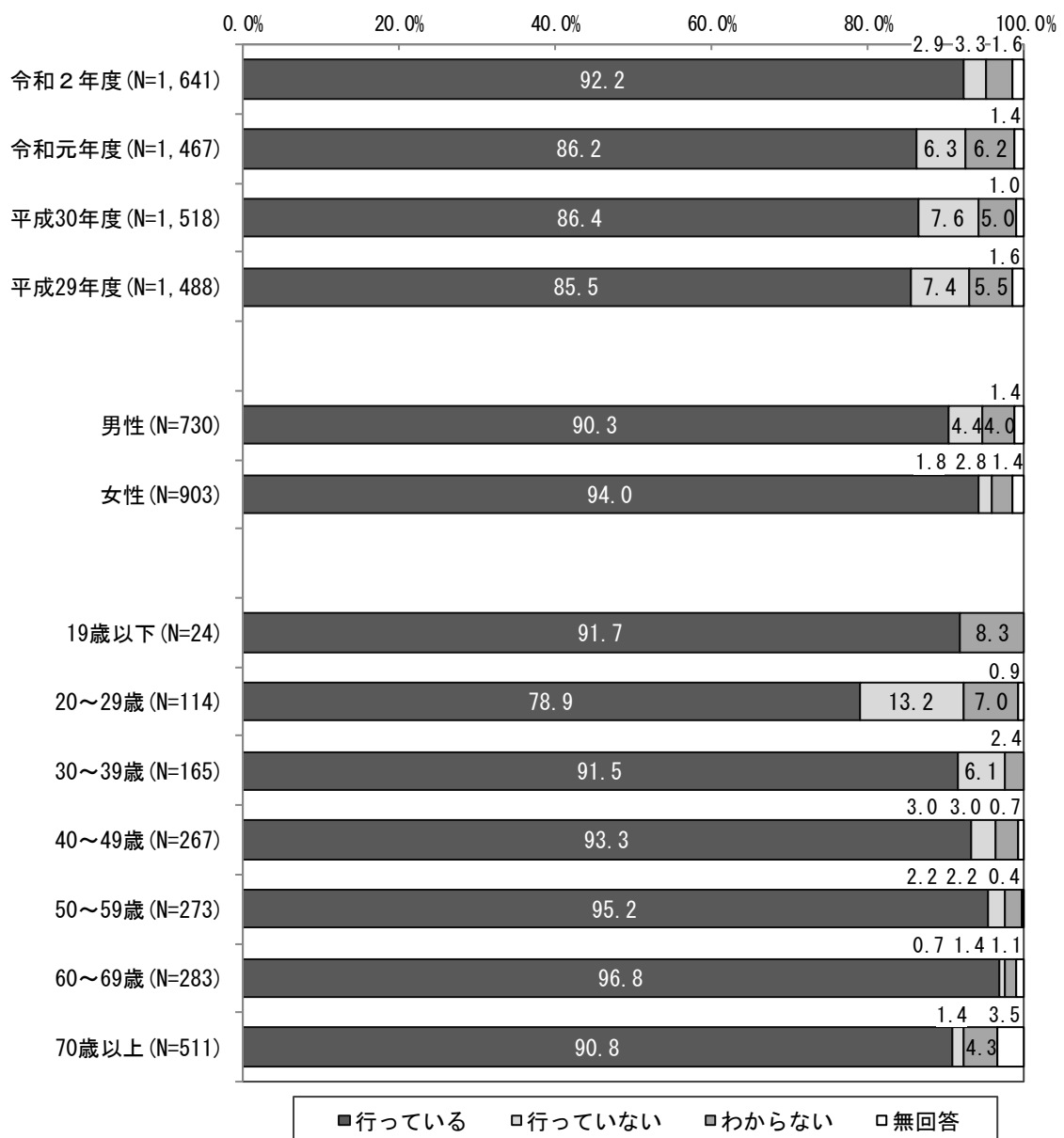
環境改善・保護のための行動を行っているかをみると、「行っている」が92.2%、「行っていない」が2.9%となっている。

年度別にみると、「行っている」が前年度に比べ増加している。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、「行っている」は『60～69歳』(96.8%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 環境改善・保護のための行動



(16) 地球温暖化防止に役立つ行動 (問 17)

問 17 あなたは、日常生活の中で、地球温暖化防止に役立つ行動(省エネ・節電など)をとるよう心がけていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

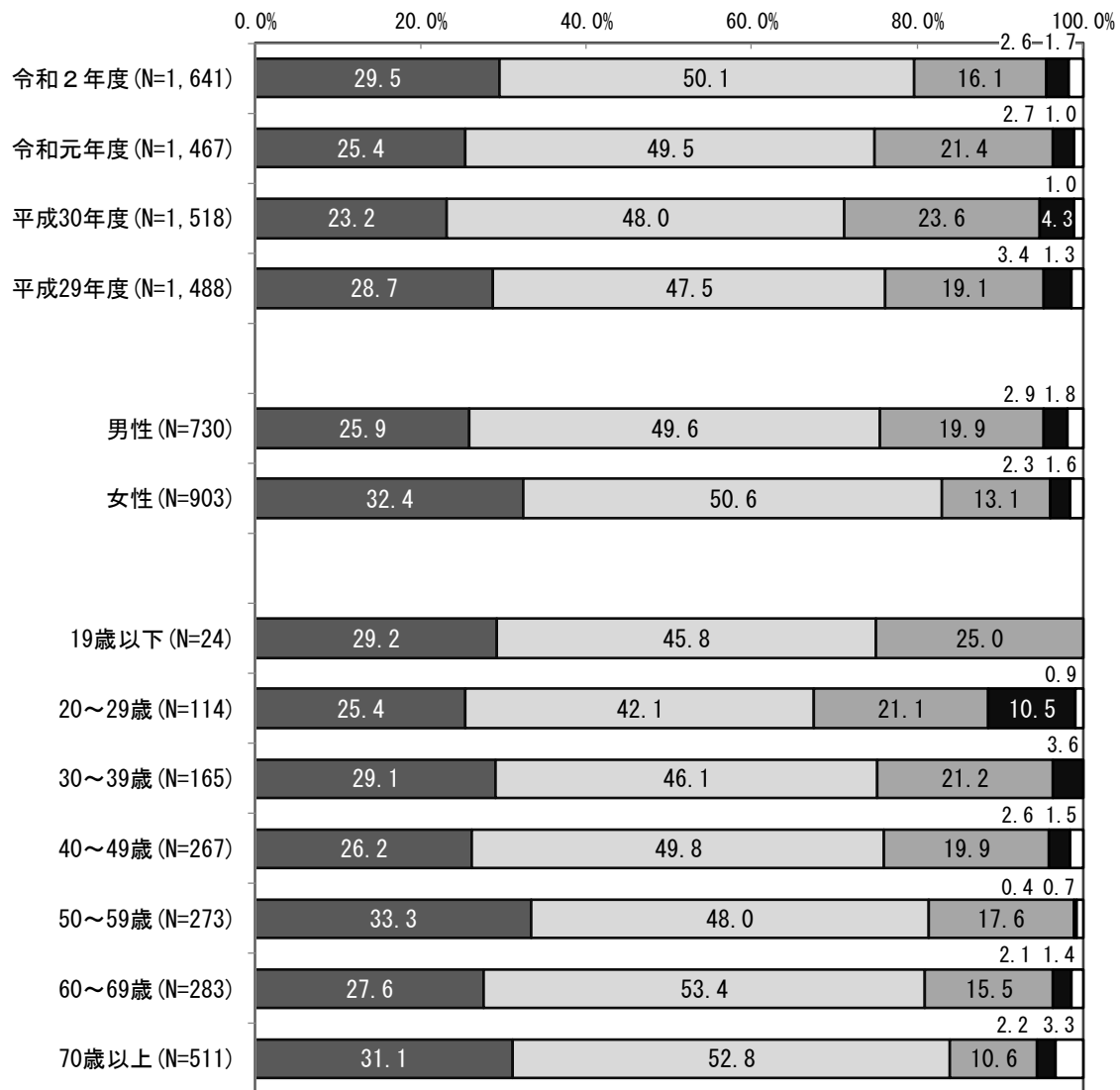
地球温暖化防止に役立つ行動をとるよう心がけているかをみると、「心がけている」が50.1%と最も多く、次いで「いつも心がけている」(29.5%)、「あまり心がけていない」(16.1%)となっている。“心がけている人”(「いつも心がけている」と「心がけている」の合計)は79.6%となっている。

年度別にみると、“心がけている人”は前年度に比べやや増加している。

性別にみると、“心がけている人”は『女性』(83.0%)は『男性』(75.5%)よりも多くなっている。

年齢別にみると、“心がけている人”は概ね年齢層が高いほど多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 地球温暖化防止に役立つ行動



■いつも心がけている □心がけている □あまり心がけていない ■心がけていない □無回答

(17) 差別のない社会の実現 (問 18)

問 18 あなたは、八尾市において、社会的身分、人種、民族、年齢、性別、障がいのあることなどによる差別がなくなったと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

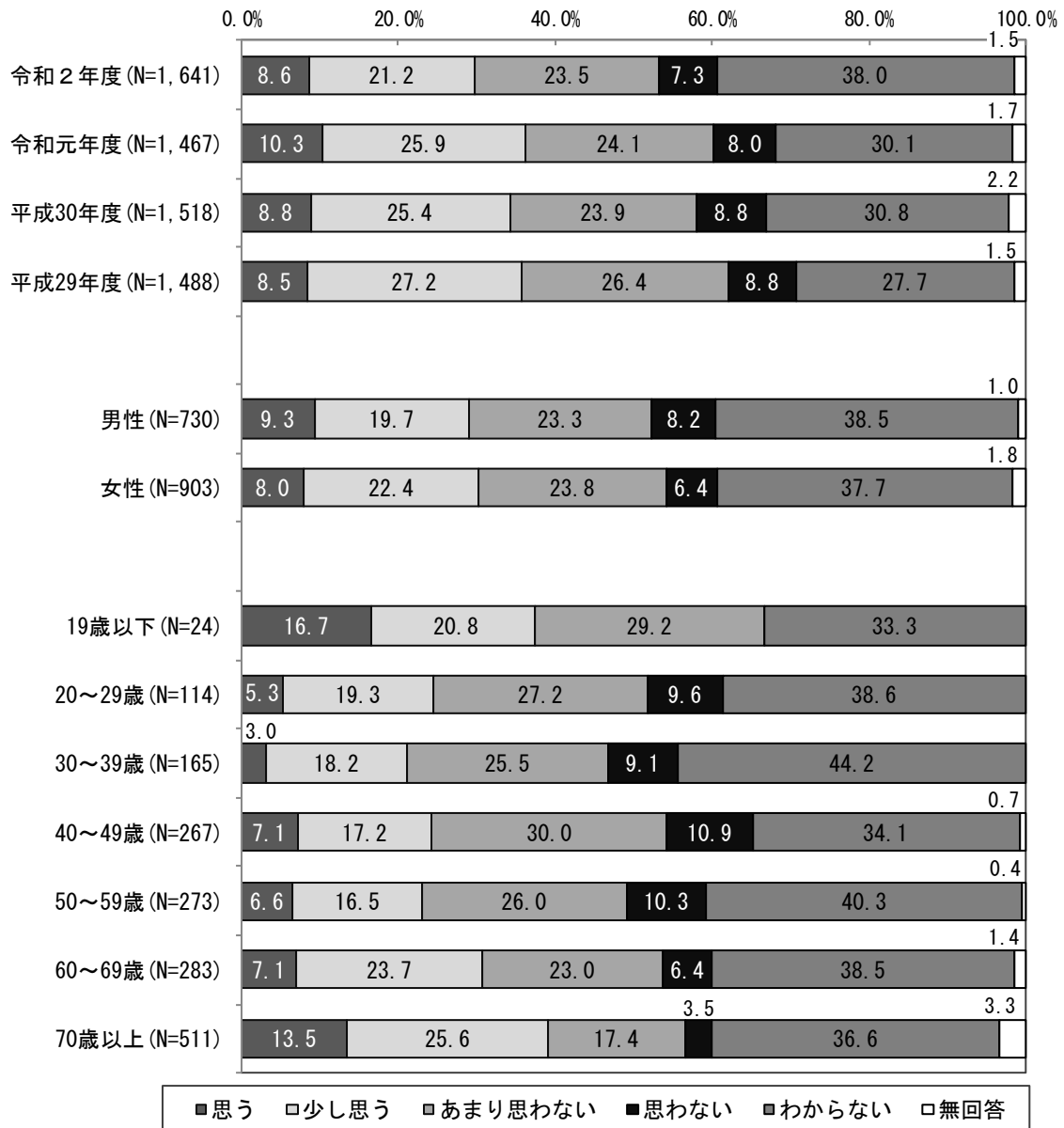
八尾市において差別がなくなったと思うかをみると、「わからない」が38.0%で最も多く、次いで「あまり思わない」(23.5%)、「少し思う」(21.2%)などとなっている。“差別がなくなったと思う人”(「思う」と「少し思う」の合計)は29.8%となっている。

年度別にみると、“差別がなくなったと思う人”は前年度に比べ減少している。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“差別がなくなったと思う人”は『70歳以上』(39.1%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 差別のない社会の実現



(18) 男女共同参画センターの認知度 (問 19)

問 19 男女共同参画を推進することを目的に、市民の交流、情報提供、学習および相談の場として、八尾市男女共同参画センター「すみれ」(生涯学習センター「かがやき」4階内)を設置しています。あなたは、八尾市男女共同参画センター「すみれ」を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

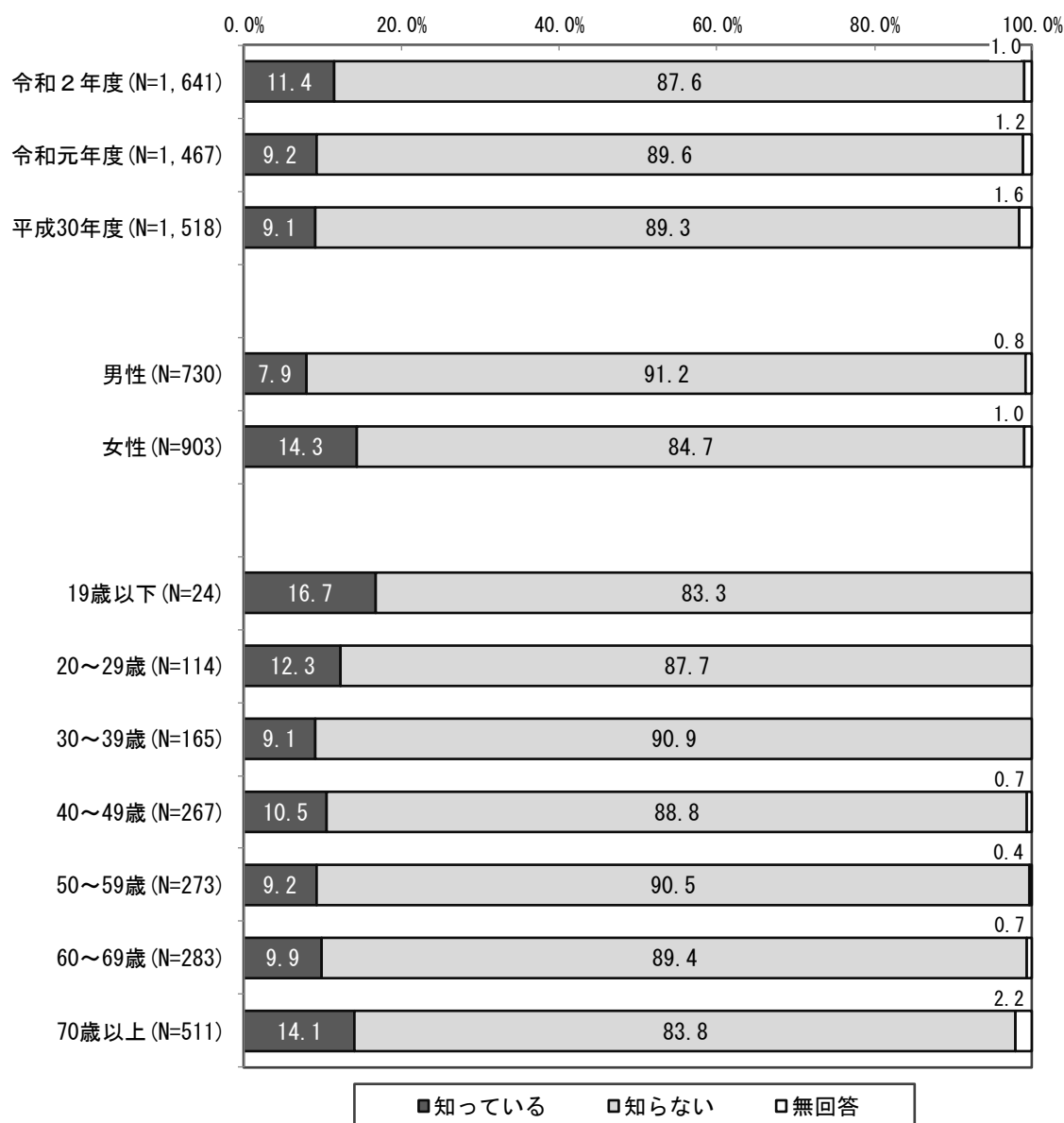
八尾市男女共同参画センター「すみれ」の認知度をみると、「知らない」が87.6%、「知っている」が11.4%となっている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、「知っている」が『女性』(14.3%)が『男性』(7.9%)よりも多くなっている。

年齢別にみると、「知っている」は『19歳以下』を除いて、『70歳以上』が14.1%と最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 男女共同参画センターの認知度



(19) 平和な社会の大切さ (問 20)

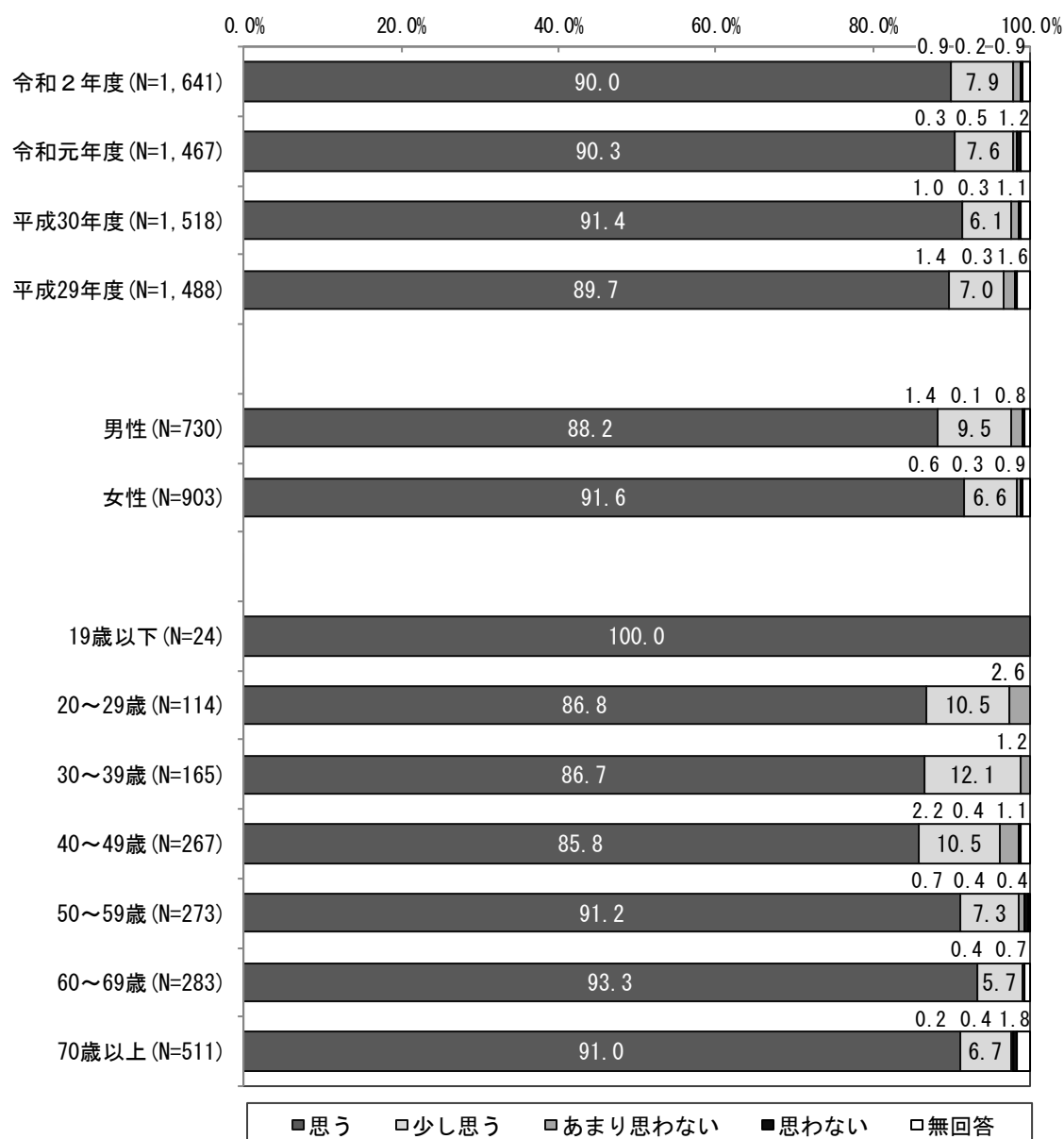
問 20 あなたは、平和な社会が大切だと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

平和な社会の大切さをみると、“大切と思う人”(「思う」と「少し思う」の合計)は97.9%となっている。年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、“大切と思う人”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“大切と思う人”はどの年齢層も9割を超えている。

図 年度別・性別・年齢別 平和な社会の大切さ



(20) 八尾の魅力について (問21)

問21 あなたは、八尾の魅力について尋ねられた時、答えることができますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

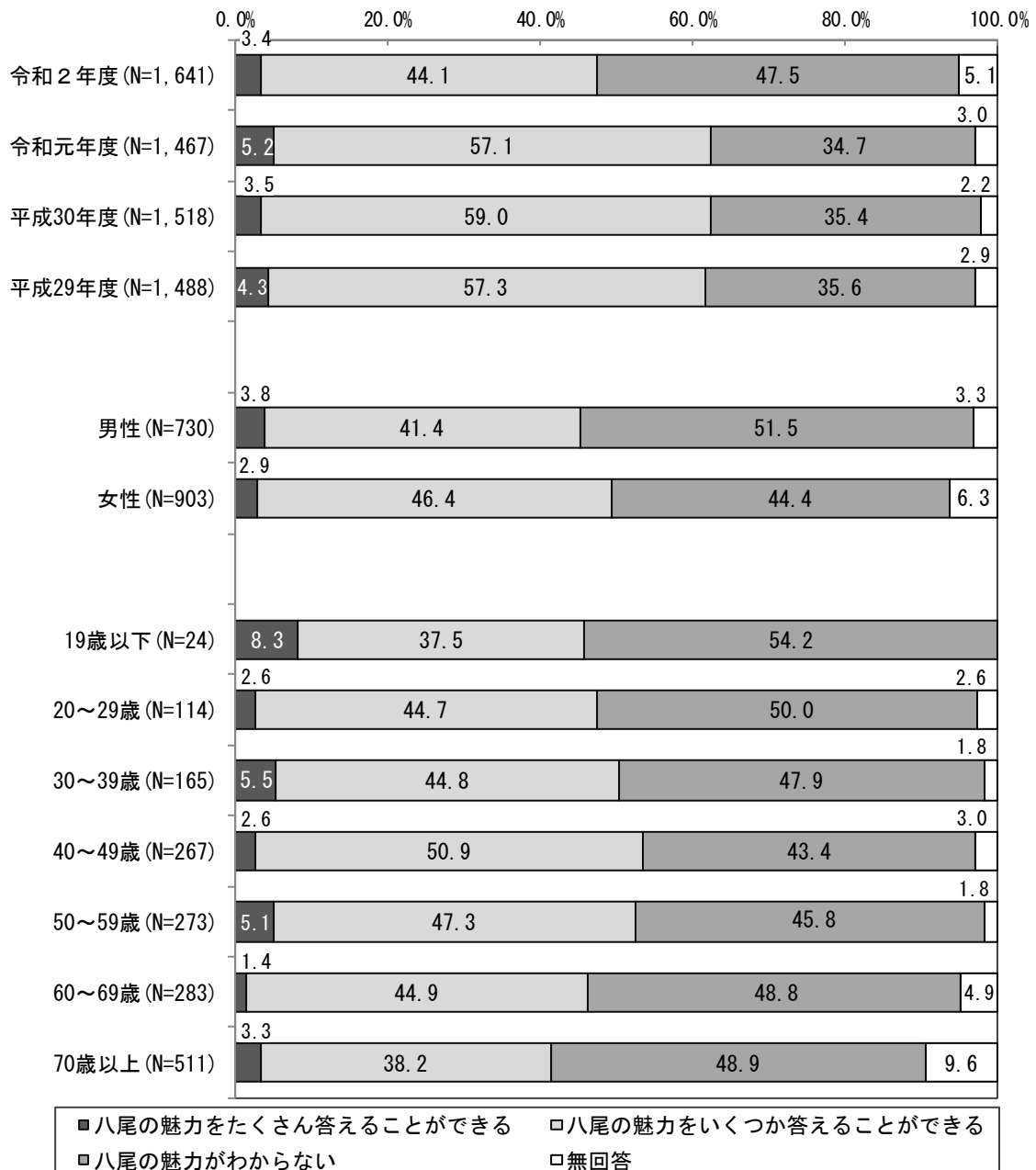
八尾の魅力を見ると、“八尾の魅力について答えることのできる人”(「八尾の魅力をたくさん答えることができる」と「八尾の魅力をいくつか答えることができる」の合計)は47.5%となっている。

年度別にみると、“八尾の魅力について答えることのできる人”は、前年度に比べ減少している。

性別にみると、“八尾の魅力について答えることのできる人”は、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“八尾の魅力について答えることのできる人”は『40～49歳』(53.5%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 八尾の魅力について



(2 1) 具体的な八尾の魅力 (問 21-1)

問 21-1 あなたが思う八尾の魅力をお聞かせください。(3点まで)

問21で「1. 八尾の魅力をたくさん答えることができる」または「2. 八尾の魅力をいくつか答えることができる」と回答した方に、八尾の魅力(3点まで)をきいたところ、1,614件の自由記述式回答をいただいた。

内容を分類別にみると、「住みやすさに関すること」が314件で最も多く、次いで「文化、スポーツに関すること」(293件)「自然・景観に関すること」(248件)などとなっている。

表 八尾の魅力(自由記述)

分類	件数
1 住みやすさに関すること	314
2 文化、スポーツに関すること	293
3 自然・景観に関すること	248
4 特産品に関すること	198
5 交通アクセスに関すること	184
6 周辺施設に関すること	138
7 土地柄に関すること	101
8 子どもに関すること	32
9 災害に関すること	25
10 医療、介護、福祉に関すること	25
11 安全に関すること	19
12 物価に関すること	19
13 市政に関すること	15
14 その他	3
集計	1,614

自由意見の内容について、分類ごとの意見数と意見項目の要旨をまとめたものを以下に示す。

1 住みやすさに関すること 314 件	件数
買い物などの移動や住むのに便利である	124
住みやすい	65
都市も自然もあり、住みやすい	58
静かな住宅地が多く、公共上下水道やごみ収集など住居環境がよい	36
のんびり、おおらかで住みやすい	16
坂が少なく、コンパクトなまちなので自転車でも移動しやすい	10
外国人に優しい取り組みが多く、外国人が住みやすい	5
2 文化、スポーツに関すること 293 件	件数
河内音頭が盛んである	125
歴史的魅力がある	100
祭りやイベント、行事、地域活動が盛んである	27
八尾市ゆかりの有名人がいる	20
下町らしさ、庶民的なところがある	11
河内文化がある	8
スポーツが盛んである	2
3 自然・景観に関すること 248 件	件数
自然が多い	106
山岳地があり眺望がよい（生駒山地、高安山など）	55
玉串川の桜や梅など花がきれいである	43
まちが美しく、景観がよい	22
公園が多い	15
川がきれいで、うるおいがある	7
4 特産品に関すること 198 件	件数
若ごぼう、枝豆等の特産物がある	148
地場産業、ものづくりが活発である	50
5 交通アクセスに関すること 184 件	件数
公共交通機関等の交通アクセスが良く、関西圏への移動がしやすい	173
市内のアクセスがよい	11

6 周辺施設に関すること 138 件	件数
大型商業施設がある	57
図書館や映画館など施設が充実している	19
美味しいお店がある	16
八尾空港がある	16
寺・神社が多い	14
駅周辺が便利でにぎやかである	12
プリズムホールがあり、吹奏楽が楽しめる	4
7 土地柄に関すること 101 件	件数
住民の人柄がよく、人情味がある	86
まちに魅力が多く、活気がある	11
地元愛が強い人が多い	4
8 子どもに関すること 32 件	件数
安心して子育てができる	25
教育環境がよい	4
子どもの医療費助成がある	3
9 災害に関すること 25 件	件数
自然災害が少ない	25
10 医療、介護、福祉に関すること 25 件	件数
病院（医療）、介護、福祉が充実している	25
11 安全に関すること 19 件	件数
治安がよく環境がよい	19
12 物価に関すること 19 件	件数
物価や土地、税金が安い	19
13 市政に関すること 15 件	件数
市政がよい	12
市役所の職員が親切	3

(22) 八尾の魅力を友人や知人にすすめたいかについて (問 22)

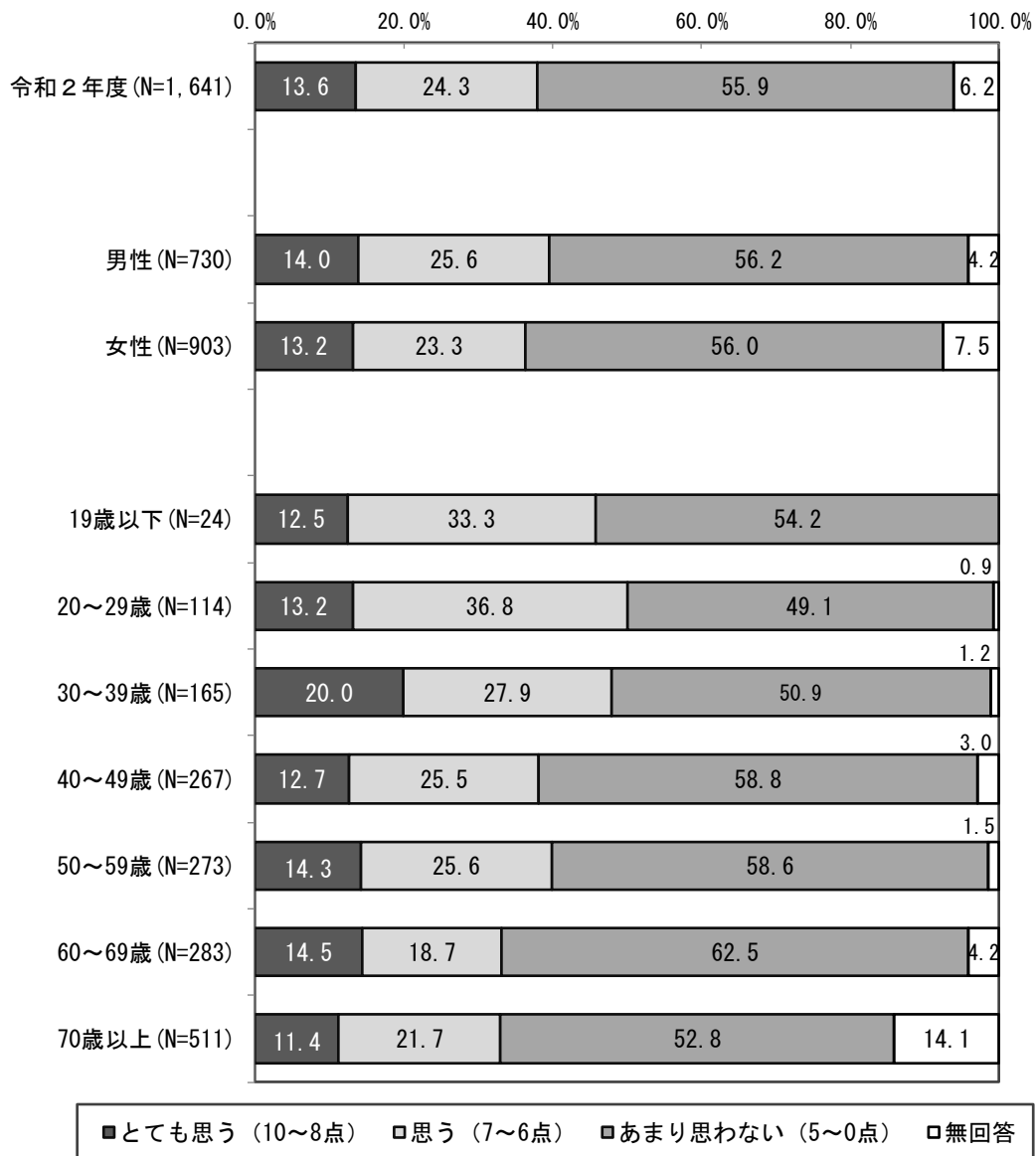
問 22 あなたは、八尾の魅力を友人や知り合いにどの程度すすめたいと思いますか。
 とてもすすめたい場合を 10 点、全くすすめたくない場合を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字 1 つに○をつけてください。

八尾の魅力を友人や知人にどの程度すすめたいか、とてもすすめたい場合を10点、全くすすめたくない場合を0点としてきいたところ、「とても思う(10～8点)」が13.6%、「思う(7～6点)」(24.3%)、「あまり思わない(5～0点)」(55.9%)となっている。“肯定的な意見”(「とても思う(10～8点)」と「思う(7～6点)」の合計)は37.9%となっている。

性別にみると、“肯定的な意見”は、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は概ね年齢が低いほど多くなっている。

図 性別・年齢別 八尾の魅力を友人や知り合いにすすめたい度合い



(23) 八尾をより良くするための活動にかかわりたいかについて (問 23)

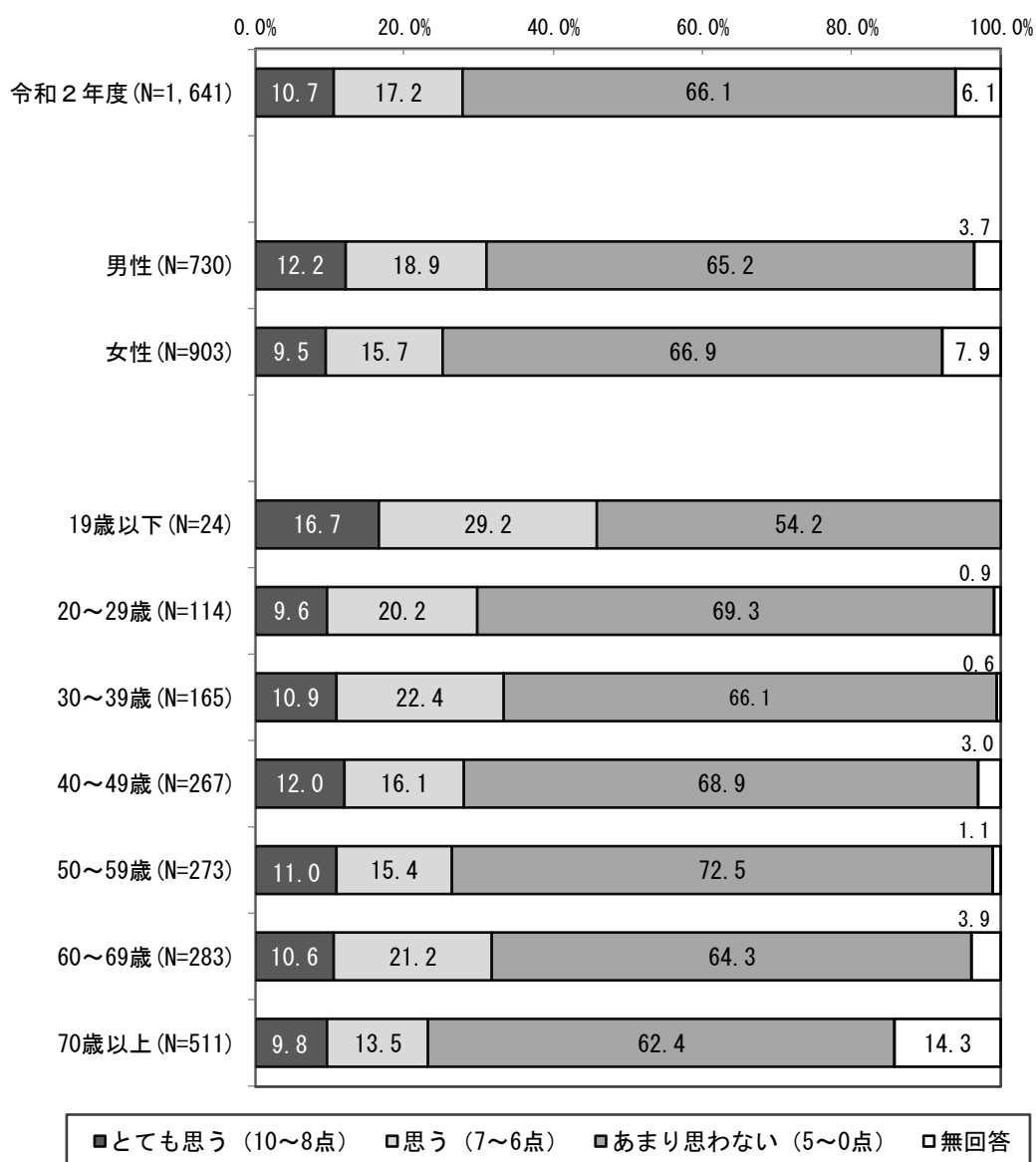
問 23 あなたは、八尾をより良くするための活動にどの程度関わりたいと思いますか。
 とても関わりたい場合を 10 点、全く関わりたい場合を 0 点とすると、何点くらいになると思いま
 すか。いずれかの数字 1 つに○をつけてください。

八尾をより良くするための活動にどの程度関わりたいか、とても関わりたい場合を10点、全く関わりたい場合を0点としてきいたところ、「とても思う(10～8点)」が10.7%、「思う(7～6点)」(17.2%)、「あまり思わない(5～0点)」(66.1%)となっている。“肯定的な意見”(「とてもそう思う(10～8点)」と「思う(7～6点)」の合計)は27.9%となっている。

性別にみると、“肯定的な意見”は、『男性』(31.1%)が『女性』(25.2%)に比べ多くなっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて、『30～39歳』(33.3%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 八尾をより良くするための活動に関わりたい度合い



(24) 八尾をより良くするための活動をしている人に対する感謝について (問 24)

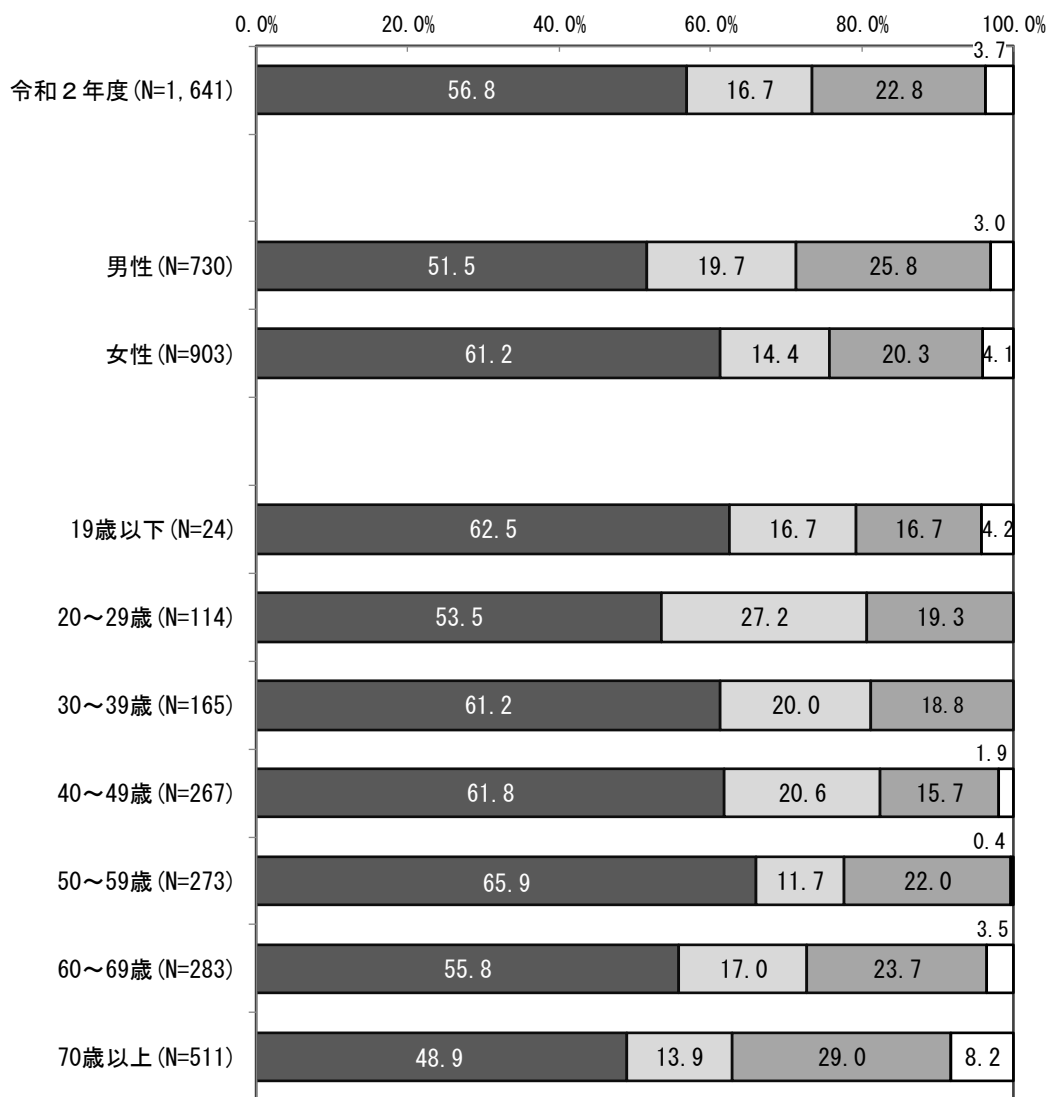
問 24 あなたは、八尾をより良くするために活動している人に対して、どの程度感謝したいですか。とても感謝したい場合を10点、全く感謝したくない場合を0点とすると、何点くらいになりますか。いずれかの数字1つに○をつけてください。

八尾をより良くするための活動をしている人に対して、どの程度感謝したいか、とても感謝したい場合を10点、全く感謝したくない場合を0点としてきいたところ、「とても思う(10～8点)」が56.8%、「思う(7～6点)」(16.7%)、「あまり思わない(5～0点)」(22.8%)となっている。“肯定的な意見”(「とても思う(10～8点)」と「思う(7～6点)」の合計)は73.5%となっている。

性別にみると、“肯定的な意見”は、ほぼ同じ傾向となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は、『40～49歳』(82.4%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 八尾をより良くするために活動している人に対する感謝の度合い



■とても思う (10～8点) □思う (7～6点) □あまり思わない (5～0点) □無回答

(25) 八尾河内音頭まつりについて (問 25)

問 25 久宝寺緑地で毎年開催されている八尾河内音頭まつりについて、あなたはどのようなプログラムや企画に魅力を感じますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

八尾河内音頭まつりについて、どのようなプログラムや企画に魅力を感じるかをみると、「河内音頭（盆踊り）」が34.4%と最も多く、次いで「グルメ」（24.6%）、「物産展」（23.1%）などとなっている。
性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

図 八尾河内音頭まつりについて(複数回答)

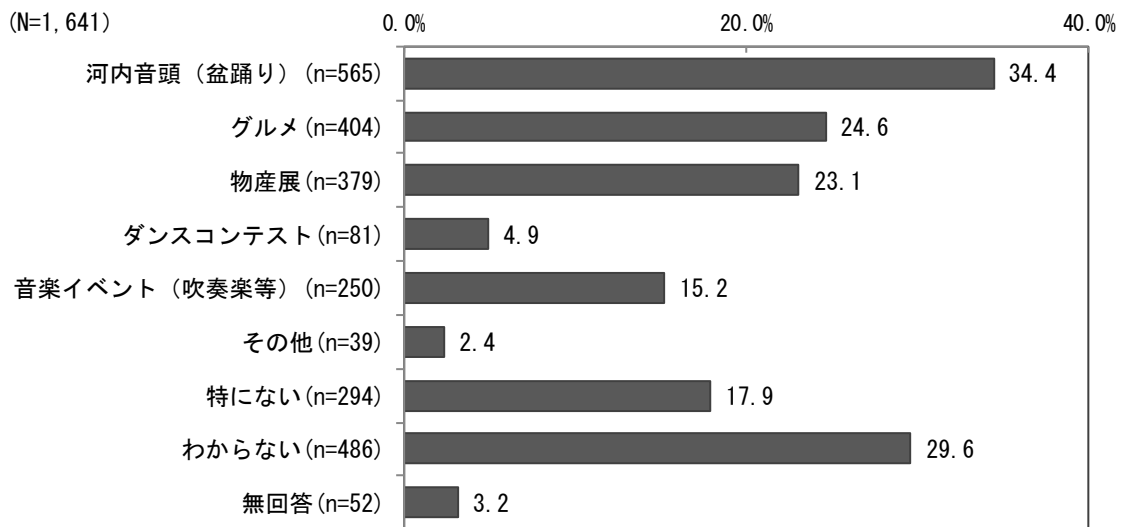
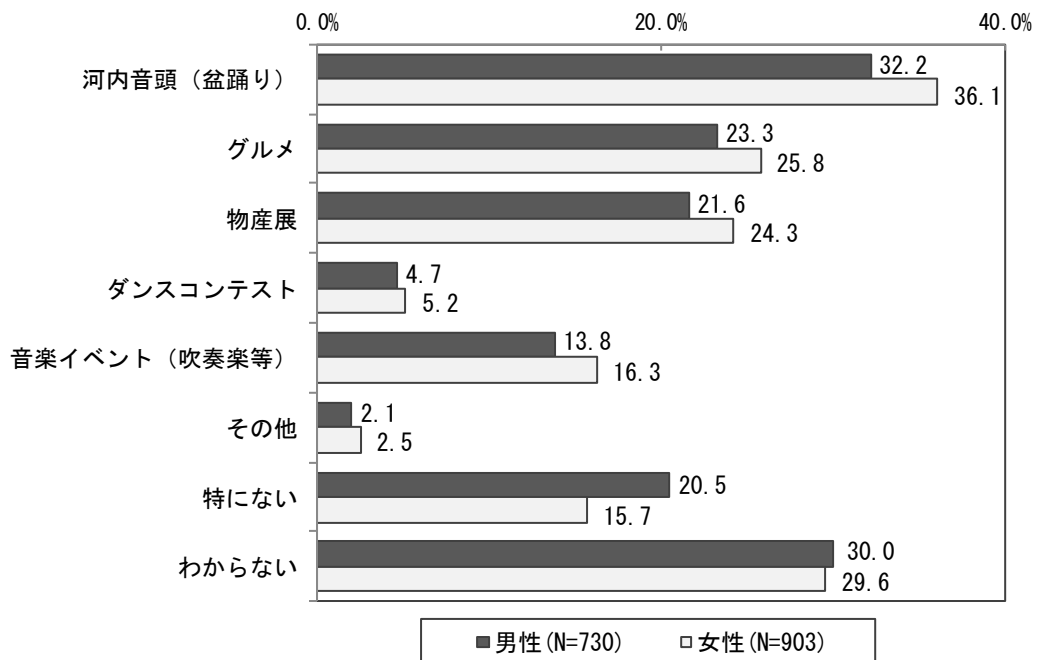
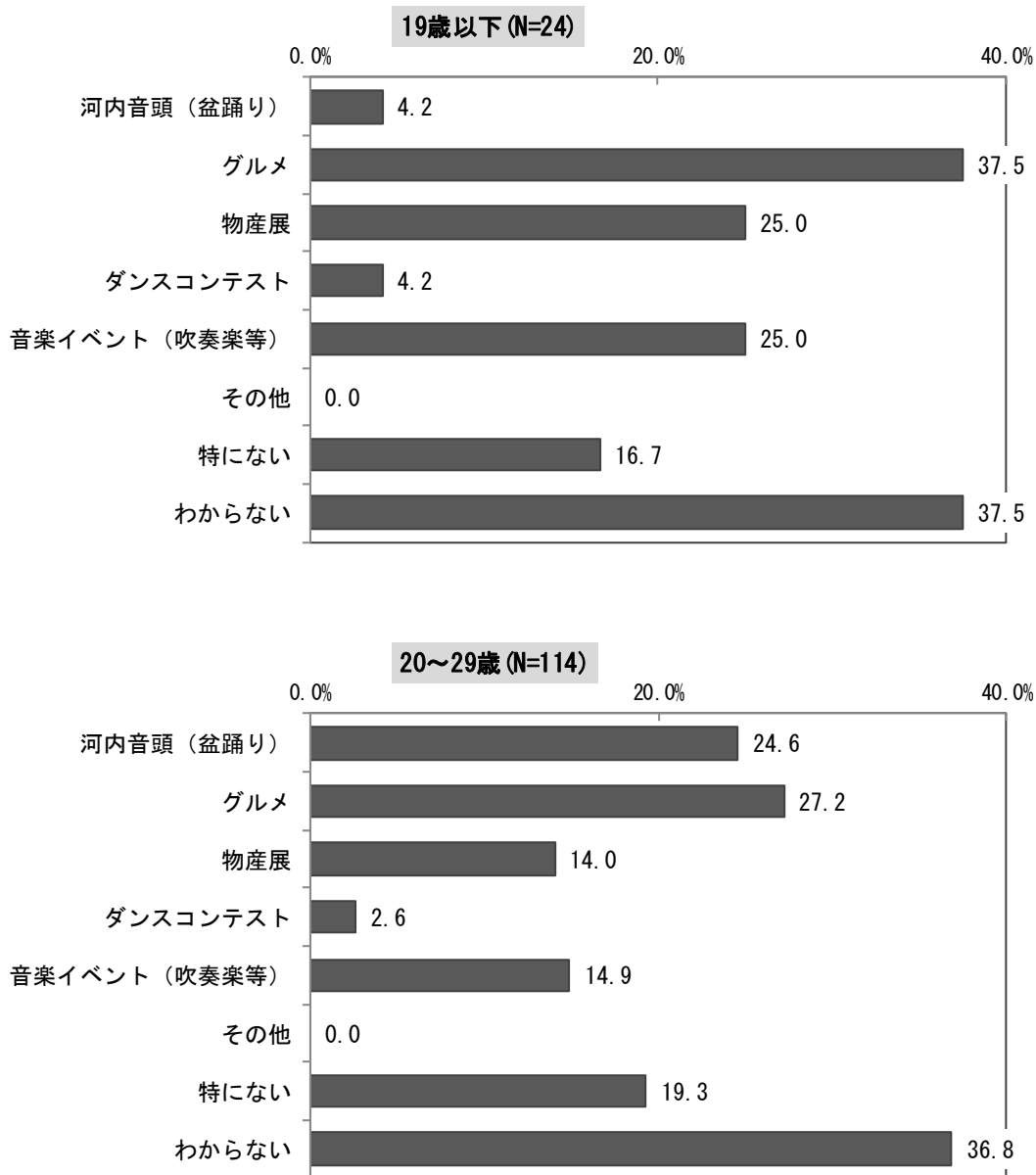


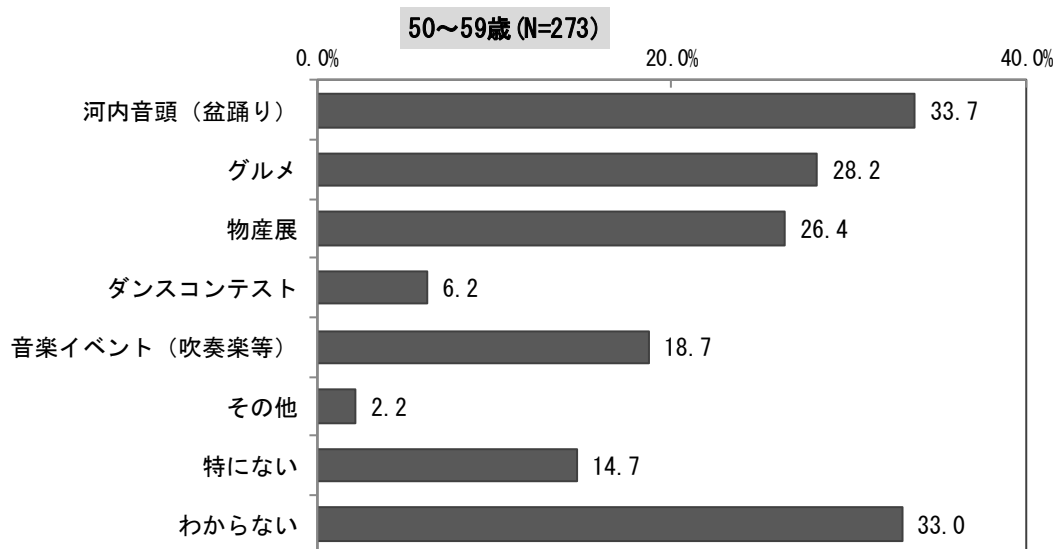
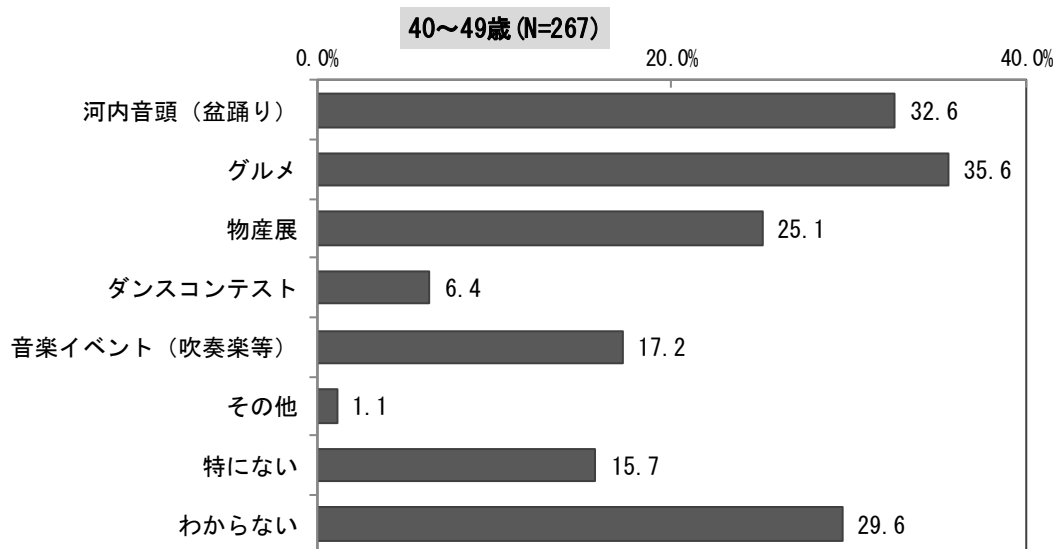
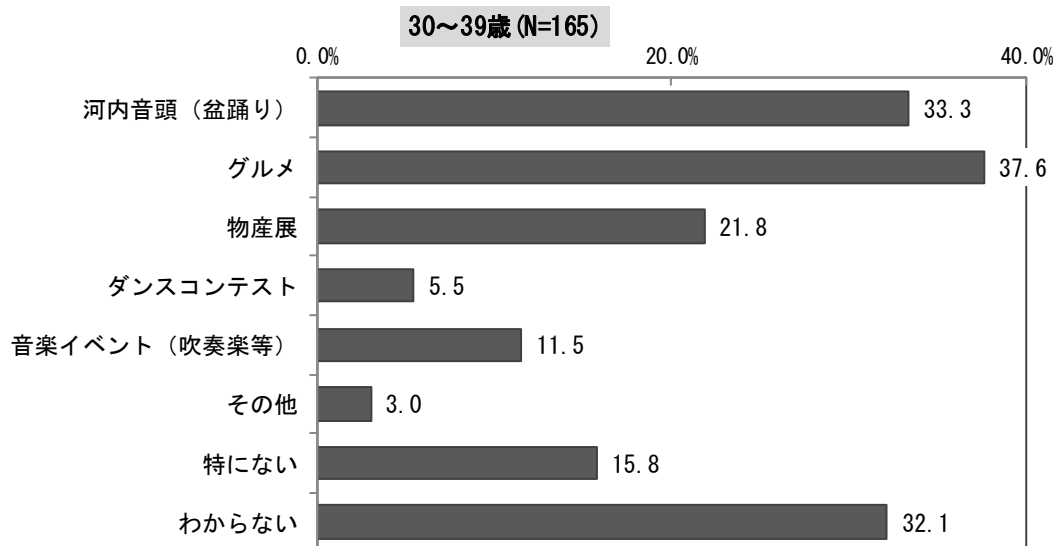
図 性別 八尾河内音頭まつりについて(複数回答)

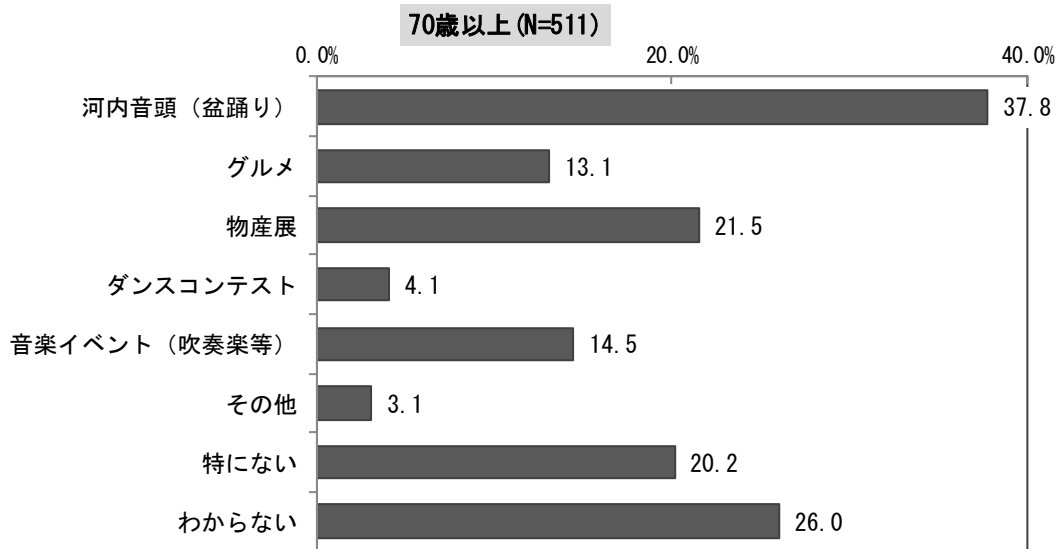
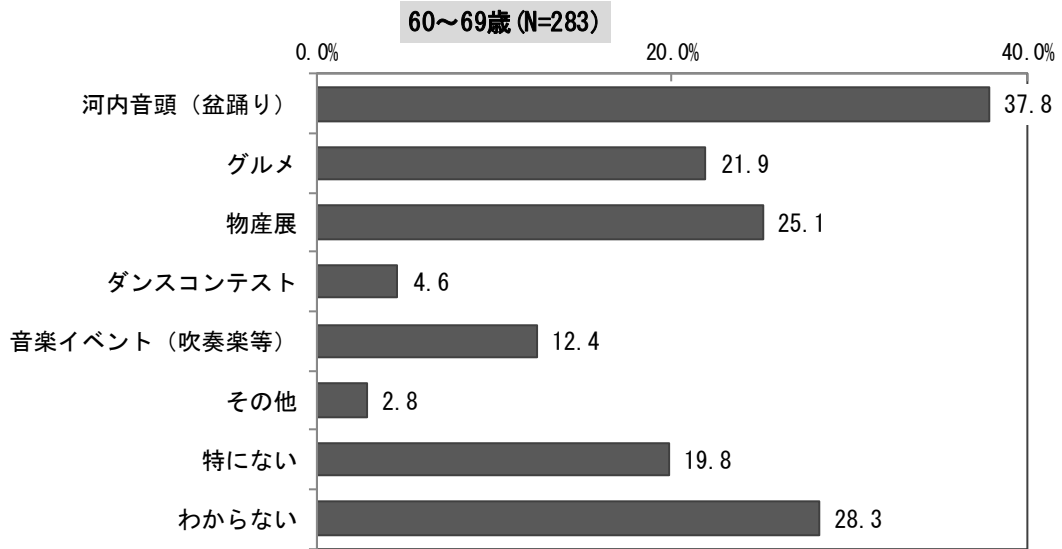


年齢別にみると、『19歳以下』では「グルメ」と「わからない」が、『20～29歳』は「わからない」が、『30～39歳』『40～49歳』は「グルメ」が、『50～59歳』以上は「河内音頭(盆踊り)」が最も多くなっている。

図 年齢別 八尾河内音頭まつりについて(複数回答)







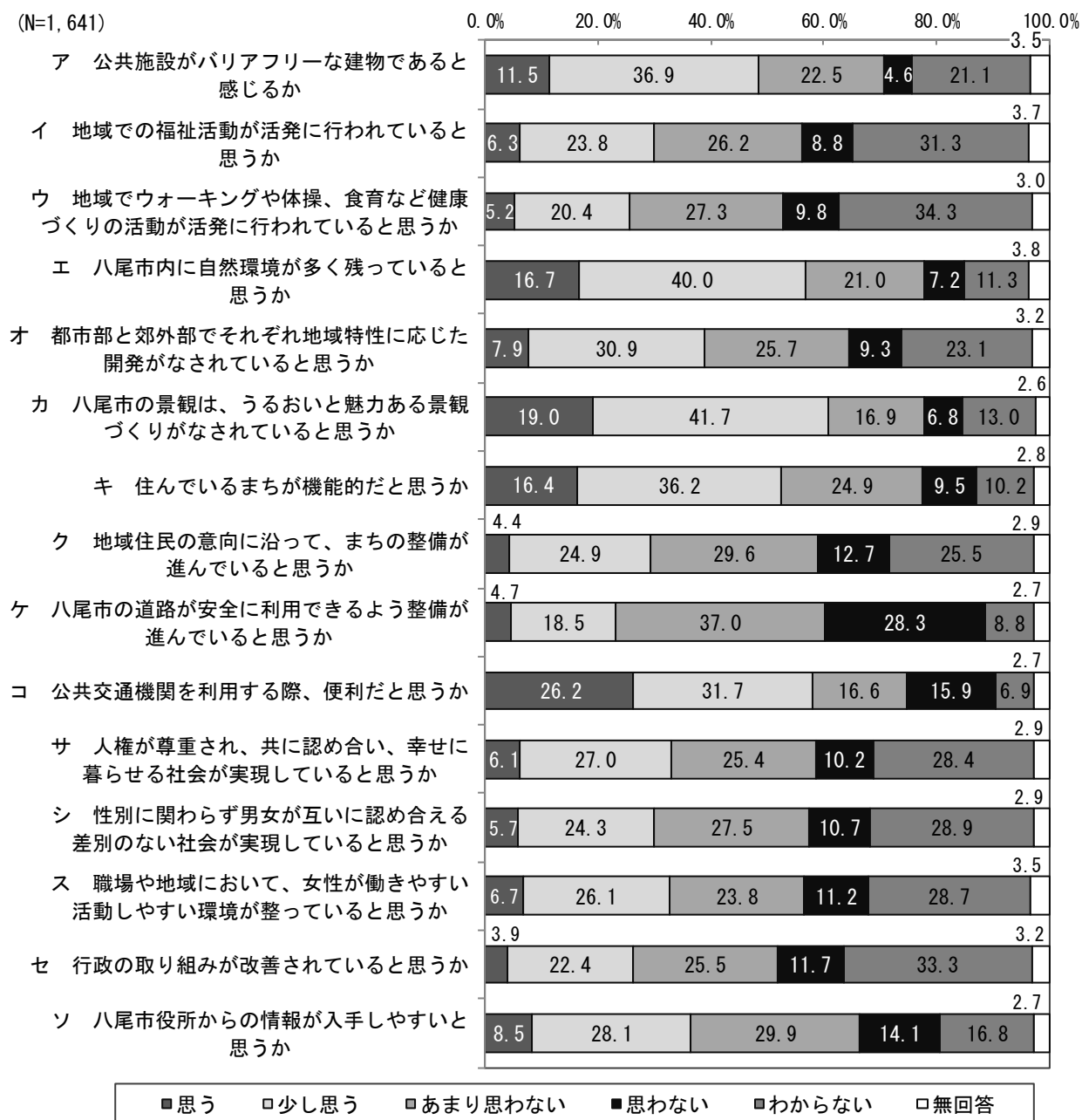
4 日ごろ感じていることについて

(1) 日ごろ感じていることについて (問 26)

問 26 あなたが、八尾市で生活する中で、次のことについて、どのように思われますか。ア～ソの項目ごとに、あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

日ごろ感じていることについて全体をみると、“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)は、「カ 八尾市の景観は、うるおいと魅力ある景観づくりがなされている」が60.7%で最も多く、次いで、「コ 公共交通機関を利用する際、便利」(57.9%)などとなっている。一方“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)は「ケ 八尾市の道路が安全に利用できるよう整備が進んでいる」が65.3%で最も多く、次いで、「ソ 八尾市役所からの情報が入手しやすい」(44.0%)などとなっている。

図 日ごろ感じていること



問 26 ア あなたは、公共施設を利用される際、誰もが利用しやすいバリアフリーな建物であると感じますか。

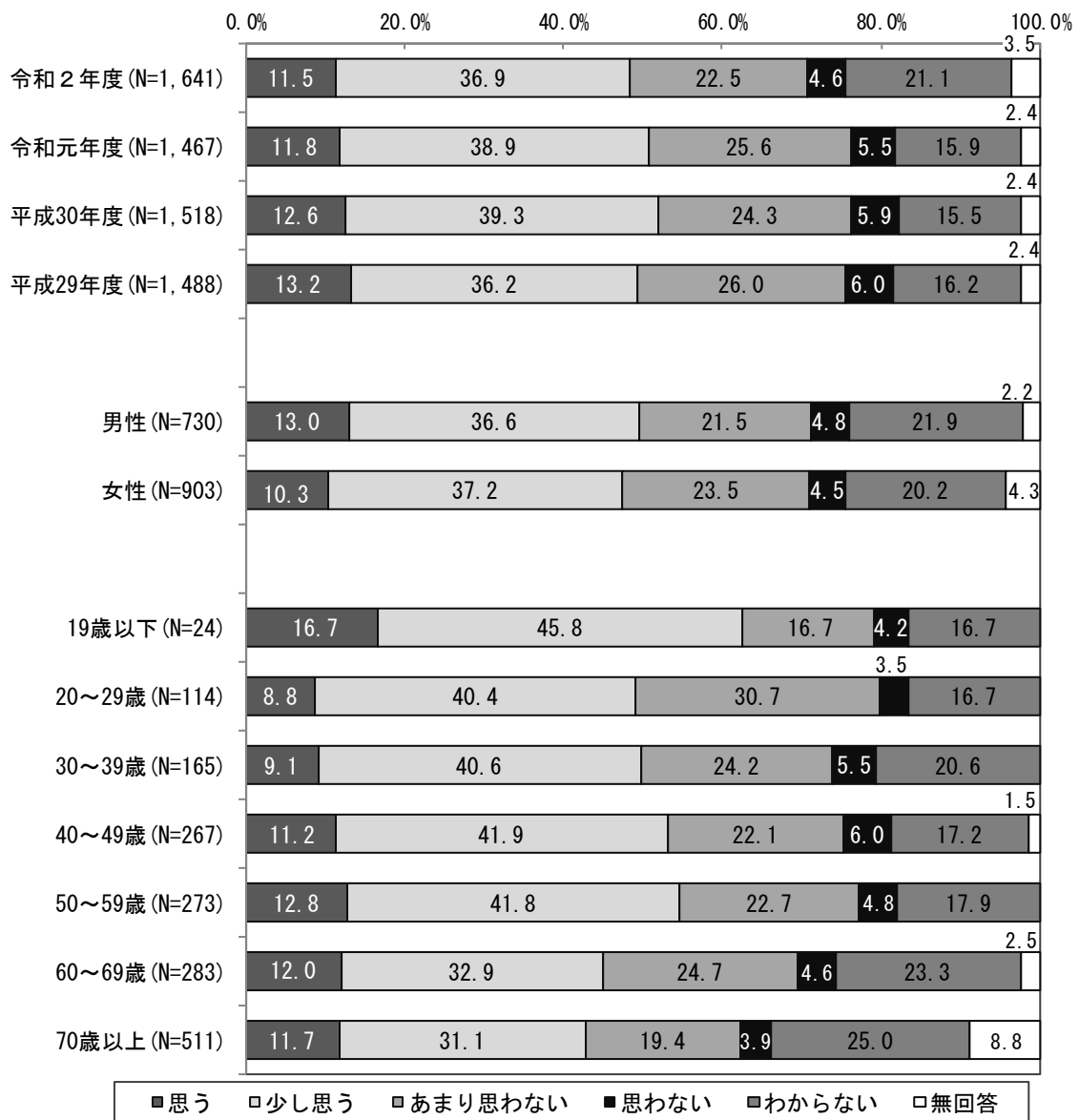
公共施設がバリアフリー化されているかについてみると、「少し思う」が36.9%と最も多く、次いで「あまり思わない」(22.5%)、「わからない」(21.1%)などとなっている。“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(48.4%)が“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(27.1%)を上回っている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて『50～59歳』(54.6%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ア 公共施設がバリアフリー化されているかの評価



問 26 イ あなたは、地域での福祉活動が活発に行われていると思いますか。

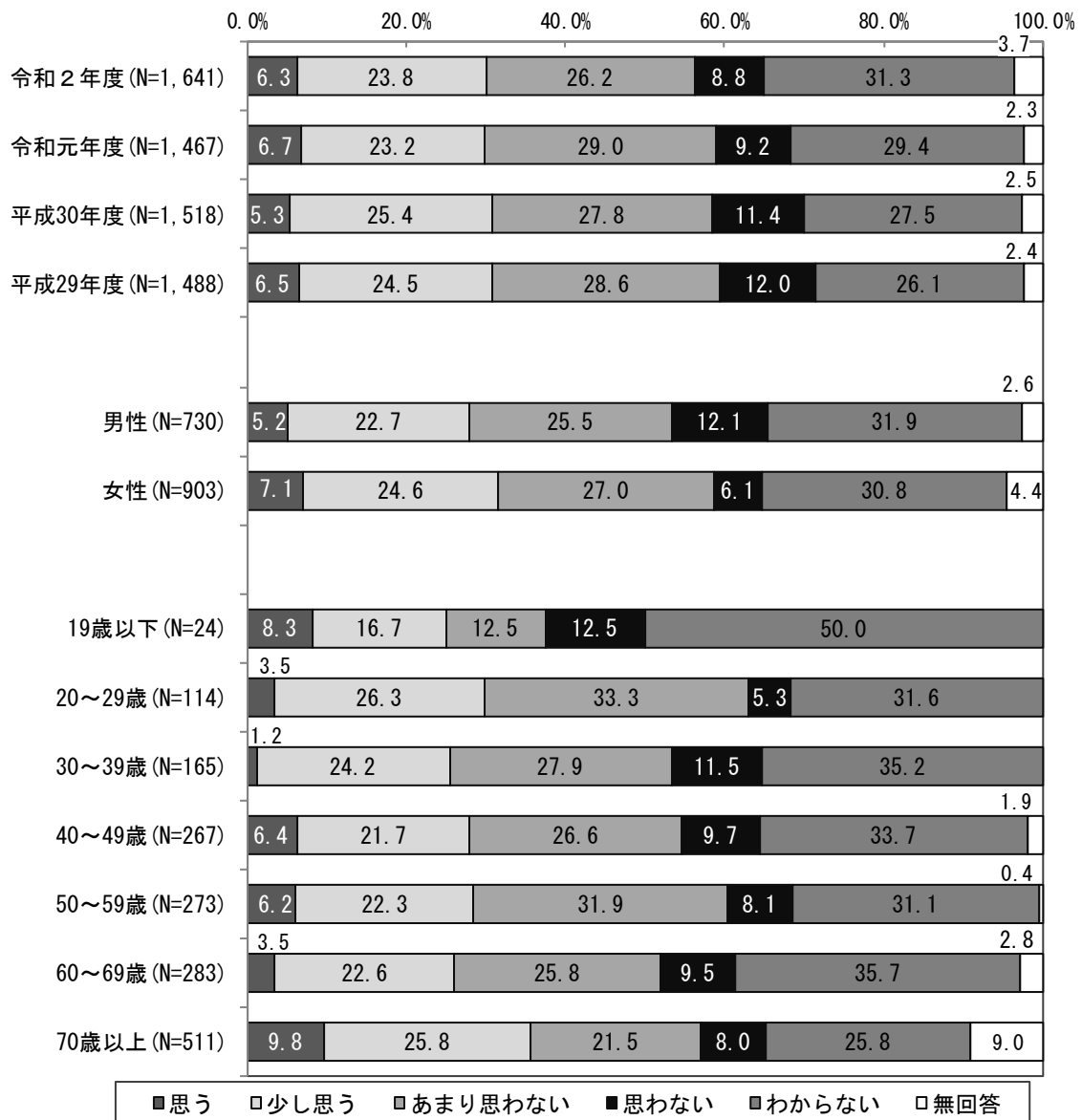
地域での福祉活動が活発に行われているかについてみると、「わからない」が31.3%と最も多く、次いで「あまり思わない」(26.2%)、「少し思う」(23.8%)などとなっている。“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(35.0%)が“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(30.1%)を上回っている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、「思わない」人の割合は『男性』(12.1%)が『女性』(6.1%)よりも多くなっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『70歳以上』(35.6%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 イ 地域での福祉活動が活発に行われているかの評価



問 26 ウ あなたは、地域でウォーキングや体操、食育など健康づくりのための活動が活発に行われていると思いますか。

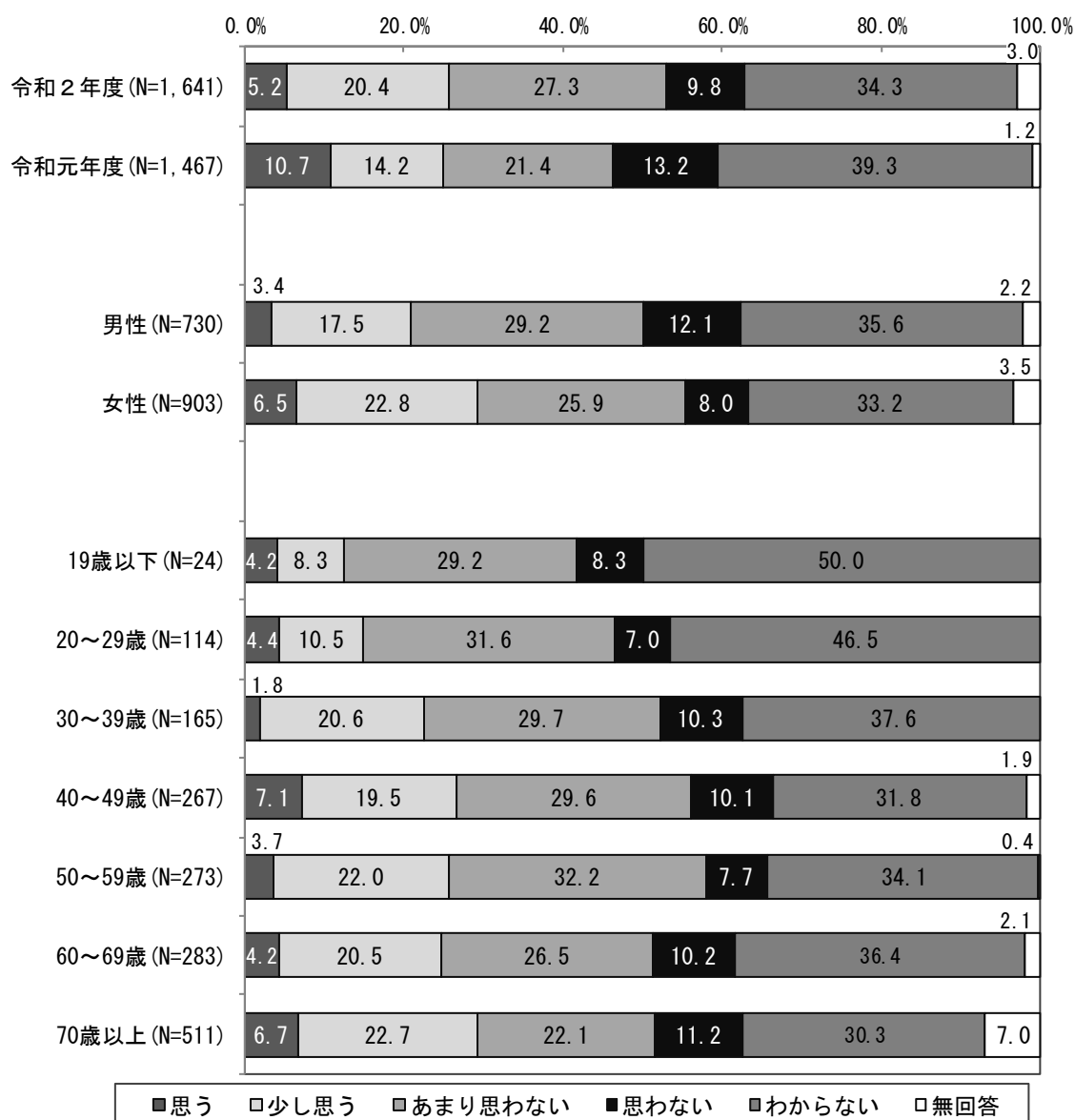
地域でウォーキングや体操、食育など健康づくりのための活動が活発に行われているかをみると、「わからない」が34.3%と最も多く、次いで「あまり思わない」(27.3%)、「少し思う」(20.4%)などとなっている。「活発に行われていると思わない人」(「あまり思わない」と「思わない」の合計)(37.1%)が「活発に行われていると思う人」(「思う」と「少し思う」の合計)(25.6%)を上回っている。

年度別にみると、「活発に行われていると思う人」はほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、「活発に行われていると思う人」は『女性』(29.3%)が『男性』(20.9%)よりも多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢層が高いほど「活発に行われていると思う人」が多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ウ 健康づくりのための活動の評価



問 26 エ あなたは、八尾市内に自然環境が多く残っていると思いますか。

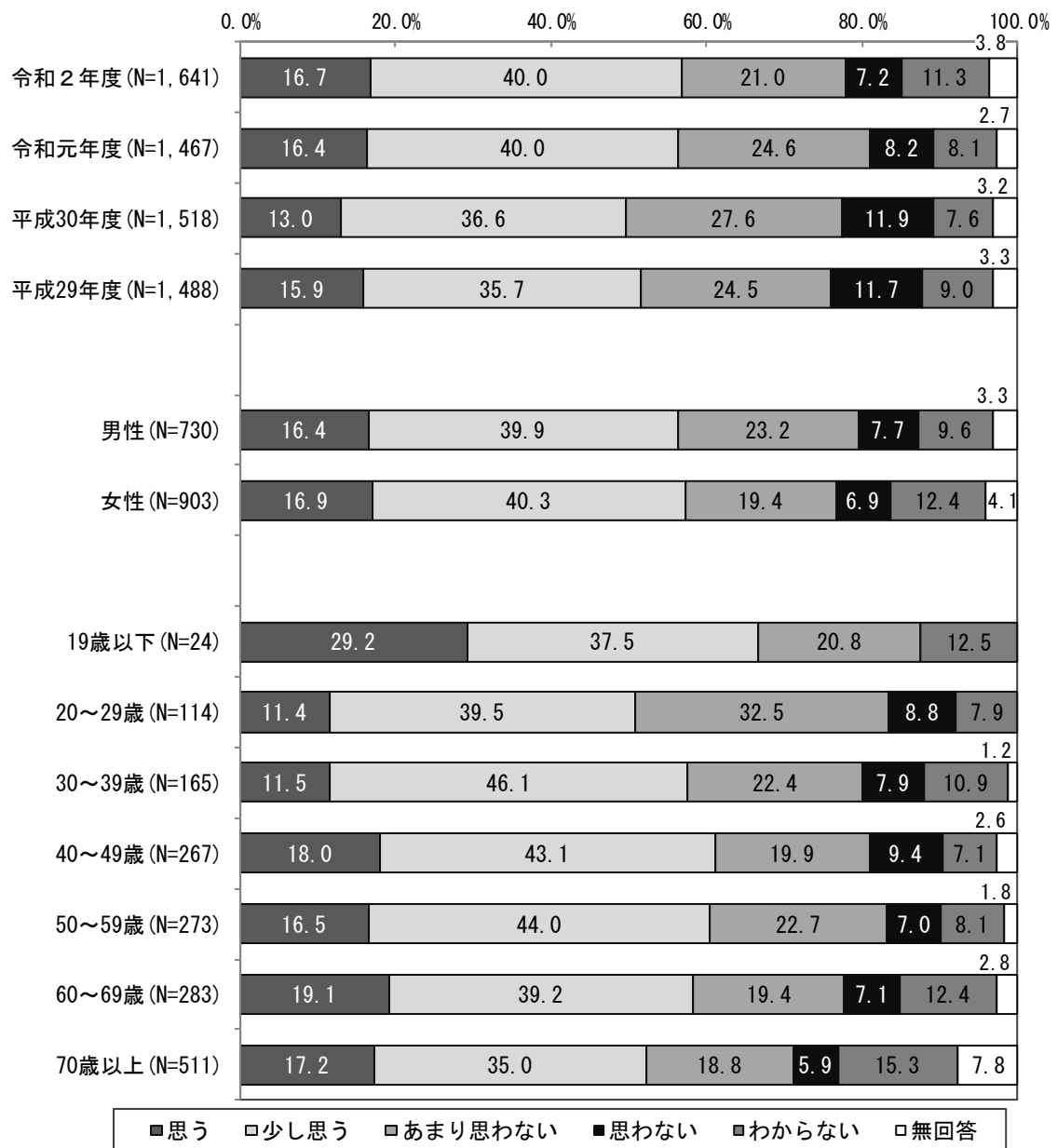
市内に自然環境が多く残っているかについてみると、「少し思う」が40.0%と最も多く、次いで「あまり思わない」(21.0%)、「思う」(16.7%)などとなっている。“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(56.7%)が“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(28.2%)を上回っている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて『40～49歳』(61.1%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 エ 市内での自然環境が多く残っているかの評価



問 26 オ 八尾市において、都市部ではそれぞれの地域特性に応じた住宅、工場、商店が立地し、郊外部では市街化が抑制され、自然環境の保全が図られていると思いますか。

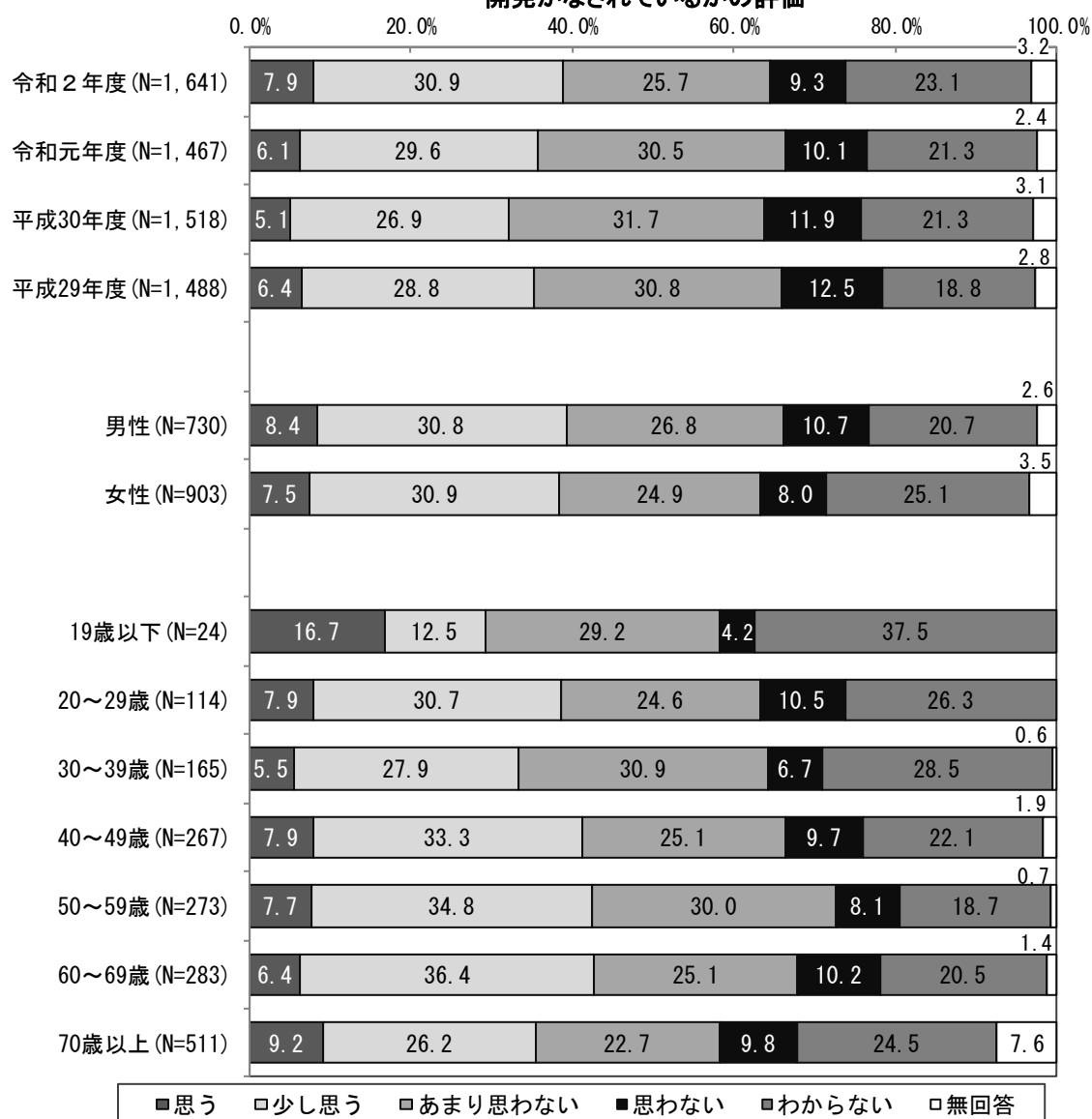
都市部と郊外部でそれぞれの特性に応じた開発がなされているかについてみると、「少し思う」が30.9%と最も多く、次いで「あまり思わない」(25.7%)、「わからない」(23.1%)などとなっている。“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)は38.8%となっている。

年度別にみると、“肯定的な意見”は前年度に比べやや増加している。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『60～69歳』(42.8%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 オ 都市部と郊外部でそれぞれ地域特性に応じた開発がなされているかの評価



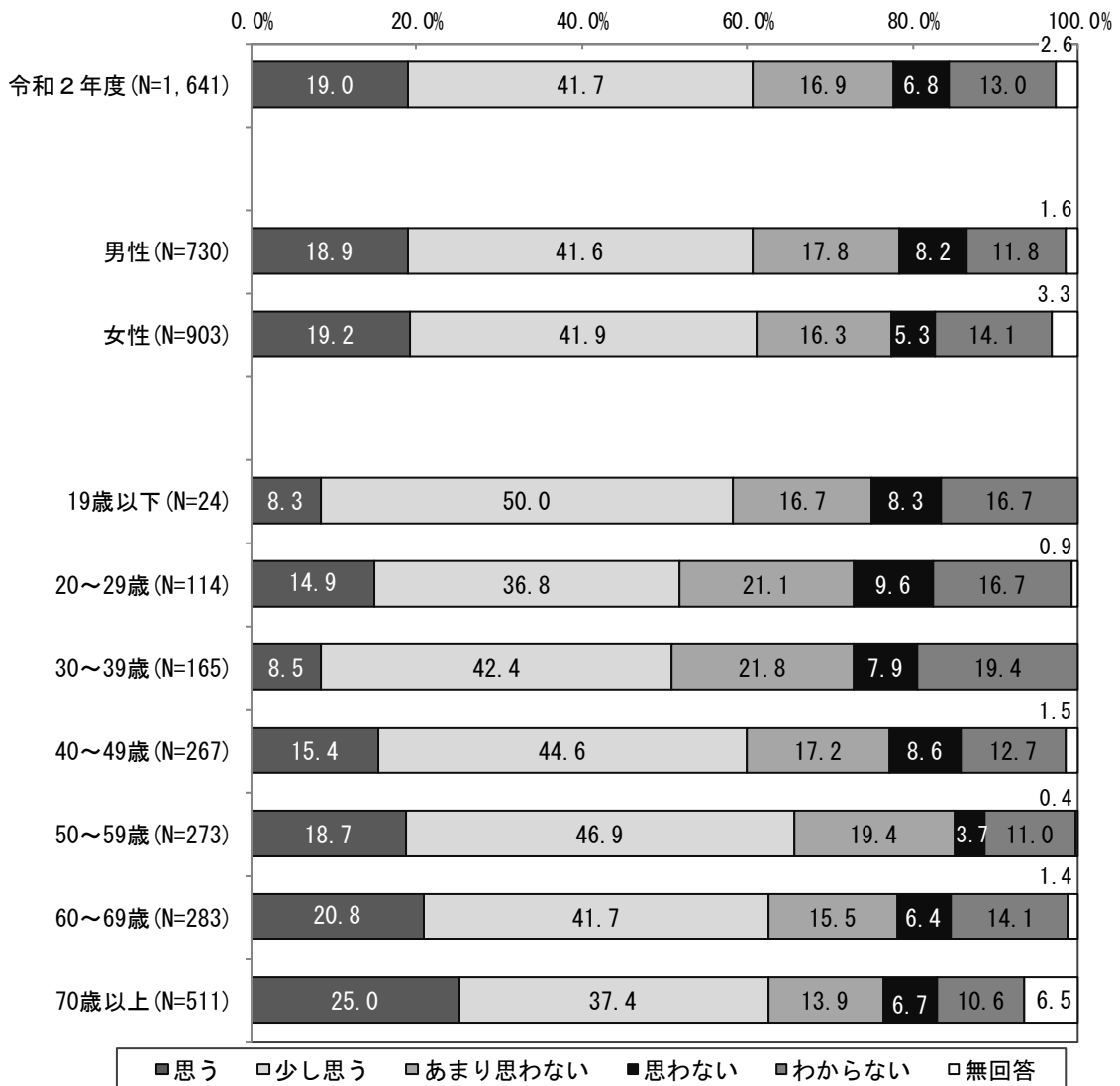
問 26 カ あなたは、八尾市の歴史的まちなみ景観や玉串川・長瀬川等の水路景観について、うるおいと魅力ある景観づくりがなされていると思いますか。

市内の景観について、良好な景観を形成しているかについてみると、「少し思う」が41.7%と最も多く、次いで「思う」(19.0%)、「あまり思わない」(16.9%)などとなっている。“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(60.7%)が“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(23.7%)を上回っている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『50～59歳』(65.6%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 カ 市内は良好な景観を形成しているかの評価



問 26 キ あなたは、住んでいるまちが機能的だと思いますか。

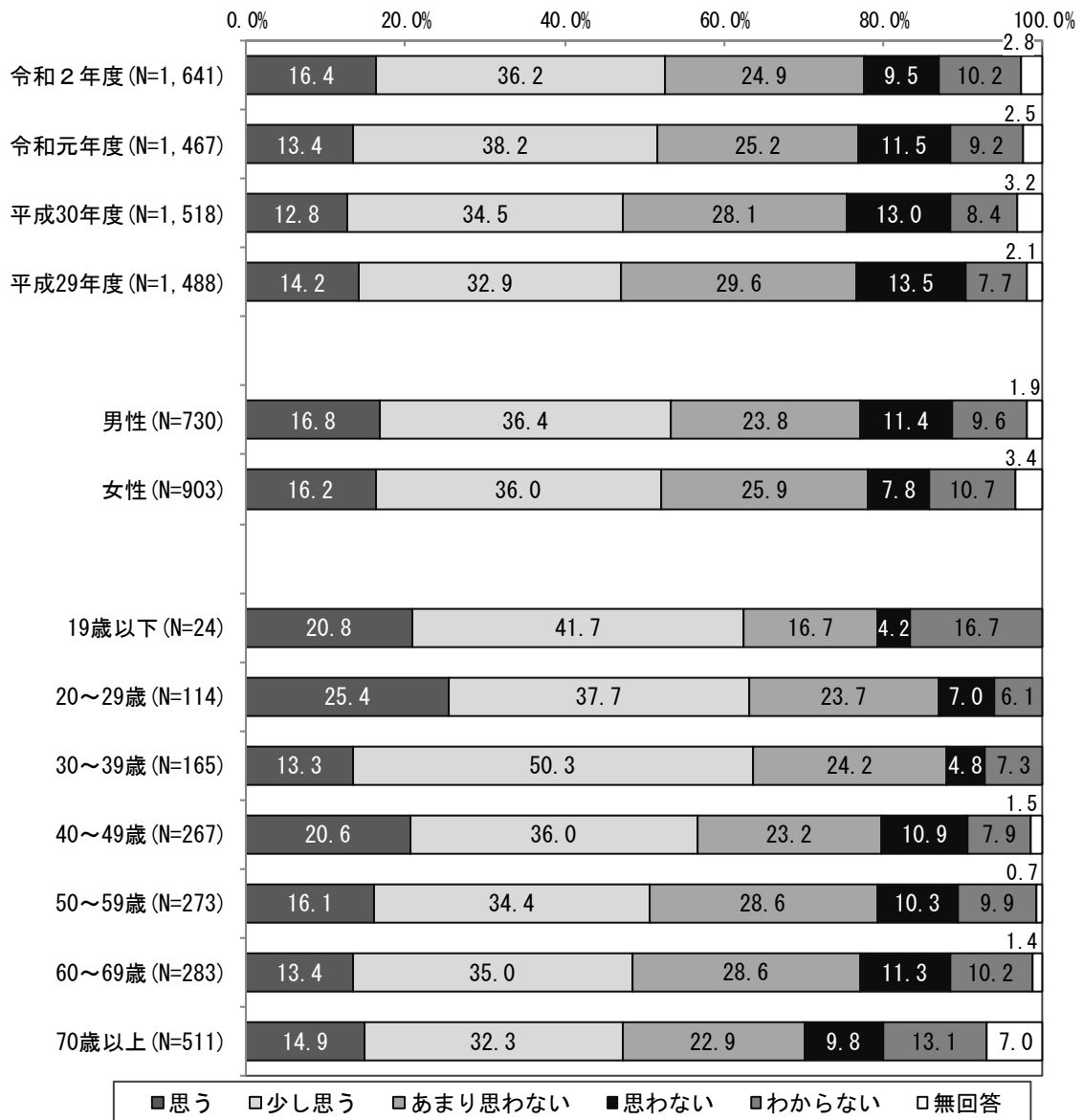
まちが機能的であるかについてみると、「少し思う」が36.2%と最も多く、次いで「あまり思わない」(24.9%)、「思う」(16.4%)などとなっている。“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(52.6%)が“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(34.4%)を上回っている。

年度別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は、概ね年齢層が高いほど少なくなっている。

図 年度別・性別・年齢別 キ まちが機能的であるかの評価



問 26 ク あなたは、あなたのお住まいの地域のみなさんが考えている方向で、まちの整備が進んでいると思いますか。

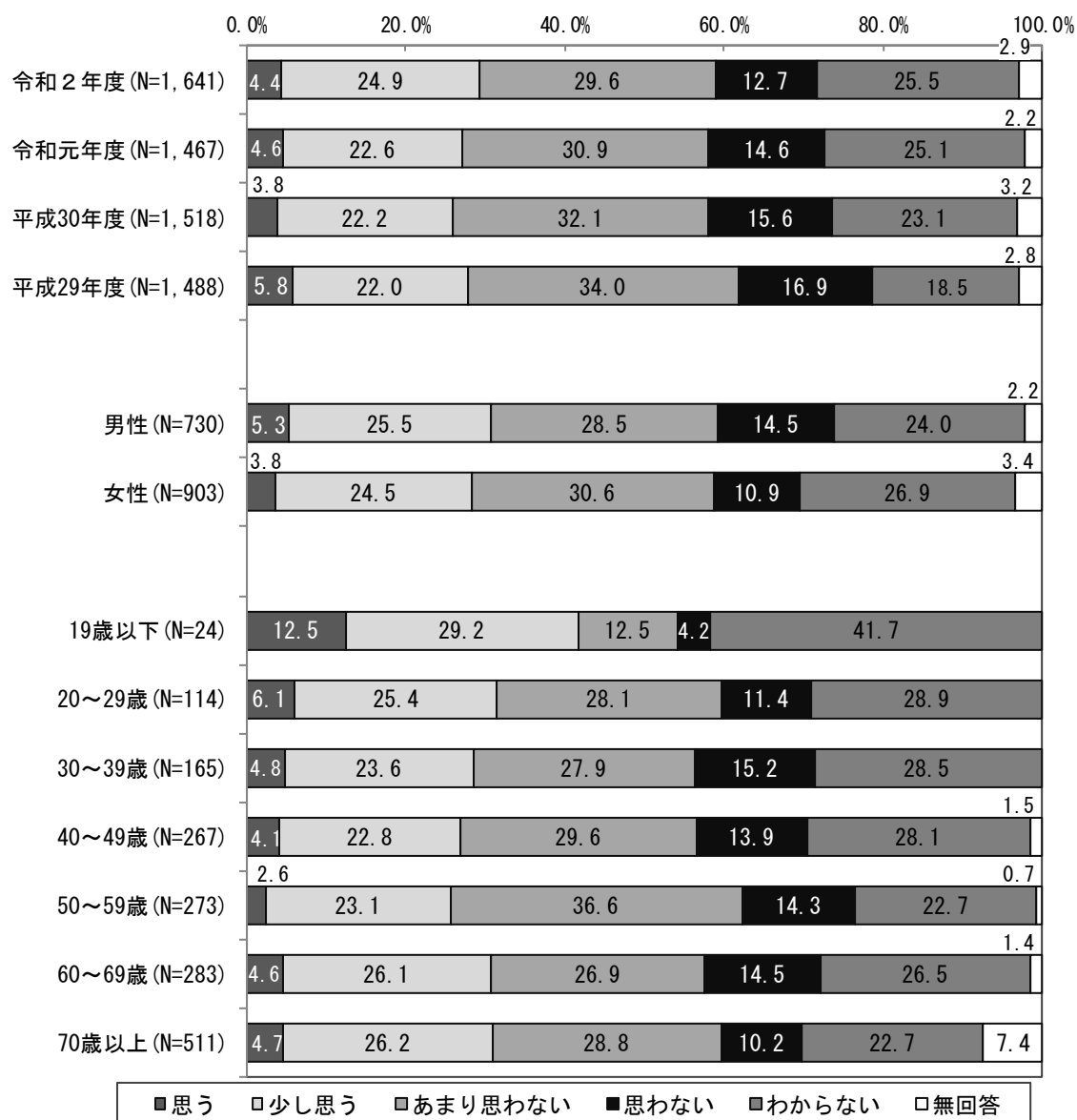
まちの整備が地域住民の意向に沿っているかについてみると、「あまり思わない」が29.6%と最も多く、次いで「わからない」(25.5%)、「少し思う」(24.9%)などとなっている。“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(42.3%)が“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(29.3%)を上回っている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて『20～29歳』(31.5%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ク まちの整備が地域住民の意向に沿っているかの評価



問 26 ケ あなたは、八尾市内の道路が歩行者にも運転者にも、安全に利用できるように整備が進んでいると思いますか。

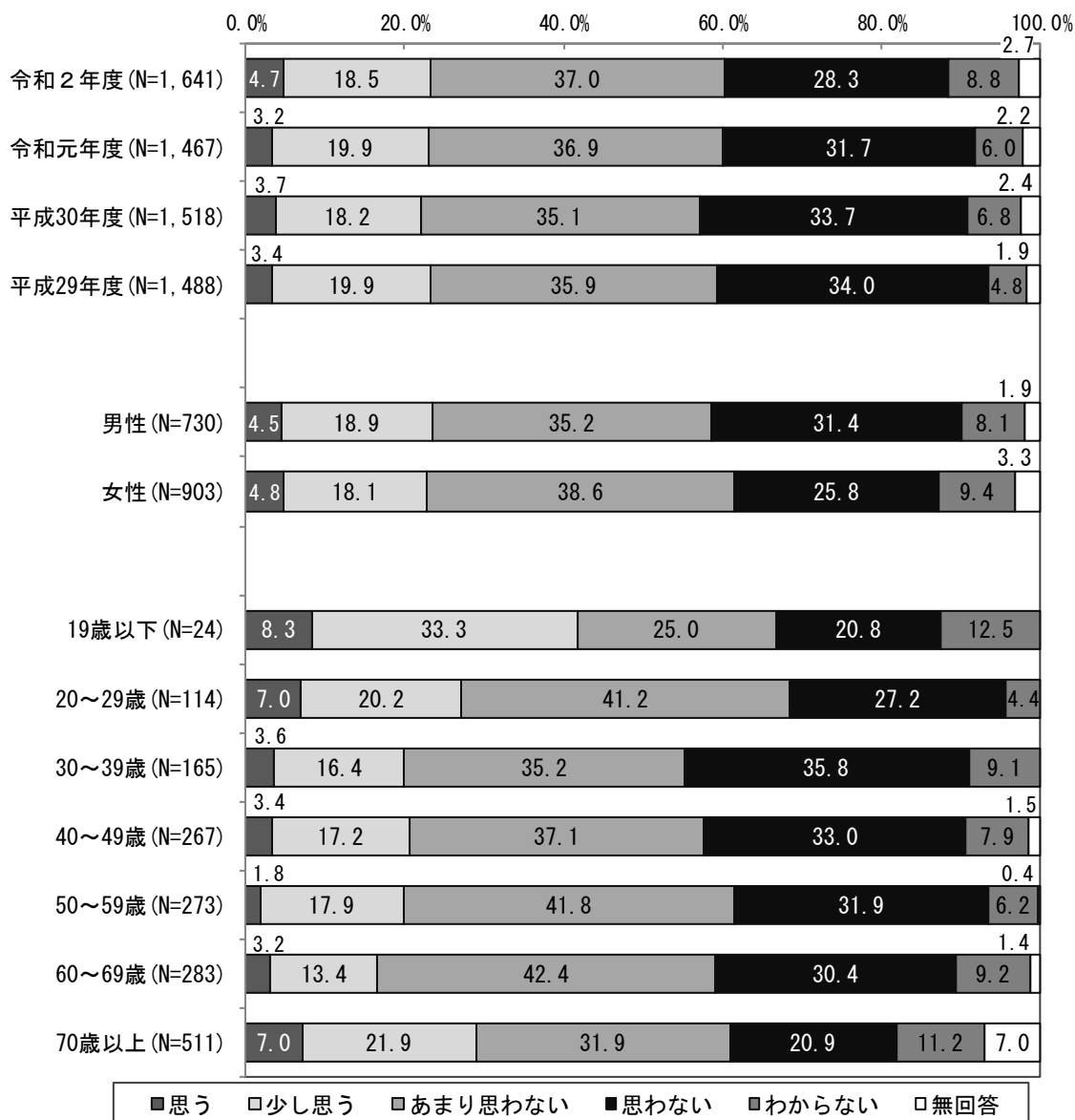
市内の道路が安全に利用できるかについてみると、「あまり思わない」が37.0%と最も多く、次いで「思わない」(28.3%)、「少し思う」(18.5%)などとなっている。“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(65.3%)が“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(23.2%)を上回っている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて『70歳以上』(28.9%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ケ 市内の道路が安全に利用できるかの評価



問 26 コ あなたは、バスや鉄道などの公共交通機関を利用して出かけるときに、便利だと思いますか。

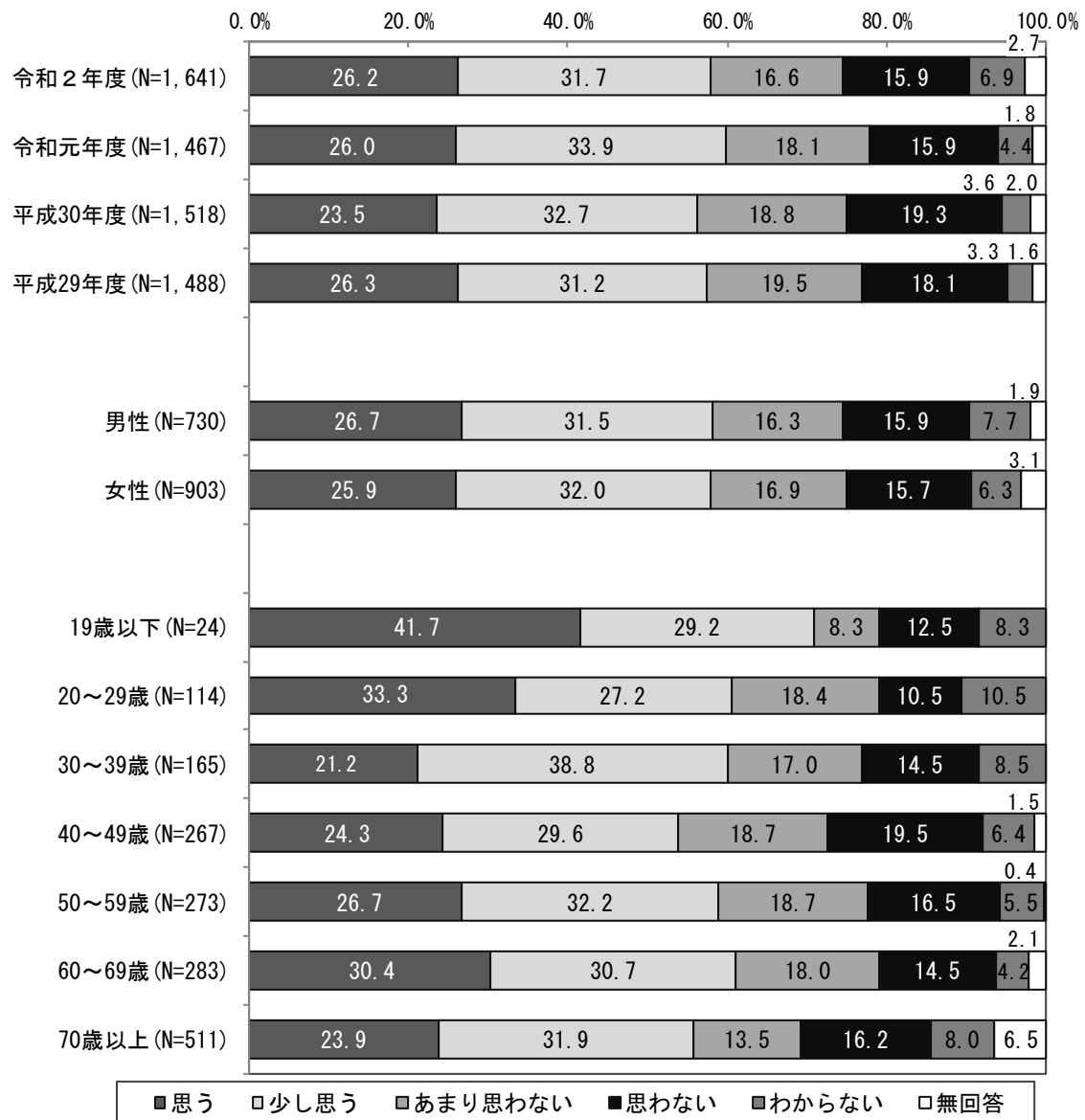
公共交通機関が便利であるかについてみると、「少し思う」が31.7%と最も多く、次いで「思う」(26.2%)、「あまり思わない」(16.6%)などとなっている。“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(57.9%)が“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(32.5%)を上回っている。

年度別にみると、“肯定的な意見”は、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて、『60～69歳』(61.1%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 コ 公共交通機関が便利であるかの評価



問 26 サ あなたは、人権が尊重され、共に認め合い、幸せに暮らせる社会が実現していると思いますか。

人権が尊重され、共に認め合い、幸せに暮らせる社会が実現しているかについてみると、「わからない」が28.4%と最も多く、次いで「少し思う」(27.0%)、「あまり思わない」(25.4%)などとなっている。

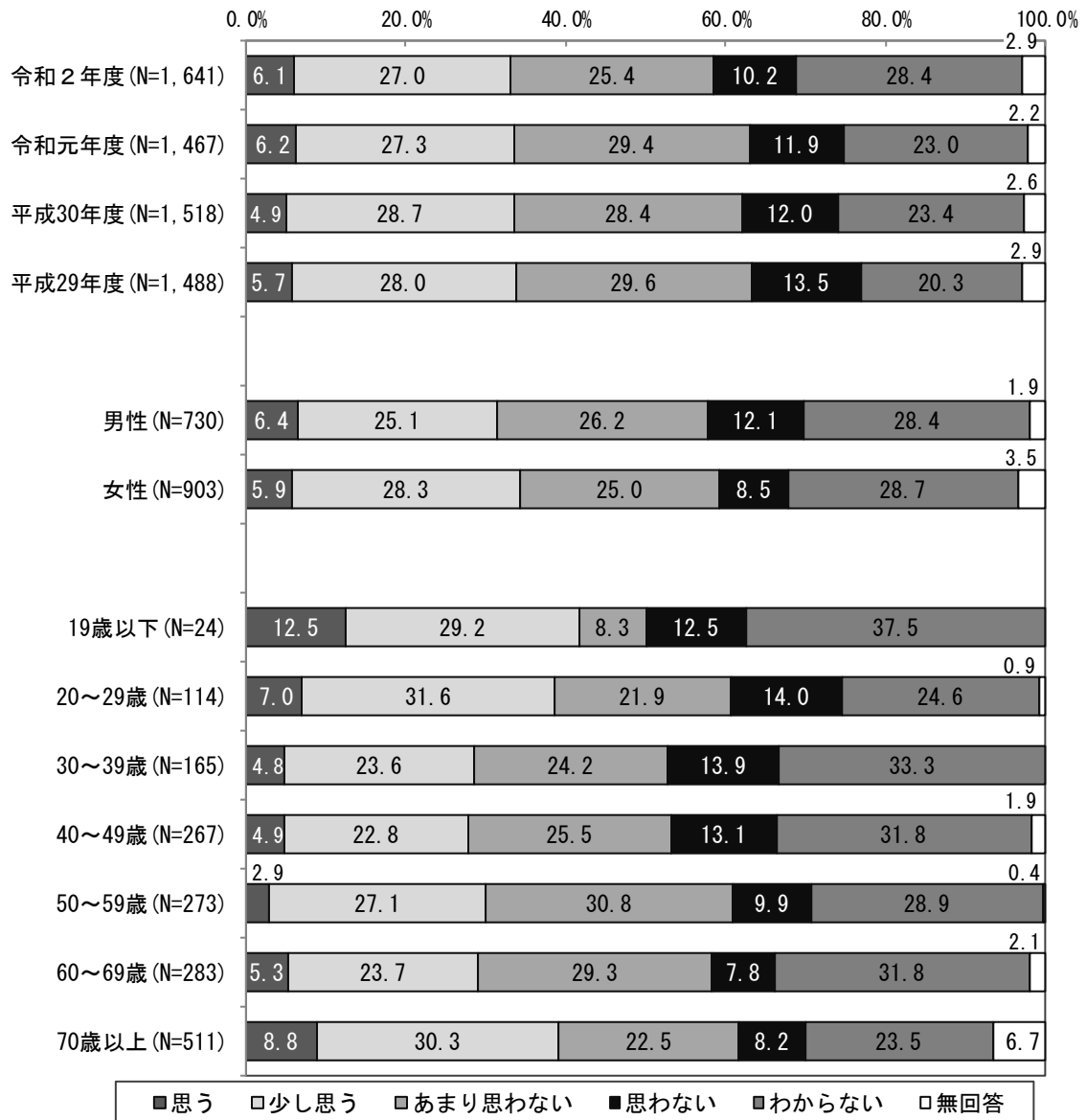
“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)は33.1%となっている。

年度別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は、『19歳以下』を除いて『70歳以上』(39.1%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 サ 人権が尊重され、共に認め合い、幸せに暮らせる社会が実現しているかの評価



問 26 シ あなたは、性別に関わらず男女が互いに認め合える差別のない社会が実現していると思いますか。

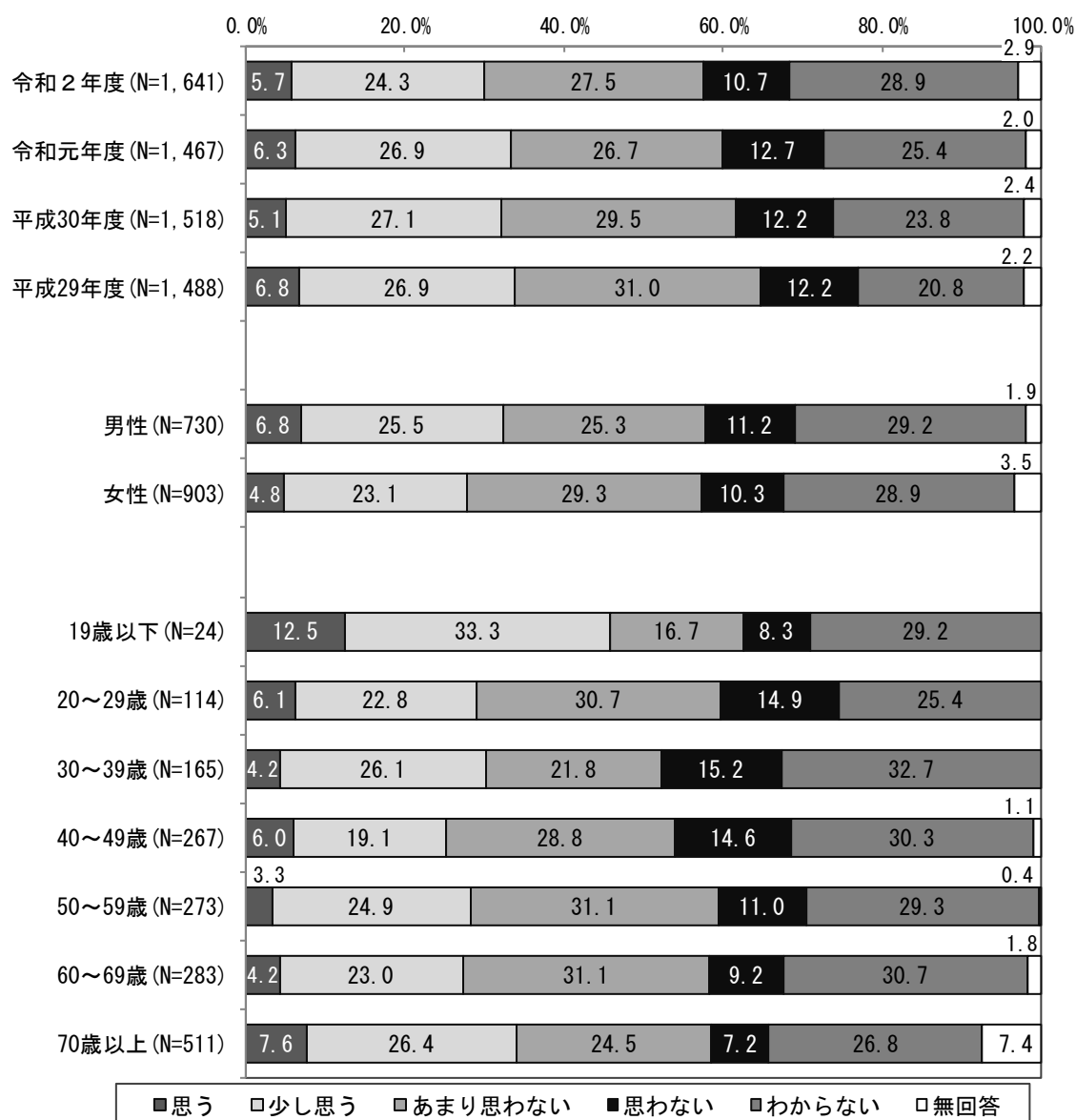
性別に関わらず男女が互いに認め合える差別のない社会が実現しているかについてみると、「わからない」が28.9%と最も多く、次いで「あまり思わない」(27.5%)、「少し思う」(24.3%)などとなっている。「否定的な意見」(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(38.2%)が「肯定的な意見」(「思う」と「少し思う」の合計)(30.0%)を上回っている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

年齢別にみると、「肯定的な意見」は『19歳以下』を除いて『70歳以上』(34.0%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 シ 男女が互いに認め合える差別のない社会が実現しているかの評価



問 26 ス あなたは、職場や地域において、女性が働きやすい、あるいは活動しやすい環境が整っていると
 思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

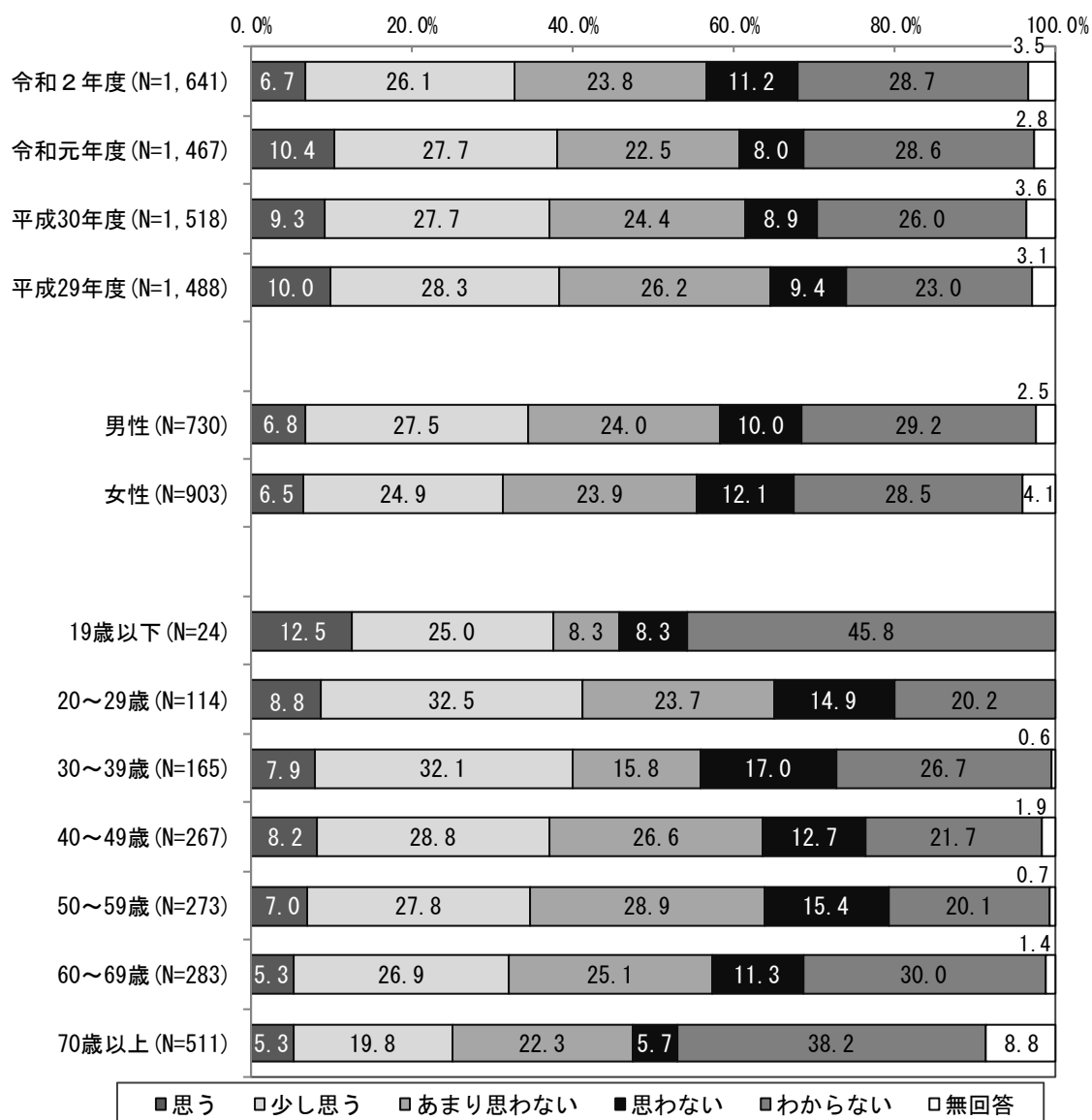
男女共同参画が実現されているかをみると、「わからない」が28.7%と最も多く、次いで「少し思う」(26.1%)、「あまり思わない」(23.8%)などとなっている。“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)は32.8%となっている。

年度別にみると、“肯定的な意見”は前年度に比べ減少している。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は概ね年齢層が高いほど少なくなっている。

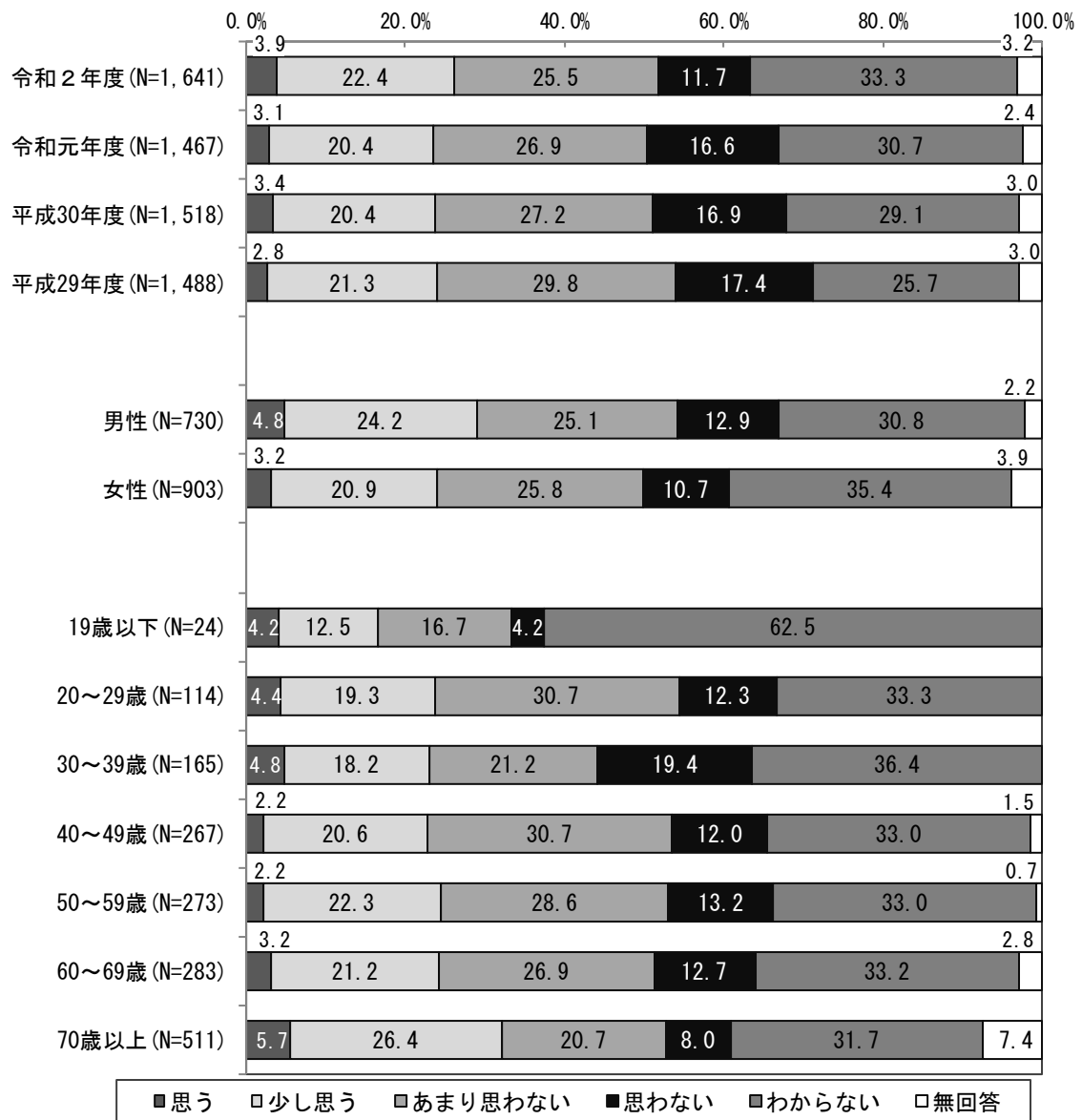
図 年度別・性別・年齢別 ス 男女共同参画の実現



問 26 セ あなたは、行政の取り組みが、改善されていると思いますか。

行政の取り組みが改善されているかについてみると、「わからない」が33.3%と最も多く、次いで「あまり思わない」(25.5%)、「少し思う」(22.4%)などとなっている。“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(37.2%)が“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(26.3%)を上回っている。年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。性別にみると、“肯定的な意見”は、『男性』(29.0%)が『女性』(24.1%)よりもやや多くなっている。年齢別にみると、“肯定的な意見”は『70歳以上』(32.1%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 セ 行政の取り組みが改善されているかの評価



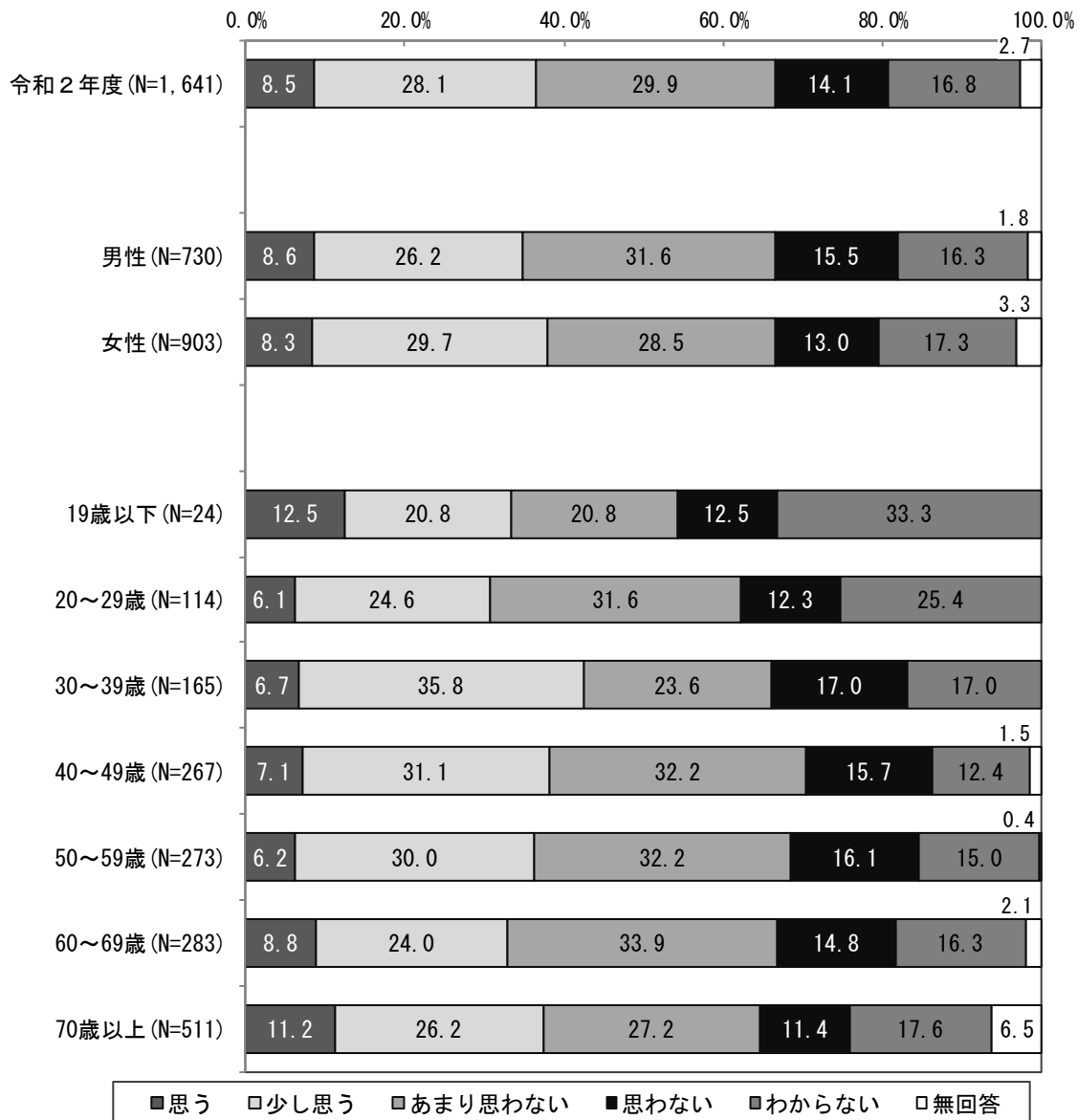
問 26 ソ あなたは、八尾市役所からの情報が入手しやすいと思いますか。

八尾市役所からの情報が入手しやすいかについてみると、「あまり思わない」が29.9%と最も多く、次いで「少し思う」(28.1%)、「わからない」(16.8%)などとなっている。“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(44.0%)が“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(36.6%)を上回っている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は、『30～39歳』(42.5%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 ソ 八尾市役所からの情報が入手しやすいかの評価



(2) 八尾の文化・まつりの元気さについて（問 27）

問 27 あなたは、「八尾の文化・まつり」の元気さ(活気・活発さ)についてどのように感じていますか。あなたの考えに最も近いものの番号に1つ○をつけてください。

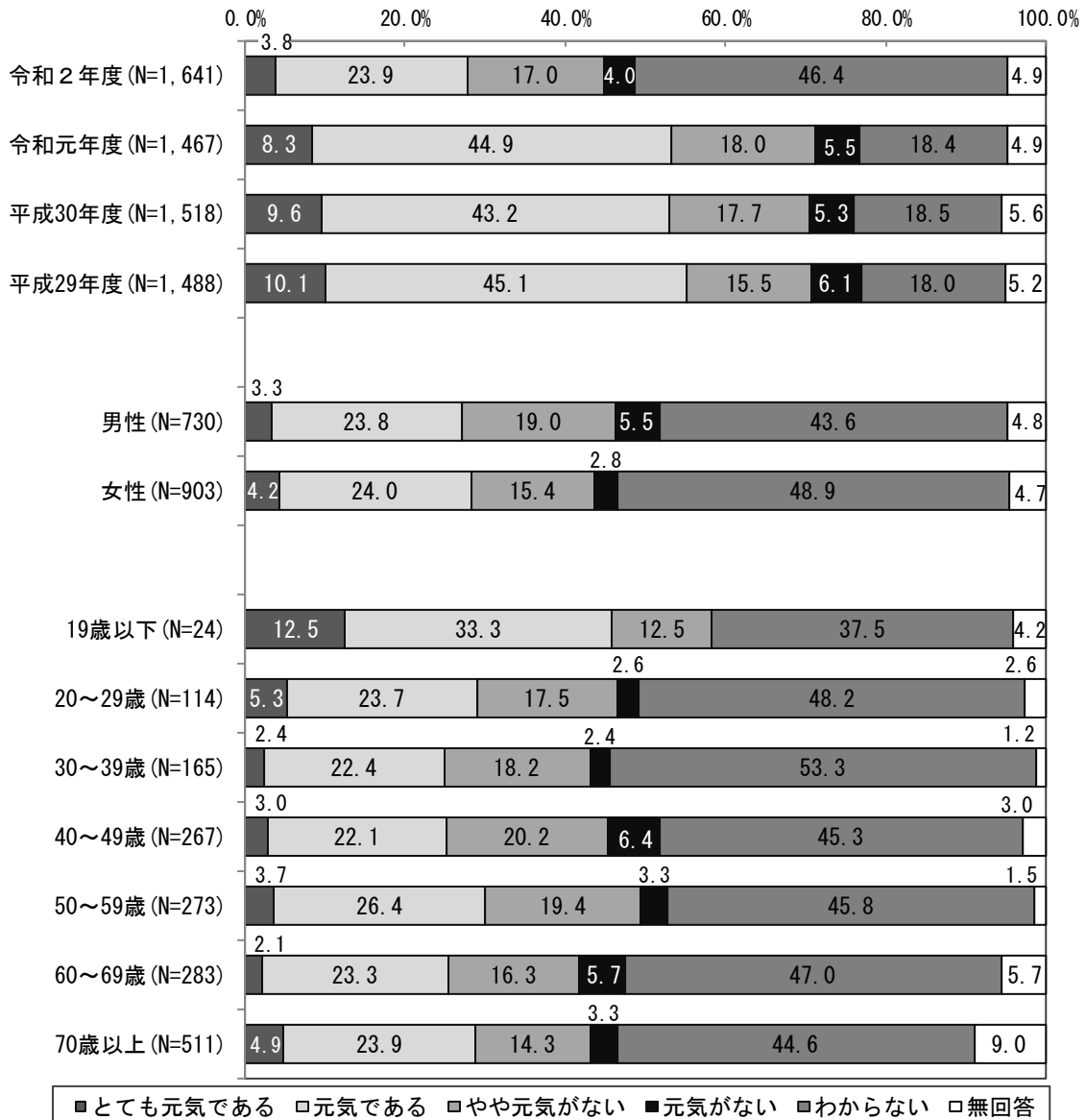
八尾の文化・まつりについてみると、「わからない」が46.4%で最も多く、次いで「元気である」(23.9%)、「やや元気がない」(17.0%)などとなっている。“元気があるという意見”(「とても元気である」と「元気である」の合計)(27.7%)が“元気がないという意見”(「やや元気がない」と「元気がない」の合計)(21.0%)を上回っている。

年度別にみると、“元気があるという意見”は前年度に比べ減少している。

性別にみると、“元気があるという意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“元気があるという意見”は『19歳以下』を除いて『50～59歳』(30.1%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 八尾の文化・まつりの元気さについて

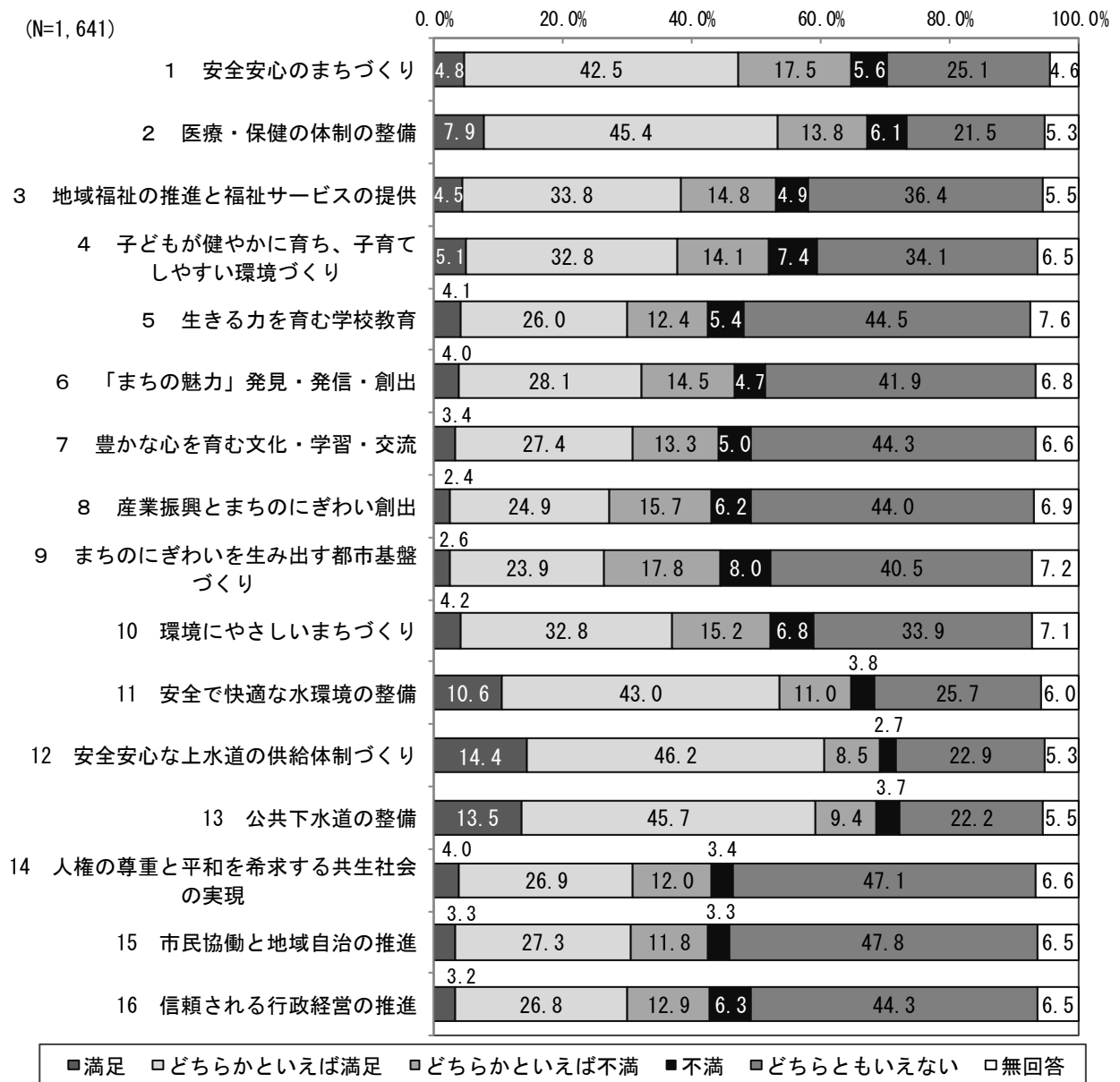


(3) 八尾市のまちづくりの現在の満足度（問 28）

問 28 八尾市が進めてきた①～⑯の政策に関する現在の満足度について、あなたの考えに最も近いものの番号に1つずつ○をつけてください。

八尾市第5次総合計画に定められた16政策について、現在の満足度をみると、“満足という意見”（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）は「12 安全安心な上水道の供給体制づくり」が60.6%と最も多く、次いで「13 公共下水道の整備」（59.2%）、「11 安全で快適な水環境の整備」（53.6%）などとなっている。一方、“不満足という意見”（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）は「9 まちのにぎわいを生み出す都市基盤づくり」が25.8%と最も多く、次いで「1 安全安心のまちづくり」（23.1%）、「10 環境にやさしいまちづくり」（22.0%）などとなっている。

図 八尾市のまちづくりの現在の満足度



問28① 安全安心のまちづくり

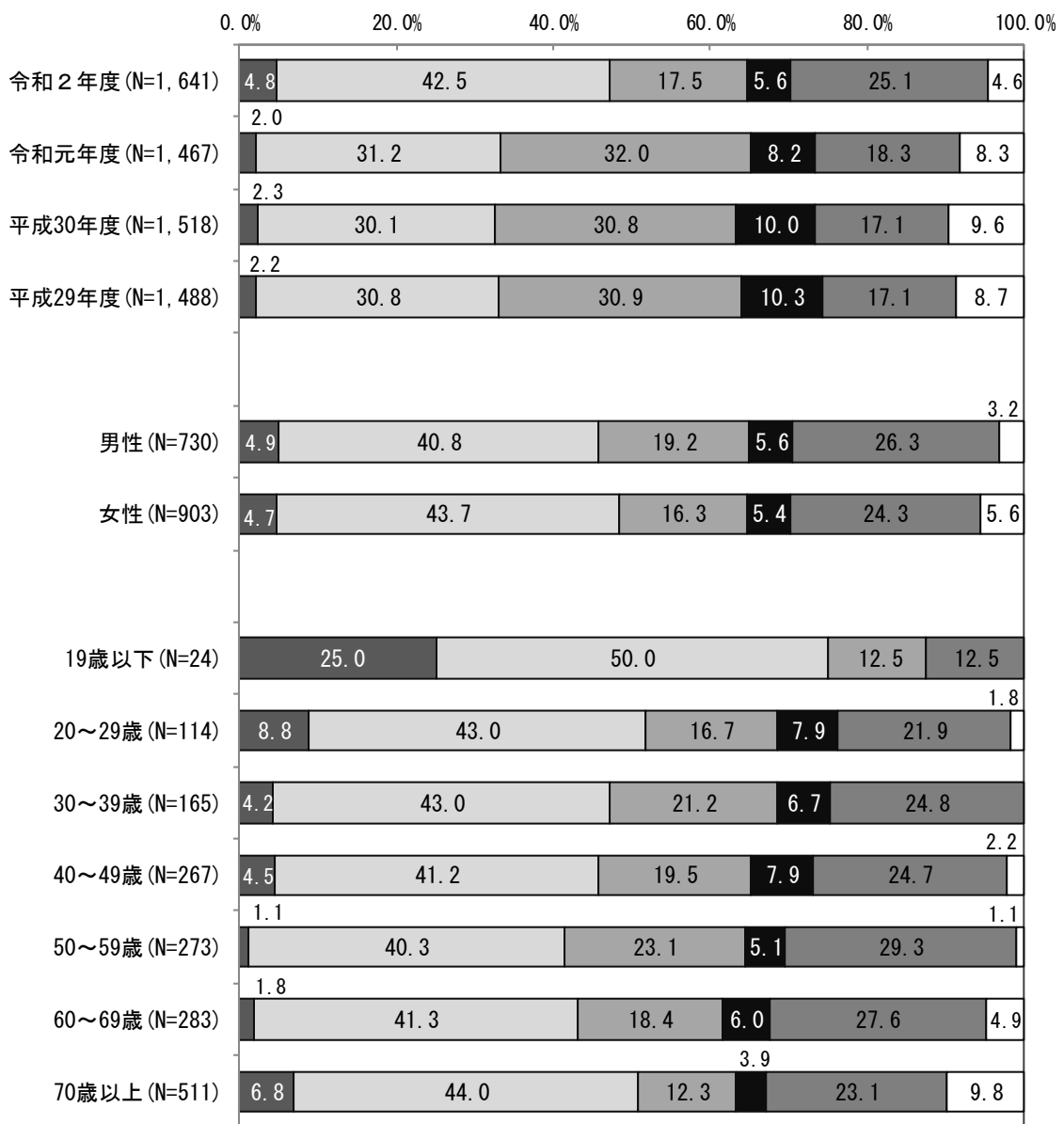
安全安心のまちづくりについてみると、「どちらかといえば満足」が42.5%と最も多く、次いで「どちらともいえない」(25.1%)、「どちらかといえば不満」(17.5%)などとなっている。「満足という意見」(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(47.3%)が「不満という意見」(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(23.1%)を上回っている。

年度別にみると、「満足という意見」は前年度に比べ増加している。

性別にみると、「満足という意見」はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、「満足という意見」は『19歳以下』を除いて『20～29歳』(51.8%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ① 安全安心のまちづくり



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □どちらともいえない □無回答

問28② 医療・保健の体制の整備

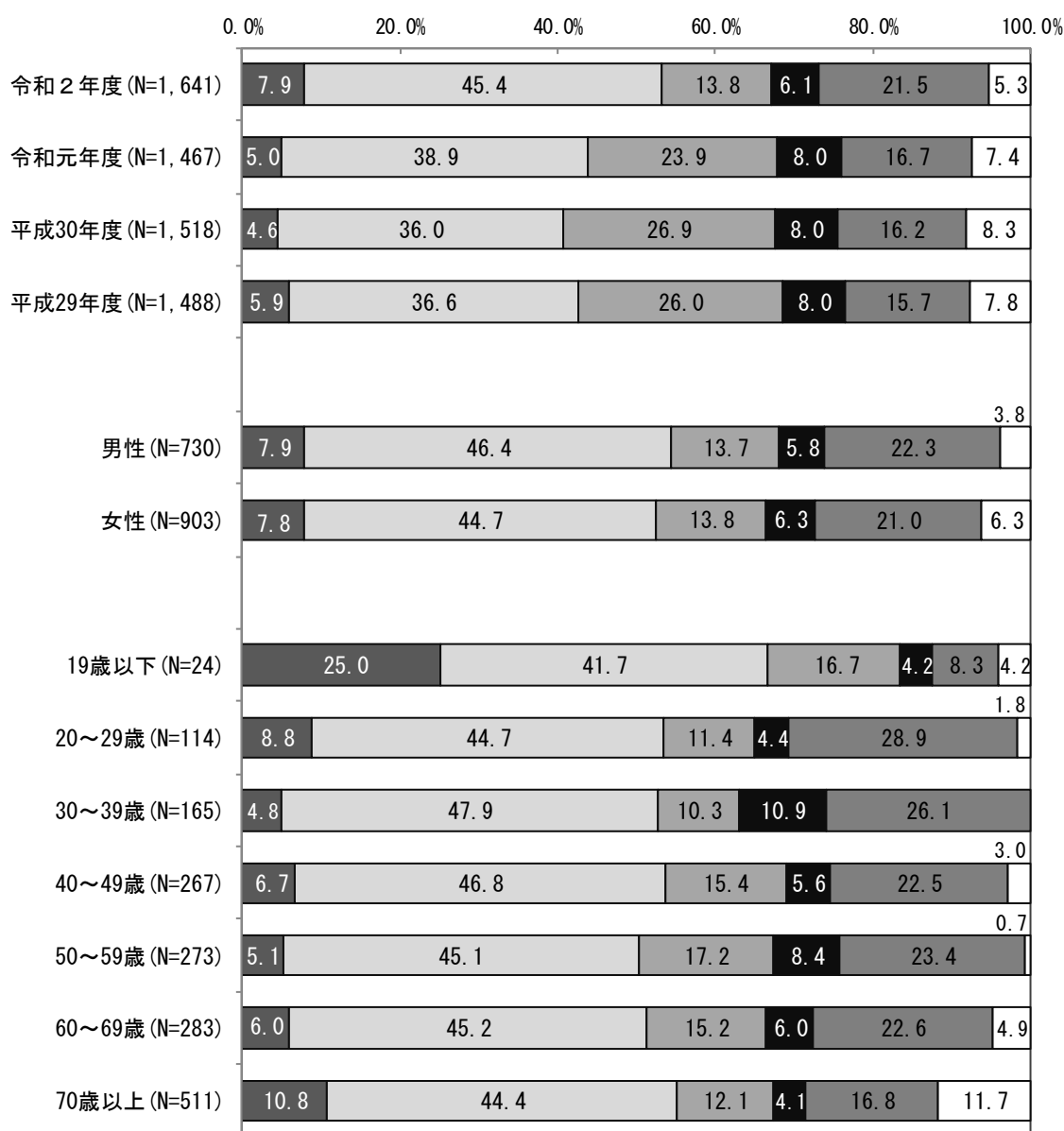
医療・保健の体制の整備についてみると、「どちらかといえば満足」が45.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」(21.5%)、「どちらかといえば不満」(13.8%)などとなっている。“満足という意見”(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(53.3%)が“不満という意見”(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(19.9%)を上回っている。

年度別にみると、“満足という意見”は前年度に比べ増加している。

性別にみると、“満足という意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“満足という意見”はどの年齢層も5割を超えている。

図 年度別・性別・年齢別 ② 医療・保健の体制の整備



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □どちらともいえない □無回答

問28③ 地域福祉の推進と福祉サービスの提供

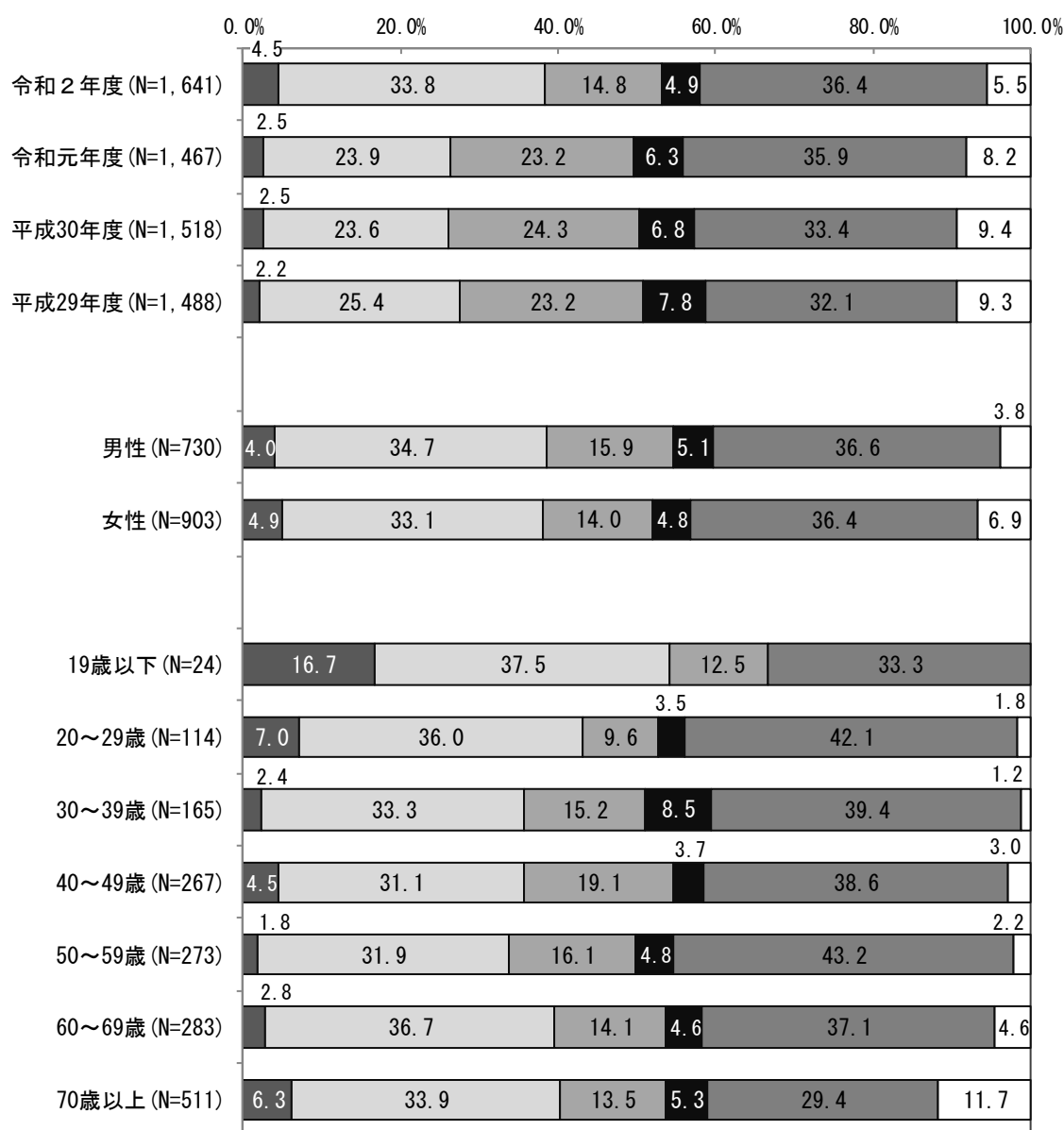
地域福祉の推進と福祉サービスの提供についてみると、「どちらともいえない」が36.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足」(33.8%)、「どちらかといえば不満」(14.8%)などとなっている。“満足という意見”(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(38.3%)が“不満という意見”(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(19.7%)を上回っている。

年度別にみると、“満足という意見”は前年度に比べ増加している。

性別にみると、“満足という意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“満足という意見”は『19歳以下』を除いて『20～29歳』(43.0%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ③ 地域福祉の推進と福祉サービスの提供



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 ■どちらともいえない □無回答

問28④ 子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり

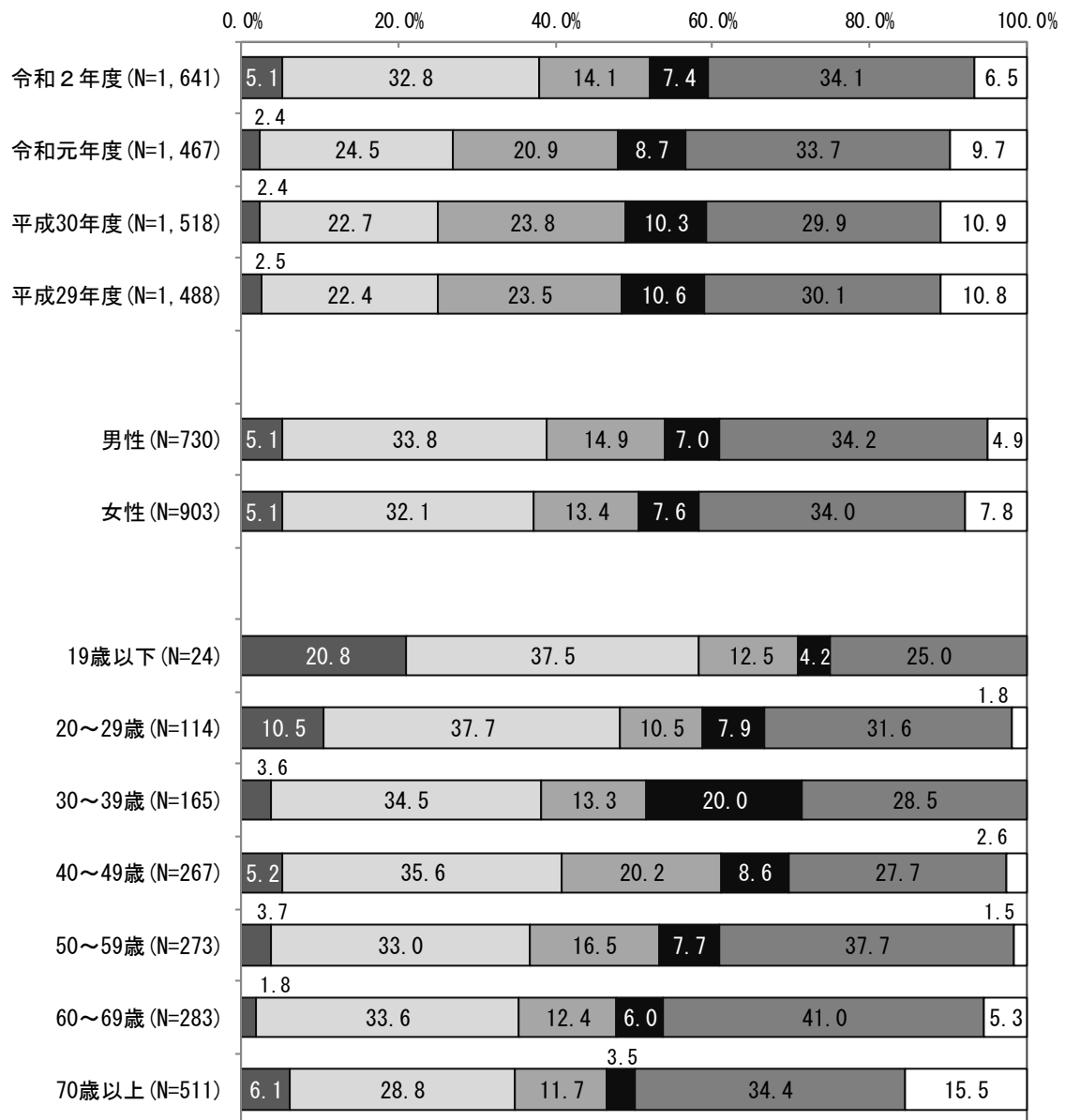
子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくりについてみると、「どちらともいえない」が34.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足」(32.8%)、「どちらかといえば不満」(14.1%)などとなっている。「満足という意見」(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(37.9%)が「不満という意見」(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(21.5%)を上回っている。

年度別にみると、「満足という意見」は前年度に比べ増加している。

性別にみると、「満足という意見」はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、「満足という意見」は概ね年齢が高いほど少なくなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ④ 子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり



■満足 □どちらかといえば満足 ▣どちらかといえば不満 ■不満 ■どちらともいえない □無回答

問28⑤ 生きる力を育む学校教育

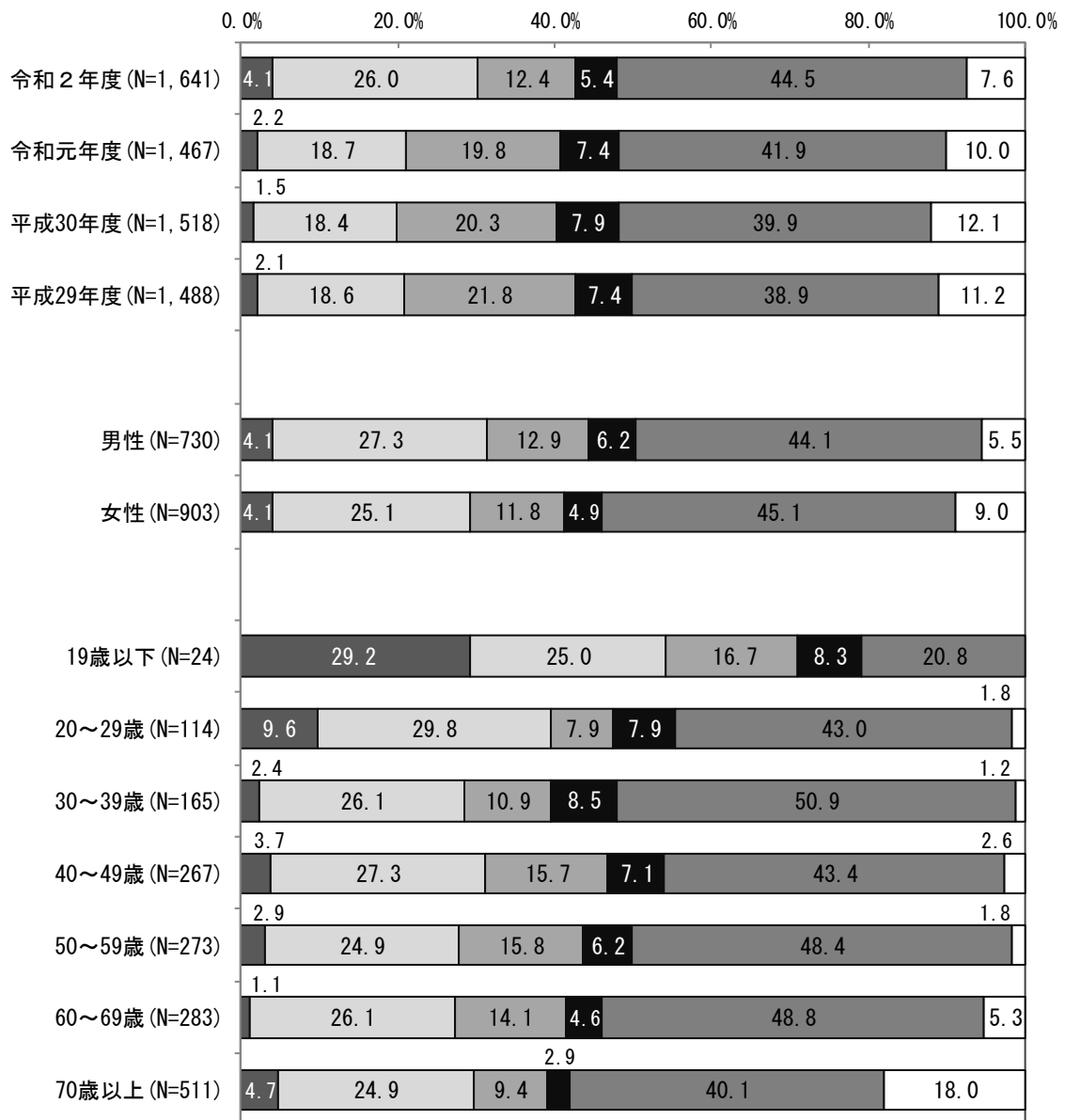
生きる力を育む学校教育についてみると、「どちらともいえない」が44.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足」(26.0%)、「どちらかといえば不満」(12.4%)などとなっている。“満足という意見”(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(30.1%)が“不満という意見”(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(17.8%)を上回っている。

年度別にみると、“満足という意見”は前年度に比べ増加している。

性別にみると、“満足という意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“満足という意見”は『19歳以下』を除いて『20～29歳』(39.4%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ⑤ 生きる力を育む学校教育



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 ■どちらともいえない □無回答

問28⑥ 「まちの魅力」発見・発信・創出

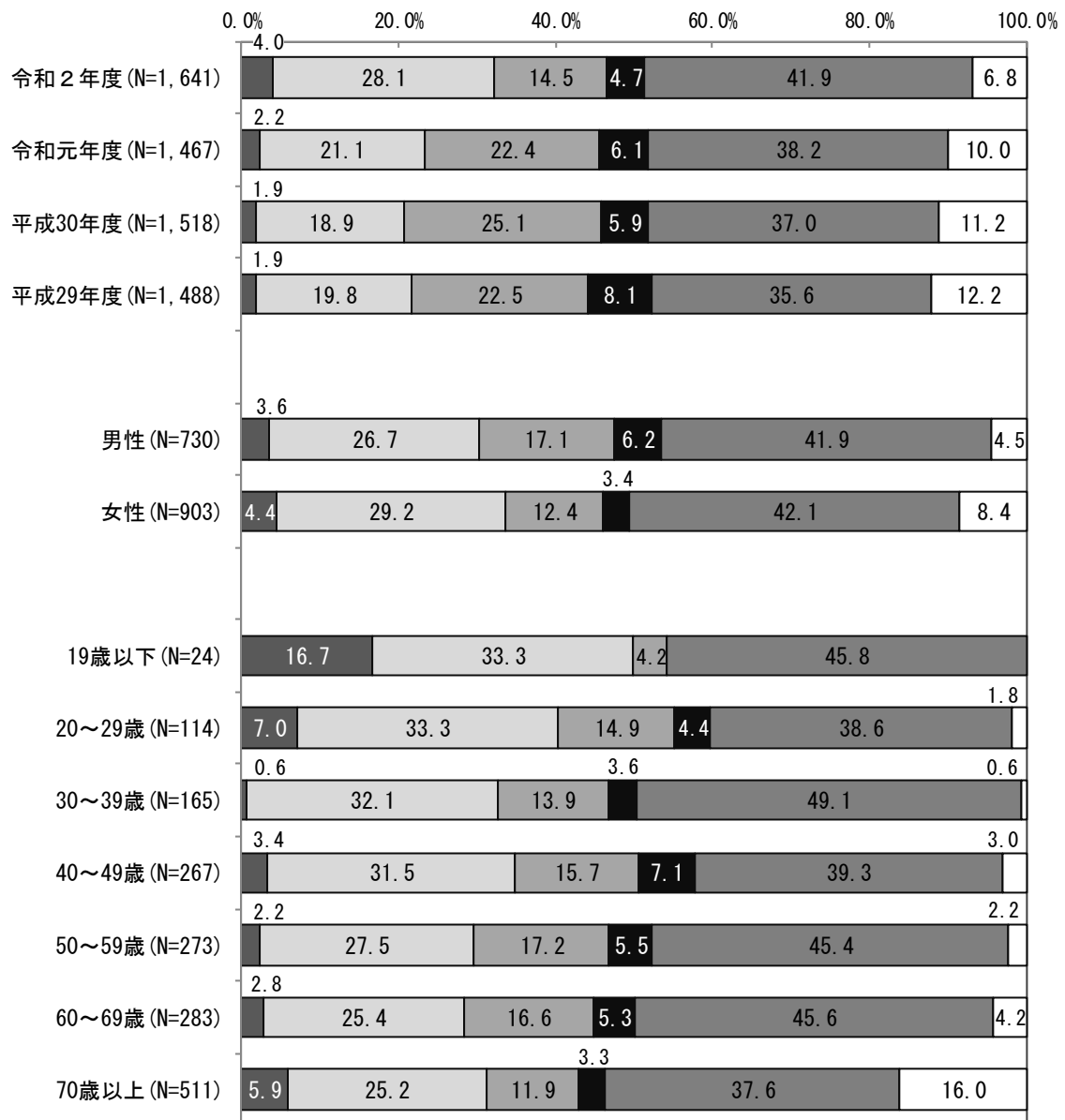
「まちの魅力」発見・発信・創出についてみると、「どちらともいえない」が41.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足」(28.1%)、「どちらかといえば不満」(14.5%)などとなっている。“満足という意見”(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(32.1%)が“不満という意見”(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(19.2%)を上回っている。

年度別にみると、“満足という意見”は前年度に比べ増加している。

性別にみると、“満足という意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“満足という意見”は『19歳以下』を除いて『20～29歳』(40.3%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ⑥ 「まちの魅力」発見・発信・創出



■満足 □どちらかといえば満足 ▣どちらかといえば不満 ■不満 ■どちらともいえない □無回答

問28⑦ 豊かな心を育む文化・学習・交流

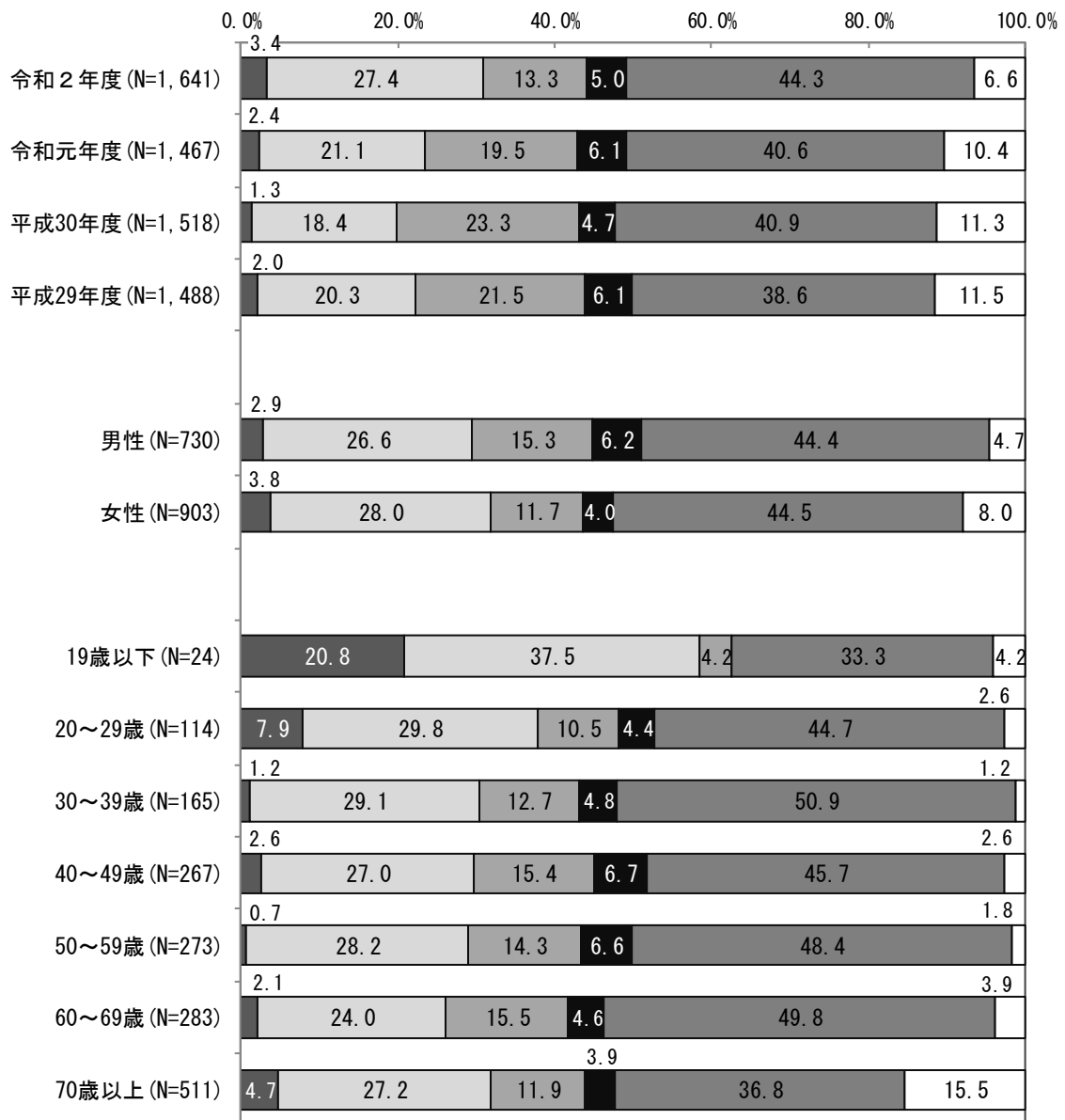
豊かな心を育む文化・学習・交流についてみると、「どちらともいえない」が44.3%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足」(27.4%)、「どちらかといえば不満」(13.3%)などとなっている。“満足という意見”(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(30.8%)が“不満という意見”(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(18.3%)を上回っている。

年度別にみると、“満足という意見”は前年度に比べ増加している。

性別にみると、“満足という意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“満足という意見”は『19歳以下』を除いて『20～29歳』(37.7%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ⑦ 豊かな心を育む文化・学習・交流



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 ■どちらともいえない □無回答

問28⑧ 産業振興とまちのにぎわい創出

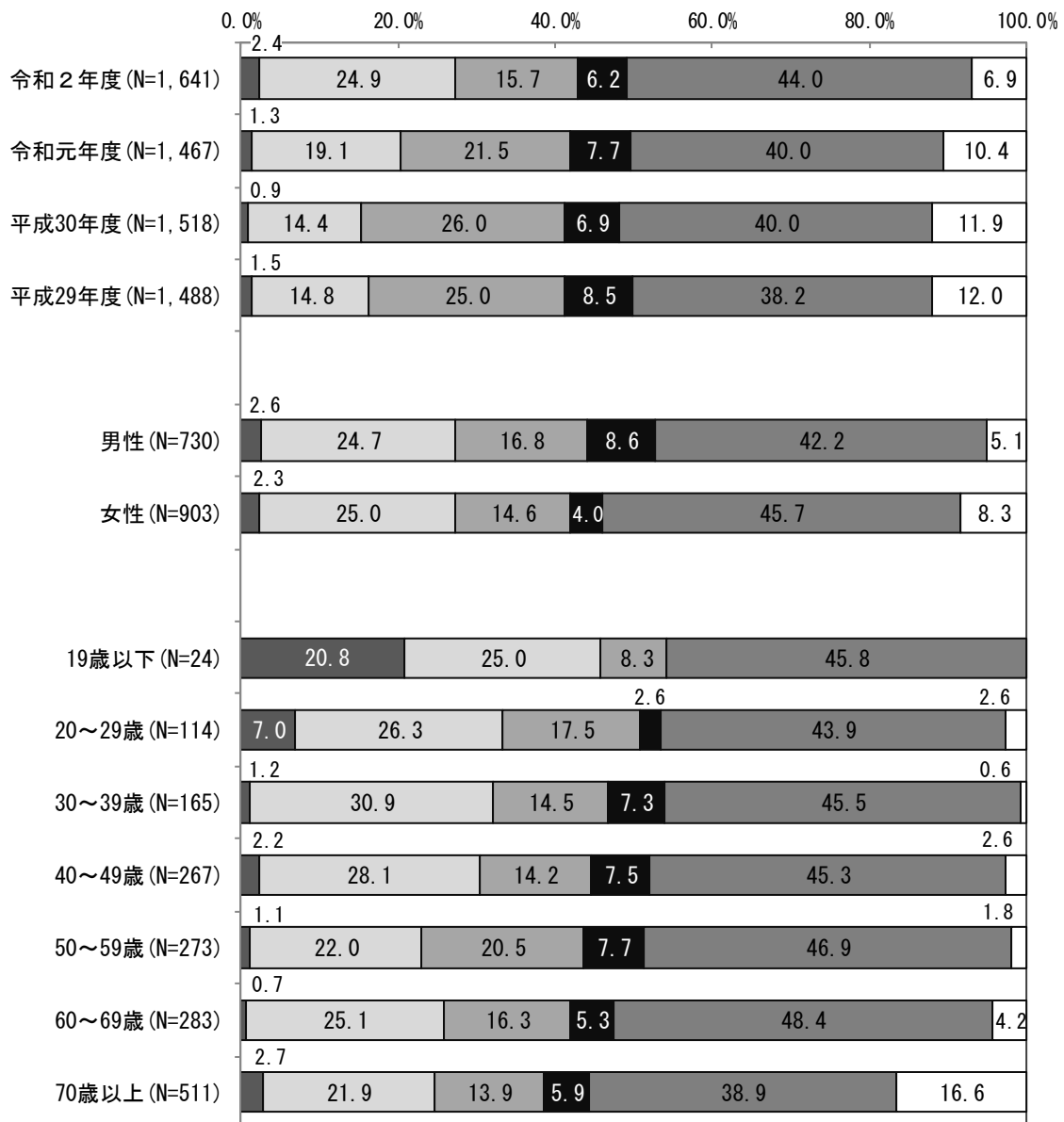
産業振興とまちのにぎわい創出についてみると、「どちらともいえない」が44.0%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足」(24.9%)、「どちらかといえば不満」(15.7%)などとなっている。“満足という意見”(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(27.3%)が“不満という意見”(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(21.9%)を上回っている。

年度別にみると、“満足という意見”は前年度に比べ増加している。

性別にみると、“満足という意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“満足という意見”は概ね年齢が高いほど少なくなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ⑧ 産業振興とまちのにぎわい創出



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □どちらともいえない □無回答

問28⑨ まちのにぎわいを生み出す都市基盤づくり

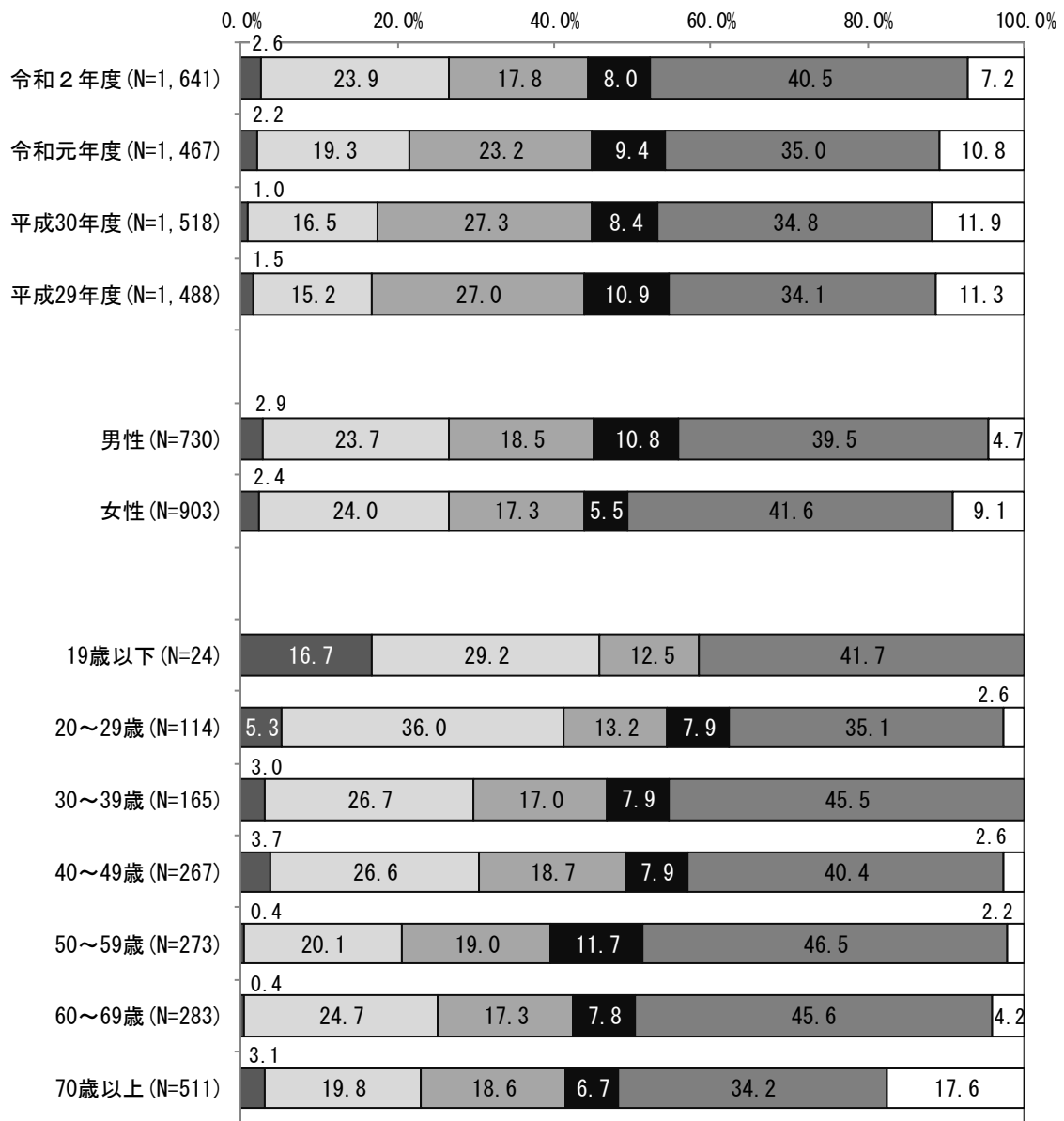
まちのにぎわいを生み出す都市基盤づくりについてみると、「どちらともいえない」が40.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足」(23.9%)、「どちらかといえば不満」(17.8%)などとなっている。“満足という意見”(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)は26.5%となっている。

年度別にみると、“満足という意見”は前年度に比べ増加している。

性別にみると、“満足という意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“満足という意見”は『19歳以下』を除いて『20～29歳』(41.3%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ⑨ まちのにぎわいを生み出す都市基盤づくり



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 ■どちらともいえない □無回答

問28⑩ 環境にやさしいまちづくり

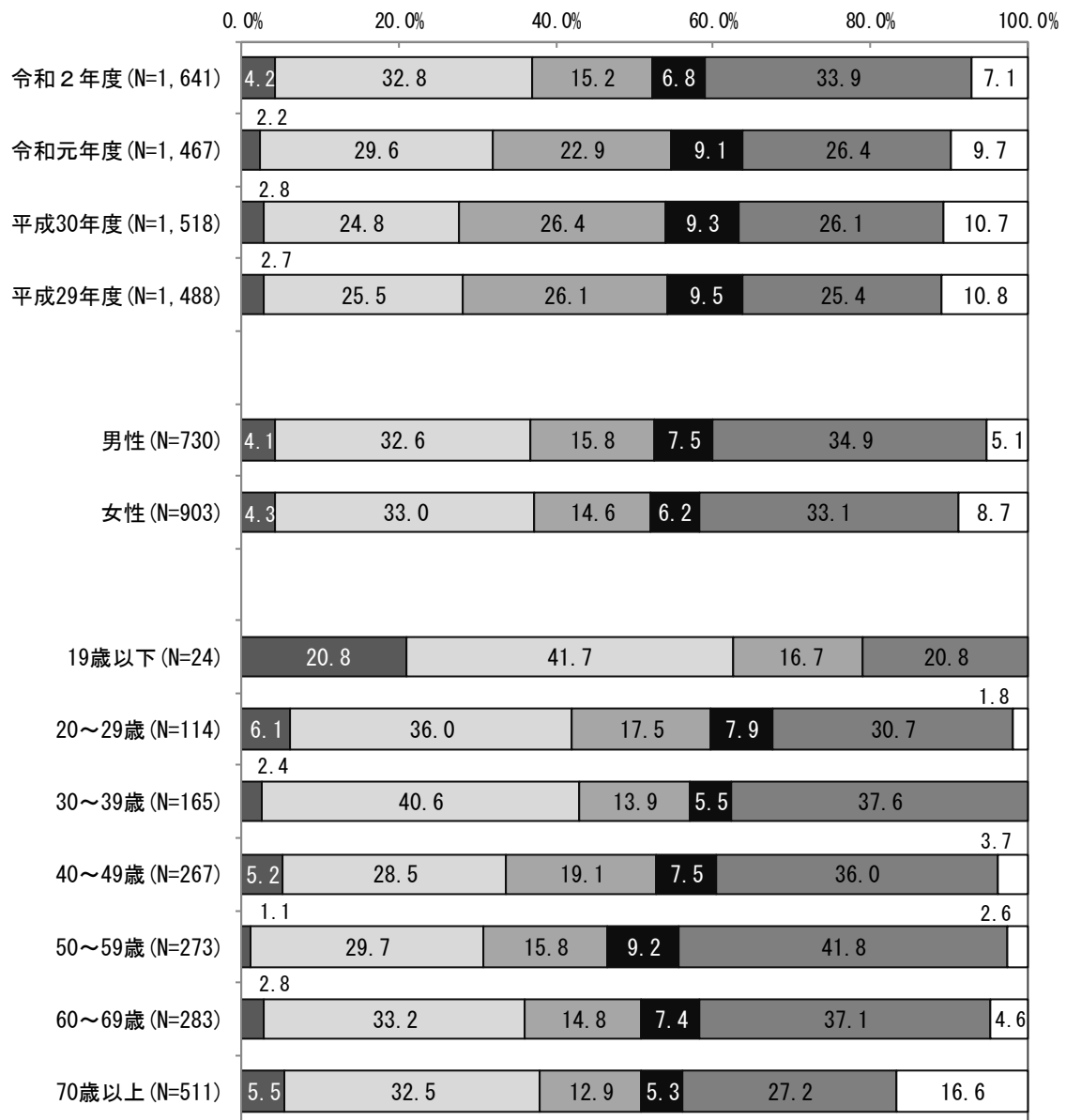
環境にやさしいまちづくりについてみると、「どちらともいえない」が33.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足」(32.8%)、「どちらかといえば不満」(15.2%)などとなっている。“満足という意見”(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(37.0%)が“不満という意見”(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(22.0%)を上回っている。

年度別にみると、“満足という意見”は前年度に比べ増加している。

性別にみると、“満足という意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“満足という意見”は『19歳以下』を除いて『30～39歳』(43.0%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ⑩ 環境にやさしいまちづくり



■満足 □どちらかといえば満足 ▣どちらかといえば不満 ■不満 ▣どちらともいえない □無回答

問28⑪ 安全で快適な水環境の整備

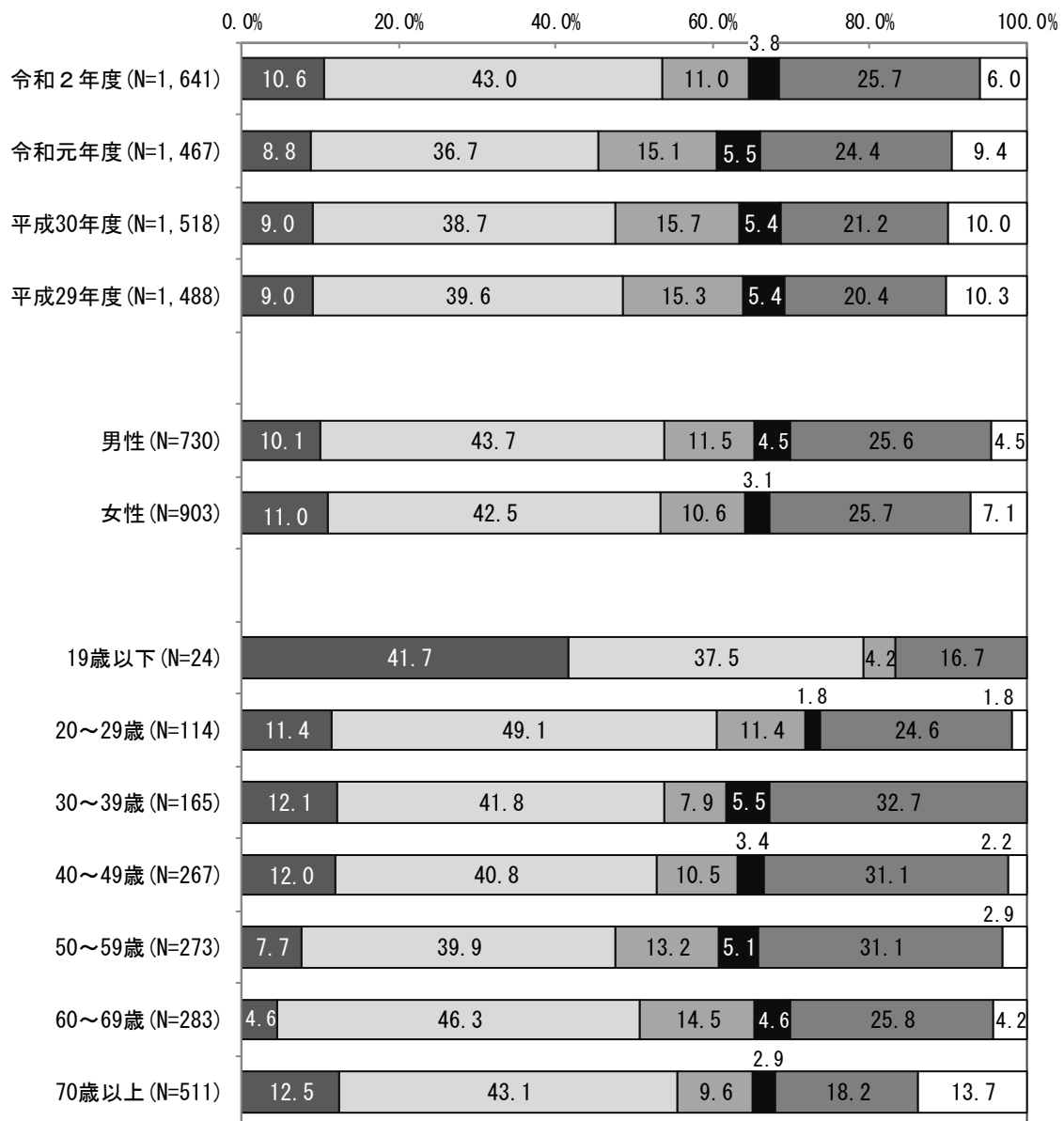
安全で快適な水環境の整備についてみると、「どちらかといえば満足」が43.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」(25.7%)、「どちらかといえば不満」(11.0%)などとなっている。「満足という意見」(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(53.6%)が「不満という意見」(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(14.8%)を上回っている。

年度別にみると、「満足という意見」は前年度に比べ増加している。

性別にみると、「満足という意見」はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、「満足という意見」は『19歳以下』を除いて『20～29歳』(60.5%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ⑪ 安全で快適な水環境の整備



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 ■どちらともいえない □無回答

問28⑫ 安全安心な上水道の供給体制づくり

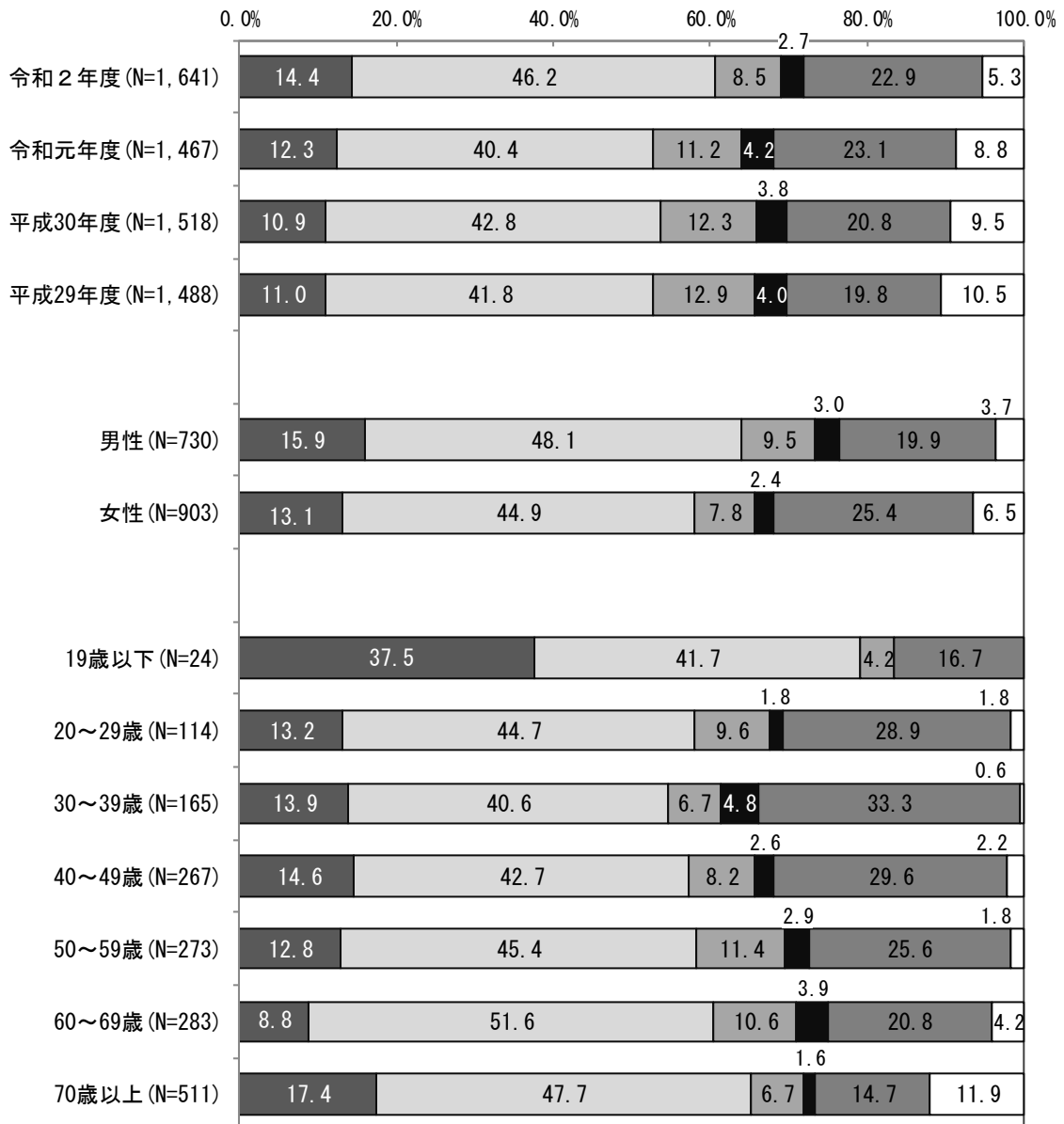
安全安心な上水道の供給体制づくりについてみると、「どちらかといえば満足」が46.2%と最も多く、次いで「どちらともいえない」(22.9%)、「満足」(14.4%)などとなっている。“満足という意見”(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(60.6%)が“不満という意見”(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(11.2%)を上回っている。

年度別にみると、“満足という意見”は前年度に比べ増加している。

性別にみると、“満足という意見”は『男性』(64.0%)が『女性』(58.0%)よりも多くなっている。

年齢別にみると、“満足という意見”は『19歳以下』を除いて概ね年齢が高いほど多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ⑫ 安全安心な上水道の供給体制づくり



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □どちらともいえない □無回答

問28⑬ 公共下水道の整備

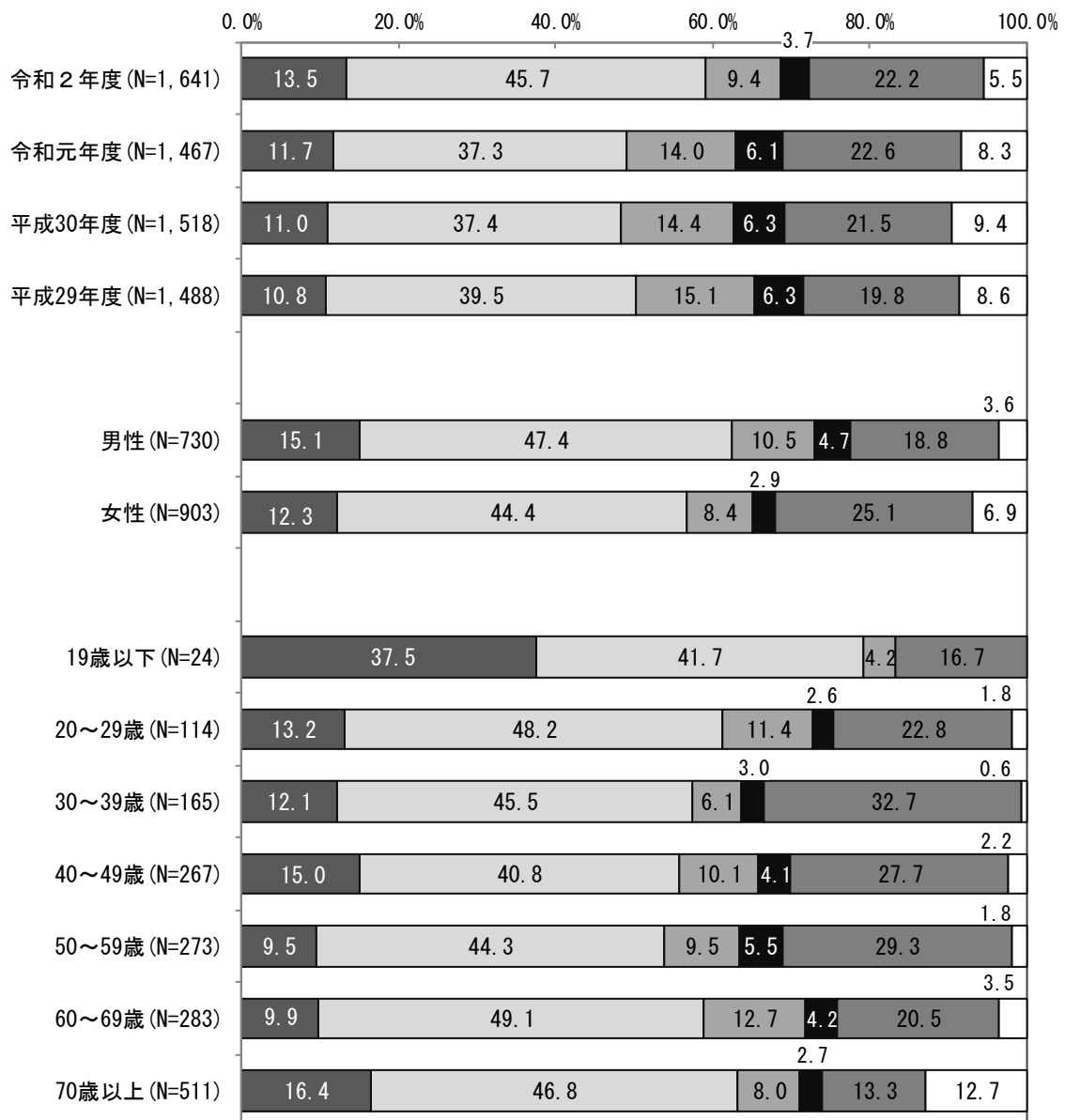
公共下水道の整備についてみると、「どちらかといえば満足」が45.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」(22.2%)、「満足」(13.5%)などとなっている。“満足という意見”(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(59.2%)が“不満という意見”(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(13.1%)を上回っている。

年度別にみると、“満足という意見”は前年度に比べ増加している。

性別にみると、“満足という意見”は『男性』(62.5%)が『女性』(56.7%)よりも多くなっている。

年齢別にみると、“満足という意見”は『19歳以下』を除いて『70歳以上』(63.2%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ⑬ 公共下水道の整備



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 ■どちらともいえない □無回答

問28⑭ 人権の尊重と平和を希求する共生社会の実現

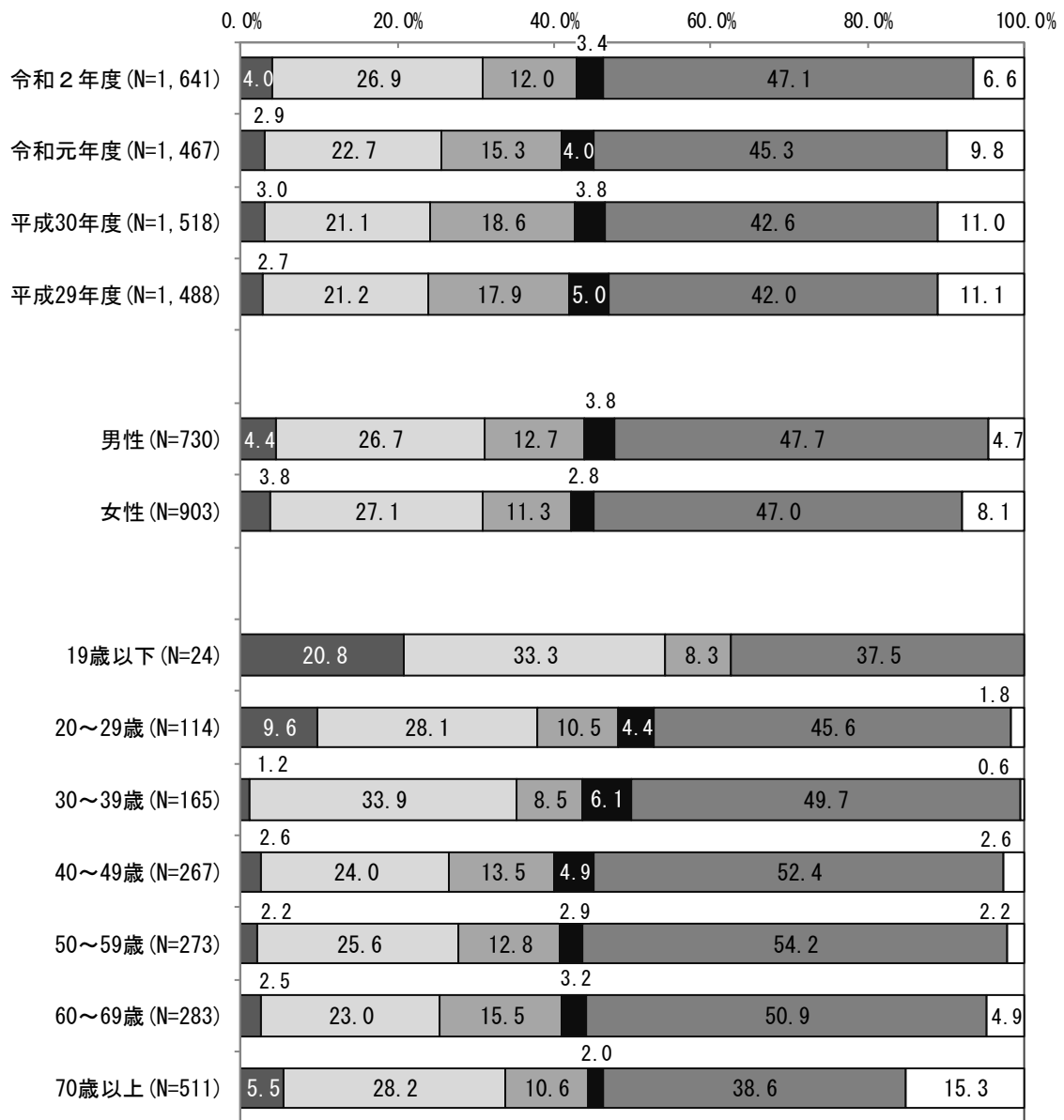
人権の尊重と平和を希求する共生社会の実現についてみると、「どちらともいえない」が47.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足」(26.9%)、「どちらかといえば不満」(12.0%)などとなっている。「満足という意見」(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(30.9%)が「不満足という意見」(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(15.4%)を上回っている。

年度別にみると、「満足という意見」は前年度に比べ増加している。

性別にみると、「満足という意見」はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、「満足という意見」は『19歳以下』を除いて『20～29歳』(37.7%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ⑭ 人権の尊重と平和を希求する共生社会の実現



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 ■どちらともいえない □無回答

問28⑮ 市民協働と地域自治の推進

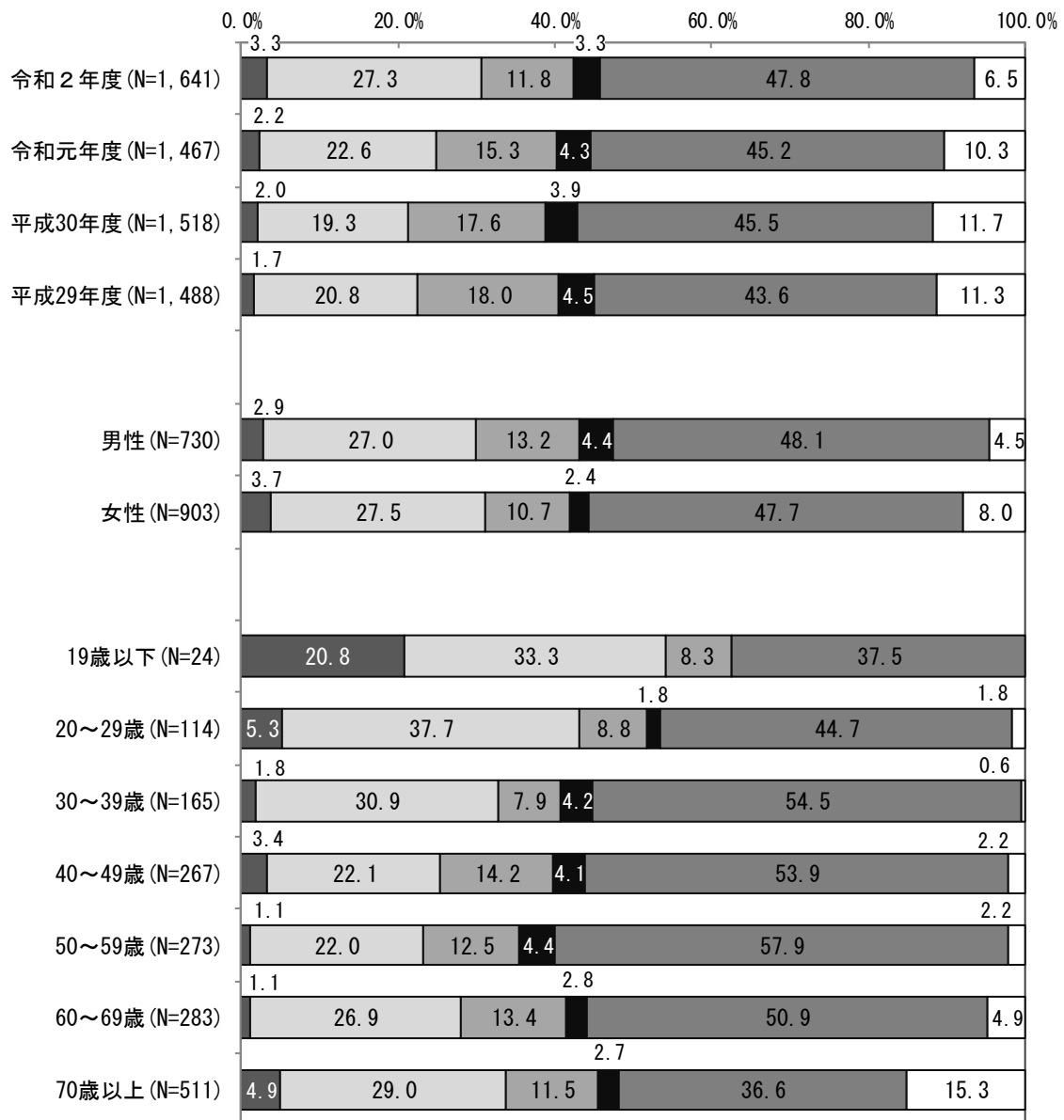
市民協働と地域自治の推進についてみると、「どちらともいえない」が47.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足」(27.3%)、「どちらかといえば不満」(11.8%)などとなっている。「満足という意見」(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(30.6%)が「不満という意見」(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(15.1%)を上回っている。

年度別にみると、「満足という意見」は前年度に比べ増加している。

性別にみると、「満足という意見」はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、「満足という意見」は『19歳以下』を除いて『20～29歳』(43.0%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ⑮ 市民協働と地域自治の推進



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □どちらともいえない □無回答

問28⑩ 信頼される行政経営の推進

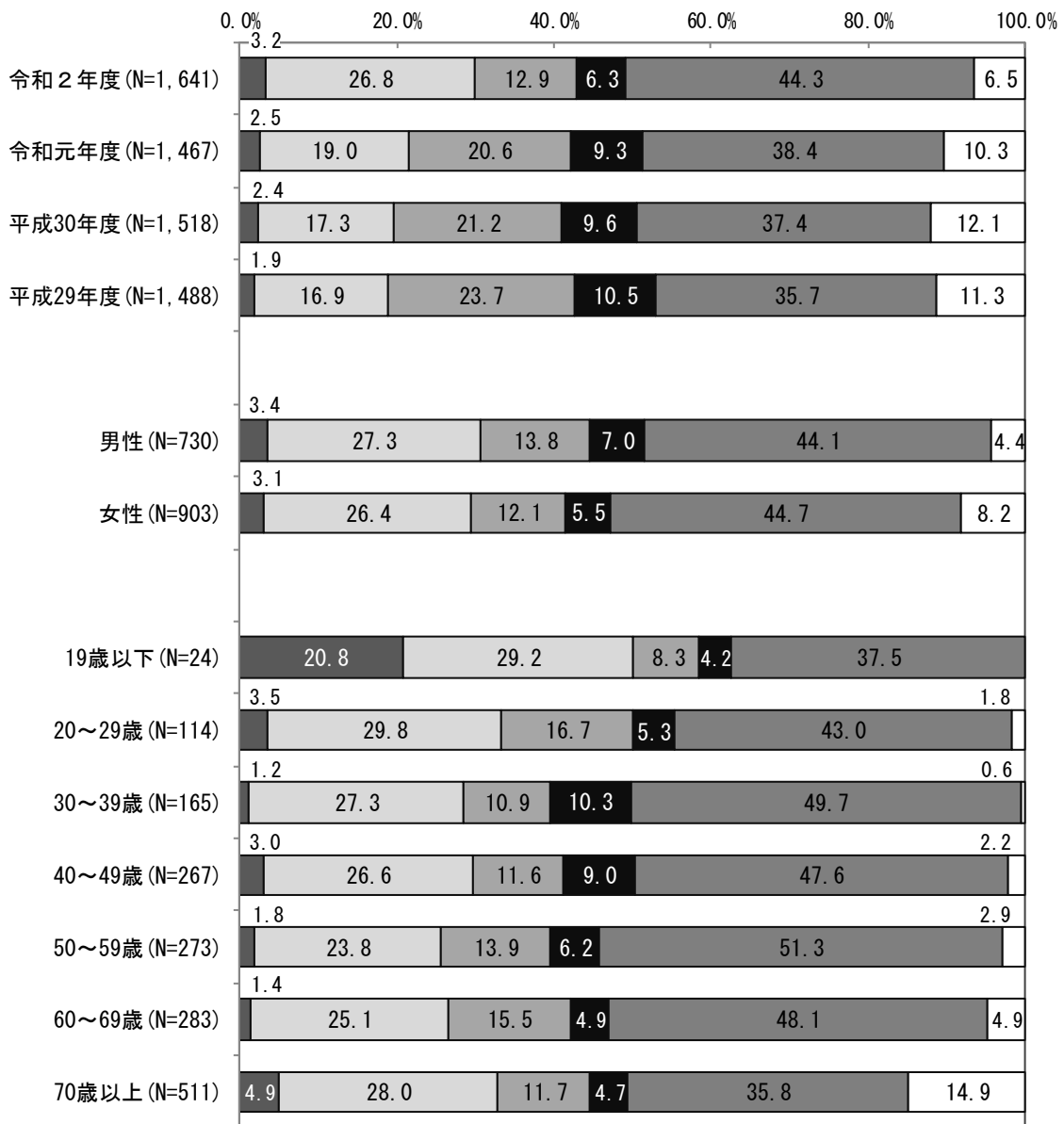
信頼される行政経営の推進についてみると、「どちらともいえない」が44.3%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足」(26.8%)、「どちらかといえば不満」(12.9%)などとなっている。“満足という意見”(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)(30.0%)が“不満という意見”(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)(19.2%)を上回っている。

年度別にみると、“満足という意見”は前年度に比べ増加している。

性別にみると、“満足という意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“満足という意見”は『19歳以下』を除いて『20～29歳』(33.3%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 ⑩ 信頼される行政経営の推進



■満足 □どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □どちらともいえない □無回答

5 今後の定住意向について

(1) 今後の八尾市での居住意向 (問 29)

問 29 あなたは、今後も八尾市に住みつづけたいとお考えですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

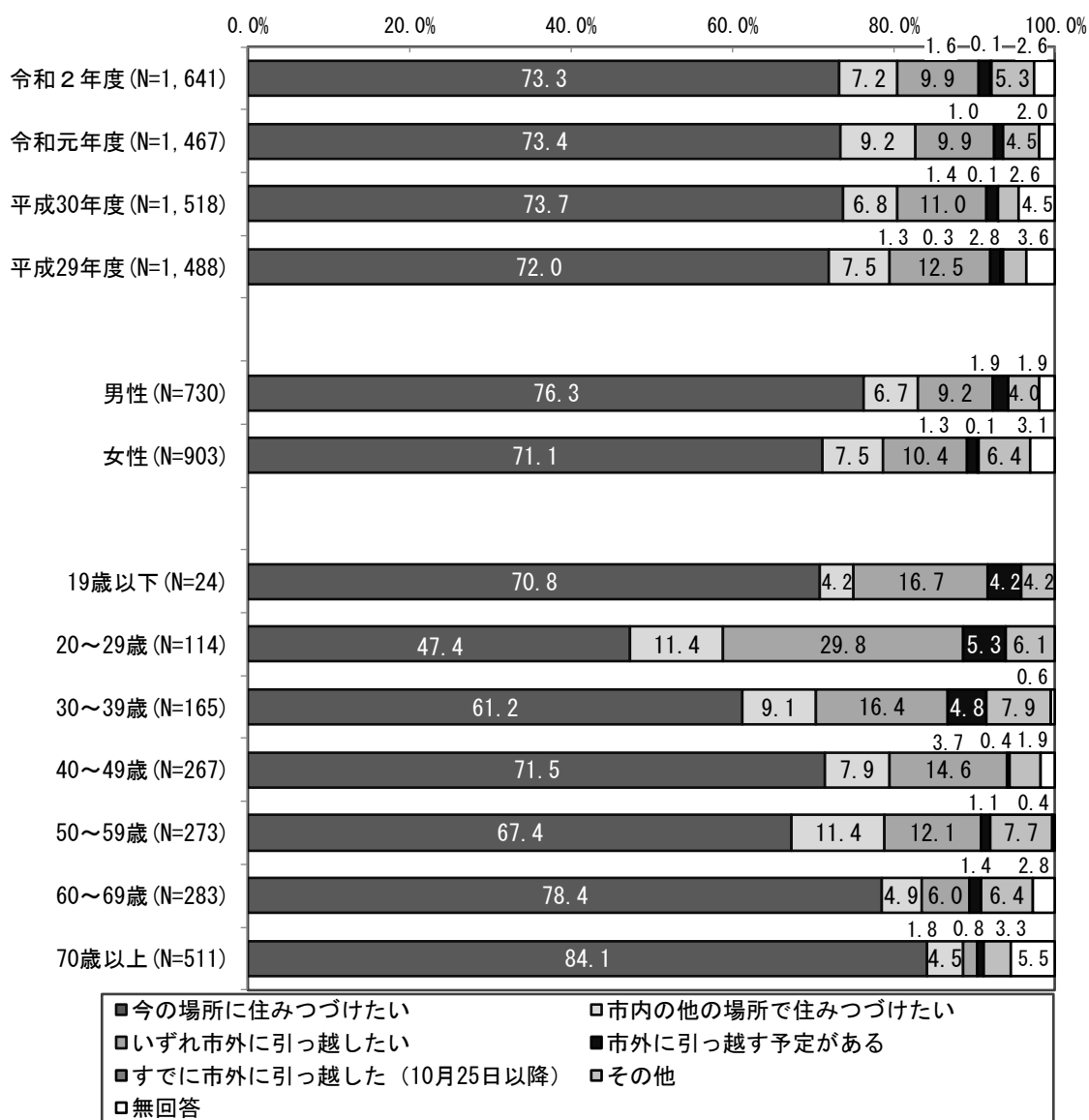
今後の八尾市での居住意向についてみると、「今の場所に住みつづけたい」が73.3%と最も多く、次いで「いずれ市外に引っ越したい」(9.9%)、「市内の他の場所で住みつづけたい」(7.2%)となっている。“定住意向を示す人”(「今の場所に住みつづけたい」と「市内の他の場所で住みつづけたい」の合計)は80.5%となっている。

年度別にみると、ほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、“定住意向を示す人”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“定住意向を示す人”は、『70歳以上』(88.6%)が最も多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 今後の八尾市での居住意向



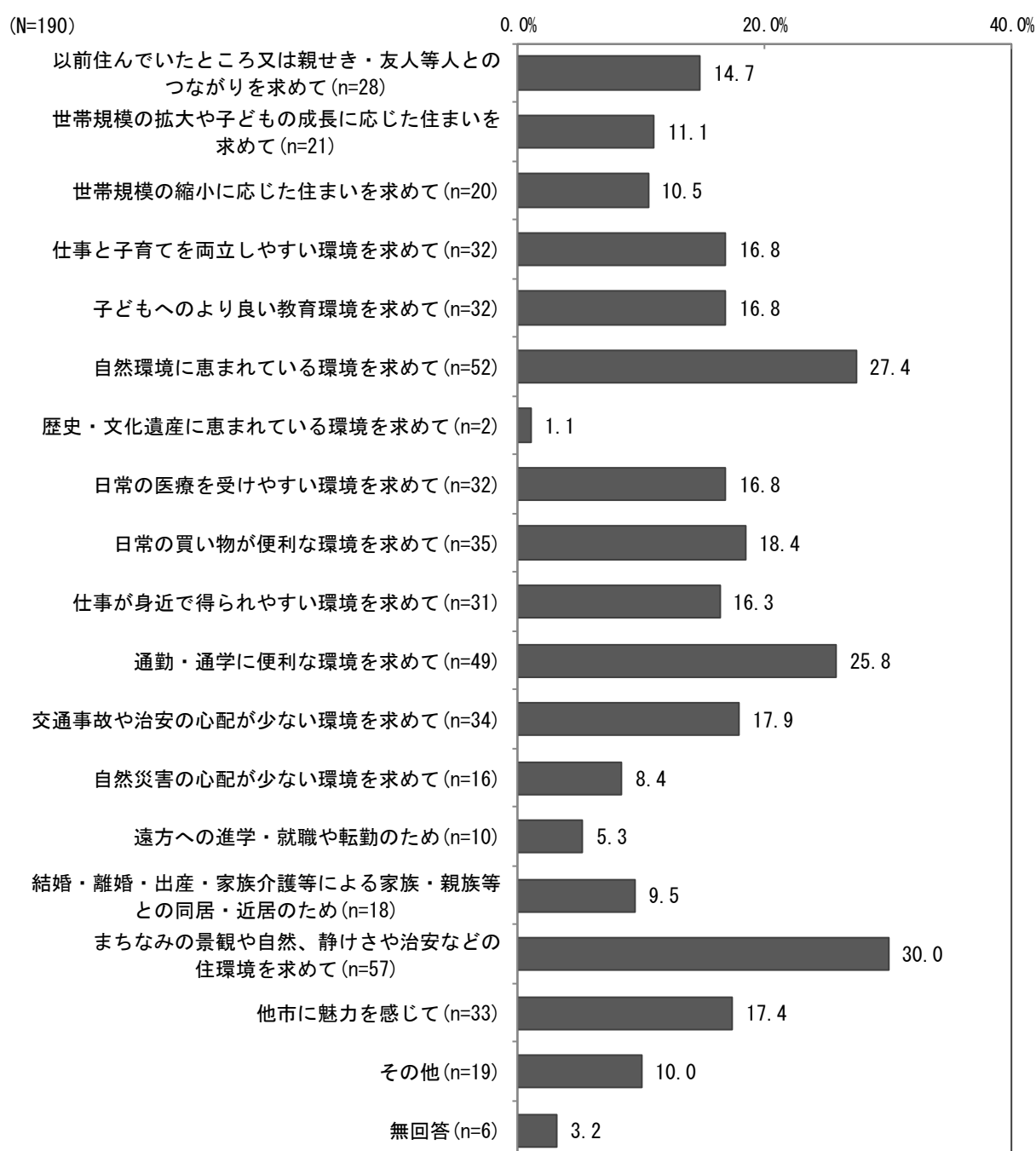
(2) 市外へ引っ越したい(引っ越した)理由(問29-1)

問29で「3」～「5」に○をつけた方にお伺いします。

問29-1 あなたが、市外へ引っ越したいと思われる理由または引っ越した理由を教えてください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

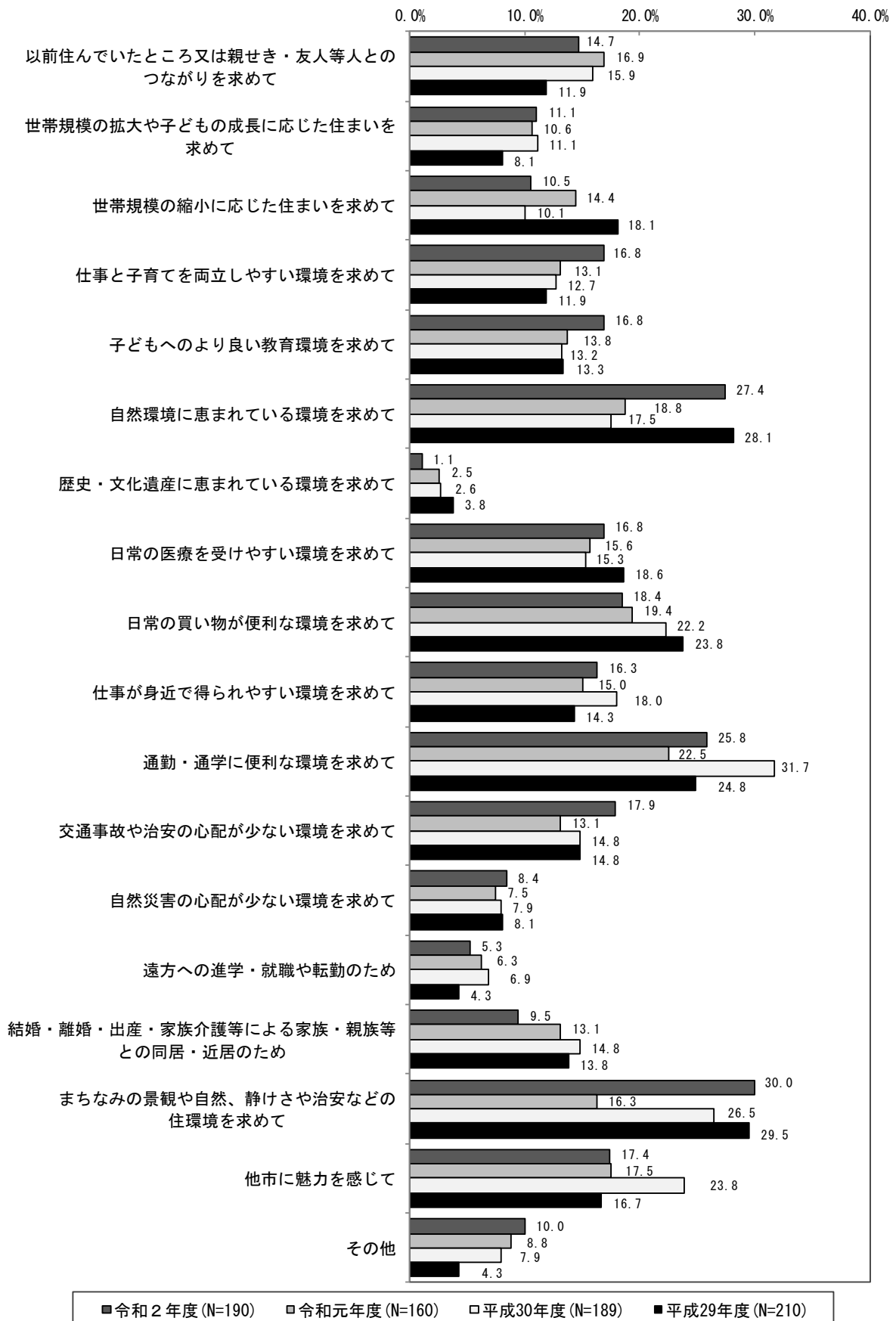
市外へ引っ越す予定・希望がある、またはすでに市外に引っ越した方について、市外へ引っ越したい(引っ越した)理由をみると、「まちなみの景観や自然、静けさや治安などの住環境を求めて」が30.0%と最も多く、次いで「自然環境に恵まれている環境を求めて」(27.4%)、「通勤・通学に便利な環境を求めて」(25.8%)などとなっている。

図 市外へ引っ越したい(引っ越した)理由(複数回答)



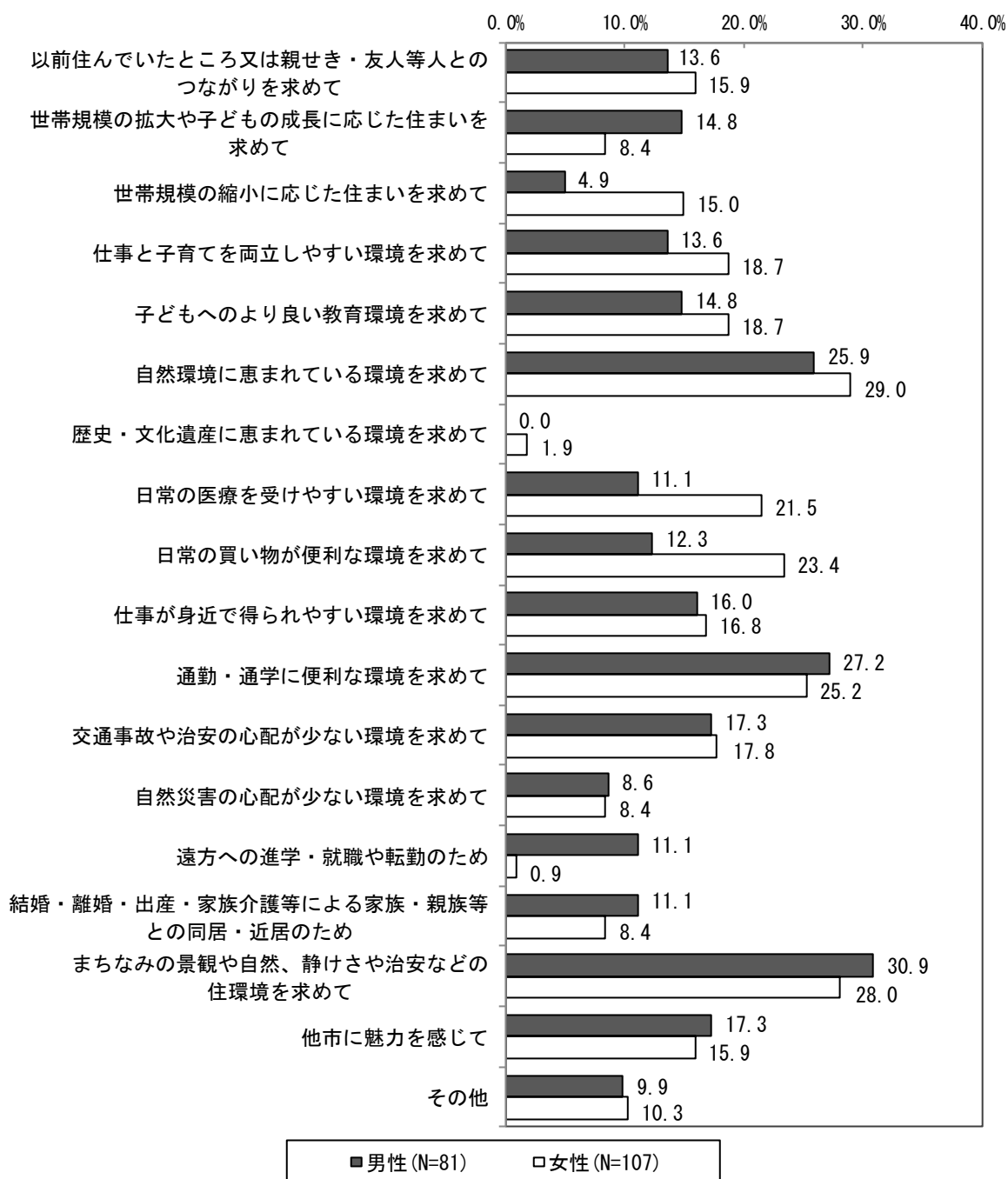
年度別にみると、各年度のばらつきが大きく、一貫した傾向がみられない。

図 年度別 市外へ引っ越したい(引っ越した)理由(複数回答)



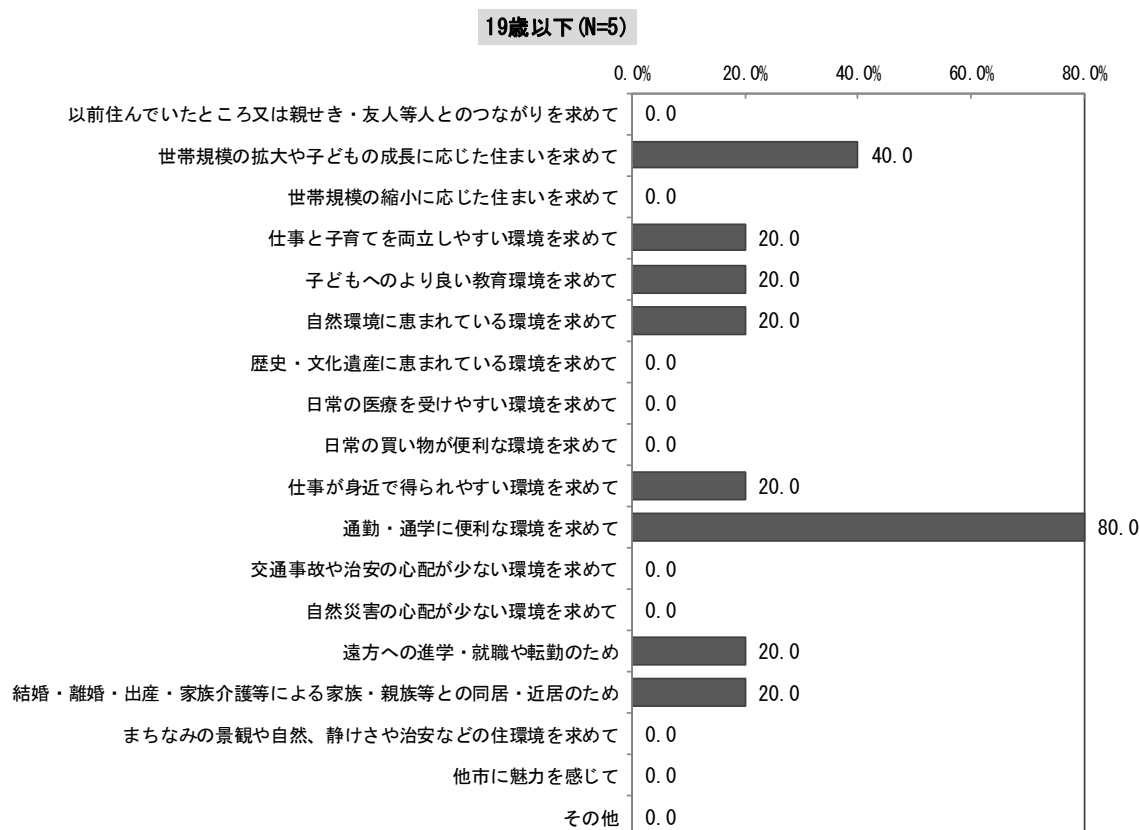
性別にみると、『男性』が『女性』に比べて多い項目は、「遠方への進学・就職や転勤のため」(11.1%)、「世帯規模の拡大や子どもの成長に応じた住まいを求めて」(14.8%)などとなっている。『女性』が『男性』に比べて多い項目は、「日常の買い物が便利な環境を求めて」(23.4%)、「日常の医療を受けやすい環境を求めて」(21.5%)、「世帯規模の縮小に応じた住まいを求めて」(15.0%)などとなっている。

図 性別 市外へ引っ越したい(引っ越した)理由(複数回答)

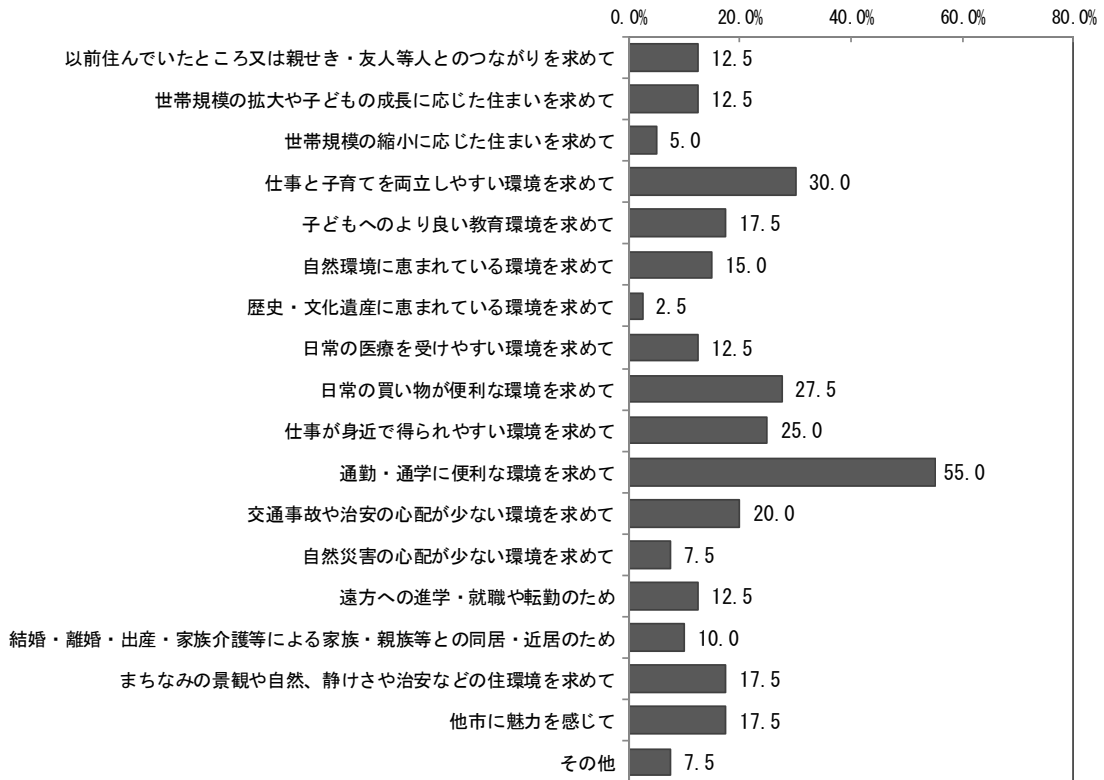


年齢別にみると、『19歳以下』『20～29歳』は「通勤・通学に便利な環境を求めて」、『30～39歳』は「子どもへのより良い教育環境を求めて」、『40～49歳』『50～59歳』は「まちなみの景観や自然、静けさや治安などの住環境を求めて」、『60～69歳』は「自然環境に恵まれている環境を求めて」、『70歳以上』は「自然環境に恵まれている環境を求めて」「日常の買い物が便利な環境を求めて」「まちなみの景観や自然、静けさや治安などの住環境を求めて」が最も多くなっている。

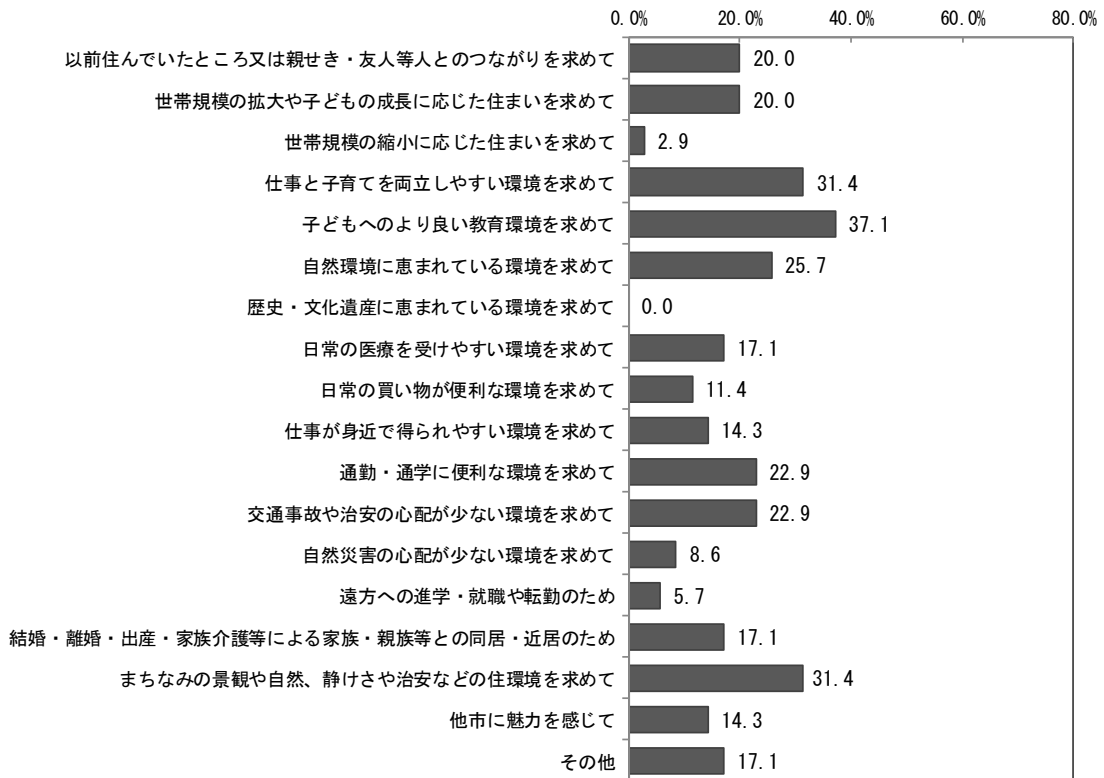
図 年齢別 市外へ引っ越したい(引っ越した)理由(複数回答)



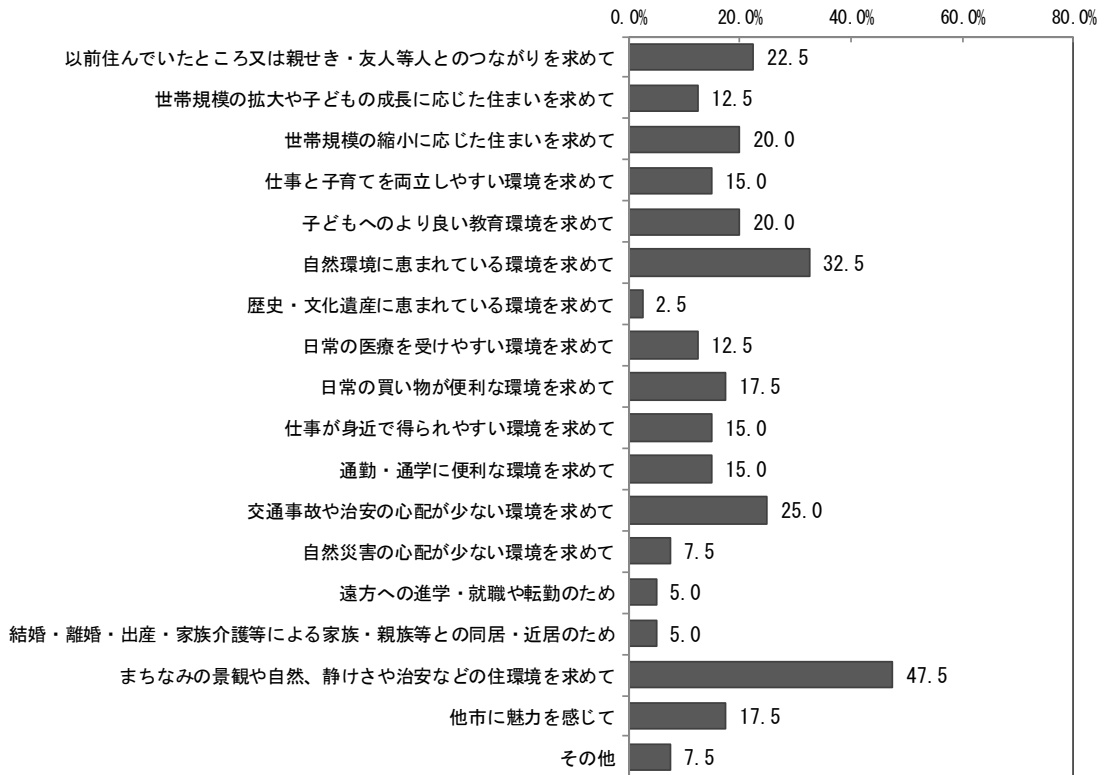
20～29歳 (N=40)



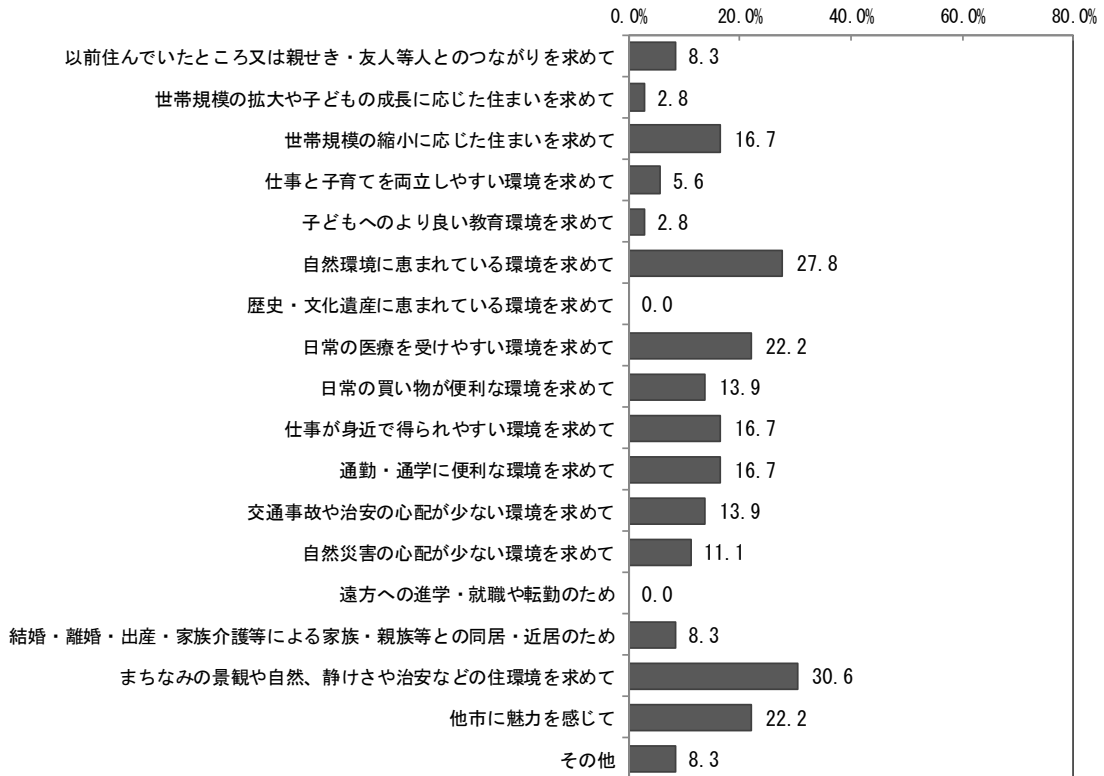
30～39歳 (N=35)



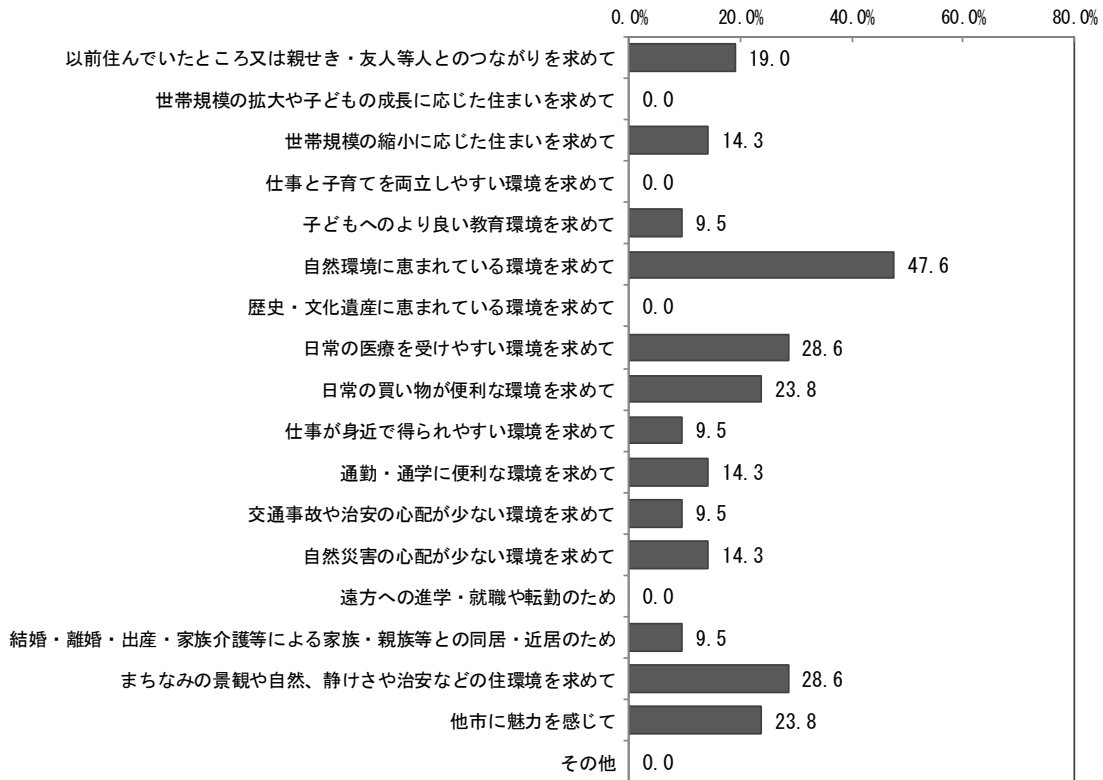
40～49歳 (N=40)



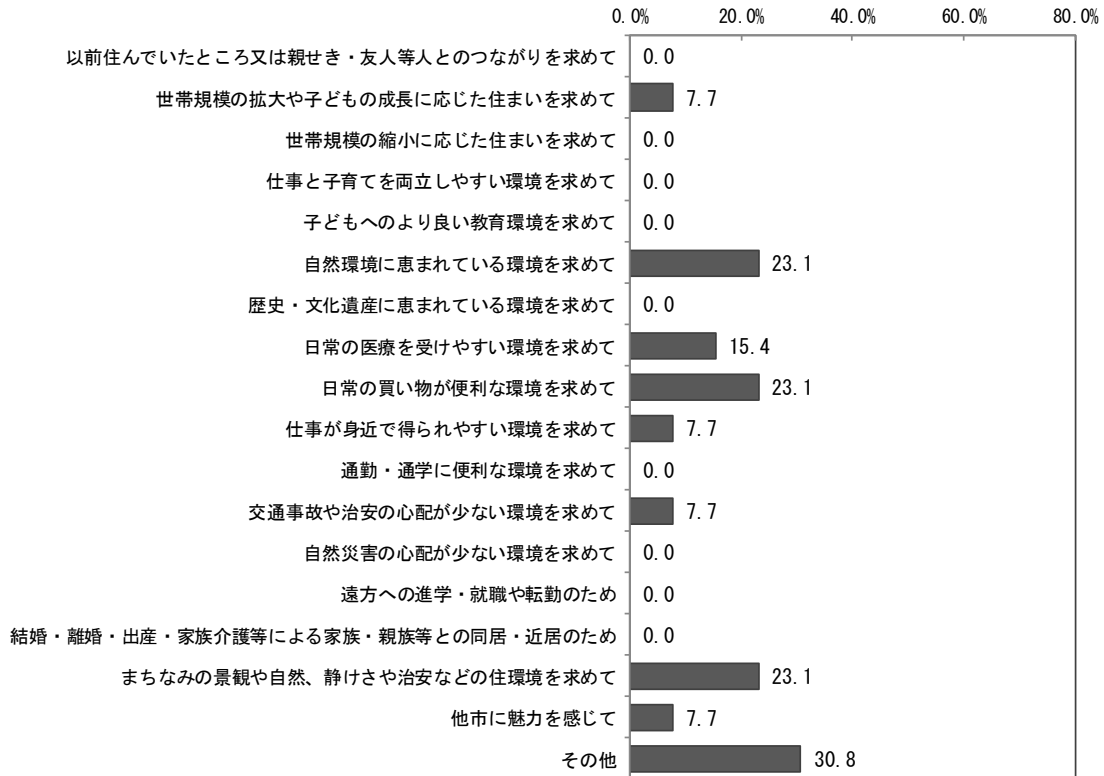
50～59歳 (N=36)



60～69歳 (N=21)



70歳以上 (N=13)



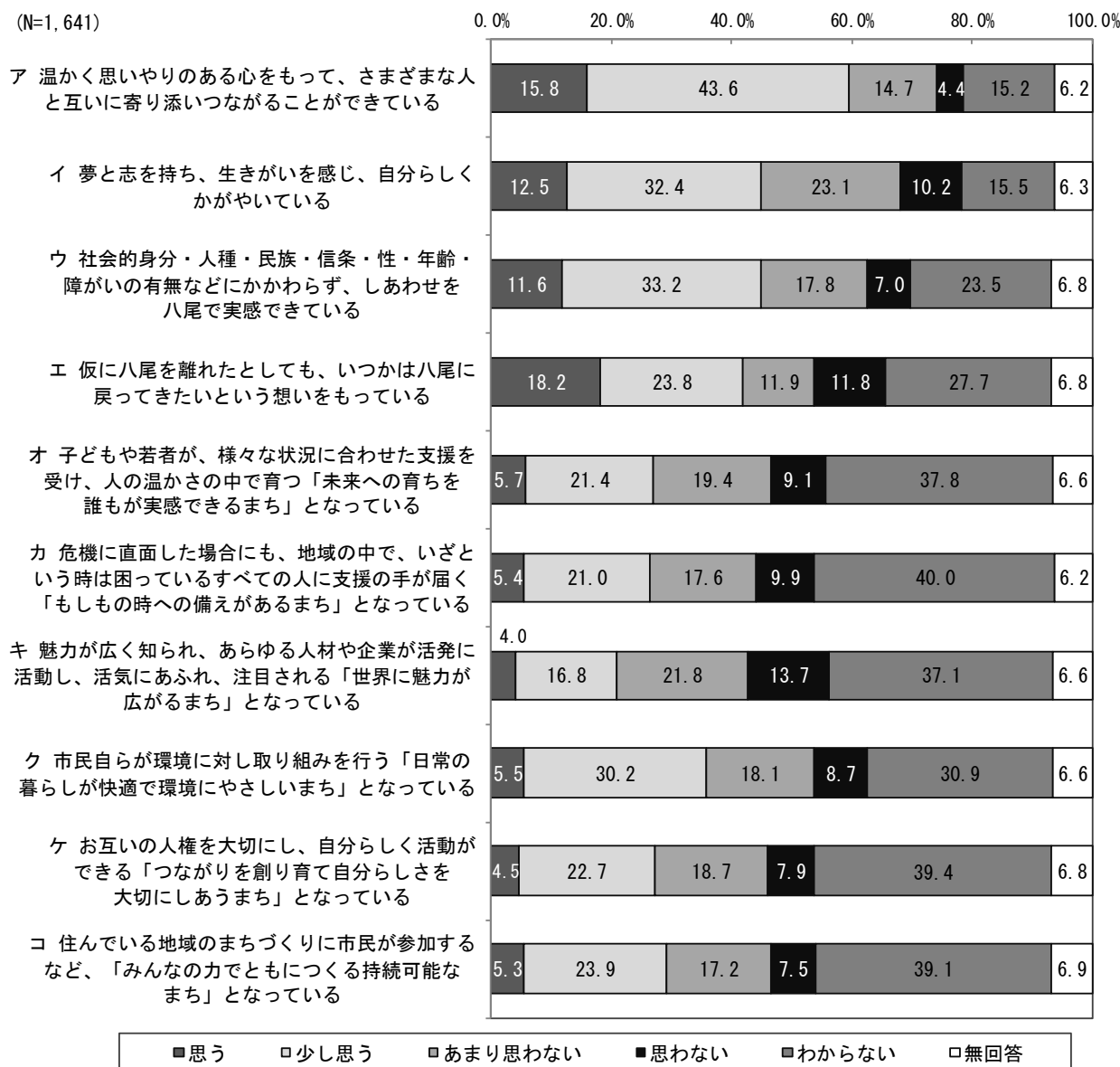
6 八尾市の将来都市像の実現状況について

(1) 将来都市像の実現についての考え (問 30)

問 30 第6次総合計画を進めるにあたり、将来都市像を「つながり、かがやき、しあわせつづく、成長都市八尾」と定め、次のような社会の実現をめざしています。ア～コの項目ごとに、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

将来都市像の実現についての考えについて全体をみると、“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)は、「ア 温かく思いやりのある心をもって、さまざまな人と互いに寄り添いつながることができている」が59.4%で最も多く、次いで、「イ 夢と志を持ち、生きがいを感じ、自分らしくかがやいている」(44.9%)などとなっている。一方“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)は「キ 魅力が広く知られ、あらゆる人材や企業が活発に活動し、活気にあふれ、注目される「世界に魅力が広がるまち」となっている」が35.5%で最も多く、次いで、「イ 夢と志を持ち、生きがいを感じ、自分らしくかがやいている」(33.3%)などとなっている。

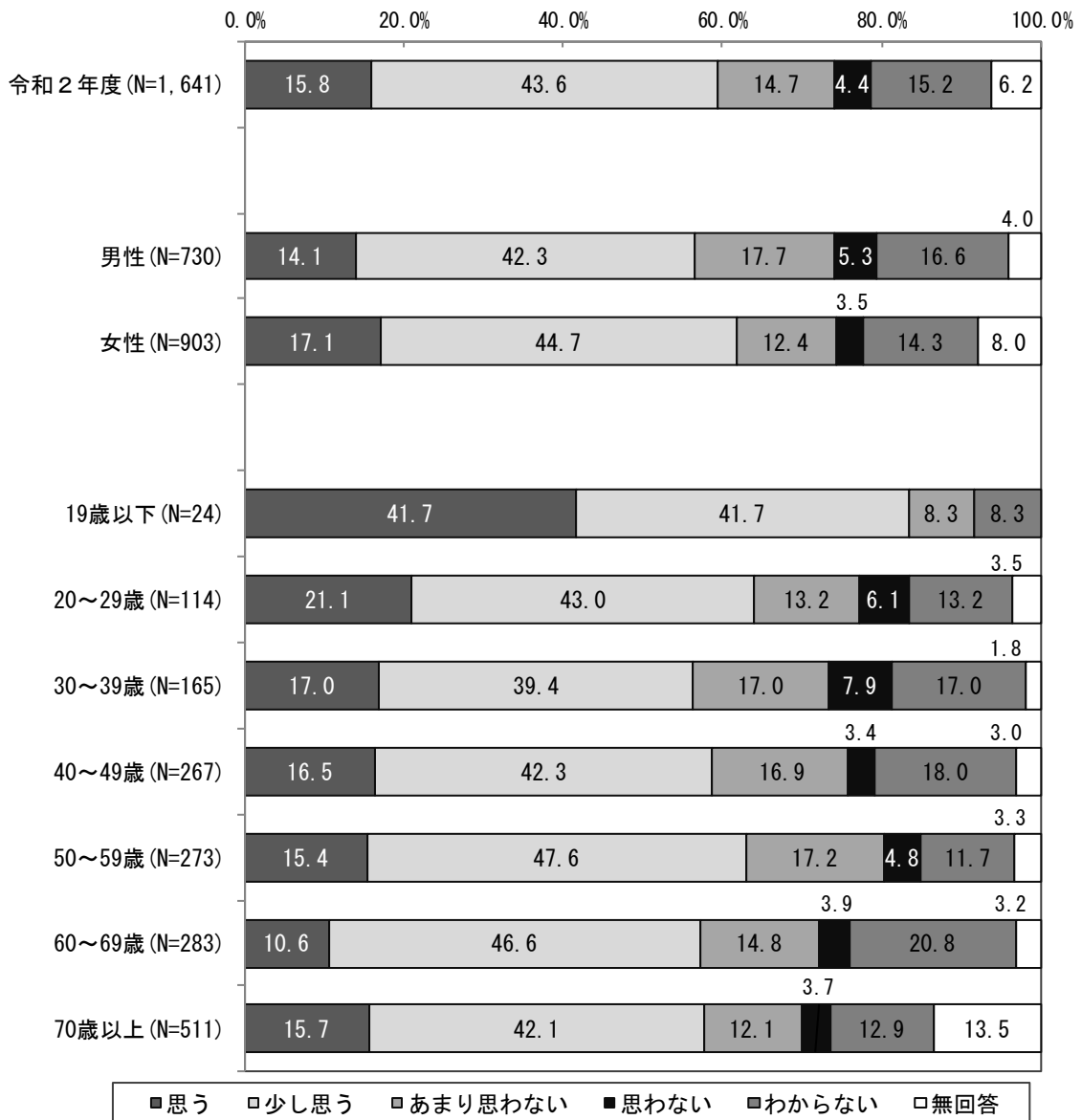
図 将来都市像の実現についての考え



問 30 ア 私は、温かく思いやりのある心をもって、さまざまな人と互いに寄り添いつながることができている

思いやりのある心で人と寄り添いつながることについてみると、「少し思う」が43.6%で最も多く、次いで「思う」(15.8%)、「わからない」(15.2%)などとなっている。“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(59.4%)が“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(19.1%)を上回っている。性別にみると、“肯定的な意見”は『女性』(61.8%)が『男性』(56.4%)に比べ多くなっている。年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いてどの年齢層も6割前後となっている。

図 性別・年齢別 ア 思いやりのある心で人と寄り添いつながること



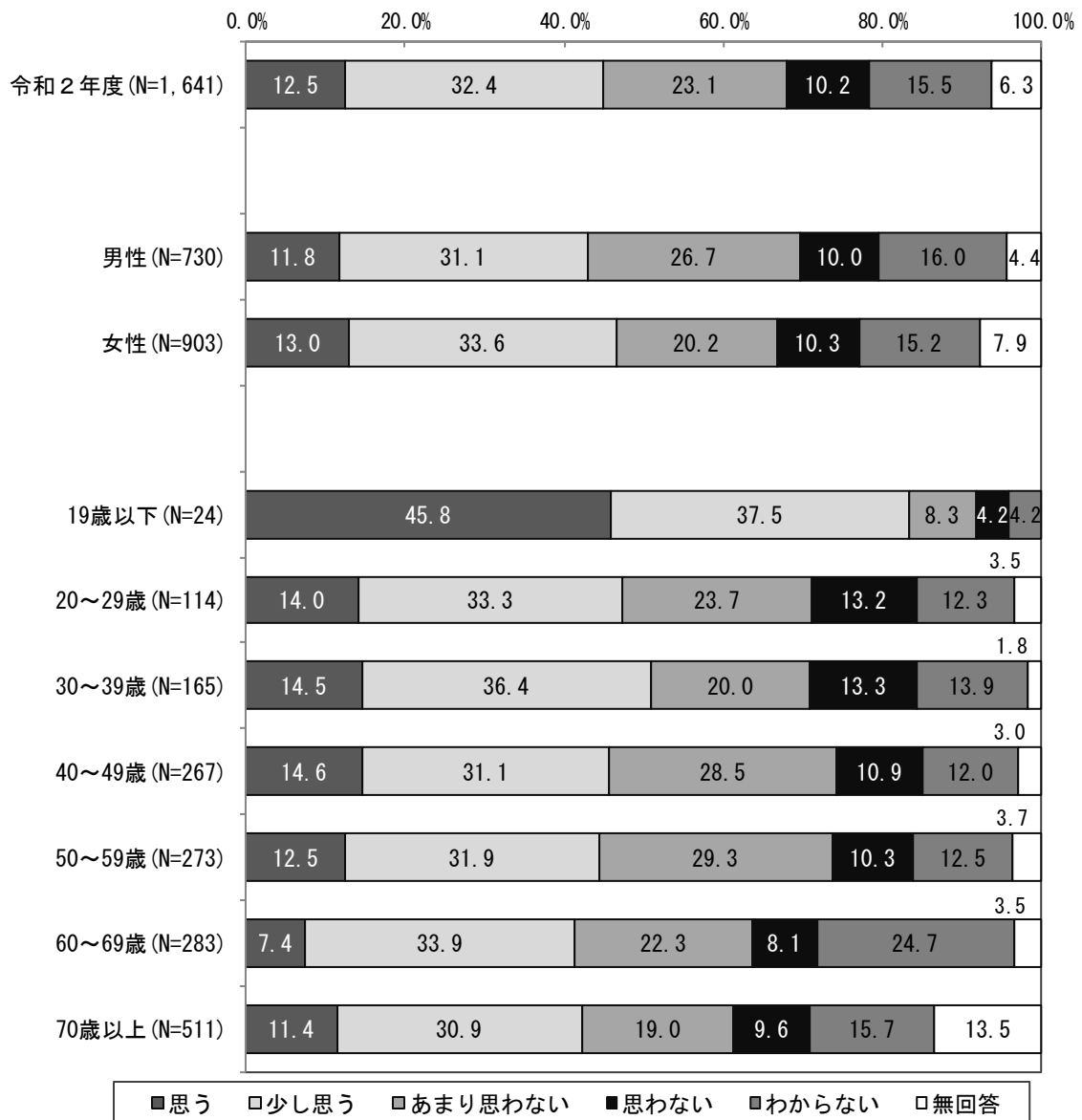
問 30 イ 私は、夢と志を持ち、生きがいを感じ、自分らしくかがやいている

夢と志を持ち、生きがいを感じ、自分らしくかがやくことについてみると、「少し思う」が32.4%で最も多く、次いで「あまり思わない」(23.1%)、「わからない」(15.5%)などとなっている。“肯定的な意見”（「思う」と「少し思う」の合計）(44.9%)が“否定的な意見”（「思わない」と「あまり思わない」の合計）(33.3%)を上回っている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて『30～39歳』(50.9%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 イ 夢と志を持ち、生きがいを感じ、自分らしくかがやくこと



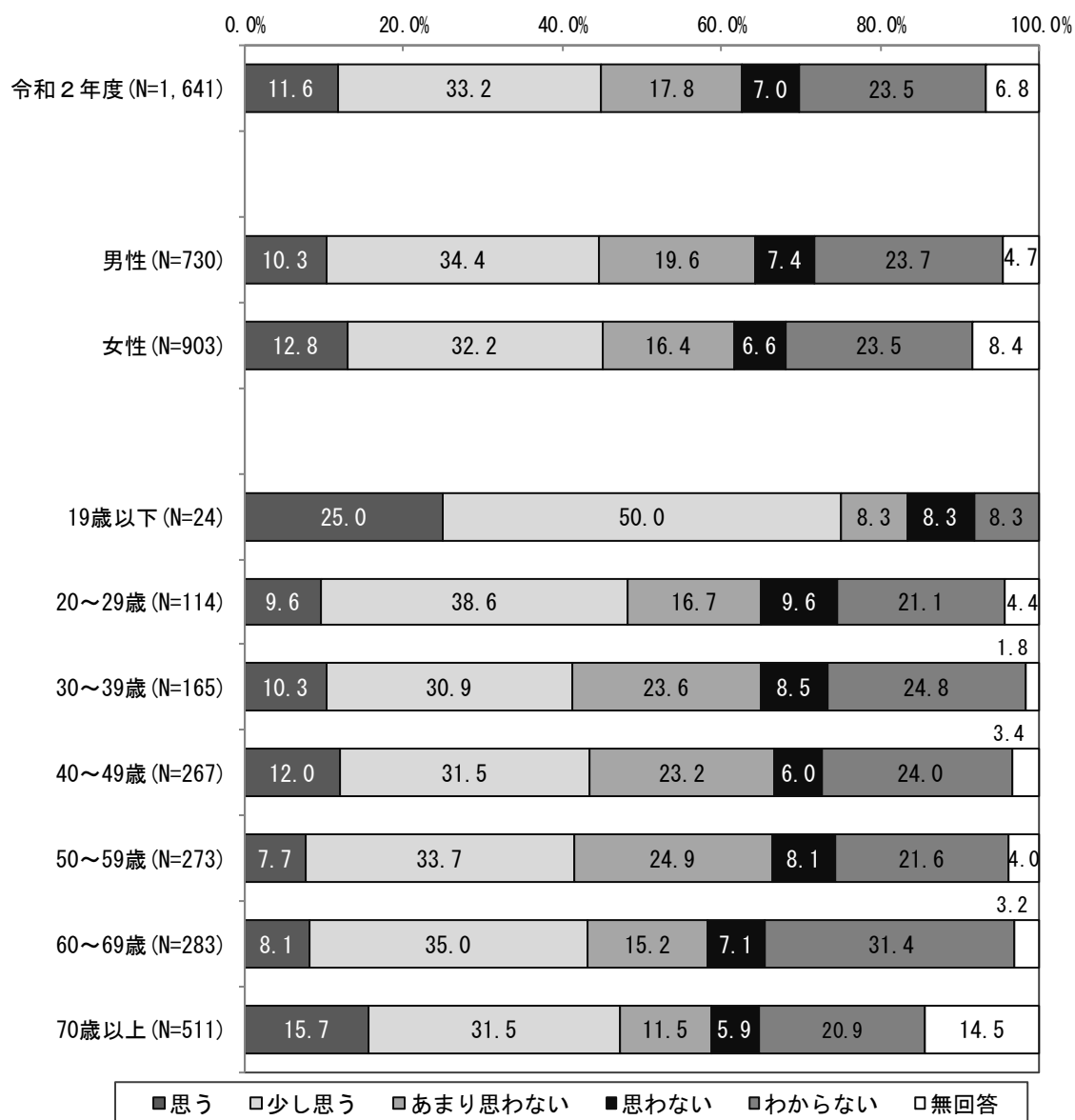
問 30 ウ 私は、社会的身分・人種・民族・信条・性・年齢・障がいの有無などにかかわらず、しあわせを八尾で実感できている

しあわせを八尾で実感できることについてみると、「少し思う」が33.2%で最も多く、次いで「わからない」(23.5%)、「あまり思わない」(17.8%)などとなっている。“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(44.8%)が“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(24.8%)を上回っている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて『20～29歳』(48.2%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 ウ しあわせを八尾で実感できること



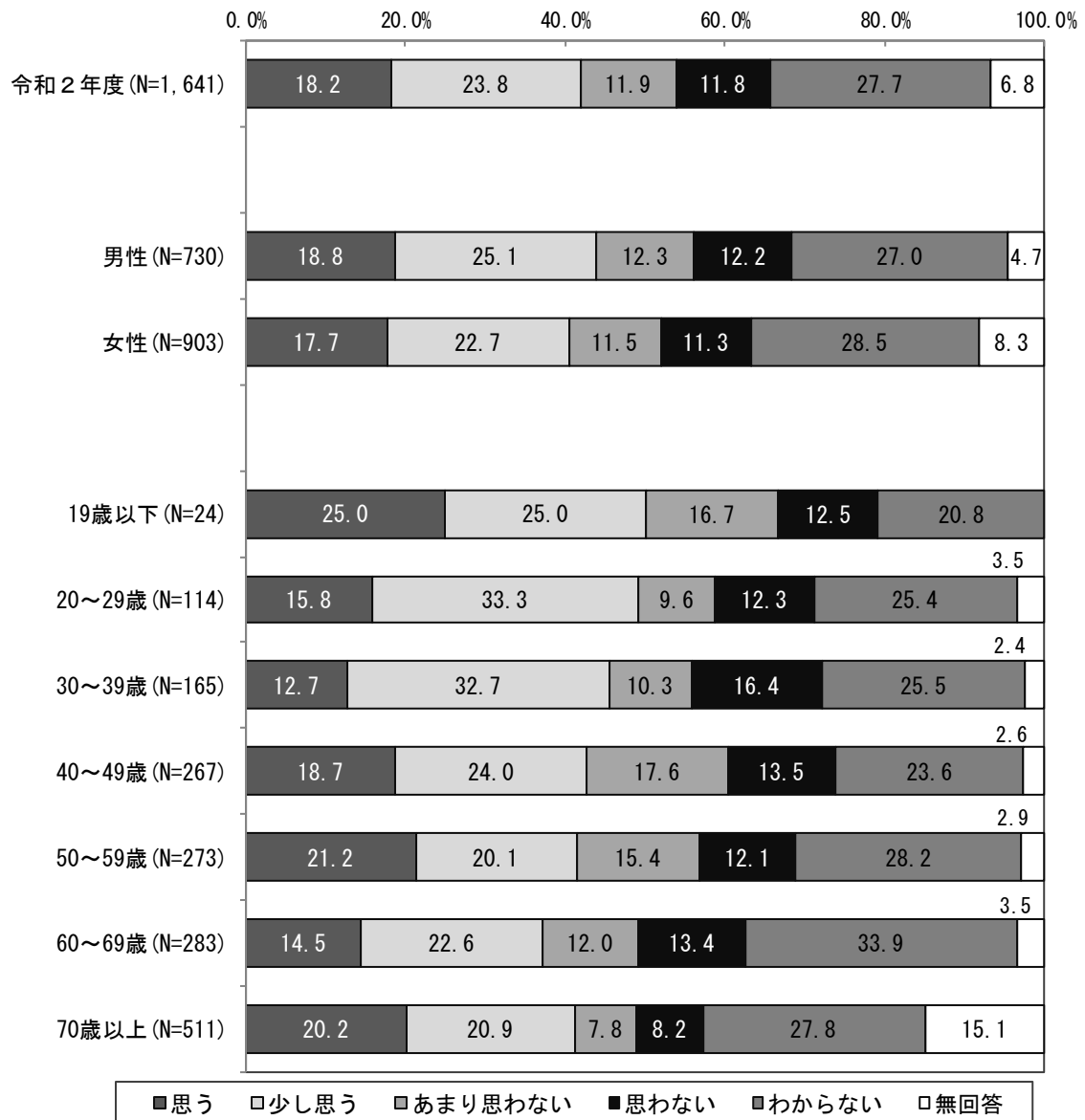
問 30 エ 私は、仮に八尾を離れたとしても、いつかは八尾に戻ってきたいという想いをもっている

八尾を離れても、いつかは八尾に戻ってきたいという想いについてみると、「わからない」が27.7%で最も多く、次いで「少し思う」(23.8%)、「思う」(18.2%)などとなっている。“肯定的な意見”（「思う」と「少し思う」の合計）(42.0%)が“否定的な意見”（「思わない」と「あまり思わない」の合計）(23.7%)を上回っている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて『20～29歳』(49.1%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 エ 八尾を離れても、いつかは八尾に戻ってきたいという想い



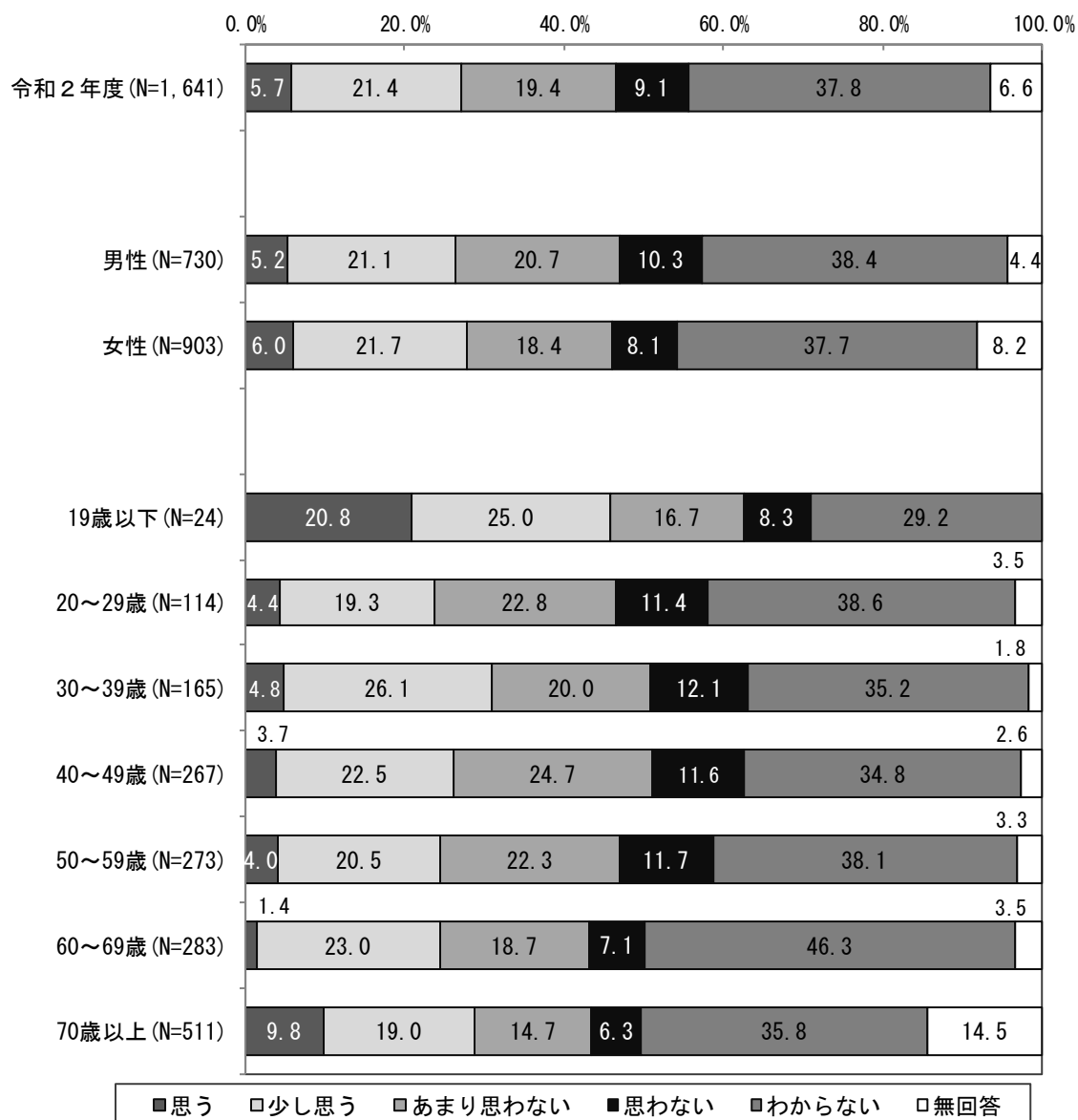
問 30 オ 八尾市は、子どもや若者が、様々な状況に合わせた支援を受け、人の温かさの中で育つ「未来への育ちを誰もが実感できるまち」となっている

「未来への育ちを誰もが実感できるまち」となっていることについてみると、「わからない」が37.8%で最も多く、次いで「少し思う」(21.4%)、「あまり思わない」(19.4%)などとなっている。“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)は27.1%となっている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて『30～39歳』(30.9%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 オ 「未来への育ちを誰もが実感できるまち」となっていること



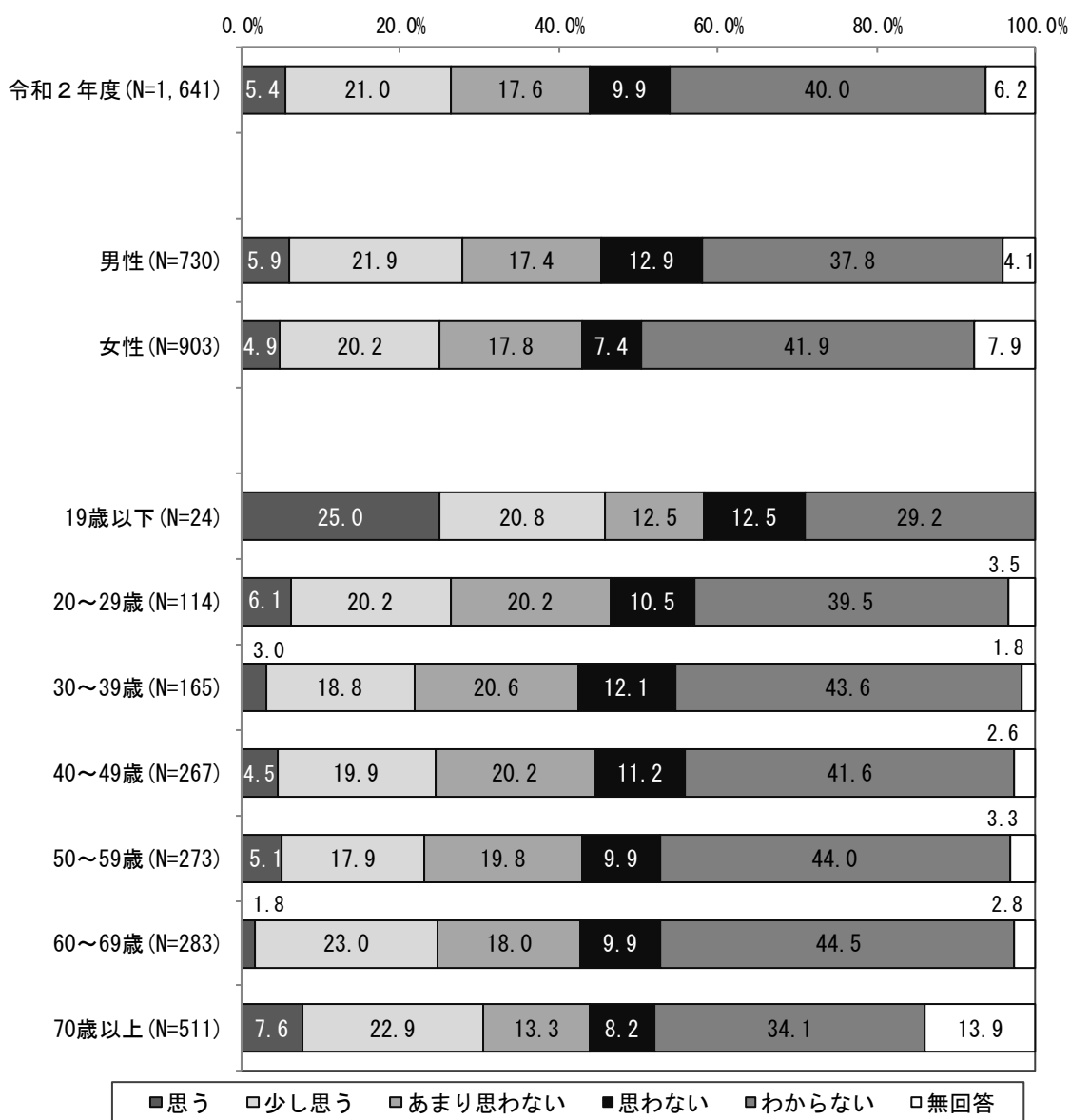
問 30 カ 八尾市は、危機に直面した場合にも、地域の中で、いざという時は困っているすべての人に支援の手が届く「もしもの時への備えがあるまち」となっている

「もしもの時への備えがあるまち」となっていることについてみると、「わからない」が40.0%で最も多く、次いで「少し思う」(21.0%)、「あまり思わない」(17.6%)などとなっている。“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)は26.4%となっている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて『70歳以上』(30.5%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 カ 「もしもの時への備えがあるまち」となっていること



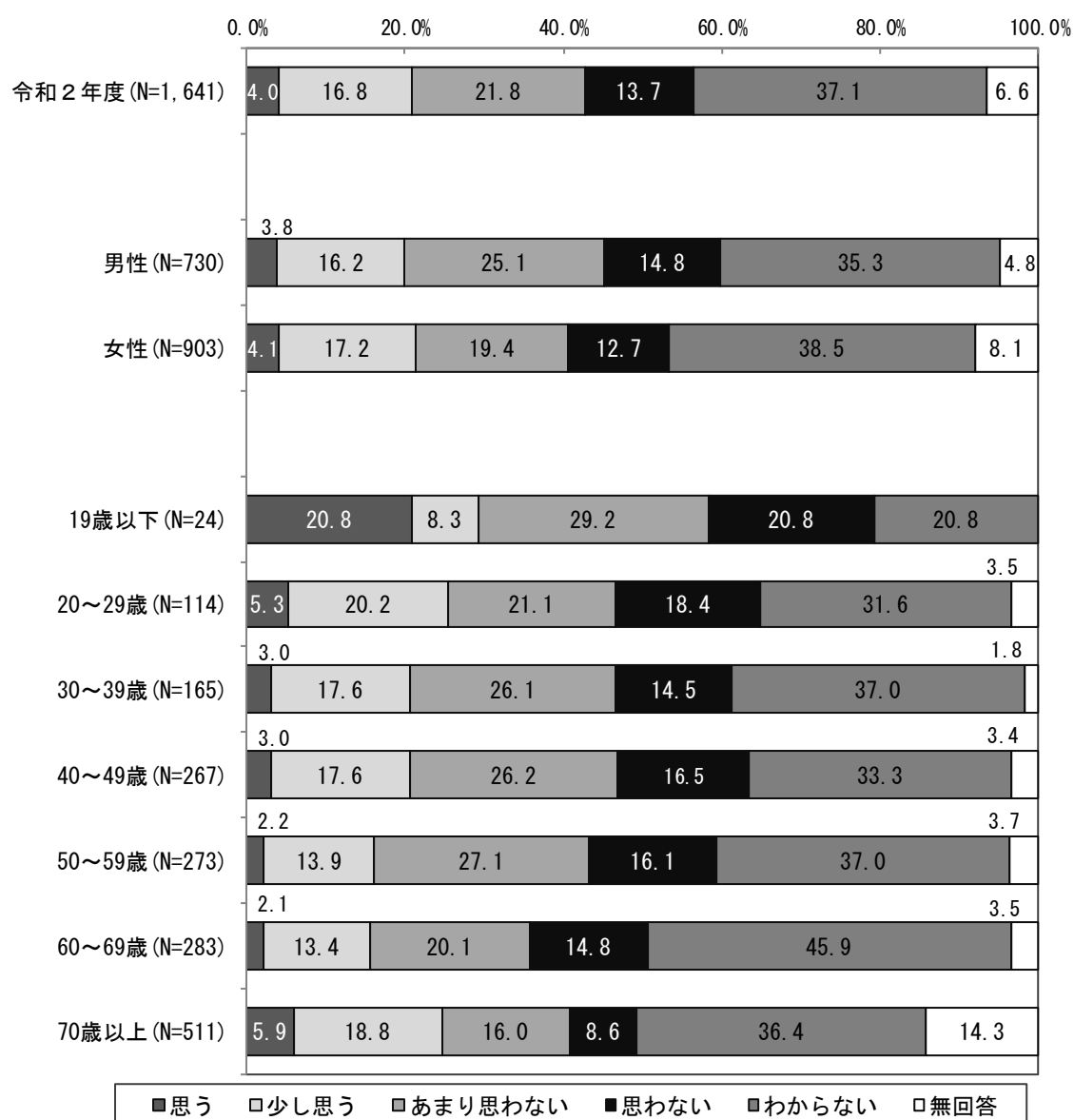
問 30 キ 八尾市は、魅力が広く知られ、あらゆる人材や企業が活発に活動し、活気にあふれ、注目される「世界に魅力が広がるまち」となっている

「世界に魅力が広がるまち」となっていることについてみると、「わからない」が37.1%で最も多く、次いで「あまり思わない」(21.8%)、「少し思う」(16.8%)などとなっている。“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(35.5%)が“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(20.8%)を上回っている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて『20～29歳』(25.5%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 キ 「世界に魅力が広がるまち」となっていること



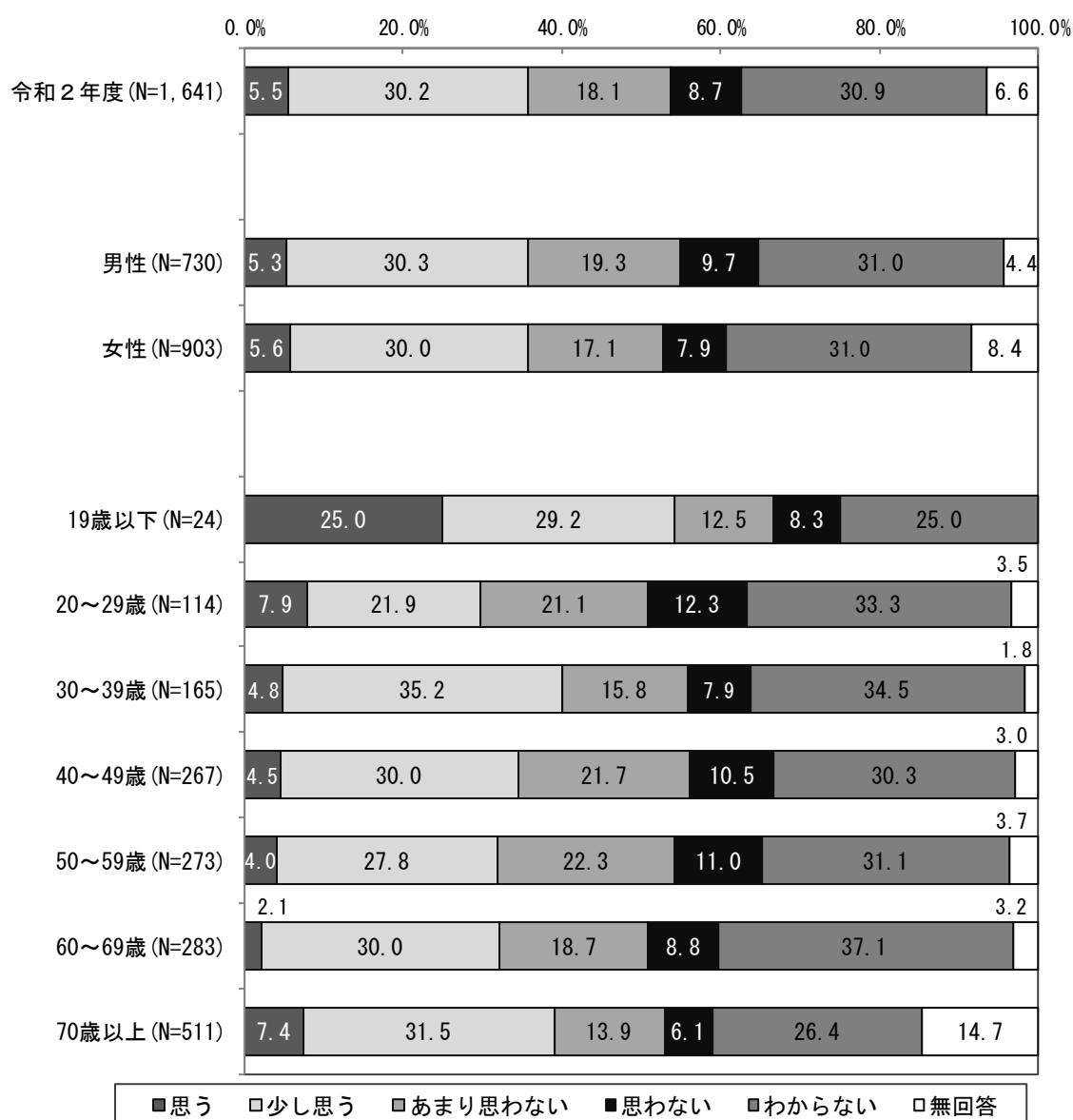
問 30 ク 八尾市は、市民自らが環境に対し取り組みを行う「日常の暮らしが快適で環境にやさしいまち」となっている

「日常の暮らしが快適で環境にやさしいまち」となっていることについてみると、「わからない」が30.9%で最も多く、次いで「少し思う」(30.2%)、「あまり思わない」(18.1%)などとなっている。“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(35.7%)が“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(26.8%)を上回っている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて『30～39歳』(40.0%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 ク 「日常の暮らしが快適で環境にやさしいまち」となっていること



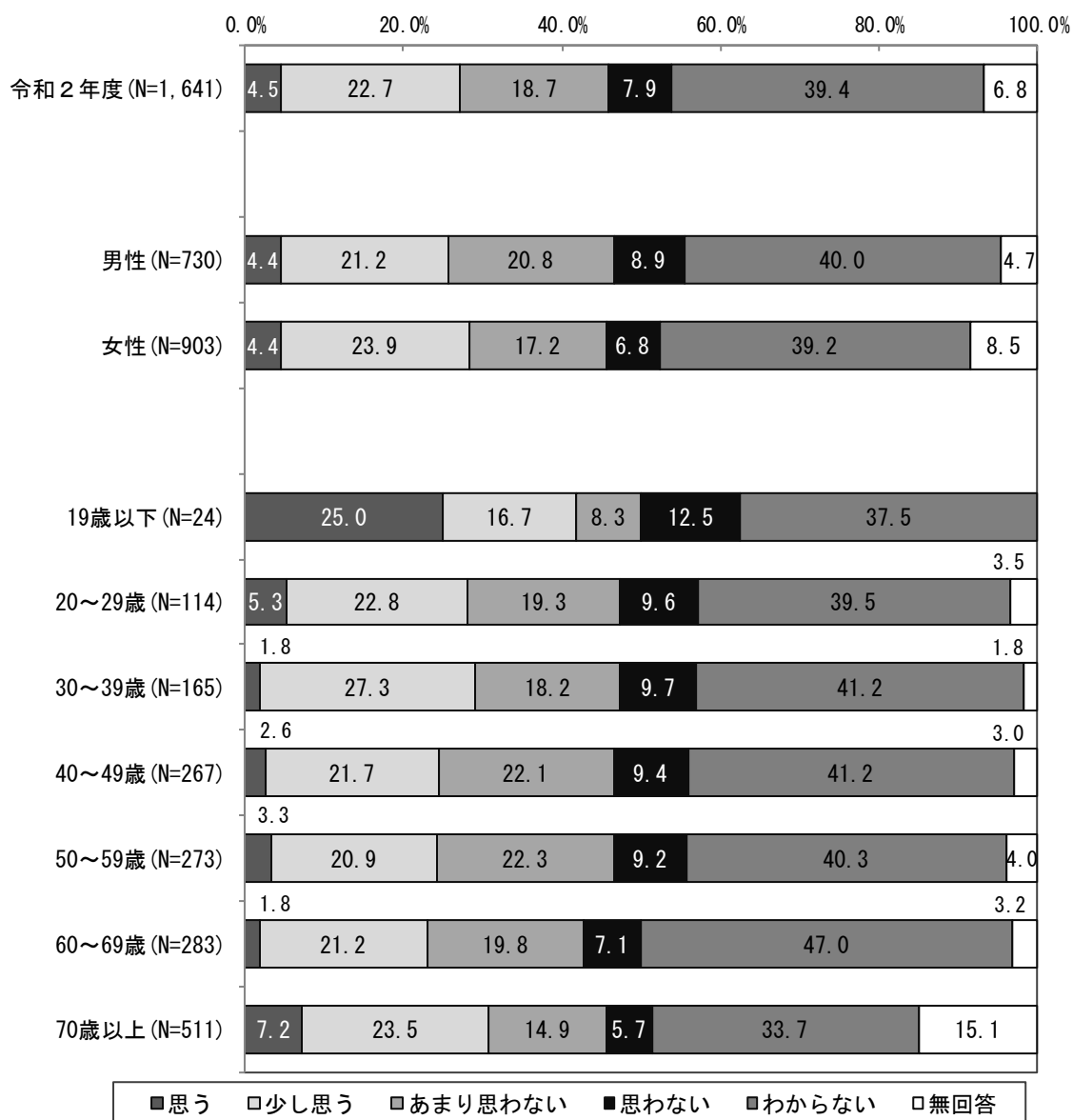
問 30 ケ 八尾市は、お互いの人権を大切に、自分らしく活動ができる「つながりを創り育て自分らしさを大切にしようまち」となっている

「つながりを創り育て自分らしさを大切にしようまち」となっていることについてみると、「わからない」が39.4%で最も多く、次いで「少し思う」(22.7%)、「あまり思わない」(18.7%)などとなっている。“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)は27.2%となっている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて『70歳以上』(30.7%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 ケ 「つながりを創り育て自分らしさを大切にしようまち」となっていること



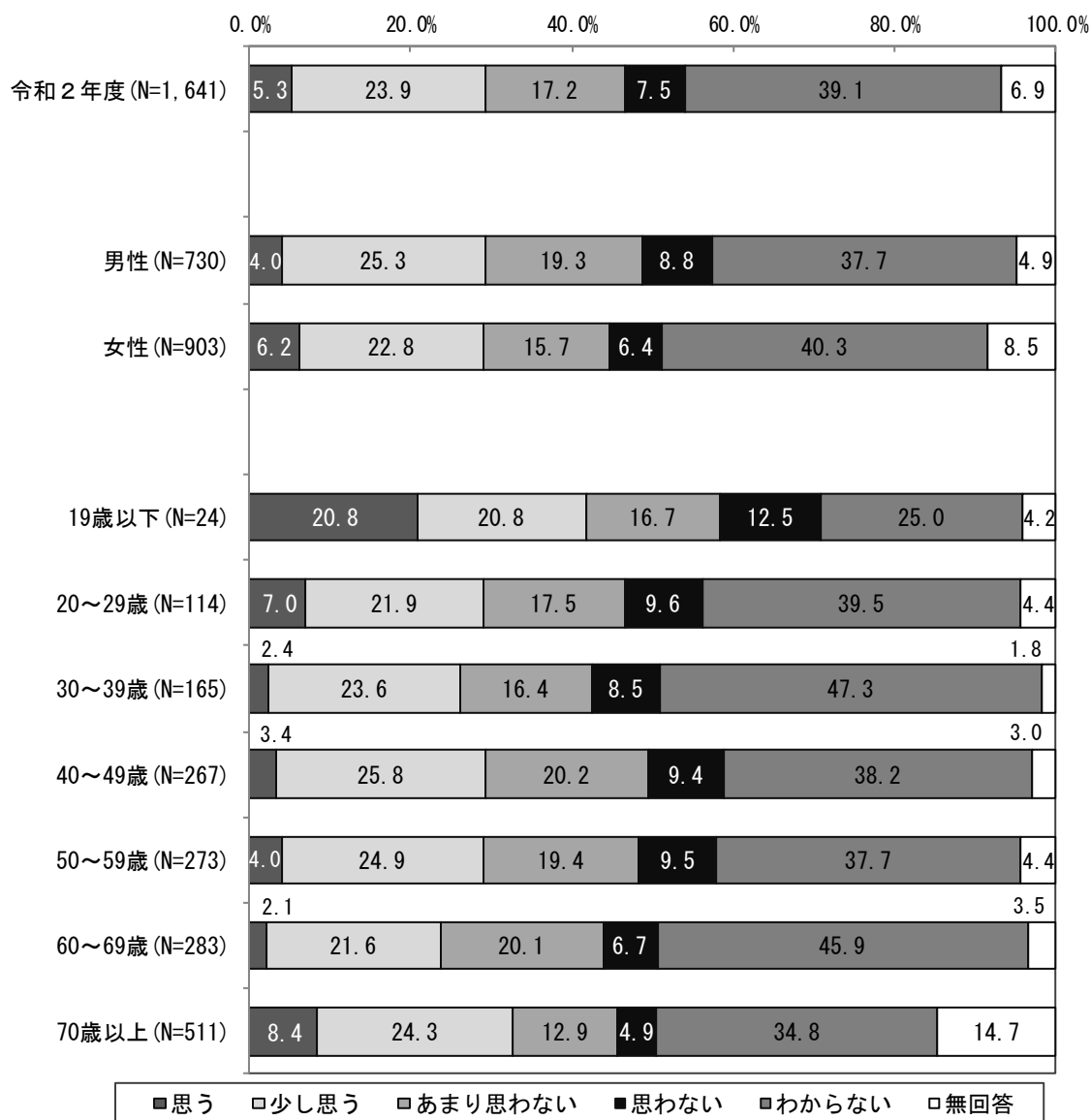
問 30 コ 八尾市は、住んでいる地域のまちづくりに市民が参加するなど、「みんなの力でともにつくる持続可能なまち」となっている

「みんなの力でともにつくる持続可能なまち」となっていることについてみると、「わからない」が39.1%で最も多く、次いで「少し思う」(23.9%)、「あまり思わない」(17.2%)などとなっている。“肯定的な意見”(「思う」と「少し思う」の合計)(29.2%)が“否定的な意見”(「思わない」と「あまり思わない」の合計)(24.7%)を上回っている。

性別にみると、“肯定的な意見”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“肯定的な意見”は『19歳以下』を除いて『70歳以上』(32.7%)が最も多くなっている。

図 性別・年齢別 コ 「みんなの力でともにつくる持続可能なまち」となっていること



(2) より良い八尾をつくるためのアイデア (問 30-1)

問 30-1 「3. あまり思わない」「4. 思わない」と回答された項目について、回答された理由や問題・課題、より良い八尾をつくるためのアイデアがあればおきかせください。(いくつでも可)

問30のア～コの項目について、「3. あまり思わない」「4. 思わない」と回答された人に、その理由や問題・課題、より良い八尾をつくるためのアイデアをきいたところ、231件(複数回答含む)の自由記述式回答をいただいた。

自由意見の内容について、項目ごとの要旨をまとめたものを以下に示す。

ア 思いやりのある心で人と寄り添いつながること			
理由・問題・課題	件数	アイデア	件数
・人とのつながりがない	2	・様々な人と交流する機会が欲しい	3
・コロナ禍のため	1	・出張所をもっと市民と交流を深める場にしてほしい	1
・高齢・持病があるため	1		
・人とつながりたいと思わない	1		

イ 夢と志を持ち、生きがいを感じ、自分らしくかがやくこと			
理由・問題・課題	件数	アイデア	件数
・生きがいを感じない	5	・地産地消の振興	1
・高齢・持病があるため	4	・子育て世代に経済的な支援をしてほしい	1
・生活全般に不安がある	2		
・自分の希望に合った仕事が見つからない	1		
・都市の景観が良くないと感じる	1		
・現状に不満がない	1		

ウ しあわせを八尾で実感できること			
理由・問題・課題	件数	アイデア	件数
・自分の希望に合った仕事が見つからない	2	・人権問題への取り組みを適切に行ってほしい	6
		・多文化共生社会の実現に向けた取り組みを充実してほしい	2
		・公共交通網を充実してほしい	2
		・情報発信を充実してほしい	2
		・誰もが歩きやすいように歩道を整備してほしい	1
		・若い世代が地域活動に参加しやすい取り組みをすすめてほしい	1
		・障がい者にやさしいまちになってほしい	1

エ 八尾を離れても、いつかは八尾に戻ってきたいという想い			
理由・問題・課題	件数	アイデア	件数
・治安が悪いと感じる	2	・まちの利便性を良くしてほしい	3
・市民のマナーが悪いと感じる	2	・公共交通網を充実してほしい	2
・小さいころから育っているわけではないので、八尾への思い入れがない	2	・生活環境を改善してほしい	2
・八尾に昔から住んでいる人が、八尾への思い入れがない	1	・情報発信を充実してほしい	2
・思いやりの希薄化を感じる	1	・共働きの子育て世帯が子育てしやすいまちになってほしい	1
・市民スポーツ祭の在り方に不満がある	1	・いじめ問題対策を進めてほしい	1
・人とのつながりががない	1	・都市整備を適切に進めてほしい	1
・他のまちに魅力を感じる	1	・道路整備をしてほしい	1
		・里山の保全をしてほしい	1
		・中学校の給食を充実してほしい	1

オ 「未来への育ちを誰もが実感できるまち」となっていること			
理由・問題・課題	件数	アイデア	件数
・公立認定こども園の整備に不満がある	3	・安心して子どもを産み、育てられるまちづくりを進めてほしい	6
・教育施策を充実してほしい	1	・就学前教育・保育施設を増やしてほしい	6
・地域でのつながりが希薄である	1	・のびのびと遊べる公園や広場を充実・整備してほしい	3
・思いやりの心をもってほしい	1	・いじめ問題対策を進めてほしい	3
・市役所の対応が不親切と感じる	1	・情報発信を充実してほしい	3
・コロナ禍のため	1	・子育て世代に経済的な支援をしてほしい	2
・子どもがいないのでわからない	1	・様々な立場の人たちが交流できる場を作してほしい	2
		・交通マナーの向上に取り組んでほしい	2
		・共働きの子育て世帯が子育てしやすいまちになってほしい	1
		・学力向上の取り組みを進めてほしい	1
		・不登校の子どもの居場所づくりを進めてほしい	1
		・まちの利便性を良くしてほしい	1
		・子どもの貧困対策に力を入れてほしい	1
		・市民の声をもっと聴いてほしい	1

カ 「もしもの時への備えがあるまち」となっていること			
理由・問題・課題	件数	アイデア	件数
・どのような備えをしているのかがわからない	5	・コロナ感染症に対する支援策を充実してほしい	3
・防災・防犯の取り組みをもっと進めてほしい	1	・災害発生時の行動について啓発してほしい	3
・地域でのつながりが希薄である	1	・情報発信を充実してほしい	2
・町会活動等の運営に関すること	1	・救急医療体制を充実してほしい	1
・危機に直面した時でも思いやりの心をもってほしい	1	・防災の取り組みを進めてほしい	1
・将来に不安がある	1	・高齢者福祉を充実してほしい	1
		・子どもの貧困対策に力を入れてほしい	1
		・出張所等をもっと相談の場として充実させてほしい	1
		・人権問題への取り組みを適切に行ってほしい	1
		・感染症対策を充実してほしい	1

キ 「世界に魅力が広がるまち」となっていること			
理由・問題・課題	件数	アイデア	件数
・都市の景観が良くないと感じる	2	・八尾の魅力を市内、市外に伝えてほしい	18
・世界とのつながりが感じられない	1	・新たなまちの魅力づくりに取り組んでほしい	3
・世界という規模が大きすぎるのではないかと感じる	1	・商店街を活性化してほしい	2
・八尾のイメージが良くないと感じる	1	・市内企業が連携した商品開発など、魅力づくりに取り組んでほしい	1
・市民のマナーが悪いと感じる	1	・企業誘致などによる経済の活性化をすすめてほしい	1
		・若者が集まりたくなる施設が欲しい	1
		・既存の枠にとらわれないようにしてほしい	1
		・道路整備をしてほしい	1
		・都市整備を適切に進めてほしい	1
		・もっと市民の声を聴いてほしい	1

ク 「日常の暮らしが快適で環境にやさしいまち」となっていること			
理由・問題・課題	件数	アイデア	件数
・緑が少ないと感じる	2	・道路整備をしてほしい	4
・都市の景観が良くないと感じる	1	・市民の美化意識の向上を図ってほしい	4
・河川・水路の水が汚いと感じる	1	・歩道を整備してほしい	3
		・生活環境を改善してほしい	3
		・都市整備を適切に進めてほしい	2
		・まちの利便性を良くしてほしい	2
		・川を生かしたまちづくりをしてほしい	1
		・交通マナーの向上に取り組んでほしい	1
		・喫煙者のマナー向上に取り組んでほしい	1
		・ペットの飼い主のマナー向上に取り組んでほしい	1
		・下水道の整備をすすめてほしい	1
		・ボランティア活動を促進してほしい	1
		・行政が地域の実情をしっかりと把握してほしい	1

ケ 「つながりを創り育て自分らしさを大切にしようまち」となっていること			
理由・問題・課題	件数	アイデア	件数
・住んでいる地域のまちづくりに参加する市民が減っていると感じる	1	・人権問題への取り組みを適切に行ってほしい	2
・市民のマナーが悪いと感じる	1	・若い世代が地域活動に参加しやすい取り組みをすすめてほしい	1
・町会活動等の運営に関すること	1	・人権教育に力を入れてほしい	1
・わからない	1	・いじめ問題対策を進めてほしい	1

コ 「みんなの力でともにつくる持続可能なまち」となっていること			
理由・問題・課題	件数	アイデア	件数
・住んでいる地域のまちづくりに参加する市民が減っていると感じる	4	・若い世代が地域活動に参加しやすい取り組みをすすめてほしい	4
・町会活動等の運営に関すること	2	・様々な立場の人たちが交流できる場を作してほしい	3
・地域活動の場が減っていると感じる	1	・情報発信を充実してほしい	2
・地域でのつながりが希薄である	1	・市民が主体となったまちづくりや魅力づくりをすすめてほしい	1
・市民のマナーが悪いと感じる	1	・若い世代を八尾市に呼び込む取り組みをしてほしい	1
		・適切な行財政運営をしてほしい	1
		・もっと市民の声を聴いてほしい	1

7 身近な地域での地域活動について

(1) 「校区まちづくり協議会」への参加状況（問31）

問31 あなたは、各小学校区において「校区まちづくり協議会」が設立され、様々な地域活動を実施していることを知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

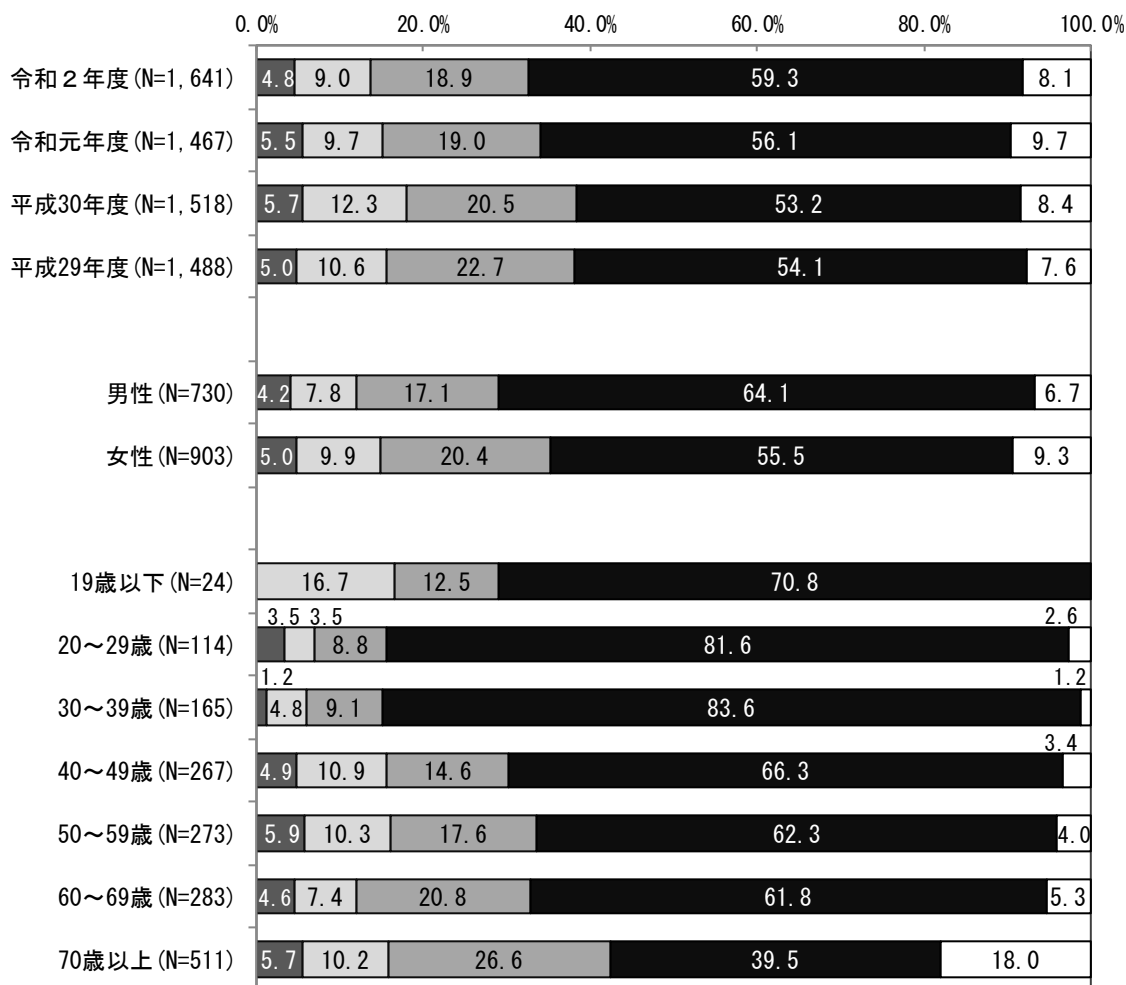
「校区まちづくり協議会」への参加状況をみると、「校区まちづくり協議会を知らない」が59.3%と最も多く、次いで「校区まちづくり協議会を知っているが、イベントなどに参加したことはない」(18.9%)、「校区まちづくり協議会が実施するイベントなどに参加したことがある」(9.0%)などとなっている。“参加したことがある人”(「校区まちづくり協議会の担い手として活動に参加したことがある」と「校区まちづくり協議会が実施するイベントなどに参加したことがある」の合計)は13.8%となっている。

年度別にみると、“参加したことがある人”はほぼ同じ割合となっている。

性別にみると、“参加したことがある人”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“参加したことがある人”は『19歳以下』を除いて『40～49歳』以上でやや多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 「校区まちづくり協議会」への参加状況



- 校区まちづくり協議会の担い手として活動に参加したことがある
- 校区まちづくり協議会が実施するイベントなどに参加したことがある
- 校区まちづくり協議会を知っているが、イベントなどに参加したことはない
- 校区まちづくり協議会を知らない
- 無回答

(2) 地域活動を知ったきっかけ (問 31-1)

問 31 で「1」～「3」に○をつけた方にお伺いします。

問32-1 地域活動を何で知りましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

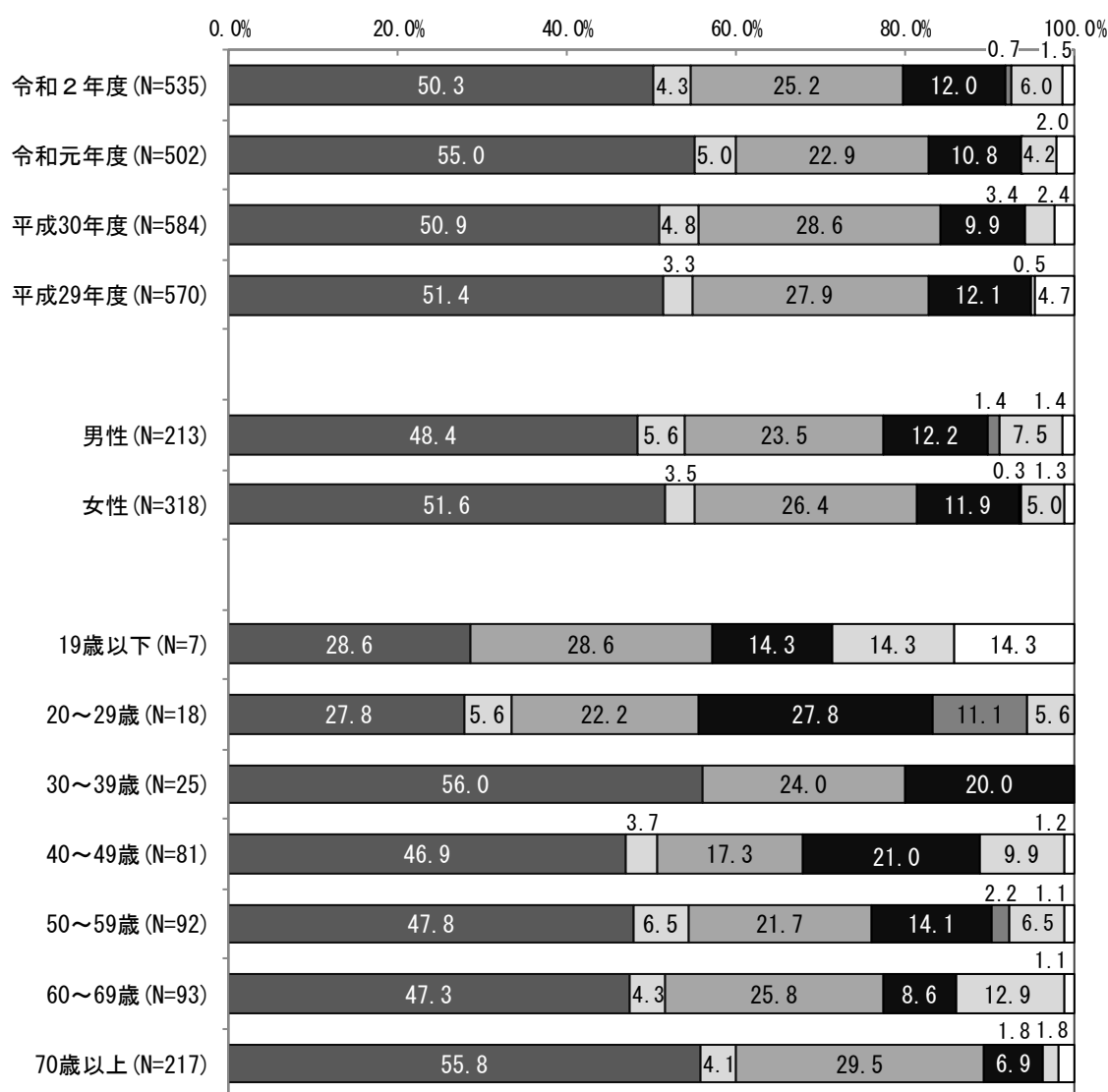
「校区まちづくり協議会」の地域活動を知っている方について、地域活動を知ったきっかけをみると、「回覧板」が50.3%と最も多く、次いで「市政だより」(25.2%)、「人から聞いた」(12.0%)などとなっている。

年度別にみると、前年度に比べ、「回覧板」がやや減少している。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、『20～29歳』では「回覧板」がほかの年齢層に比べ最も少なくなっている。

図 年度別・性別・年齢別 地域活動を知ったきっかけ



■ 回覧板 □ 広報板 □ 市政だより ■ 人から聞いた □ インターネット・SNS □ その他 □ 無回答

(3-1) 参加したいと思わない理由 (自由記述) (問 32)

問32 「4. 参加したいと思わない」に○をつけた理由をお聞かせください。

問32で「参加したいと思わない」と回答した方にその理由をたずねたところ、254件(複数回答含む)の自由記述式回答をいただいた。

表 参加したいと思わない理由(自由記述)

分類	件数
1 仕事や育児、家族の介護等のため忙しく時間に余裕がない	89
2 年齢・身体・健康上の理由	61
3 人づきあいが好きではない・苦手	25
4 関心がない・興味がない	24
5 面倒だから	19
6 活動の情報が少なく、活動内容が分からないため	7
7 既存の仕組み等に不満がある	7
8 参加するメリットを感じられない	5
9 活動の負担が大きと感じるため	5
10 他にやりたいことがある	4
11 いずれ引っ越す予定	2
12 その他	6
集計	254

(4) 地域活動の希望 (自由記述) (問 32-1)

問 32 で「2」～「4」に○をつけた方にお伺いします。

問32-1 どんな活動があったら良いですか。

問32で「参加した経験はないが、今後積極的に参加したい」「参加した経験はないが、条件があえば参加したい」「参加したいとは思わない」と回答した方にどんな活動があれば良いかをたずねたところ、186件(複数回答を含む)の自由記述式回答をいただいた。

あれば良い活動は、「環境の改善や保護のための活動(清掃活動、美化活動等)」(38件)が最も多く、次いで「コミュニケーションの場、地域の人との交流」(20件)、「子どもに関すること、親子で参加できる催し」(19件)などとなっている。

表 地域活動の希望(自由記述)

分類	件数
1 環境の改善や保護のための活動(清掃活動、美化活動等)	38
2 コミュニケーションの場、地域の人との交流	20
3 子どもに関すること、親子で参加できる催し	19
4 イベント、行事、お祭り、講演・講座	18
5 スポーツ、趣味、サークル	16
6 高齢者、障害者等への支援、福祉、介護に関すること	14
7 防犯・防災活動、災害や緊急時に対応した活動	14
8 気軽に参加できる、楽しい活動	13
9 高齢者、障害者でも参加できる活動	6
10 生涯学習(文化・芸術・歴史等)に関すること	5
11 ボランティアに関すること	5
12 健康づくりに関すること	4
13 市政との連携や活動のしくみづくりに関すること	3
14 ペットと一緒に参加できる場	2
15 その他	9
集計	186

8 市議会について

(1) 市議会に対する関心度 (問33)

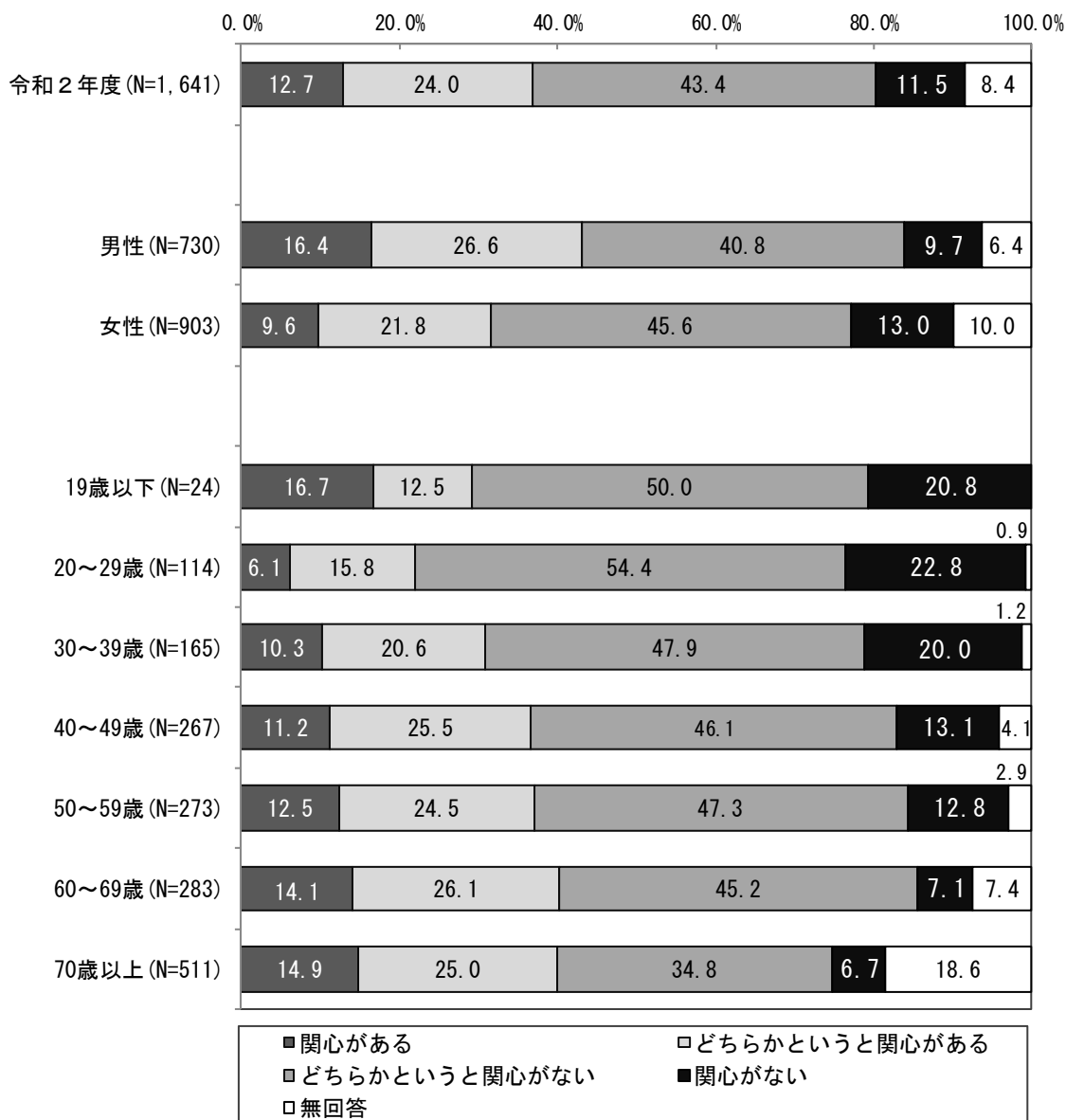
問33 市議会に関心はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

市議会に対する関心度をみると、「どちらかというに関心がない」が43.4%と最も多く、次いで「どちらかというに関心がある」(24.0%)、「関心がある」(12.7%)などとなっている。市議会に対して“関心のない人”(「どちらかというに関心がない」と「関心がない」の合計)(54.9%)が“関心のある人”(「関心がある」と「どちらかというに関心がある」の合計)(36.7%)を上回っている。

性別にみると、“関心のある人”は『男性』(43.0%)が『女性』(31.4%)より多くなっている。

年齢別にみると、“関心のある人”は概ね年齢が高いほど多くなっている。

図 性別・年齢別 市議会に対する関心度



(2) 市議会に望むこと (問 34)

問34 あなたが市議会に望むことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

市議会に望むことをみると、「市民の声を市政に反映する」が64.8%と最も多く、次いで「市民や地域の課題を把握する」(44.7%)、「議員の資質を向上させる」(32.7%)などとなっている。

性別にみると、ほぼ同じ割合となっている。

図 市議会に望むこと(複数回答)

(N=1,641)

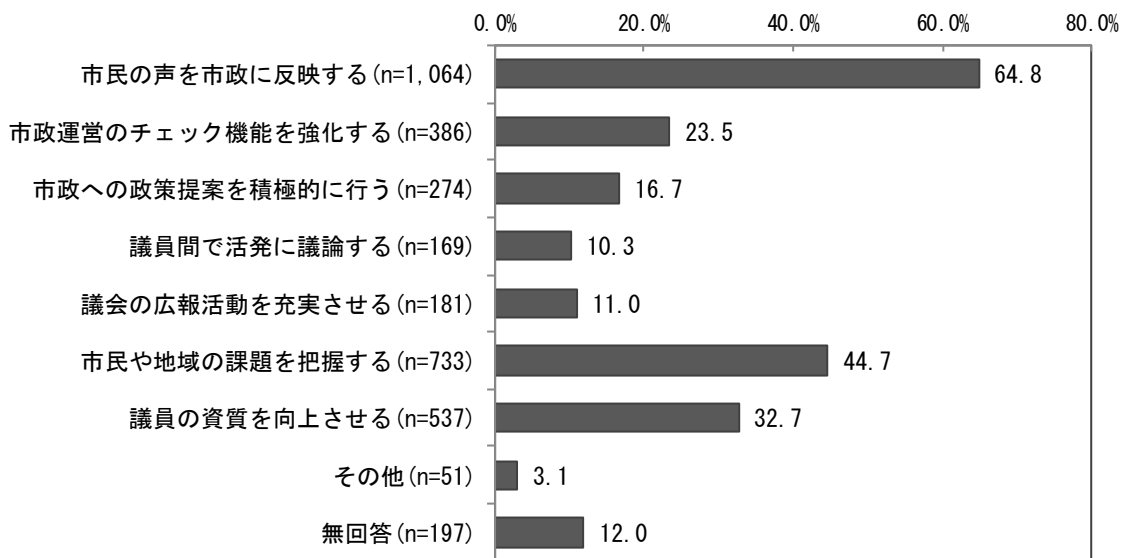
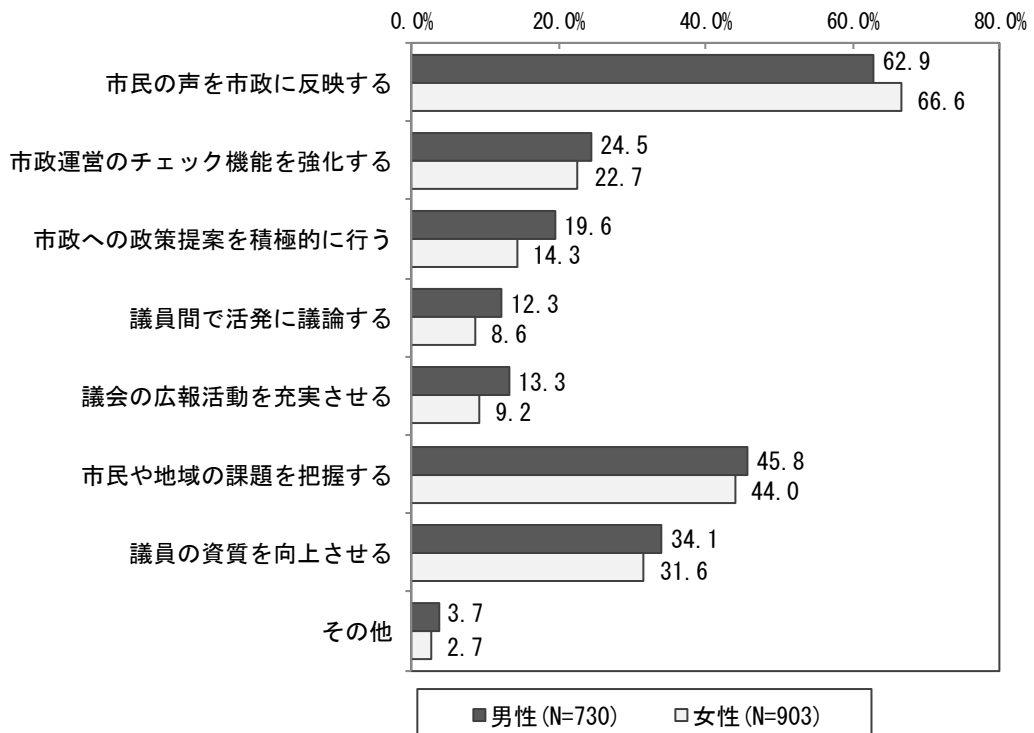
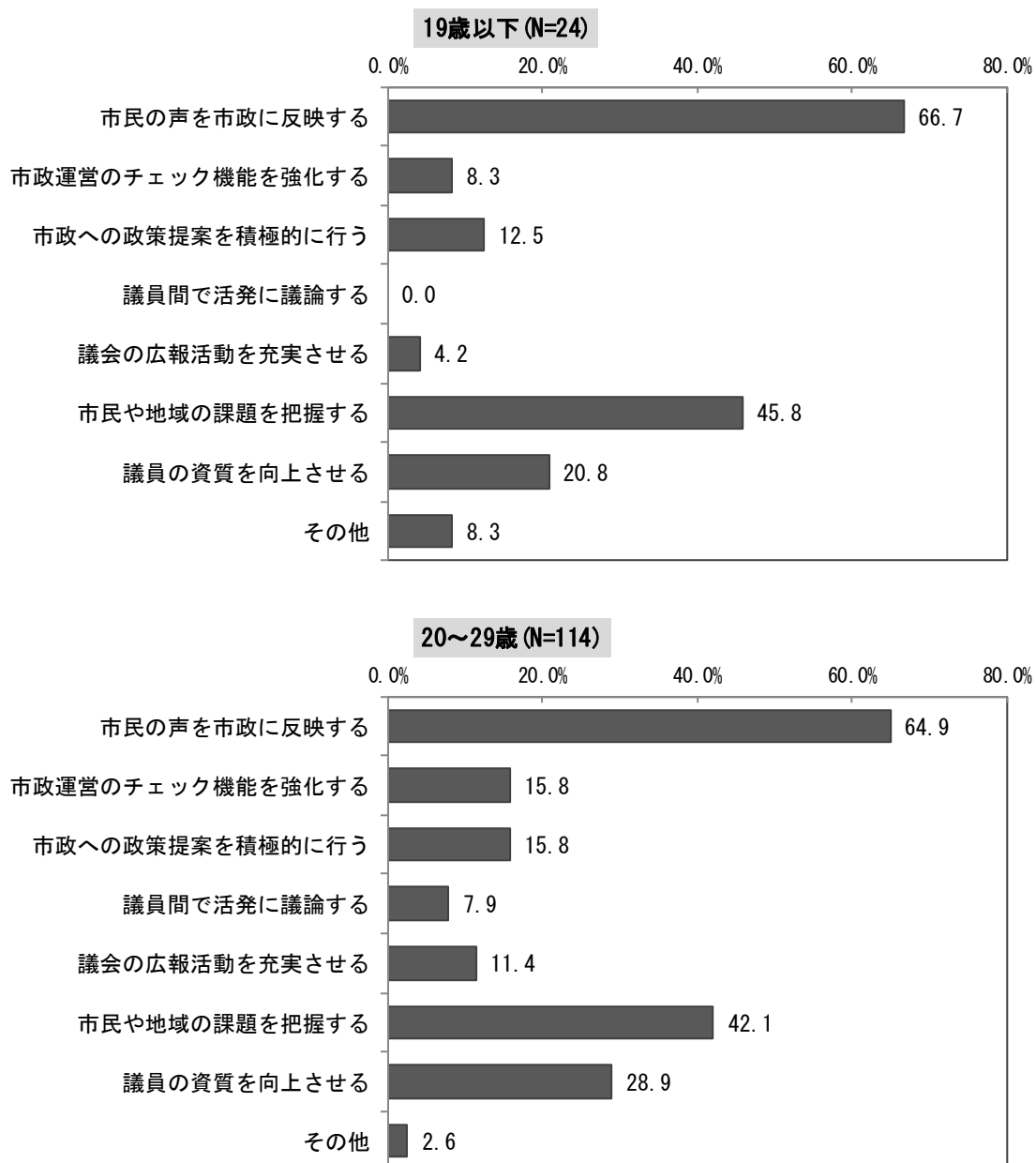


図 性別 市議会に望むこと(複数回答)

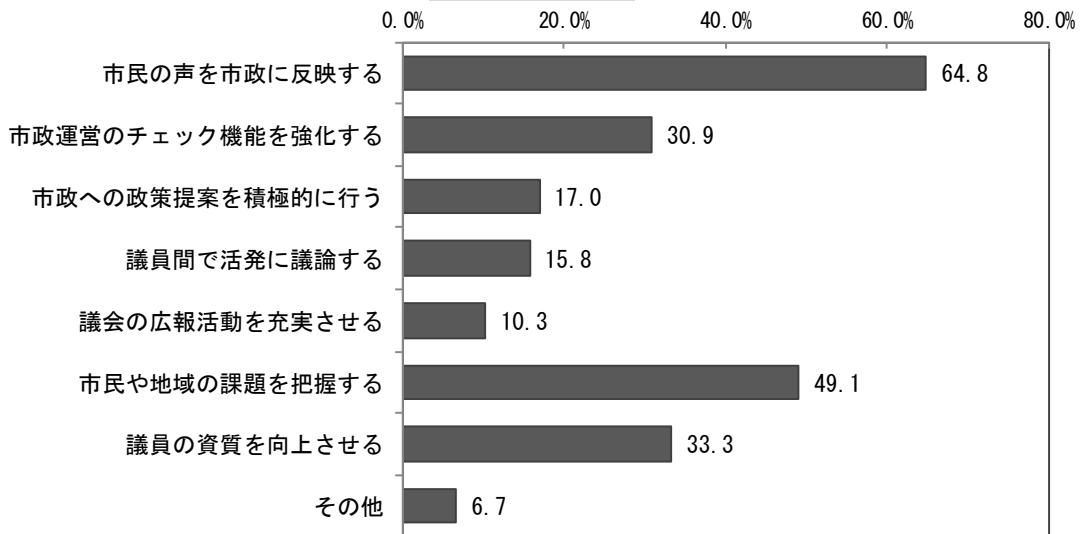


年齢別にみると、どの年齢層も「市民の声を市政に反映する」が最も多く、次いで「市民や地域の課題を把握する」、「議員の資質を向上させる」となっている。

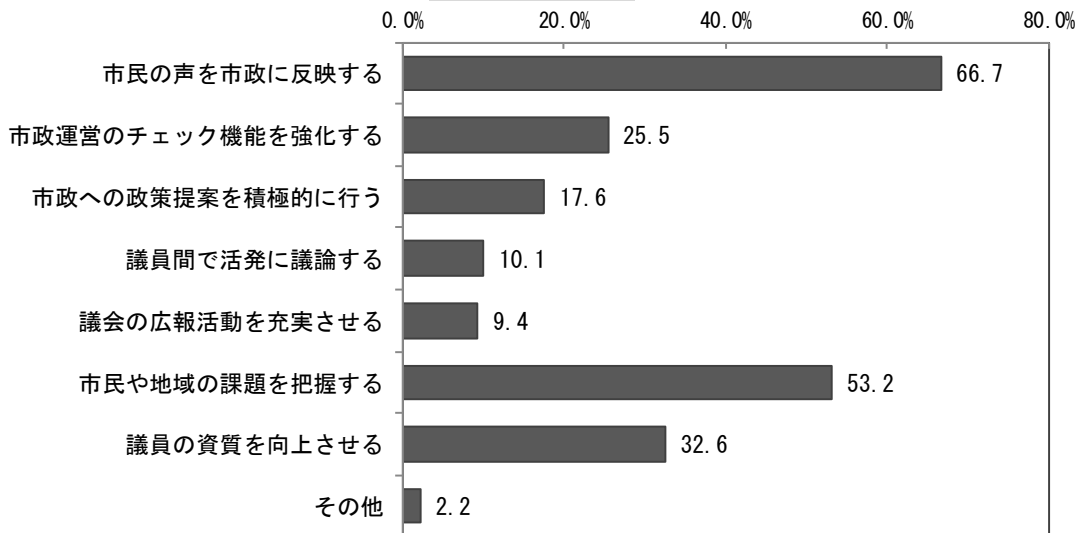
図 年齢別 市議会に望むこと(複数回答)



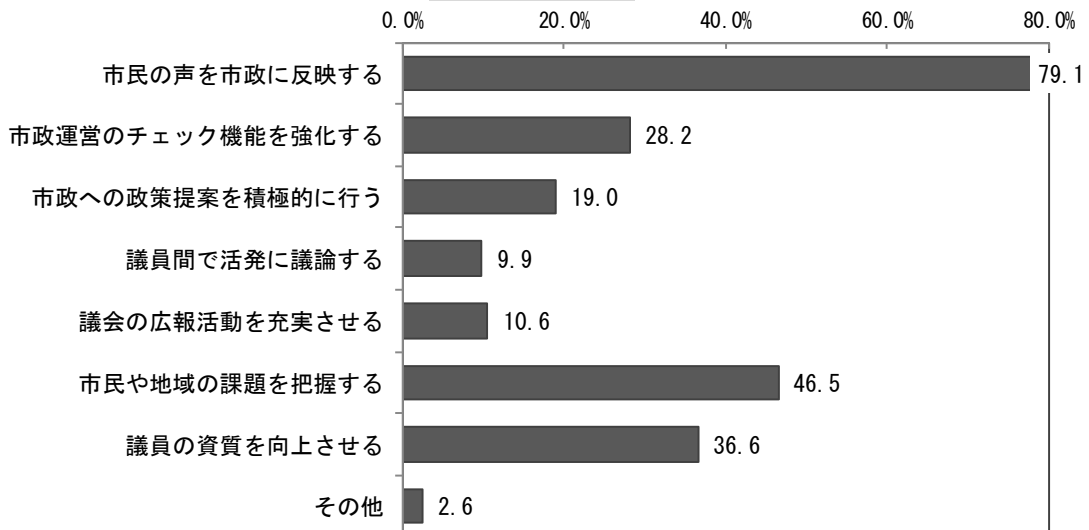
30～39歳 (N=165)

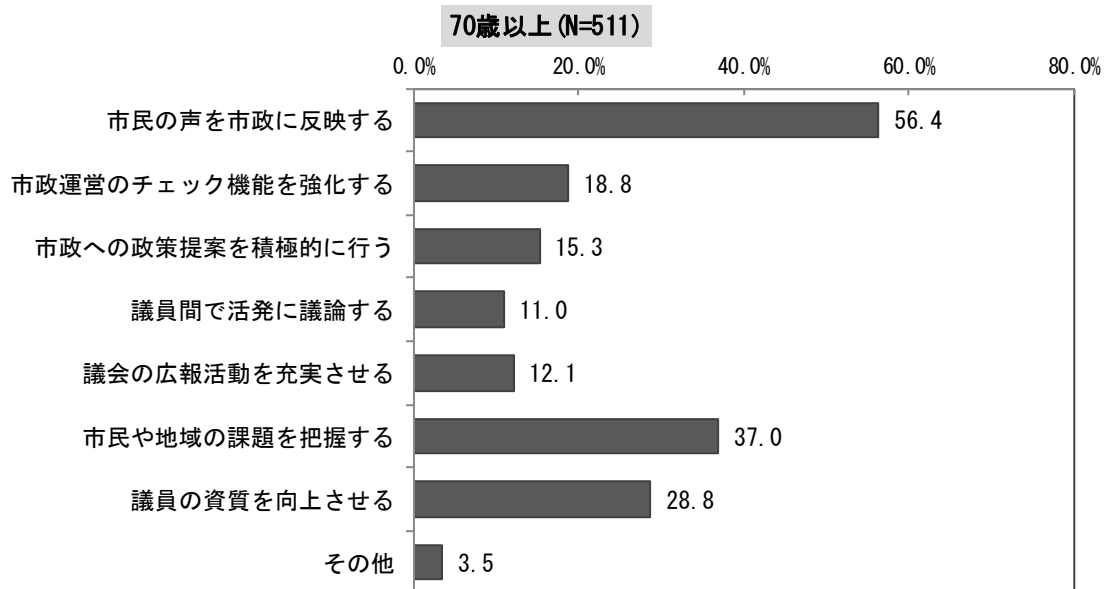
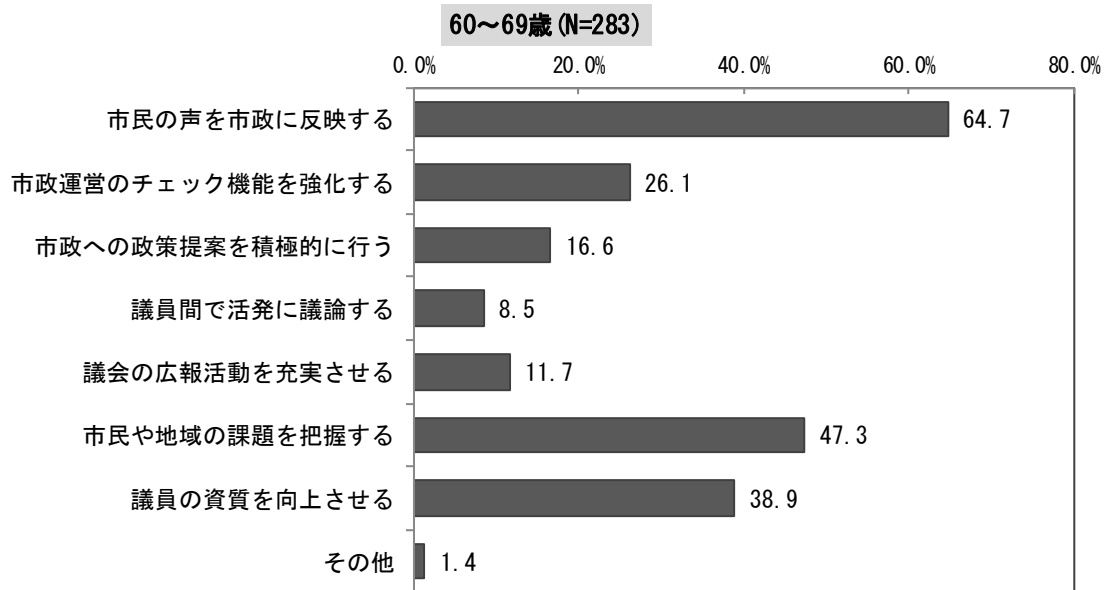


40～49歳 (N=267)



50～59歳 (N=273)





9 八尾市の取り組みについて

(1) 八尾市の行政の取り組みの満足度 (問 35)

問35 あなたは、八尾市の行政の取り組みに満足していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

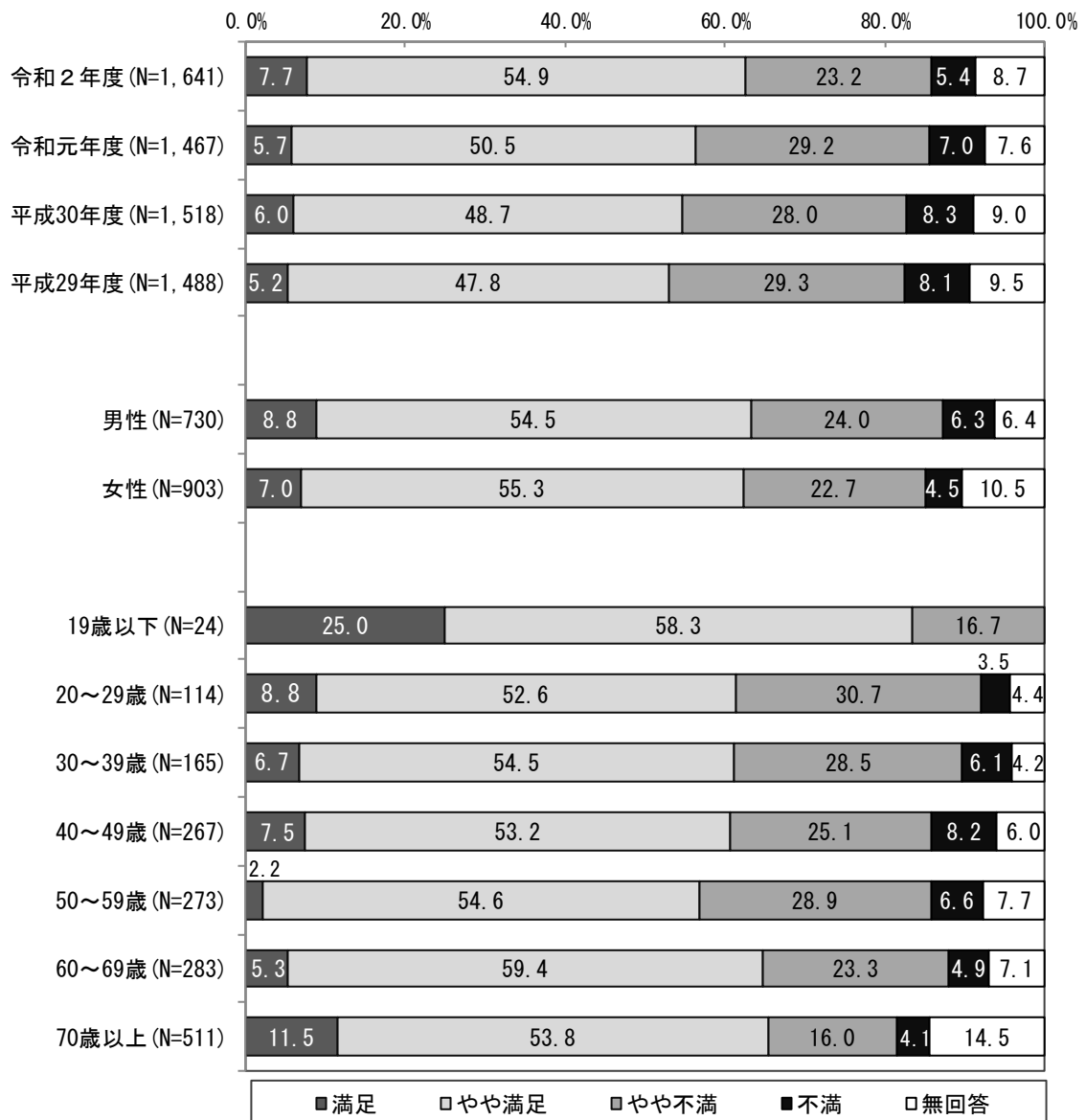
八尾市の行政の取り組みの満足度をみると、「やや満足」が54.9%と最も多く、次いで「やや不満」(23.2%)、「満足」(7.7%)などとなっている。八尾市の取り組みに“満足と感じている人”(「満足」と「やや満足」の合計)は62.6%となっている。

年度別にみると、“満足と感じている人”は前年度に比べ多くなっている。

性別にみると、“満足と感じている人”はほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“満足と感じている人”は『19歳以下』を除いて6割前後となっている。

図 年度別・性別・年齢別 八尾市の行政の取り組みの満足度



(2) 八尾市職員の対応のわかりやすさ (問 36)

問36 あなたは、市役所の各窓口や電話での職員の説明がわかりやすかったと思いますか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

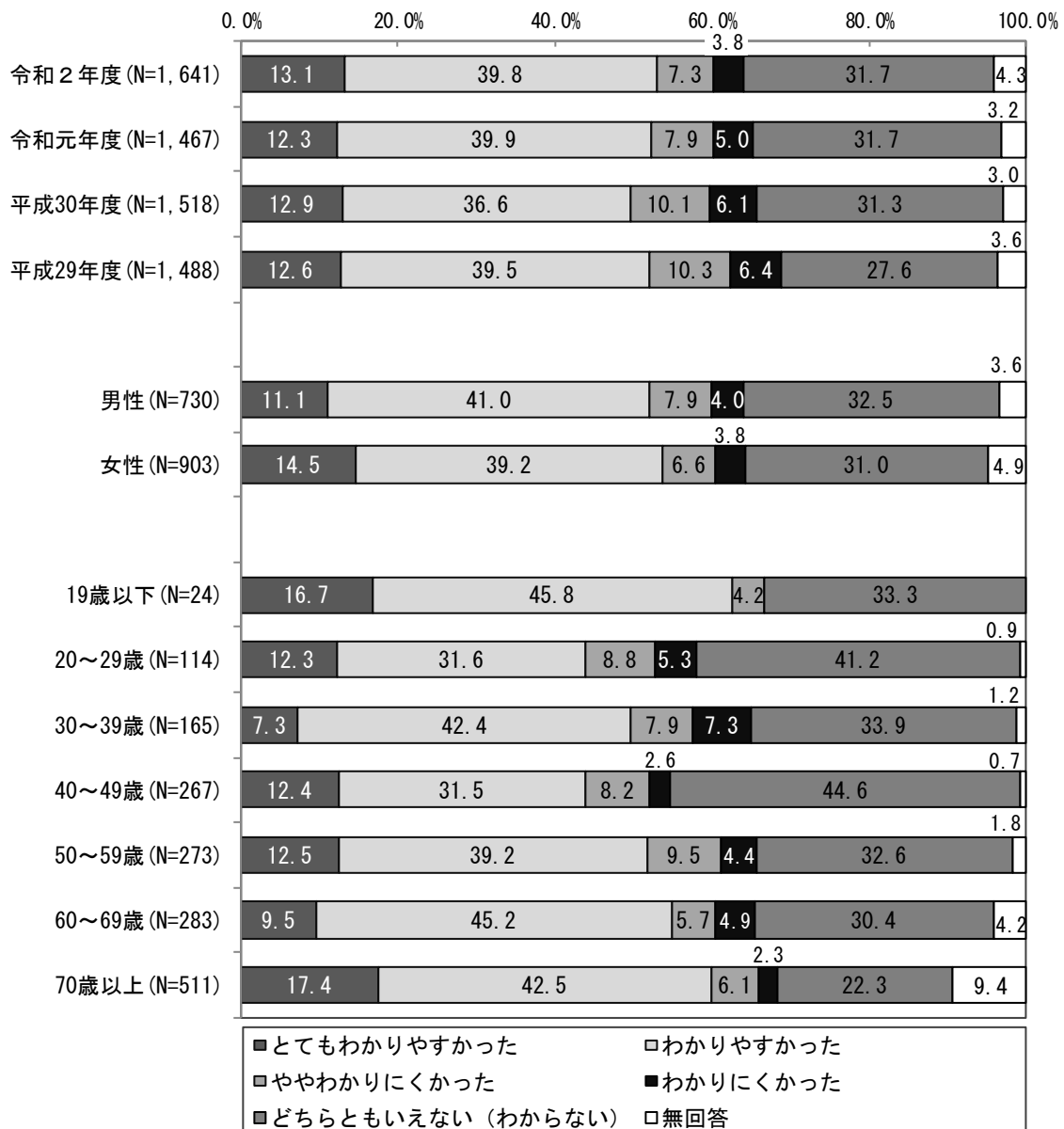
八尾市職員の対応のわかりやすさをみると、「わかりやすかった」が39.8%と最も多く、次いで「どちらともいえない(わからない)」(31.7%)、「とてもわかりやすかった」(13.1%)などとなっている。八尾市職員の対応に“わかりやすかったと感じた人”(「とてもわかりやすかった」と「わかりやすかった」の合計)は52.9%となっている。

年度別にみると、“わかりやすかったと感じた人”はほぼ同じ傾向となっている。

性別にみると、“わかりやすかったと感じた人”は、ほぼ同じ割合となっている。

年齢別にみると、“わかりやすかったと感じた人”は『19歳以下』を除いて概ね年齢が高いほど多くなっている。

図 年度別・性別・年齢別 八尾市職員の対応のわかりやすさ

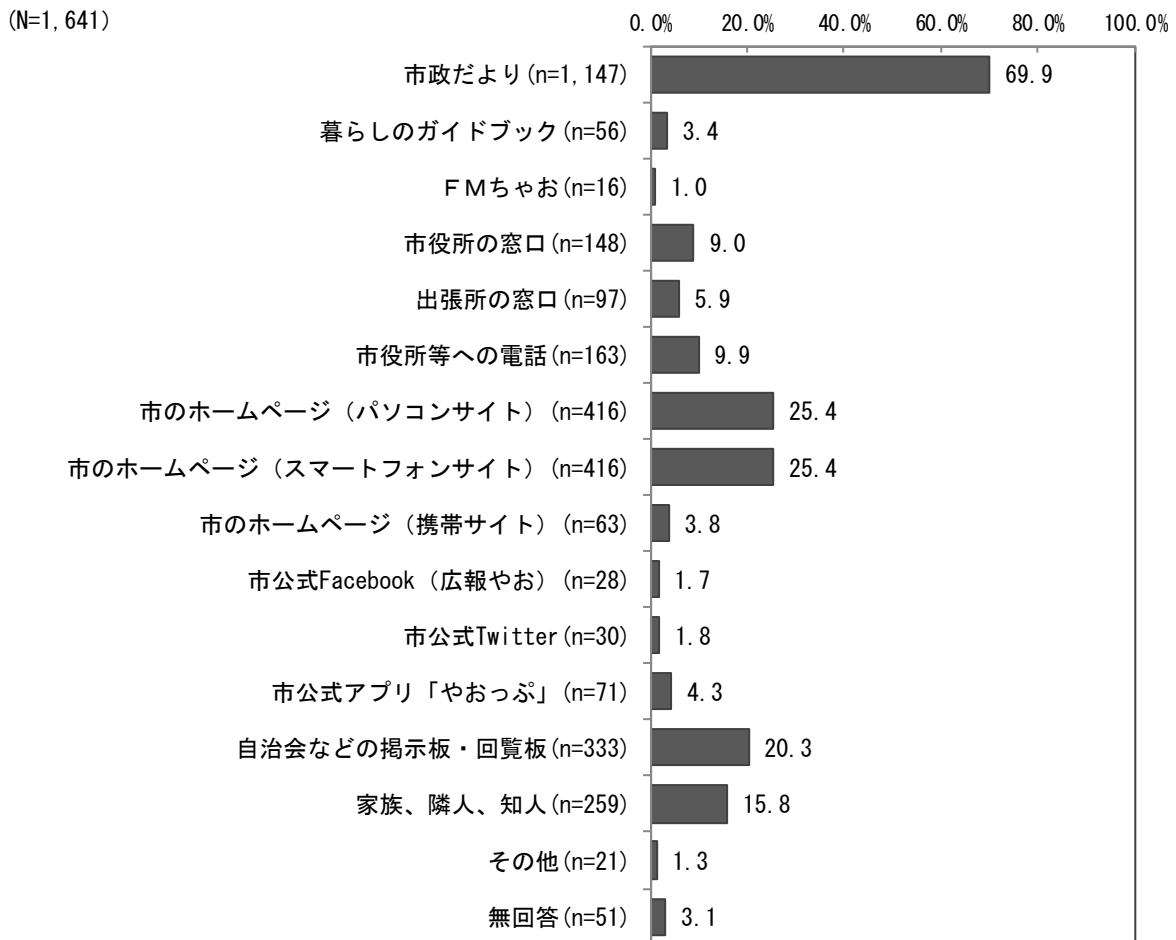


(3) 市役所に対する情報源 (問 37)

問37 あなたは、普段、市役所に関する情報を得るときに、どこから情報を得ますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

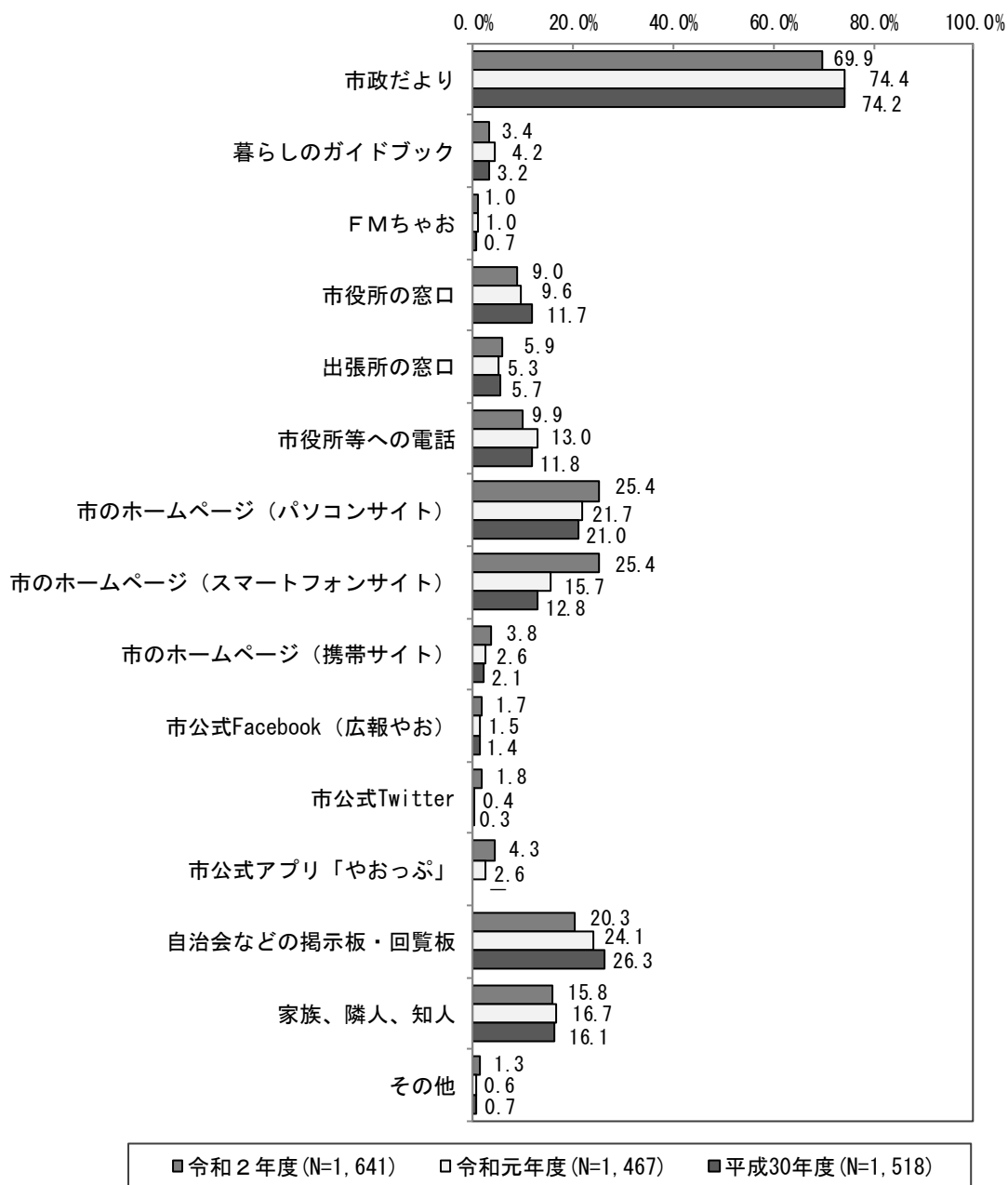
市役所に対する情報源をみると、「市政だより」が69.9%と最も多く、次いで「市のホームページ(パソコンサイト)」「市のホームページ(スマートフォンサイト)」(ともに25.4%)、「自治会などの掲示板・回覧板」(20.3%)などとなっている。

図 市役所に対する情報源(複数回答)



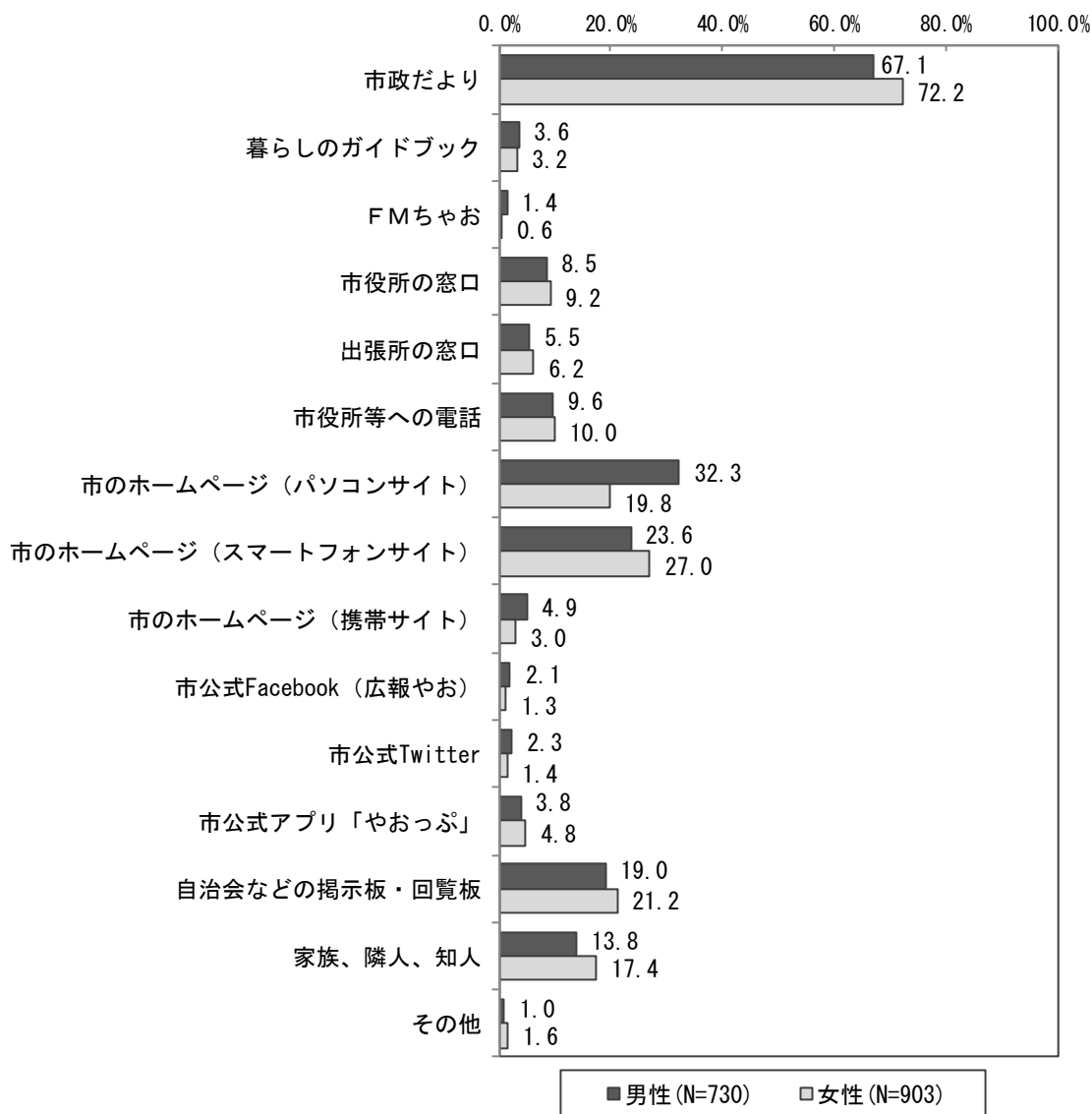
年度別にみると、前年度に比べ「市のホームページ(パソコンサイト)」「市のホームページ(スマートフォンサイト)」が多くなり、「市政だより」「自治会などの掲示板・回覧板」がやや少なくなっている。

図 年度別 市役所に対する情報源(複数回答)



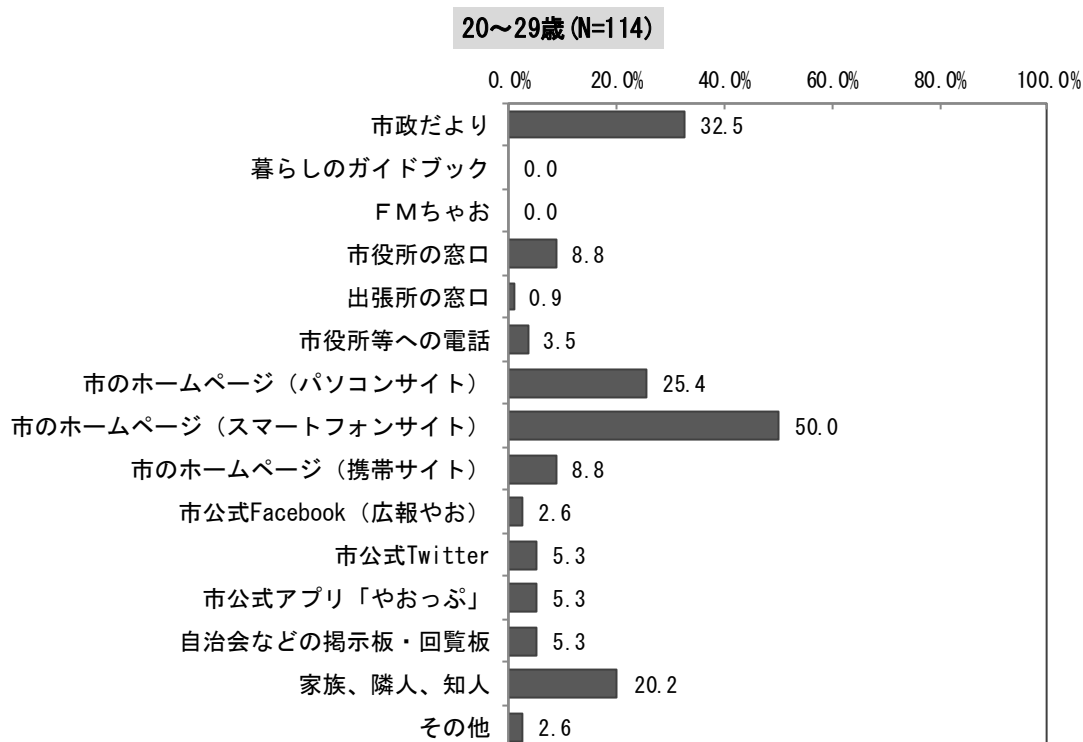
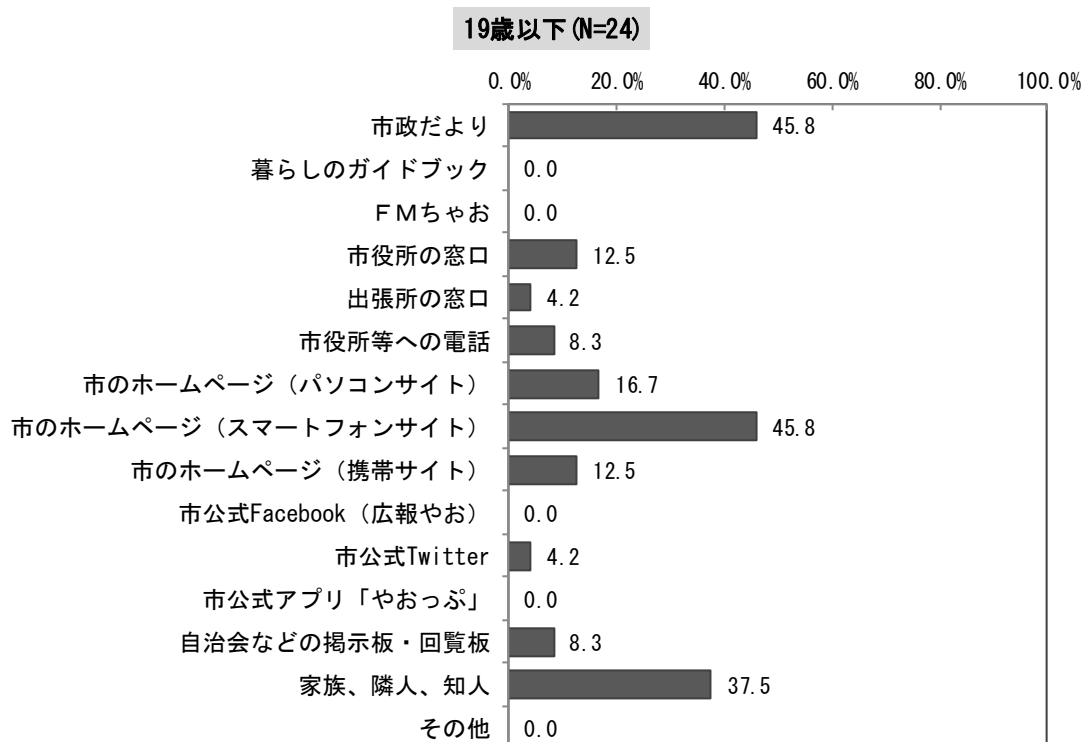
性別にみると、「市のホームページ(パソコンサイト)」では『女性』よりも『男性』が、「市政だより」では『男性』よりも『女性』が多くなっている。

図 性別 市役所に対する情報源(複数回答)

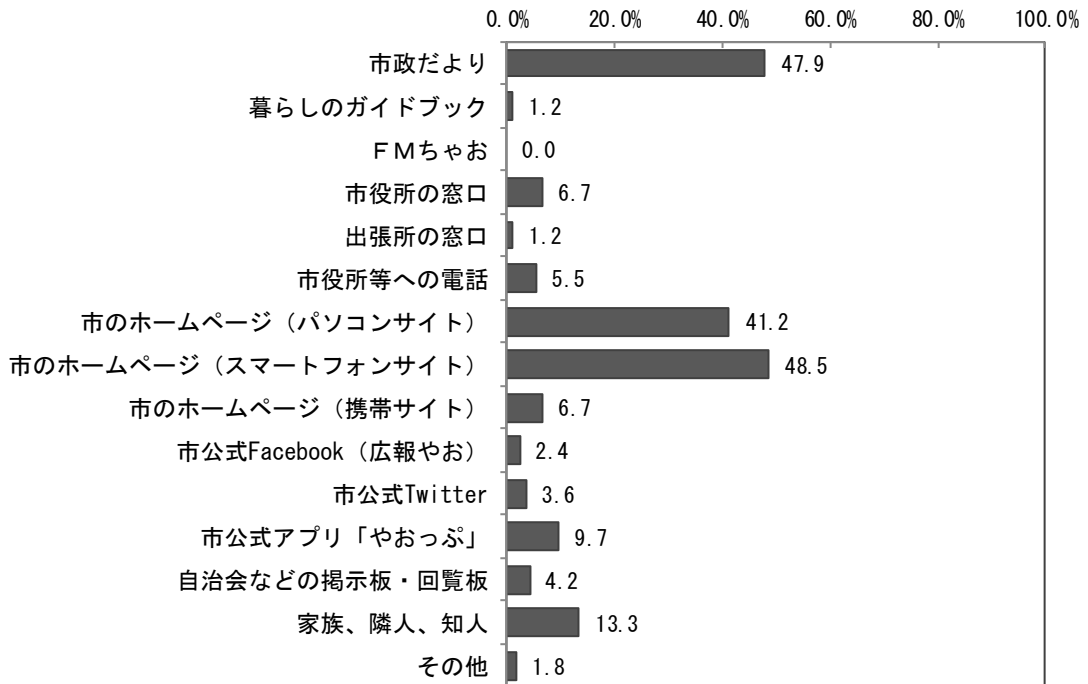


年齢別にみると、『19歳以下』では「市政だより」「市のホームページ(スマートフォンサイト)」の両方が、『20～29歳』『30～39歳』では「市のホームページ(スマートフォンサイト)」が、『40～49歳』以上では『市政だより』が最も多くなっている。

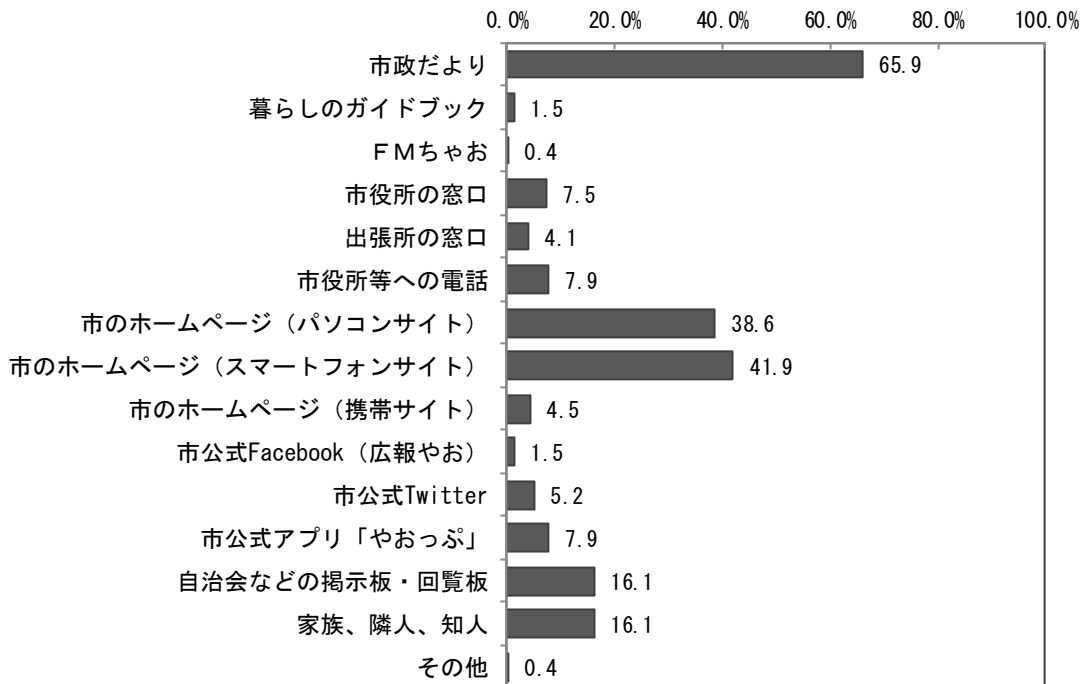
図 年齢別 市役所に対する情報源(複数回答)



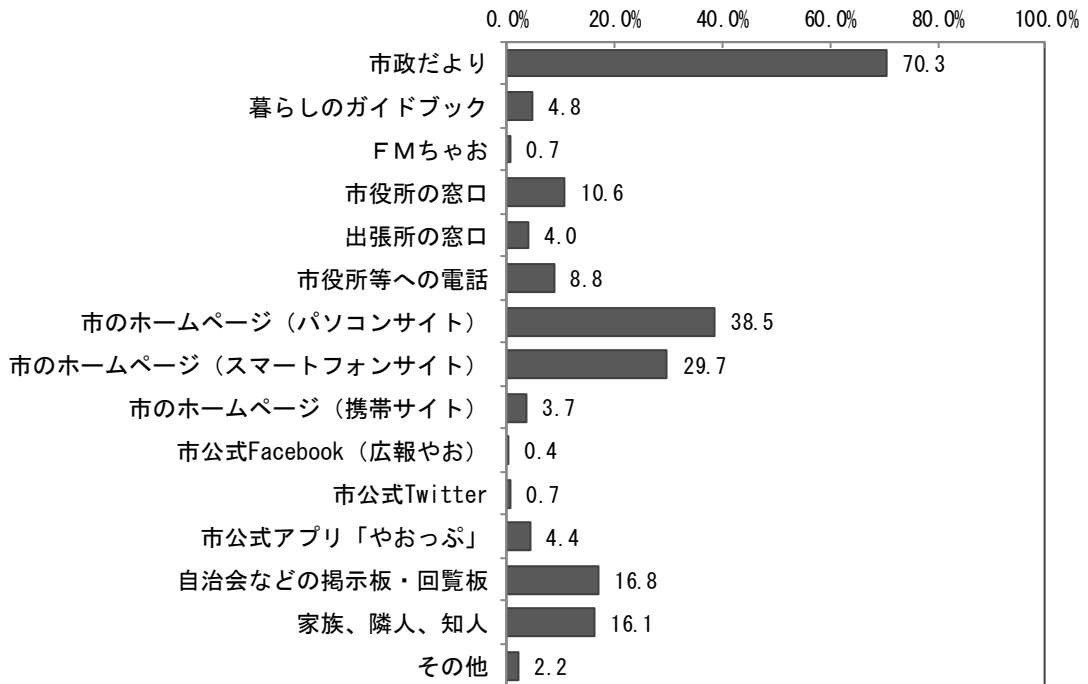
30～39歳 (N=165)



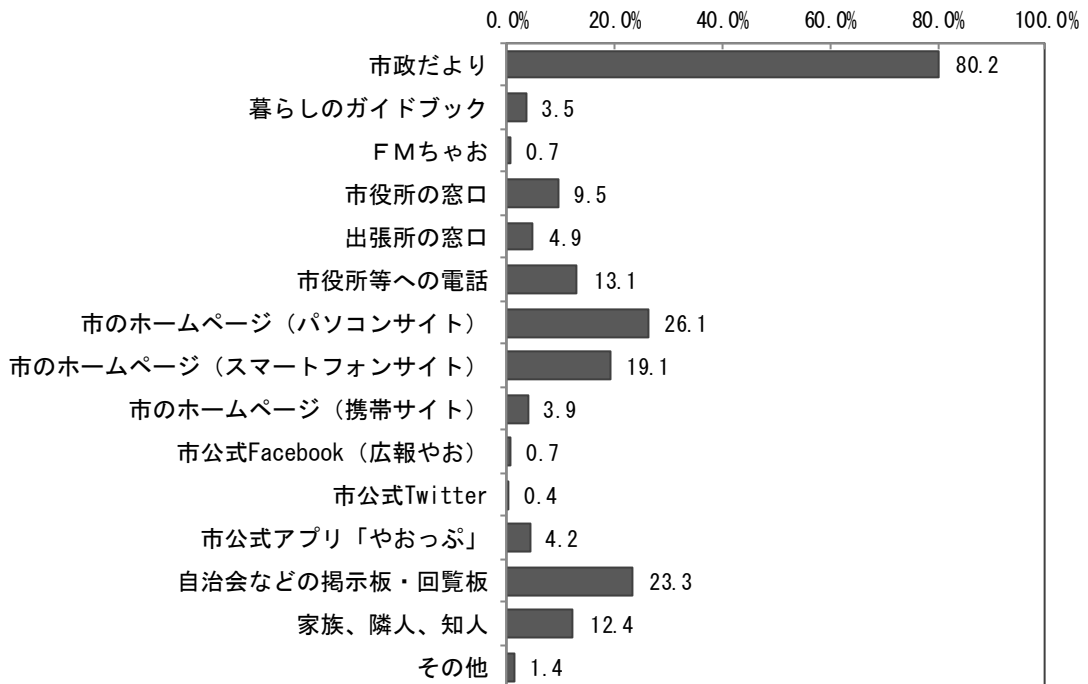
40～49歳 (N=267)



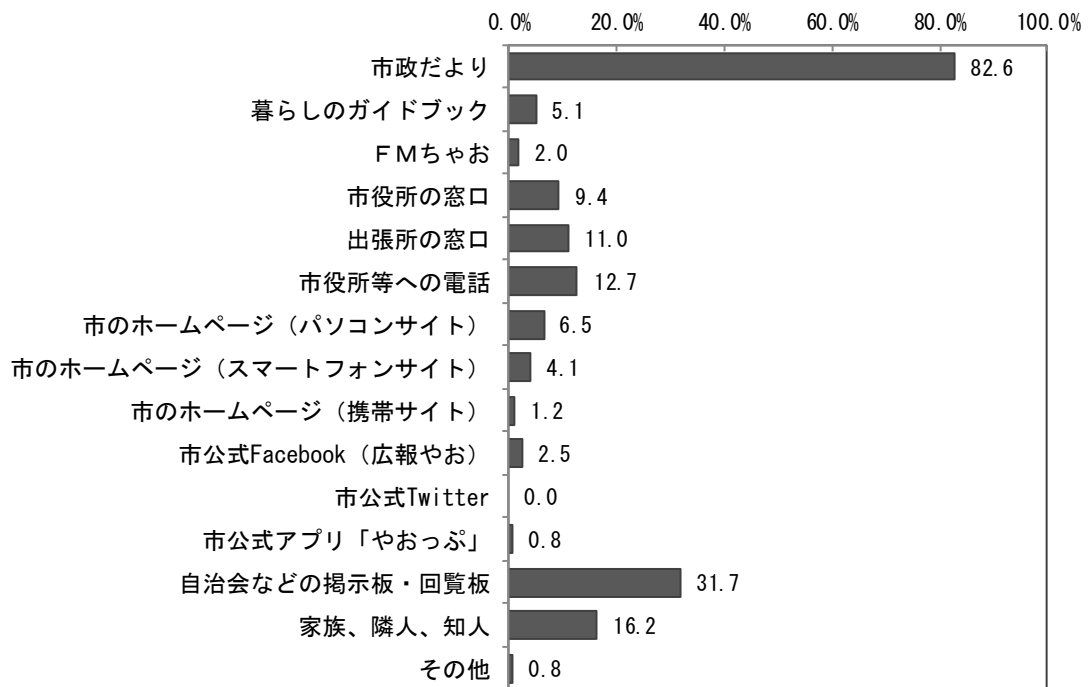
50～59歳 (N=273)



60～69歳 (N=283)



70歳以上(N=511)



(4) 今後出張所で充実されると良いと思うサービス（問 38）

問 38 出張所では、生活の身近なところで頼りになる拠点をめざしていますが、出張所で今後どういったサービスがさらに充実されると良いと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

今後出張所で充実されると良いと思うサービスをみると、「相談窓口」が38.2%と最も多く、次いで「防災活動・災害時の支援」(37.4%)、「地域のまちづくり支援」(28.8%)などとなっている。

年度別にみると、「健康づくり」「子育て支援」「防災活動・災害時の支援」が前年度に比べ、特に少なくなっている。

図 今後出張所で充実されると良いと思うサービス(複数回答)

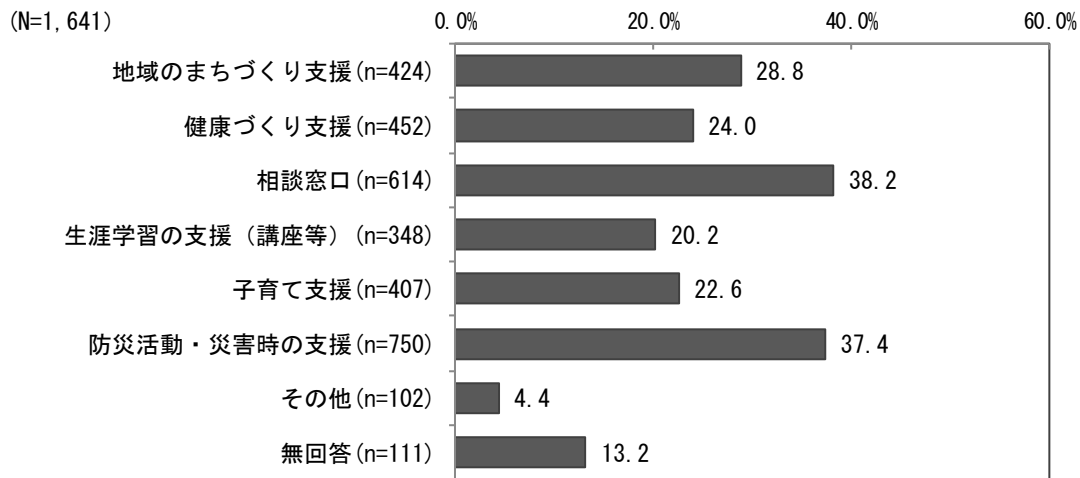
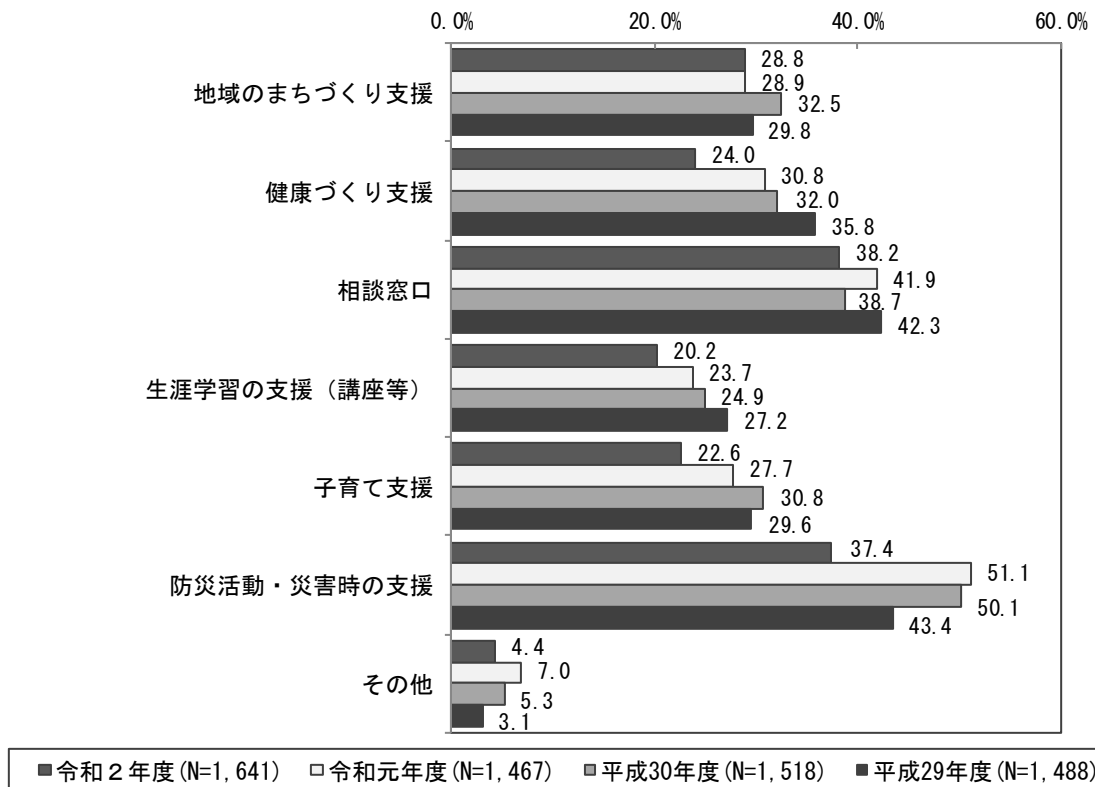
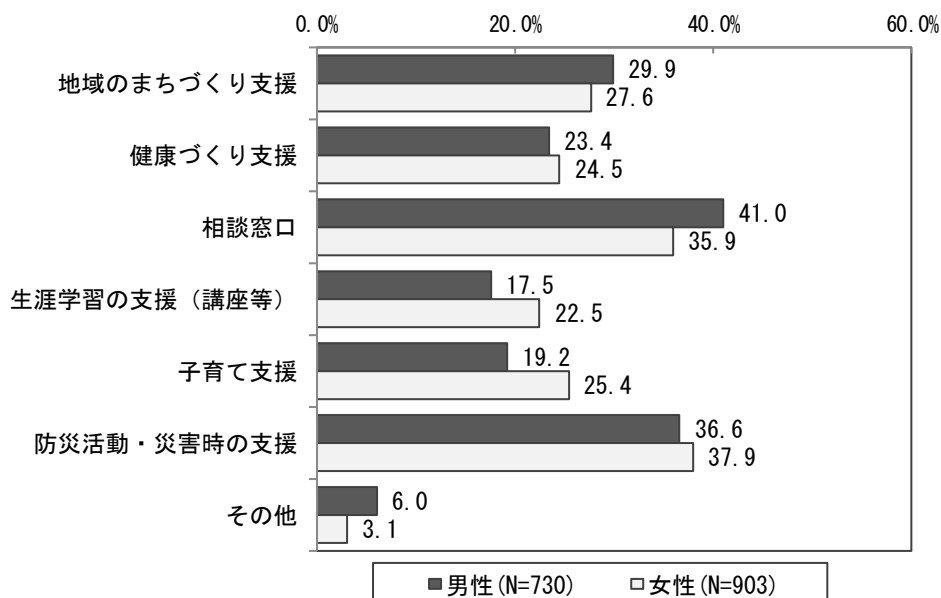


図 年度別 今後出張所で充実されると良いと思うサービス (複数回答)



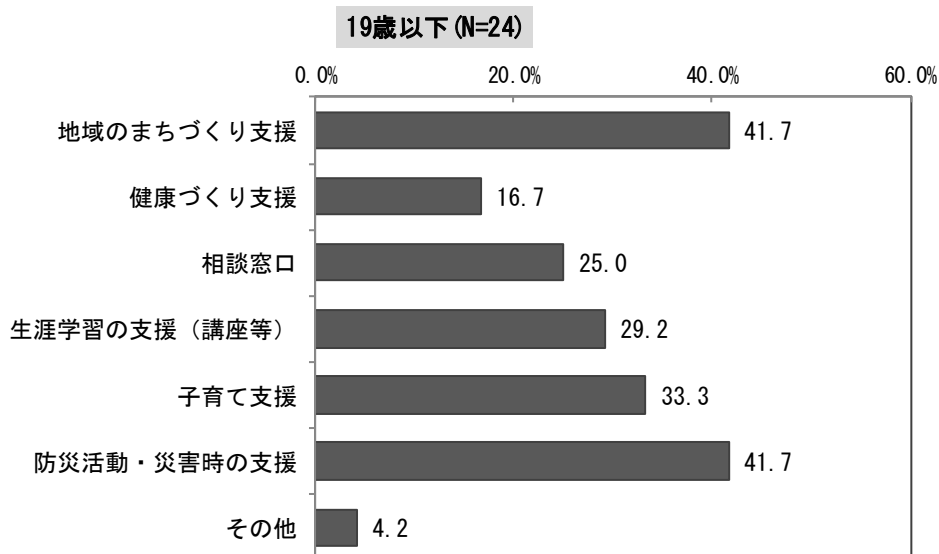
性別にみると、「相談窓口」で『女性』より『男性』が、「生涯学習の支援（講座等）」「子育て支援」で『男性』より『女性』が特に多くなっている。

図 性別 今後出張所で充実されると良いと思うサービス（複数回答）

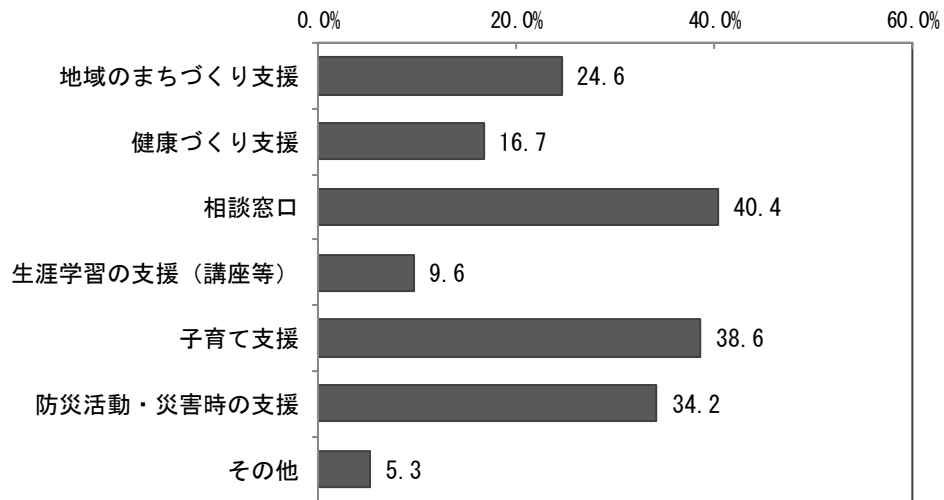


年齢別にみると、『19歳以下』は「地域のまちづくり支援」「防災活動・災害時の支援」が、『20～29歳』『50～59歳』『60～69歳』『70歳以上』は「相談窓口」が、『30～39歳』は「子育て支援」が、『40～49歳』は「防災活動・災害時の支援」が最も多くなっている。

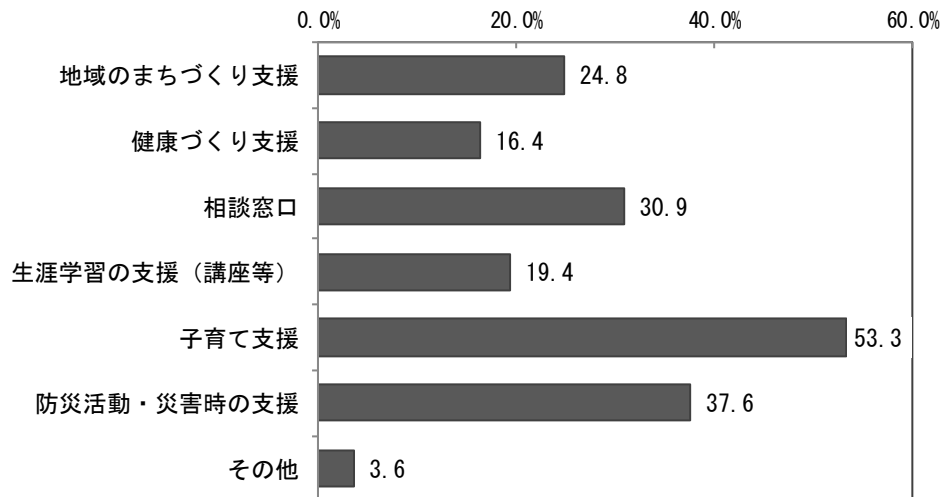
図 年齢別 今後出張所で充実されると良いと思うサービス（複数回答）



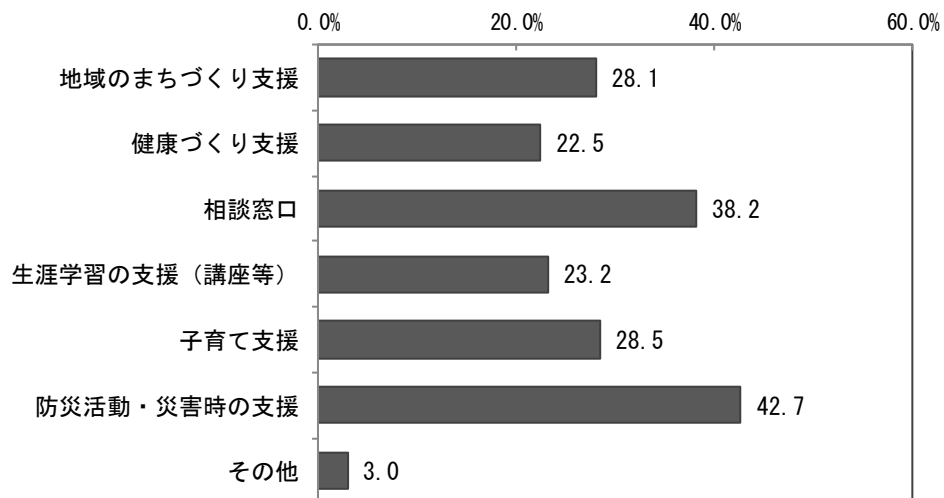
20～29歳 (N=114)



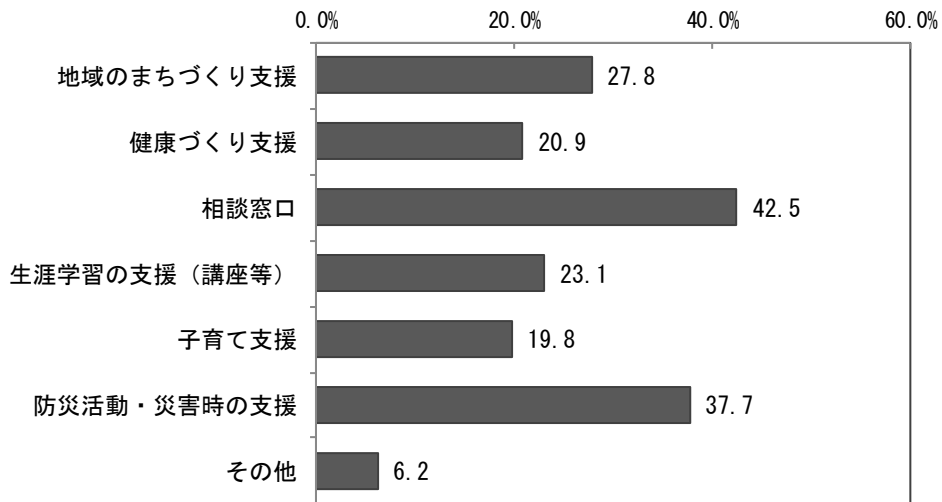
30～39歳 (N=165)



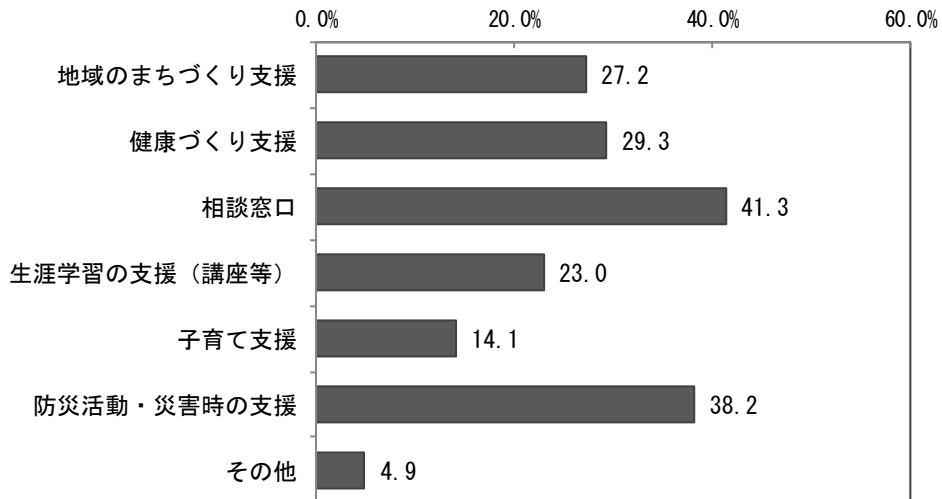
40～49歳 (N=267)



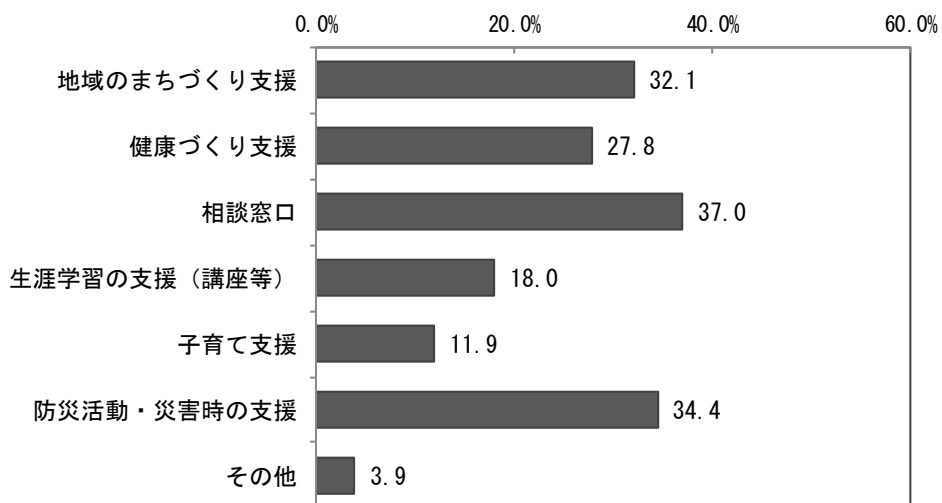
50～59歳 (N=273)



60～69歳 (N=283)



70歳以上 (N=511)



10 自由記述

これまでの設問に関わらず、ご意見等がございましたらご記入ください。

自由意見をたずねたところ、381件(複数回答含む)の自由記述式回答をいただいた。
内容について分類すると、「10 行政運営に関すること」についての意見が83件で最も多く、次いで「4 都市基盤に関すること」(64件)、「11 アンケートについての意見」(49件)などとなっている。

表 自由意見(自由記述)

	分類	件数
1	子育て・教育に関すること	30
2	魅力の向上に関すること	10
3	経済に関すること	11
4	都市基盤に関すること	64
5	安全・安心に関すること	18
6	健康に関すること	11
7	環境に関すること	28
8	福祉に関すること	17
9	人権・平和・コミュニティに関すること	11
10	行政運営に関すること	89
11	アンケートについての意見	43
12	市政に対する肯定的な意見	29
13	その他	20
	集計	381

自由意見の内容について、分類ごとの意見数と意見項目の要旨をまとめたものを以下に示す。

1	子育て・教育に関すること 30件	件数
	就学前教育・保育施設を増やしてほしい	5
	図書館の運営・サービスを充実させてほしい	4
	公立認定こども園の整備に不満がある	3
	安心して子どもを産み、育てられるまちづくりを進めてほしい	3
	子育て世代に経済的な支援をしてほしい	3
	教育施策を充実してほしい	3
	中学校の給食を充実してほしい	2
	いじめ問題対策の取り組みを充実してほしい	2
	生涯学習の施策を充実してほしい	2
	小中学校の校区の適正化をすすめてほしい	1
	学校施設を充実させてほしい	1
	教職員の質を充実してほしい	1

2	魅力の向上に関すること 10件	件数
	新たなまちの魅力づくりに取り組んでほしい	3
	八尾に住んでよかったと思えるまちであってほしい	3
	八尾の魅力を市内、市外に伝えてほしい	2
	歴史遺産を市の魅力として活用してほしい	1
	市立文化会館のイベントや講座などを充実させてほしい	1

3	経済に関すること 11件	件数
	商店街を活性化してほしい	5
	地域産業をもっと活性化させてほしい	3
	毎日の買い物を便利にしてほしい	1
	宿泊施設などの誘致をすすめてほしい	1
	農業施策をもっと充実させてほしい	1

4	都市基盤に関すること 64件	件数
	道路整備をしてほしい	10
	都市整備を適切に進めてほしい	8
	公共交通網を充実してほしい	5
	歩道を整備してほしい	5
	のびのびと遊べる公園や広場を充実・整備してほしい	5
	車いすやベビーカーの人も通行しやすいよう道路の段差、障害物をなくしてほしい	4
	道路の渋滞を解消してほしい	4
	河川・水路等の整備をしてほしい	3
	水道料金が高い	3
	自転車道を整備してほしい	2
	駅周辺を活性化してほしい	2
	駐輪場を整備してほしい	2
	空家の有効活用など、空家対策をしてほしい	2
	道路や街路樹の清掃等をしっかりと行ってほしい	2
	通学路の安全確保をしてほしい	1
	放置自転車を撤去してほしい	1
	水道事業の民営化は反対である	1
	下水道の整備をすすめてほしい	1
	違法建築物の取り締まりを強化してほしい	1
	交通安全に力を入れてほしい	1
	住宅を購入する際に補助をしてほしい	1

5	安全・安心に関すること 18件	件数
	防犯灯の設置など、安全で住みやすいまちづくりをしてほしい	8
	交通マナーの向上に取り組んでほしい	8
	必要な人に必要な情報が届くよう防災、避難情報を適切に発信してほしい	1
	防災対策を充実し災害に強いまちづくりをしてほしい	1

6	健康に関すること 11件	件数
	新型コロナウイルス感染症の対策をしっかりと進めてほしい	4
	医療サービスを充実してほしい	3
	市立病院のサービスを充実してほしい	2
	飼い主のいないペットの対策をしてほしい	2

7	環境に関すること 28 件	件数
	家庭用指定袋（ごみ袋）の仕組み（形状・サイズ、配布方法など）を改善してほしい	7
	ごみの回収場所・頻度・時間を改善してほしい	6
	喫煙者のマナー向上に取り組んでほしい	4
	ペットの飼い主のマナー向上に取り組んでほしい	3
	ごみ収集車の運転マナー等を向上してほしい	2
	工場の騒音等の対策に取り組んでほしい	2
	資源ごみの持ち去りがなくなるようにしてほしい	2
	市民の美化意識の向上を図ってほしい	1
	ごみ分別のルールが細かすぎる	1

8	福祉に関すること 17 件	件数
	高齢者福祉を充実してほしい	9
	生活保護制度等を適正に運用してほしい	2
	地域福祉の推進と福祉サービスを充実してほしい	2
	障がい者福祉を充実してほしい	2
	高齢者にやさしいまちにしてほしい	1
	介護保険制度の手続き等をもっとわかりやすくしてほしい	1

9	人権・平和・コミュニティに関すること 11 件	件数
	町会活動等の運営に関すること	4
	コミュニティ施策を充実してほしい	3
	人権問題への取り組みを適切に行ってほしい	2
	多文化共生社会の実現に向けた取り組みを充実してほしい	1
	地域活動や市民活動等の情報をもっと発信してほしい	1

10	行政運営に関すること 89 件	件数
	職員の対応改善や行政サービスの質を向上してほしい	29
	行政の取り組みをわかりやすく積極的に発信してほしい	19
	適切な行財政運営をしてほしい	19
	税金、保険料が高い	5
	窓口の待ち時間が長すぎる	4
	職員が多いと感じる	3
	もっと市民の声を反映してほしい	2
	公共施設の有効活用をすすめてほしい	2
	市役所への提出書類などの手続きをもっと簡単にしてほしい	2
	公共施設の適切な配置や建て替え等をしてほしい	2
	行政はもっと地域に根付いた活動をしてほしい	1
	マイナンバー制度の情報提供を充実してほしい	1

11	アンケートについての意見 43 件	件数
	配布のしかたや対象など検討してほしい	21
	もっとわかりやすい設問や項目内容にするなど検討してほしい	16
	このような意識調査をすることはよい	3
	八尾市のことをあまりよく知らないと感じたのでもっと関心を持たなければと感じた	2
	意味のある調査と思えない	1

12	市政に対する肯定的な意見 29 件	件数
	今の八尾市に満足している	13
	今後の八尾市の取り組みに期待する	8
	職員の対応に満足している	7
	これから八尾市のことをもっと知っていきたい	1

13	その他 20 件	件数
	生活全般に関する意見	6
	市長に関する意見	4
	府政に関する意見	4
	シルバー人材センターに関する意見	2
	エッセンシャルワーカーの待遇に関する意見	2
	議会に関する意見	1
	国政に関する意見	1

調查票

令和2年度 八尾市民意識調査

～ あなたの声をお聞かせください ～

－ ご協力のお願い －

日ごろから、八尾市政の発展にご協力いただき、ありがとうございます。
本市では、市民のみなさまの貴重な声を今後のまちづくりに活かすことを
目的に、毎年、市民意識調査を実施しています。

また、本市では、令和3年度から始まる第6次総合計画※に掲げる八尾市の
将来都市像「つながり、かがやき、しあわせつづく、成長都市 八尾」の実現
に向け、各種の取り組みを進めているところです。

今回の調査により、市民のみなさまが市に対して感じておられることを、
数値等で把握することで、今後、市はどんな取り組みを充実させていくべきな
のかを決める重要な基礎データとして活用してまいります。

お手数をおかけしますが、この調査の趣旨（市民のみなさまの貴重な声を
今後のまちづくりに活かすこと）をご理解いただき、ご協力くださいますよう
お願い申し上げます。

なお、調査結果につきましては、令和2年度市民意識調査報告書にて、集計
結果を公表いたします。

令和2（2020）年11月 八尾市

※第6次総合計画 … 令和3年度～令和10年度の8年間で、八尾市がどのようなまちをめざし発展させるかを明らかにしたもので、八尾市の今後のまちづくりを進めていくうえでの基本となる指針です。

〔 問い合わせ先 〕 この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

八尾市 政策企画部 政策推進課

電話：072-991-3881（代表）
072-924-3816（直通）

ファックス：072-924-3570

e-mail: seisakusuisin@city.yao.osaka.jp

きにゆう ねが ご記入にあたってのお願い

- * かいとう あてな ほんにんさま きにゆう ほんにん きにゆう むずか ばあい かぞく
回答は、宛名のご本人様が記入してください。ご本人によるご記入が難しい場合は、ご家族
などお手伝いいただける方が、記入してください。
- * かいとう ちょうさひょう ちよくせつきにゆう せんたくし なか た えら なか
回答は、調査票に直接記入してください。選択肢の中で、その他を選んだときは()の中に
ぐたいてき きにゆう こた しつもん なに きにゆう つぎ すす
具体的に記入してください。答えにくい質問は、何も記入せずに次に進んでください。
- * きにゆう ちょうさひょう がつ にち かようび どうふう へんしんようふうとう い
ご記入いただいた調査票は、12月8日(火曜日)までに、同封の返信用封筒に入れて、お
ちか ゆうびん とうかん きって
近くの郵便ポストに投函してください(切手はいりません)。

こじんじょうほう と あつか 個人情報の取り扱いについて

しみんいしきちょうさ や おし す まん さいいじょう しみん かた なか めい
この市民意識調査は、八尾市にお住まいの満18歳以上の市民の方の中から、3,000名を
むさくい えら ちょうさひょう おく じっし ちゆうしゅつび れいわ ねん がつ にち
無作為で選び、調査票をお送りして実施しています。【抽出日:令和2(2020)年11月17日】

かいとうほうほう むきめいほうしき おこな かいとうけっか とうけいてき しより こんかい ちょうさ え じょうほう
回答方法は無記名方式で行い、回答結果は統計的に処理します。今回の調査で得た情報は、
た もくてき しょう
他の目的では使用しません。

てんしゅつなど いどう かた 転出等の異動をされた方について

ちゆうしゅつび れいわ ねん がつ にち いこう てんしゅつなど いどう かた や お
なお、抽出日(令和2(2020)年11月17日)以降に転出等の異動をされた方につきましても、八尾
しせい たい いけん うかが かんが ちょうさ きょうりよく
市政に対するご意見をお伺いさせていただければと考えております。調査にご協力いただきま
ねが
すようお願いいたします。

きょうりよく ねが ご協力お願いします



I. はじめに、みなさまご自身やご家族のことについて、お伺いします。

◆1 あなたの年齢について、お伺いします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 19歳以下	4. 40～49歳	7. 70歳以上
2. 20～29歳	5. 50～59歳	
3. 30～39歳	6. 60～69歳	

◆2 あなたの性別について、お伺いします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 男性	2. 女性	3. 男性・女性と答える ことに抵抗を感じる
-------	-------	---------------------------

◆3 あなたの家族構成について、お伺いします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. ひとり暮らし	4. 三世代同居 (親と子どもと孫など)
2. 夫婦のみ	5. その他 ()
3. 二世代同居 (親と子どもなど)	

◆4 同居の家族に未成年者(20歳未満)はおられますか。

あてはまる番号1つに○をつけ、その人数を記入してください。

1. いる →	0～6歳 (人)	13～15歳 (人)
2. いない	7～12歳 (人)	16～20歳未満 (人)

◆5 同居の家族(あなたを含む)に高齢者はおられますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 65～74歳の高齢者がいる	2. 75歳以上の高齢者がいる	3. いない
------------------	-----------------	--------

◆6 あなたが八尾市内を移動するとき、よく利用される交通手段は何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自転車	4. バス	7. その他
2. バイク・原付自転車	5. 鉄道	()
3. 自家用車	6. タクシー	

◆7 あなたの就学・就業状況について、お伺いします。主にあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 学生	2. 働いている (フルタイム労働)	3. 働いている (パート・アルバイト等)	4. 働いていない
-------	-----------------------	--------------------------	-----------

つうきん つうがく かた うかが
通勤・通学されている方にお伺いします。

◆8 あなたのお勤め先・通学先について、お伺いします。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 自宅 | 5. 大阪府内 |
| 2. 八尾市内(自宅以外) | (八尾市・大阪市・東大阪市・柏原市を除く) |
| 3. 大阪市 | 6. 他府県 |
| 4. 東大阪市・柏原市 | 7. 通勤・通学していない |

◆8で「2」～「6」のいずれかに○をつけた方に、お伺いします。

◆9 職場・学校までの時間について、お伺いします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------------|----------|
| 1. 30分未満 | 2. 30分以上～1時間未満 | 3. 1時間以上 |
|----------|----------------|----------|

すべての方にお伺いします。

◆10 あなたのお住まい(住宅)について、お伺いします。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|----------------------|-----------|
| 1. 戸建て(持ち家) | 3. マンション・アパートなど(持ち家) | 5. 寮・社宅 |
| 2. 戸建て(賃貸) | 4. マンション・アパートなど(賃貸) | 6. その他() |

◆11 あなたのお住まいになっているところは、どの小学校区ですか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|--------------------|
| 1. 八尾小学校区 | 11. 高安小中学校区 | 21. 刑部小学校区 |
| 2. 山本小学校区 | 12. 曙川小学校区 | 22. 高美南小学校区 |
| 3. 用和小学校区 | 13. 北山本小学校区 | 23. 西山本小学校区 |
| 4. 久宝寺小学校区 | 14. 南山本小学校区 | 24. 高安西小学校区 |
| 5. 龍華小学校区 | 15. 志紀小学校区 | 25. 曙川東小学校区 |
| 6. 大正小学校区 | 16. 高美小学校区 | 26. 亀井小学校区 |
| 7. 桂小学校区 | 17. 長池小学校区 | 27. 上之島小学校区 |
| 8. 安中小学校区 | 18. 東山本小学校区 | 28. 大正北小学校区 |
| 9. 竹渚小学校区 | 19. 美園小学校区 | 29. 11月17日以降に市外へ転出 |
| 10. 南高安小学校区 | 20. 永畑小学校区 | |

※小学校区がわからない場合は住所をご記入ください。

()町()丁目

※11月17日以降に市外へ転出された方につきましても、調査へのご協力をお願いします。

◆12 あなたは、八尾市にお住まいになってどれくらいたちますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1.	～ 2年未満	→ ◆13及び◆14へ
2.	2年以上～ 5年未満	
3.	5年以上～10年未満	
4.	10年以上～20年未満	
5.	20年以上～30年未満	
6.	30年以上～	

次の◆13及び◆14は、八尾市にお住まいになって5年未満の方(◆12で「1」または「2」に○をつけた方)に、お伺いします。

◆13 八尾市へ転入されたきっかけについて、お伺いします。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1.	住宅の購入・賃貸借
2.	ご結婚
3.	記入されているご本人又はご家族の家庭の事情(親族との同居など)
4.	記入されているご本人又はご家族の就職・転職・転勤
5.	記入されているご本人又はご家族の福祉施設・病院などへの入所・入院
6.	その他 ()

◆14 転入されたときに、居住地として八尾市を選ばれた理由について、お伺いします。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1.	以前住んでいたところ又は家族が住んでいるところだから
2.	世帯規模の拡大や子どもの成長に応じた住まいを求めていたから
3.	世帯規模の縮小に応じた住まいを求めていたから
4.	仕事と子育てを両立しやすい環境を求めていたから
5.	子どもへのより良い教育環境を求めていたから
6.	自然環境に恵まれている環境を求めていたから
7.	歴史・文化遺産に恵まれている環境を求めていたから
8.	日常の医療を受けやすい環境を求めていたから
9.	日常の買い物便利な環境を求めていたから
10.	仕事が身近で得られやすい環境を求めていたから
11.	通勤・通学に便利な環境を求めていたから
12.	交通事故や治安の心配が少ない環境を求めていたから
13.	自然災害の心配が少ない環境を求めていたから
14.	その他 ()

II. 新型コロナウイルス感染症の流行に関わる影響等について、お伺いします。

問1 新型コロナウイルス感染症の流行に伴って、あなたご自身の生活において変化したことをご記入ください。(家庭での過ごし方や役割、働き方、収入、友人・知人との交流など)

問1-1 新型コロナウイルス感染症が流行し始めた頃(今年2月頃)と、現在とを比べて、あなたの健康に関する行動等の変化はありますか。①～⑮の項目ごとに、あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

健康に関する行動等	増えた	変化はない	減った	わからない・習慣がない
① 運動する機会や運動量	1	2	3	4
② ぐっすりと眠れること(睡眠)	1	2	3	4
③ 体の不調を感じる	1	2	3	4
④ ストレス	1	2	3	4
⑤ たばこを吸う量	1	2	3	4
⑥ お酒を飲む量	1	2	3	4
⑦ 体重	1	2	3	4
⑧ 血圧を測定する回数	1	2	3	4
⑨ 医療機関を受診する回数	1	2	3	4
⑩ 1日の間食の回数	1	2	3	4
⑪ 栄養バランスを考えた食事の回数	1	2	3	4
⑫ 冷凍・レトルト・インスタントの食品による食事の回数	1	2	3	4
⑬ 出前、弁当・惣菜による食事の回数	1	2	3	4
⑭ 同居家族以外の人と話す機会	1	2	3	4
⑮ あなたご自身の健康について不安を感じる	1	2	3	4

問1-2 ①～⑮のうち、特に変化があった項目を1つ選び、項目番号と、変化の具体的な状況をご記入ください。

項目番号	←①～⑮の番号を1つ記入
具体的な状況	

問1-3 あなたは、八尾市役所が実施する新型コロナウイルス感染症に関する対策（公共施設の
 休館、イベントの中止等）や、市民に向けた支援制度（給付金等）に関する情報を得るとき
 にどこから情報を得たいと思いますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 市政だより(定例号)	7. 市のホームページ	10. 市公式Facebook(広報やお)
2. 市政だより(臨時号)	(パソコンサイト)	11. 市公式Twitter
3. FMちゃお	8. 市のホームページ	12. 市公式アプリ「やおっぷ」
4. 市役所の窓口	(スマートフォンサイト)	13. 自治会などの掲示板・回覧板
5. 出張所の窓口	9. 市のホームページ	14. その他()
6. 市役所等への電話	(携帯サイト)	15. 特にない・わからない

Ⅲ. みなさまの日常の暮らしについて、お伺いします。

健康づくりについて

問2 あなたは、健康のために運動を心がけるなど、自主的に何か取り組みをしていますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. している	2. していない
---------	----------

問3 あなたは、普段、栄養のバランスを考 えて食事をしていますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問4 あなたは、病気や健康について相談や受診できる「かかりつけ医」など(かかりつけ医、かか
 りつけ歯科医、かかりつけ薬局)がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある	2. ない
-------	-------

災害への備えについて

問5 あなたは、防災訓練に参加したり、備蓄をするなど、災害に対する取り組みを行っています
 か。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 行っている	2. 行っていない
----------	-----------

問6 あなたは、災害発生時の緊急事態が起こったときにそなえて、家族で、学校や公園などの
 避難場所を決めたり、日用品などをすぐに持ち出せるようにするなど、備えをしていますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 行っている	2. 行っていない
----------	-----------

■ 文化、スポーツ、国際交流について

問7 あなたは、日常生活において、音楽、映画、演劇、美術等の芸術文化に親しんで心の豊かさを感じる時はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大いにある 2. 少しある 3. あまりない 4. 全くない

問8 現在、あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 週1回以上 2. 月に2～3回 3. 年に数回 4. 不定期 5. 全くない

問9 あなたは、自己啓発や知識・技能の向上などのため、どのような内容の生涯学習(自発的な学習活動)を行っていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 文化・教養に関すること 4. スポーツ・運動・レクリエーションに関すること
 2. 現代的・社会的課題に関すること 5. ボランティア活動・地域活動
 3. 職業上必要な知識・技能の取得 6. その他()
 や資格取得に関すること 7. 生涯学習は行っていない

問10 あなたは、さまざまな国の人たちと交流し、相互理解を深める国際交流について、興味がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 興味がある 2. 少し興味がある 3. 興味がない

■ 地域の産業について

問11 あなたは、まちの活性化のための産業振興について、どのように思われますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. あまり重要ではない

問12 あなたは、地元の商店街や個人商店でどの程度買い物しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 週1回以上 2. 月に2～3回 3. 年に数回 4. 不定期 5. 全くない

問13 あなたは、日常の買い物(食料品、日用品の購入など)がしやすい環境にあると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 日常の買い物はしやすい 2. 日常の買物が不便である 3. わからない

問14 あなたは、インターネットを活用して、買い物(ネットショッピング)や宿泊施設の予約、チケットの申し込み等をすることがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------------------|----------|
| 1. よく利用する | 3. あまり利用しない | 5. 利用しない |
| 2. 時々利用する | 4. 今は利用していないが、今後利用したい | |

■ 環境について

問15 あなたは、日頃の生活において、道路・公園・駅前等の公共の場所で、ごみやタバコのポイ捨て、ペットのふんの放置などをしないように心がけていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. いつも心がけている | 3. あまり心がけていない |
| 2. 心がけている | 4. 心がけていない |

問16 あなたは、環境の改善や保護のために何らかの行動(ごみの分別、買い物袋の持参、節水など)を行っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 行っている | 2. 行っていない | 3. わからない |
|----------|-----------|----------|

問17 あなたは、日常生活の中で、地球温暖化防止に役立つ行動(省エネ・節電など)をとるよう心がけていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. いつも心がけている | 3. あまり心がけていない |
| 2. 心がけている | 4. 心がけていない |

■ 人権・男女共同参画・平和について

問18 あなたは、八尾市において、社会的身分、人種、民族、年齢、性別、障がいのあることなどによる差別がなくなったと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|-------|---------|------------|---------|----------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない | 4. 思わない | 5. わからない |
|-------|---------|------------|---------|----------|

問19 男女共同参画を推進することを目的に、市民の交流、情報提供、学習および相談の場として、八尾市男女共同参画センター「すみれ」(生涯学習センター「かがやき」4階内)を設置しています。あなたは、八尾市男女共同参画センター「すみれ」を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問20 あなたは、平和な社会が大切だと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|---------|------------|---------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない | 4. 思わない |
|-------|---------|------------|---------|

■八尾の魅力について

問21 あなたは、八尾の魅力について尋ねられた時、答えることができますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 八尾の魅力をたくさん答えることができる | 3. 八尾の魅力がわからない |
| 2. 八尾の魅力をいくつか答えることができる | |

問21で「1」～「2」に○をつけた方にお伺いします。

問21-1 あなたが思う八尾の魅力をお聞かせください。(3点まで)

・
・
・

すべての方にお伺いします。

問22 あなたは、八尾の魅力を友人や知り合いにどの程度すすめたいと思いますか。
とてもすすめたい場合を10点、全くすすめたくない場合を0点とすると、何点くらいになると
思いますか。いずれかの数字1つに○をつけてください。

← とてもすすめたい	ま	た	く	す	ず	め	た	く	な	い	→
10点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0点	

問23 あなたは、八尾をより良くするための活動にどの程度関わりたいと思いますか。
とても関わりたい場合を10点、全く関わりたい場合を0点とすると、何点くらいになると
思いますか。いずれかの数字1つに○をつけてください。

← とても関わりたい	ま	た	く	関	わ	ら	な	い	→	
10点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0点

問24 あなたは、八尾をより良くするために活動している人に対して、どの程度感謝したいですか。
とても感謝したい場合を10点、全く感謝したくない場合を0点とすると、何点くらいになると
思いますか。いずれかの数字1つに○をつけてください。

← とても感謝したい	ま	た	く	感	謝	し	た	く	な	い	→
10点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0点	

問25 久宝寺緑地で毎年開催されている八尾河内音頭まつりについて、あなたはどのようなプロ
グラムや企画に魅力を感じますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-----------------|----------|
| 1. 河内音頭(盆踊り) | 4. ダンスコンテスト | 7. 特にな |
| 2. グルメ | 5. 音楽イベント(吹奏楽等) | 8. わからない |
| 3. 物産展 | 6. その他() | |

IV. 八尾のまちについて、みなさまが日ごろ感じておられることについて、お伺いします。

問26 あなたが、八尾市で生活する中で、次のことについて、どのようにお考えですか。ア～ソの項目ごとに、あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

＜項 目＞		思う 1	少し思う 2	あまり思わない 3	思わない 4	わからない 5
ア	あなたは、公共施設を利用される際、誰もが利用しやすいバリアフリーな建物であると感じますか。	1	2	3	4	5
イ	あなたは、地域での福祉活動が活発に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
ウ	あなたは、地域でウォーキングや体操、食育など健康づくりのための活動が活発に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
エ	あなたは、八尾市内に自然環境が多く残っていると思いますか。	1	2	3	4	5
オ	八尾市において、都市部ではそれぞれの地域特性に応じた住宅、工場、商店が立地し、郊外部では市街化が抑制され、自然環境の保全が図られていると思いますか。	1	2	3	4	5
カ	あなたは、八尾市の歴史的まちなみ景観や玉串川・長瀬川等の水路景観について、うるおいと魅力ある景観づくりがなされていると思いますか。	1	2	3	4	5
キ	あなたは、住んでいるまちが機能的だと思えますか。	1	2	3	4	5
ク	あなたは、あなたのお住まいの地域のみなさんが考えている方向で、まちの整備が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
ケ	あなたは、八尾市内の道路が歩行者にも運転者にも、安全に利用できるような整備が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
コ	あなたは、バスや鉄道などの公共交通機関を利用して出かけるときに、便利だと思えますか。	1	2	3	4	5
サ	あなたは、人権が尊重され、共に認め合い、幸せに暮らせる社会が実現していると思いますか。	1	2	3	4	5
シ	あなたは、性別に関わらず男女が互いに認め合える差別のない社会が実現していると思いますか。	1	2	3	4	5
ス	あなたは、職場や地域において、女性が働きやすい、あるいは活動しやすい環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5
セ	あなたは、行政の取り組みが、改善されていると思いますか。	1	2	3	4	5
ソ	あなたは、八尾市役所からの情報が入手しやすいと思えますか。	1	2	3	4	5

問27 あなたは、「八尾の文化・まつり」の元気さ(活気・活発さ)についてどのように感じていますか。あなたの考えに最も近いものの番号に1つ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------|----------|
| 1. とても元気である | 3. やや元気がない | 5. わからない |
| 2. 元気である | 4. 元気がない | |

問28 八尾市が進めてきた①～⑯の政策に関する現在の満足度について、あなたの考えに最も近いものの番号に1つずつ○をつけてください。【別紙1をご参考ください。】

政策	現在の満足度 (各項目1つずつ○)				
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	どちらともいえない
① 安全安心のまちづくり	1	2	3	4	5
② 医療・保健の体制の整備	1	2	3	4	5
③ 地域福祉の推進と福祉サービスの提供	1	2	3	4	5
④ 子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり	1	2	3	4	5
⑤ 生きる力を育む学校教育	1	2	3	4	5
⑥ 「まちの魅力」発見・発信・創出	1	2	3	4	5
⑦ 豊かな心を育む文化・学習・交流	1	2	3	4	5
⑧ 産業振興とまちのにぎわい創出	1	2	3	4	5
⑨ まちのにぎわいを生み出す都市基盤づくり	1	2	3	4	5
⑩ 環境にやさしいまちづくり	1	2	3	4	5
⑪ 安全で快適な水環境の整備	1	2	3	4	5
⑫ 安全安心な上水道の供給体制づくり	1	2	3	4	5
⑬ 公共下水道の整備	1	2	3	4	5
⑭ 人権の尊重と平和を希求する共生社会の実現	1	2	3	4	5
⑮ 市民協働と地域自治の推進	1	2	3	4	5
⑯ 信頼される行政経営の推進	1	2	3	4	5

V. 今後の定住意向について、お伺いします。

問29 あなたは、今後も八尾市に住みつづけたいとお考えですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|----------|
| 1. 今の場所に住みつづけたい | } 問29-1へ |
| 2. 市内の他の場所で住みつづけたい | |
| 3. いずれ市外に引っ越したい | |
| 4. 市外に引っ越す予定がある | |
| 5. すでに市外に引っ越した(11月17日以降) | |
| 6. その他() | |

問29で「3」～「5」に○をつけた方にお伺いします。

問29-1 あなたが、市外へ引っ越したいと思われる理由または引っ越した理由を教えてください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 以前住んでいたところ又は親せき・友人等人とのつながりを求めて |
| 2. 世帯規模の拡大や子どもの成長に応じた住まいを求めて |
| 3. 世帯規模の縮小に応じた住まいを求めて |
| 4. 仕事と子育てを両立しやすい環境を求めて |
| 5. 子どもへのより良い教育環境を求めて |
| 6. 自然環境に恵まれている環境を求めて |
| 7. 歴史・文化遺産に恵まれている環境を求めて |
| 8. 日常の医療を受けやすい環境を求めて |
| 9. 日常の買い物が便利な環境を求めて |
| 10. 仕事が身近で得られやすい環境を求めて |
| 11. 通勤・通学に便利な環境を求めて |
| 12. 交通事故や治安の心配が少ない環境を求めて |
| 13. 自然災害の心配が少ない環境を求めて |
| 14. 遠方への進学・就職や転勤のため |
| 15. 結婚・離婚・出産・家族介護等による家族・親族等との同居・近居のため |
| 16. まちなみの景観や自然、静けさや治安などの住環境を求めて |
| 17. 他市に魅力を感じて |
| 18. その他() |

VI. 八尾市の将来都市像の実現状況について、お伺いします。

問30 第6次総合計画を進めるにあたり、将来都市像を「つながり、かがやき、しあわせつづく、成長都市 八尾」と定め、次のような社会の実現をめざしています。ア～コの項目ごとに、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。
【オ～コのご回答にあたっては、別紙2をご参考ください。】

＜項目＞

	思う おも	少し思う すこおも	あまり思わない おも	思わない おも	わからない おも
ア 私は、温かく思いやりのある心をもって、さまざまな人と互いに寄り添いつながることができている	1	2	3	4	5
イ 私は、夢と志を持ち、生きがいを感じ、自分らしくかがやいている	1	2	3	4	5
ウ 私は、社会的身分・人種・民族・信条・性・年齢・障がいの有無などにかかわらず、しあわせを八尾で実感できている	1	2	3	4	5
エ 私は、仮に八尾を離れたとしても、いつかは八尾に戻ってきたいという想いをもっている	1	2	3	4	5
オ 八尾市は、子どもや若者が、様々な状況に合わせた支援を受け、人の温かさの中で育つ「未来への育ちを誰もが実感できるまち」となっている	1	2	3	4	5
カ 八尾市は、危機に直面した場合にも、地域の中で、いざという時は困っているすべての人に支援の手が届く「もしもの時への備えがあるまち」となっている	1	2	3	4	5
キ 八尾市は、魅力が広く知られ、あらゆる人材や企業が活発に活動し、活気にあふれ、注目される「世界に魅力が広がるまち」となっている	1	2	3	4	5
ク 八尾市は、市民自らが環境に対し取り組みを行う「日常の暮らしが快適で環境にやさしいまち」となっている	1	2	3	4	5
ケ 八尾市は、お互いの人権を大切にし、自分らしく活動ができる「つながりを創り育て自分らしさを大切にしようまち」となっている	1	2	3	4	5
コ 八尾市は、住んでいる地域のまちづくりに市民が参加するなど、「みんなの力でともにつくる持続可能なまち」となっている	1	2	3	4	5

問30-1 「3. あまり思わない」「4. 思わない」と回答された項目について、回答された理由や問題・課題、より良い八尾をつくるためのアイデアがあればおきかせください。(いくつでも可)

項目の記号(ア～コ)	回答された理由、問題・課題、より良い八尾をつくるためのアイデア
(記入例) ア	××が△△となればよいと思う。

みぢか ちいき しょうがっこうく ちょうかい ちいきかつどう うかが
Ⅶ. 身近な地域(小学校区や町会など)の地域活動について、お伺いします。

とい かくしょうがっこうく こうく きょうぎかい せつりつ さまざま ちいきかつどう
問31 あなたは、各小学校区において「校区まちづくり協議会」が設立され、様々な地域活動を
 じっし し ばんごう
 実施していることを知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 校区まちづくり協議会の担い手として活動に参加したことがある | } とい
問31-1
へ |
| 2. 校区まちづくり協議会が実施するイベントなどに参加したことがある | |
| 3. 校区まちづくり協議会を知っているが、イベントなどに参加したことはない | |
| 4. 校区まちづくり協議会を知らない | |

とい
問31 で「1」～「3」に○をつけた方にお伺いします。

とい ちいきかつどう なに し ばんごう
問31-1 地域活動を何で知りましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------|-----------|----------------|
| 1. 回覧板 | 3. 市政だより | 5. インターネット・SNS |
| 2. 広報板 | 4. 人から聞いた | 6. その他() |

かた うかが
すべての方にお伺いします。

とい ちいきかつどう ちょうかいなど しみんかつどう ふくし かんきょうなど そ かつどう さんか
問32 あなたは、地域活動(町会等)や市民活動(福祉や環境等テーマに沿った活動)への参加
 かんが ばんごう
 についてどのようにお考えですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---|--------------------|
| 1. 参加した経験がある | } とい
問32-1
へ |
| 2. 参加した経験はないが、今後積極的に参加したい | |
| 3. 参加した経験はないが、条件があれば参加したい | |
| 4. 参加したいとは思わない (条件をお聞かせください:
(理由をお聞かせください:) | |

とい
問32 で「2」～「4」に○をつけた方にお伺いします。

とい かつどう よ かんたん きにゆう
問32-1 どんな活動があったら良いですか。簡単にご記入ください。

しぎかい うかが
Ⅶ. 市議会について、お伺いします。

とい しぎかい かんしん ばんごう
問33 市議会に関心はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 関心がある | 3. どちらかというに関心がない |
| 2. どちらかというに関心がある | 4. 関心がない(理由:) |

とい しぎかい のぞ なに ばんごう
問34 あなたが市議会に望むことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 市民の声を市政に反映する | 6. 市民や地域の課題を把握する |
| 2. 市政運営のチェック機能を強化する | 7. 議員の資質を向上させる |
| 3. 市政への政策提案を積極的に言う | 8. その他 |
| 4. 議員間で活発に議論する | () |
| 5. 議会の広報活動を充実させる | |

IX. や お し と く うかが
八尾市の取り組みについて、お伺いします。

とい 問35 あなたは、八尾市の行政の取り組みに満足していますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
|-------|---------|---------|-------|

とい 問36 あなたは、市役所の各窓口や電話での職員の説明がわかりやすかったと思いますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|---------------|--------------|
| 1. とてもわかりやすかった | 3. ややわかりにくかった | 5. どちらともいえない |
| 2. わかりやすかった | 4. わかりにくかった | (わからない) |

とい 問37 あなたは、普段、市役所に関する情報を得るときに、どこから情報を得ますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|-----------------------|
| 1. 市政だより | 7. 市のホームページ | 10. 市公式Facebook(広報やお) |
| 2. 暮らしのガイドブック | (パソコンサイト) | 11. 市公式Twitter |
| 3. FMちゃお | 8. 市のホームページ | 12. 市公式アプリ「やおっぷ」 |
| 4. 市役所の窓口 | (スマートフォンサイト) | 13. 自治会などの掲示板・回覧板 |
| 5. 出張所の窓口 | 9. 市のホームページ | 14. 家族、隣人、知人 |
| 6. 市役所等への電話 | (携帯サイト) | 15. その他() |

とい 問38 出張所では、生活の身近なところで頼りになる拠点をめざしていますが、出張所で今後
どういったサービスがさらに充実されると良いと思いますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-----------------|--------|
| 1. 地域のまちづくり支援 | 4. 生涯学習の支援(講座等) | 7. その他 |
| 2. 健康づくり支援 | 5. 子育て支援 | () |
| 3. 相談窓口 | 6. 防災活動・災害時の支援 | |

X. これまでの設問に関わらず、ご意見等がございましたらご記入ください。

ちょうさ きょうりよく
調査にご協力いただきありがとうございました。

がつ にち か ようび どうふう へんしんようふうとう きってふよう ゆうそう
12月8日(火曜日)までに同封の返信用封筒(切手不要)で、郵送してください。

べっし
【別紙 1】 だい じ そうごうけいかく せいさく と く れい
第5次総合計画 16の政策と取り組み例

16の政策	取り組み例
① 安全安心のまちづくり	防犯、防災、消防、危機管理(新型インフルエンザ等の緊急事象への対処)、交通安全、適切な自転車利用、消費者保護、良質な住まいづくり、公共施設・設備の機能更新など
② 医療・保健の体制の整備	疾病予防と健康づくり、医療サービス、地域医療体制の充実など
③ 地域福祉の推進と福祉サービスの提供	地域福祉のしくみづくり(地域での担い手づくり、地域福祉活動等)、高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり、介護サービス、障がいのある人の自立支援、生活困窮者への支援など
④ 子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり	母子保健、地域での子育て支援と児童虐待防止、保育サービス、幼児教育、青少年の健全育成(放課後児童室、こども会等)など
⑤ 生きる力を育む学校教育	小中学生の育成(特色ある学校づくり、人権教育等)、教育機会の均等(特別支援教育、在日外国人教育、教育相談、就学援助、教育環境の整備等)など
⑥ 「まちの魅力」発見・発信・創出	八尾の魅力発見と発信(八尾ブランドの創出、河内音頭の普及、高安山・玉串川等の自然資源の保全)、歴史資産などの保全と活用(高安古墳群の保存活用、文化財の保存活用、市史編纂等)など
⑦ 豊かな心を育む文化・学習・交流	生涯学習、国際交流と国内交流、芸術文化、スポーツ・レクリエーションなど
⑧ 産業振興とまちのにぎわい創出	産業政策、産業振興(ものづくり・商業・農業)、就業支援・雇用創出など
⑨ まちのにぎわいを生み出す都市基盤づくり	土地利用と都市景観、都市核などの充実、道路の整備・維持、公園・まちの緑化、公共交通網の充実など
⑩ 環境にやさしいまちづくり	環境の保全、まちの美化、地球温暖化対策、ごみの減量や資源循環への取り組みなど
⑪ 安全で快適な水環境の整備	治水対策(浸水被害などの軽減)、河川・水路などの整備、防災機能の強化、環境整備、用水機能の確保など
⑫ 安全安心な上水道の供給体制づくり	上水道の安定供給、水道管などの計画的な更新、災害時における供給体制づくりなど
⑬ 公共下水道の整備	下水道事業の推進、生活環境の向上、河川の水質汚濁の防止、豪雨時における雨水の排水、整備区域における下水道接続の促進、良好な河川環境の保持、浸水被害の少ないまちづくりの推進など
⑭ 人権の尊重と平和を希求する共生社会の実現	女性・子ども・高齢者・障がいのある人・同和問題・外国人などさまざまな人権課題を踏まえた、すべての人の人権が大切にされる社会づくり、人権意識の高揚と差別のない社会づくり、多文化共生の推進(外国人市民への支援・交流等)、平和意識の向上など
⑮ 市民協働と地域自治の推進	地域のまちづくり・地域活動への支援、市民の社会貢献活動の促進、男女共同参画の推進など
⑯ 信頼される行政経営の推進	計画行政の推進(総合計画の推進、行政評価等)、広域行政(大阪府、大阪市、東大阪市、柏原市等との連携)、行財政改革、情報提供と個人情報保護、人材活用と組織活性化、窓口サービス、健全かつ公正な行財政運営など

もくひょう まちづくりの目標	
<p>もくひょう 目標1</p> <p>みらい そだ だれ じっかん 未来への育ちを誰もが実感できるまち</p>	<p>すべての子どもや若者が様々な状況に合わせた切れ目のない支援を受けながら、人の温かさの中で育ち、周囲の大人も互いに成長できているという喜びによりしあわせを感じられる、「未来への育ちを誰もが実感できるまち」をめざします。</p>
<p>もくひょう 目標2</p> <p>もしものとき そな もしもの時への備えがあるまち</p>	<p>危機に直面した場合にも、ともに支えあえる温かい地域コミュニティの中で、いざという時は様々な資源を使いながら、困っているすべての人に支援の手が届き、しあわせを感じられる、「もしもの時への備えがあるまち」をめざします。</p>
<p>もくひょう 目標3</p> <p>せ かい みりよく ひろ 世界に魅力が広がるまち</p>	<p>八尾の魅力が広く知られ、あらゆる人材や企業が活発に活動し、自らが関わっている八尾が活気にあふれ、注目される誇らしさによりしあわせを感じられる、「世界に魅力が広がるまち」をめざします。</p>
<p>もくひょう 目標4</p> <p>にちじょう く かいてき かんきょう 日常の暮らしが快適で環境にやさしいまち</p>	<p>「暮らしたい」「暮らし続けたい」まち八尾で住み続ける喜びと、市民自らが環境に対し取り組みを行うことで得られる充実感によりしあわせを感じられる、「日常の暮らしが快適で環境にやさしいまち」をめざします。</p>
<p>もくひょう 目標5</p> <p>つく そだ じぶん たいせつ つながりを創り育て自分らしさを大切にしようまち</p>	<p>お互いの人権を大切にし、人と人とのつながりを創り育て、自分らしく活動し、自己実現ができていくという喜びによりしあわせを感じられる、「つながりを創り育て自分らしさを大切にしようまち」をめざします。</p>
<p>もくひょう 目標6</p> <p>ちから じぞくかのう みんなの力でともにつくる持続可能なまち</p>	<p>これまでまちづくりに参加したことのない多様な立場の市民もまちづくりに参画し、知恵を出し合い、適切な役割分担のもと公民が連携し協働しながら、八尾のまちづくりが持続可能で成長しているという確信によりしあわせを感じられる、「みんなの力でともにつくる持続可能なまち」をめざします。</p>

■令和2年度 八尾市民意識調査報告書

令和3（2021）年3月発行

発行者 八尾市 政策企画部 政策推進課

〒581-0003 大阪府八尾市本町一丁目1番1号

TEL 072-924-3816 Fax 072-924-3570

電子メール seisakusuisin@city.yao.osaka.jp

刊行物番号 R2-289

